

経営学 Business Administration				
榎 谷 正 人 (マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標

経営学は経済学や商学とどのように違うのか、また、経営学を身の回りの生活や社会とのかかわりを通して説明します。会社を動かすしくみ、製品やサービスの製造プロセス、製品やサービスの販売プロセス、社員の行動や人材育成の実際、グローバルな事業活動、会社の利益のしくみまでを明らかにします。

1年生が今までの経験を通して経営学を理解するとともに、経営学の基本的な枠組みとして、①戦略を立てる、②組織をつくる、③人を動かす、の3つの要素について説明します。

【学習の到達目標】

- ①経営学を初めて学ぶ1年生が、基本的なキーワードを説明できるようにする。
- ②経営学の戦略・組織・人の機能を体系的に説明できるようにする。
- ③現実の企業活動を、新聞やインターネットで情報収集し事例研究できるようにする。
- ④現実の企業活動において、グローバル経営の課題について説明できるようにする。

授業方法と留意点

毎回講義を中心に行いますが、途中で理解促進テストと演習課題を実施します。また、課題レポート(800字)を数回実施します。尚、毎回の授業の出席はもちろん、ノートテイキングは必須とする。

科目学習の効果(資格)

経営学検定、中小企業診断士、販売士、社会保険労務士、キャリア・カウンセラー、税理士、公認会計士などの資格取得に役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 講義の全体像を示します。
【事前・事後学習課題】 ノートを準備しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 企業経営のキーワードを学ぶ
【内容・方法 等】 私たちの生活と身近な会社との関係を知り、経営に不可欠な経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)とは何かについて学びます。
【事前・事後学習課題】 第I部「経営学の歴史と企業の発展」[4現代社会と企業](pp.35-53)を読んでくること。
- 第3回** 【授業テーマ】 経営学の歴史と企業の発展
【内容・方法 等】 企業と経営、企業と組織について理解を深めます。さらに、経営学はドイツ、アメリカ、日本でどのように研究されてきたのかを学びます。
【事前・事後学習課題】 第I部「経営学の歴史と企業の発展」[1ドイツの経営学][2アメリカの経営学][3日本の経営学]を読んでくること。
- 第4回** 【授業テーマ】 企業と社会の関係
【内容・方法 等】 会社とステークホルダー(顧客、従業員、取引先、株主、金融機関、市域社会、政府・行政、NPO/PGO)との関係を学びます。
【事前・事後学習課題】 興味のある企業のホームページの会社情報とトップの方針を、プリントアウトし読んでくること。
- 第5回** 【授業テーマ】 企業の財務活動と会計活動
【内容・方法 等】 会社の利益はどのように測定するのか。財務(ファイナンス)と会計(アカウンティング)について、上場企業の有価証券報告書で学びます。
【事前・事後学習課題】 興味のある会社のホームページから、有価証券報告書を一覧してくること。
- 第6回** 【授業テーマ】 企業の社会的責任(CSR)
【内容・方法 等】 会社の事業の目的は利益追求にあるのか、それとも社会の持続的発展に貢献することにあるのか、企業の社会的責任について考えます。
【事前・事後学習課題】 携帯電話3社(NTTドコモ、au、ソフトバンク)のCSRをホームページで比較してくること。合わせて第II部「現代企業とステークホルダー」[8企業と法](pp.176-195)を読んでくること。
- 第7回** 【授業テーマ】 企業形態の種類
【内容・方法 等】 公企業と私企業の違いを理解し、具体的にどのような企業があるのかを学びます。また、主に私企業における株式会社の制度と仕組みを理解します。
【事前・事後学習課題】 関西電力とパナソニックの会社情報をホームページで調べてくること。合わせて第II部「現代企業とステークホルダー」[10企業と社会](pp.210-227)を読んでくること。
- 第8回** 【授業テーマ】 所有と経営の分離
【内容・方法 等】 誰が会社を動かしているのか、大企業、中小企業によって違いがあるのか、株主の権利と経営者の役割を通して学びます。

- 第9回** 【事前・事後学習課題】 創業者の名前がついている企業を5社以上調査してくること。合わせて、現在の経営者は何代目にあるのか調べてくること。
【授業テーマ】 コーポレート・ガバナンス
【内容・方法 等】 企業統治の方法について、執行役員制度と社会取締役を取り上げて学びます。また日米独の比較研究によりその目的・方法・主権の違いを理解します。
【事前・事後学習課題】 第II部「現代企業とステークホルダー」[3企業と株主](pp.98-113)を読んでくること。
- 第10回** 【授業テーマ】 経営理念の役割
【内容・方法 等】 経営理念は、会社は経営の目的を社会に示すビジョンであり、同時にそこで働く人々をまとめる役割があることについても理解を深めます。
【事前・事後学習課題】 シャープの経営理念をホームページで調べてくること。合わせて、第II部「現代企業とステークホルダー」[11企業と戦略](pp.228-230)を読んでくること。
- 第11回** 【授業テーマ】 経営戦略の実行
【内容・方法 等】 会社は競合先やグローバル競争に勝ち残るのはどうすれば良いか、経営戦略の計画段階だけではなく実行プロセスを通して企業事例で学びます。
【事前・事後学習課題】 本田技研工業の経営戦略をホームページで調べてくること。合わせて、第II部「現代企業とステークホルダー」[11企業と戦略](pp.231-248)を読んでくること。
- 第12回** 【授業テーマ】 組織形態の変化
【内容・方法 等】 会社は環境変化に適応すると同時に、競争に打ち勝つために、組織形態をどのように変化させる必要があるのかを学びます。
【事前・事後学習課題】 京セラの組織形態(アメーバ経営)についてホームページで調べてくること。合わせて、第II部「現代企業とステークホルダー」[9企業と組織](pp.196-209)を読んでくること。
- 第13回** 【授業テーマ】 企業成長と組織形態の発展パターン
【内容・方法 等】 持続的に成長と発展を遂げる会社の特徴とは何か、中小企業から大企業に発展してきたパターンを事例企業で学びます。
【事前・事後学習課題】 キヤノンの会社の歴史をホームページで調べてくること。さらに興味のある企業を2社取り上げて、それぞれの会社の歴史を調べてくること。
- 第14回** 【授業テーマ】 組織間関係の構造
【内容・方法 等】 会社と他の会社はどのように協力しているのか、またその目的な何かについて、企業集団、系列・下請の構造を学ぶことで理解を深めます。
【事前・事後学習課題】 トヨタと日立製作所のグループ会社をホームページで調べてくること。さらに2社は、環境技術の開発のため従来になかった会社と協力を行っていることを調査してくること。
- 第15回** 【授業テーマ】 戦略的提携とM&A
【内容・方法 等】 なぜ戦略提携が行われるのか、また会社は何を目的としてM&A(合併・買収)するのかについて、グローバル企業事例で理解を深めます。
【事前・事後学習課題】 最近(この1カ月)の戦略提携とM&Aを新聞記事インターネットで調べてくること。合わせて、第II部「現代企業とステークホルダー」[11企業と戦略](pp.231-248)を読んでくること。
- 第16回** 【授業テーマ】 モノづくりの実際
【内容・方法 等】 会社はどのようにしてモノをつくりだす(生産・製造)のか、自動車産業の企業事例から高品質の製品が出来上がるプロセスを学びます。
【事前・事後学習課題】 トヨタ生産システムについて、文献やインターネットで調べてくること。
- 第17回** 【授業テーマ】 価値を生み出す生産管理とコスト削減
【内容・方法 等】 顧客の満足度を高めるために、品質向上とコスト削減の両方を実現するには何が必要か、その方法をQCサークルや小集団活動によって学びます。
【事前・事後学習課題】 トヨタの生産システムについて、文献やインターネットで調べてくること。
- 第18回** 【授業テーマ】 新商品・新サービス開発の実際
【内容・方法 等】 グローバル競争に打ち勝つための魅力的な商品を開発する研究開発の最前線について調査します。研究開発投資・期間・コストの競争を学びます。
【事前・事後学習課題】 アップルの商品(iPad,iPod,iPhone)の特徴を整理すること。また、スマートフォンを開発している企業を5社調べてくること。
- 第19回** 【授業テーマ】 マーケティングと営業・販売
【内容・方法 等】 会社はどのようにしてモノを売るのか。マーケティング方法の変遷を通して、情報端末とインターネットを駆使した新たな方法について学びます。
【事前・事後学習課題】 マクドナルドのマーケティングについて、その歴史をホームページで調べてくること。合わせて、第II部「現代企業とステークホルダー」[4企業と消費者](pp.114-129)を読んでくること。
- 第20回** 【授業テーマ】 職務設計と業務改善
【内容・方法 等】 仕事の成果を高めるために、社員は仕事を

どのように分担しているのか。組織の有効性と能率を高める、標準化、専門化・分業について学びます。

【事前・事後学習課題】 セブンイレブンの店舗の仕事を店長とアルバイトの役割に分けて調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」[9企業と組織] (pp.196-209)

第21回 【授業テーマ】 組織デザインと組織能力
【内容・方法等】 科学的管理法による仕事の専門化、職能に基づく部門化組織、公式化と分権化による官僚制組織について学びます。

【事前・事後学習課題】 第Ⅰ部「経営学の歴史と企業の発展」[2アメリカの経営学] (pp.14-29) を読んでくること。

第22回 【授業テーマ】 モチベーション
【内容・方法等】 社員はなぜ働くのか、働くことの意味とその目的について理解を深めます。また、人間は組織の中でどのように動機づけられて働くのかを学びます。

【事前・事後学習課題】 ヤマト運輸のドライバーはどうして熱心に働くのか、また、東京ディズニーリゾートのキャストはなぜゲストに魔法をかけ続けられるのか、ホームページで調べてくること。

第23回 【授業テーマ】 リーダーシップ
【内容・方法等】 人を動かすリーダーの役割とは、リーダーの行動特徴とはどのようなものか。環境変化に適應する創造的リーダーシップのモデルについて学びます。

【事前・事後学習課題】 ファーストリテイリング(ユニクロ)と、マクドナルドの経営者のリーダーシップについて、文献、新聞、インターネットなどで調べてくること。

第24回 【授業テーマ】 雇用システムの多様化
【内容・方法等】 非正規雇用とグローバル人材の増加により、企業の雇用システムはどのように変化しているのか、事例企業から学びます。

【事前・事後学習課題】 非正規雇用者数の変化について過去10年以上に遡ってインターネットで調べてくること。

第25回 【授業テーマ】 報酬制度の変化
【内容・方法等】 年功序列から成果主義へと移行してきたなかで、賃金形態と賃金体系はどのように変化しているのか。賃金以外の仕事の報酬についても学びます。

【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」[5企業と社員] (pp.130-141) を読んでくること。

第26回 【授業テーマ】 人事制度と評価システム
【内容・方法等】 会社で重要な役割に就くにはどのような知識・技能・態度が必要か、会社の人事制度と仕事の評価の仕組みについて理解を深めます。

【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」[1パナソニック株式会社経営理念の再解釈が原動力] (pp.56-74) を読んでくること。

第27回 【授業テーマ】 自律型人材とキャリア開発
【内容・方法等】 会社が与えてくれる、OJTとOffJTに頼るだけでなく、自らのキャリアプラン実現のための自己啓発の方法について学びます。

【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」[2 GE社130年間の持続的成長の歴史] (pp.75-97) を読んでくること。

第28回 【授業テーマ】 グローバル企業と経営
【内容・方法等】 企業は著しく成長を遂げるアジア諸国やインド、中南米諸国でどのように戦っているのか。グローバル経営を展開する企業事例で学びます。

【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」[13企業と国際化] (pp.268-287) を読んでくること。

第29回 【授業テーマ】 戦略と組織のマネジメント
【内容・方法等】 グローバル経営における戦略と組織のマネジメントを企業事例で学びます。卓越した戦略と機能的な組織、それを動かす人の相互作用を学びます。

【事前・事後学習課題】 グローバル経営企業を1社あげて、その経緯と課題をレポートに整理してくること。

第30回 【授業テーマ】 まとめと各回要点解説(実学としての経営学) 評価方法(基準)

学年末試験80%、毎回理解促進テストと演習課題20%とします(高、学年末試験、毎回理解促進テスト、課題レポートは、学習の到達目標に関する問題です)。

教材等
教科書…大平浩二編著・楨谷正人他 『ステークホルダーの経営学』中央経済社2009年
参考書…楨谷正人『経営理念の機能-組織ルーティンによる持続的成長のしくみ』中央経済社2012年

学生へのメッセージ
「なぜ」企業はそのような経営を行っているのか?新聞、文献、書籍、インターネットなどから情報を収集し、客観的な事実やデータをもとに考える習慣を身につけましょう。

関連科目
経営戦略論、経営管理論、経営組織論、経営労務論

担当者の研究室等
11号館7階(楨谷研究室)

企業簿記
Book keeping

佐井英子(サイ ヒデコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDE	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点

簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果(資格)

日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 簿記の基本①
【内容・方法等】 資産・負債・純資産と貸借対照表
【事前・事後学習課題】 教科書 p11~p13
必要に応じて練習問題を配布、以降同様
- 第2回 【授業テーマ】 簿記の基本②
【内容・方法等】 収益・費用と損益計算書
【事前・事後学習課題】 教科書 p13~p14
- 第3回 【授業テーマ】 簿記の基本③
【内容・方法等】 取引と勘定、
【事前・事後学習課題】 教科書 p15
- 第4回 【授業テーマ】 簿記の基本④
【内容・方法等】 仕訳・転記
【事前・事後学習課題】 教科書 p21~p24
- 第5回 【授業テーマ】 簿記の基本⑤
【内容・方法等】 試算表
【事前・事後学習課題】 教科書 p25~p28
- 第6回 【授業テーマ】 簿記の基本⑥
【内容・方法等】 決算と損益計算書と貸借対照表
【事前・事後学習課題】 教科書 p25~p28
- 第7回 【授業テーマ】 簿記の基本⑦
【内容・方法等】 精算表
【事前・事後学習課題】 教科書 p28
- 第8回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】 教科書 p11~p28
- 第9回 【授業テーマ】 現金・預金①
【内容・方法等】 現金・現金過不足
【事前・事後学習課題】 教科書 p38~p39
- 第10回 【授業テーマ】 現金・預金②
【内容・方法等】 当座預金・当座借越、有価証券
【事前・事後学習課題】 教科書 p41~p43, p44
- 第11回 【授業テーマ】 受取手形・支払手形
【内容・方法等】 受取手形・支払手形
【事前・事後学習課題】 教科書 p41~p54
- 第12回 【授業テーマ】 商品売買
【内容・方法等】 3分法(仕入、売上、繰越商品勘定)
【事前・事後学習課題】 教科書 p55
- 第13回 【授業テーマ】 商品有高帳
【内容・方法等】 先入先出法、移動平均法
【事前・事後学習課題】 教科書 p61~p62
- 第14回 【授業テーマ】 売掛金・買掛金
【内容・方法等】 売掛金・買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金
【事前・事後学習課題】 教科書 p61
- 第15回 【授業テーマ】 その他の債権・債務①
【内容・方法等】 貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
【事前・事後学習課題】 教科書 p63
- 第16回 【授業テーマ】 その他の債権・債務②
【内容・方法等】 立替金・預り金、仮払金・仮受金、商品券
【事前・事後学習課題】 教科書 p63
- 第17回 【授業テーマ】 まとめ、確認テスト
【内容・方法等】 金融資産、棚卸資産、その他の債権・債務
練習問題
【事前・事後学習課題】 教科書 p38~p63
- 第18回 【授業テーマ】 固定資産
【内容・方法等】 取得、減価償却、売却
【事前・事後学習課題】 教科書 p69, p79
- 第19回 【授業テーマ】 資本金・引出金
【内容・方法等】 資本金、引出金
【事前・事後学習課題】 教科書 p71
- 第20回 【授業テーマ】 決算①

- 【内容・方法等】費用・収益の繰り延べ
【事前・事後学習課題】教科書 p 82
第21回 【授業テーマ】決算②
【内容・方法等】費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】教科書 p 82
第22回 【授業テーマ】決算③
【内容・方法等】精算表の作成
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第23回 【授業テーマ】統合演習 1
【内容・方法等】簿記と財務会計
【事前・事後学習課題】練習問題 1
第24回 【授業テーマ】統合演習 2
【内容・方法等】簿記と原価計算・管理会計
【事前・事後学習課題】練習問題 2
第25回 【授業テーマ】まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第26回 【授業テーマ】財務諸表の作成①
【内容・方法等】損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】教科書 p 87、練習問題
第27回 【授業テーマ】財務諸表の作成②
【内容・方法等】貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第28回 【授業テーマ】日商簿記検定問題①
【内容・方法等】仕訳の問題
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第29回 【授業テーマ】日商簿記検定問題②
【内容・方法等】精算表の実践問題
【事前・事後学習課題】教科書 p 87
第30回 【授業テーマ】日商簿記検定問題③

評価方法 (基準)
学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点もある。

教材等
教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版 (1890円)
参考書…学生諸君が授業時間又は時間外に使用するため補助教材として『日商簿記問題集3級』実教出版刊 (900円)を指定する。

学生へのメッセージ
簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。

関連科目
財務会計論、原価計算論、会計情報論等。

担当者の研究室等
11号館8階(紙教授室)

備考
【教職科目】教科に関する科目 (高等学校 商業)
【施行規則に定める科目区分】商業の関係科目
【履修区分】必修

企業簿記 Book keeping				
三 木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	FGHJK	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点
簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果 (資格)
日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】簿記の基本①
【内容・方法等】資産・負債・純資産と貸借対照表
【事前・事後学習課題】教科書 p 11～p 13
必要に応じて練習問題を配布、以降同様
- 第2回 【授業テーマ】簿記の基本②
【内容・方法等】収益・費用と損益計算書

- 【事前・事後学習課題】教科書 p 13～p.14
第3回 【授業テーマ】簿記の基本③
【内容・方法等】取引と勘定、
【事前・事後学習課題】教科書 p 15
第4回 【授業テーマ】簿記の基本④
【内容・方法等】仕訳・転記
【事前・事後学習課題】教科書 p 21～p 24
第5回 【授業テーマ】簿記の基本⑤
【内容・方法等】試算表
【事前・事後学習課題】教科書 p 25～p 28
第6回 【授業テーマ】簿記の基本⑥
【内容・方法等】決算と損益計算書と貸借対照表
【事前・事後学習課題】教科書 p 25～p 28
第7回 【授業テーマ】簿記の基本⑦
【内容・方法等】精算表
【事前・事後学習課題】教科書 p 28
第8回 【授業テーマ】まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】教科書 p 11～p 28
第9回 【授業テーマ】現金・預金①
【内容・方法等】現金・現金過不足
【事前・事後学習課題】教科書 p 38～p 39
第10回 【授業テーマ】現金・預金②
【内容・方法等】当座預金・当座借越、有価証券
【事前・事後学習課題】教科書 p 41～p 43、p44
第11回 【授業テーマ】受取手形・支払手形
【内容・方法等】受取手形・支払手形
【事前・事後学習課題】教科書 p 41～p 54
第12回 【授業テーマ】商品売買
【内容・方法等】3分法 (仕入、売上、繰越商品勘定)
【事前・事後学習課題】教科書 p 55
第13回 【授業テーマ】商品有高帳
【内容・方法等】先入先出法、移動平均法
【事前・事後学習課題】教科書 p 61～p 62
第14回 【授業テーマ】売掛金・買掛金
【内容・方法等】売掛金・買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金
【事前・事後学習課題】教科書 p 61
第15回 【授業テーマ】その他の債権・債務①
【内容・方法等】貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
【事前・事後学習課題】教科書 p 63
第16回 【授業テーマ】その他の債権・債務②
【内容・方法等】立替金・預り金、仮払金・仮受金、商品券
【事前・事後学習課題】教科書 p 63
第17回 【授業テーマ】まとめ、確認テスト
【内容・方法等】金融資産、棚卸資産、その他の債権・債務
練習問題
【事前・事後学習課題】教科書 p.38～p.63
第18回 【授業テーマ】固定資産
【内容・方法等】取得、減価償却、売却
【事前・事後学習課題】教科書 p 69、p.79
第19回 【授業テーマ】資本金・引出金
【内容・方法等】資本金、引出金
【事前・事後学習課題】教科書 p 71
第20回 【授業テーマ】決算①
【内容・方法等】費用・収益の繰り延べ
【事前・事後学習課題】教科書 p 82
第21回 【授業テーマ】決算②
【内容・方法等】費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】教科書 p 82
第22回 【授業テーマ】決算③
【内容・方法等】精算表の作成
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第23回 【授業テーマ】統合演習 1
【内容・方法等】簿記と財務会計
【事前・事後学習課題】練習問題 1
第24回 【授業テーマ】統合演習 2
【内容・方法等】簿記と原価計算・管理会計
【事前・事後学習課題】練習問題 2
第25回 【授業テーマ】まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第26回 【授業テーマ】財務諸表の作成①
【内容・方法等】損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】教科書 p 87、練習問題
第27回 【授業テーマ】財務諸表の作成②
【内容・方法等】貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】教科書 p 87 練習問題
第28回 【授業テーマ】日商簿記検定問題①
【内容・方法等】仕訳の問題
【事前・事後学習課題】教科書 p.87 練習問題
第29回 【授業テーマ】日商簿記検定問題②
【内容・方法等】精算表の実践問題
【事前・事後学習課題】教科書 p 87

第30回 【授業テーマ】 日商簿記検定問題③

評価方法 (基準)

学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

教材等

教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版 (1890円)

参考書…学生諸君が授業時間又は時間外に使用するため補助教材として『日商簿記問題集3級』実教出版刊 (900円) を指定する。

学生へのメッセージ

簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。

関連科目

財務会計論、原価計算論、会計情報論等。

担当者の研究室等

11号館7階(三木准教授室)

企業簿記 Bookkeeping				
佐井英子(サイ ヒデコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点

この講義は、前期開講科目の「企業簿記」を履修し、前期試験を受けて単位を取得できなかった学生を対象とした再履修クラスです。したがって前期に「企業簿記」を履修し試験を受けていない学生の履修は認めません。授業は最初に簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する形式で進めます。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果 (資格)

日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 簿記の基礎①
【内容・方法 等】 資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書
【事前・事後学習課題】 教科書 p 4～p 10
必要に応じて練習問題を配布、以降同様
- 第2回 【授業テーマ】 簿記の基礎②
【内容・方法 等】 取引と勘定、仕訳と転記
【事前・事後学習課題】 教科書 p 11～p 16
- 第3回 【授業テーマ】 簿記の基礎③
【内容・方法 等】 試算表
【事前・事後学習課題】 教科書 p 22～p 25
- 第4回 【授業テーマ】 簿記の基礎④
【内容・方法 等】 決算と損益計算書と貸借対照表
【事前・事後学習課題】 教科書 p 26～p 32
- 第5回 【授業テーマ】 簿記の基礎⑤
【内容・方法 等】 精算表
【事前・事後学習課題】 教科書 p 33～p 35
- 第6回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法 等】 小テストの実施
【事前・事後学習課題】 教科書 p 4～p 35
- 第7回 【授業テーマ】 現金・預金①
【内容・方法 等】 現金・現金過不足
【事前・事後学習課題】 教科書 p 36～p 40
- 第8回 【授業テーマ】 現金・預金②
【内容・方法 等】 当座預金・当座借越
【事前・事後学習課題】 教科書 p 41～p 45
- 第9回 【授業テーマ】 商品売買、売上原価
【内容・方法 等】 三分法と売上原価の算定、簿記と原価計算
【事前・事後学習課題】 教科書 p 51～p 59
- 第10回 【授業テーマ】 商品有高帳
【内容・方法 等】 先入先出法、移動平均法
【事前・事後学習課題】 教科書 p 65～p 71
- 第11回 【授業テーマ】 売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
【内容・方法 等】 買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金、受取手形・支払手形

【事前・事後学習課題】 教科書 p 72～p 85

- 第12回 【授業テーマ】 その他の債権・債務①
【内容・方法 等】 貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
【事前・事後学習課題】 教科書 p 86～p 88
- 第13回 【授業テーマ】 その他の債権・債務②
【内容・方法 等】 立替金・預り金、仮払金・借入金、商品券
【事前・事後学習課題】 教科書 p 89～p 90
- 第14回 【授業テーマ】 有価証券、固定資産
【内容・方法 等】 有価証券の購入・売却・評価替え、固定資産の取得・減価償却・売却
【事前・事後学習課題】 教科書 p 91～p 98
- 第15回 【授業テーマ】 資本金・引出金
【内容・方法 等】 資本金・引出金
【事前・事後学習課題】 教科書 p 101～p 103
- 第16回 【授業テーマ】 決算①
【内容・方法 等】 費用・収益の繰り延べ
【事前・事後学習課題】 教科書 p 106～p 108
- 第17回 【授業テーマ】 決算②
【内容・方法 等】 費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】 教科書 p 109～p 113
- 第18回 【授業テーマ】 決算③
【内容・方法 等】 精算表の作成1
【事前・事後学習課題】 教科書 p 126～p 127
- 第19回 【授業テーマ】 決算④
【内容・方法 等】 精算表の作成2
【事前・事後学習課題】 教科書 p 128～p 130
- 第20回 【授業テーマ】 決算⑤
【内容・方法 等】 精算表の作成3
【事前・事後学習課題】 教科書 p 131～p 135
- 第21回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法 等】 小テストの実施
【事前・事後学習課題】 教科書 p 36～p 135
- 第22回 【授業テーマ】 財務諸表の作成①
【内容・方法 等】 簿記と財務会計、損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 p 140
- 第23回 【授業テーマ】 財務諸表の作成②
【内容・方法 等】 簿記と財務会計、貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 p 141～p 143
- 第24回 【授業テーマ】 簿記と会計情報
【内容・方法 等】 簿記と管理会計
【事前・事後学習課題】 練習問題
- 第25回 【授業テーマ】 日商簿記検定問題①
【内容・方法 等】 仕訳のまとめ
【事前・事後学習課題】 教科書 p 157～p 160
- 第26回 【授業テーマ】 日商簿記検定問題②
【内容・方法 等】 精算表のまとめ①
【事前・事後学習課題】 教科書 p 170～p 171
- 第27回 【授業テーマ】 日商簿記検定問題③
【内容・方法 等】 精算表のまとめ②
【事前・事後学習課題】 教科書 p 172～p 173
- 第28回 【授業テーマ】 日商簿記検定問題④
【内容・方法 等】 損益計算書・貸借対照表のまとめ
【事前・事後学習課題】 教科書 174～p 173
- 第29回 【授業テーマ】 伝票
【内容・方法 等】 伝票の起票、伝票から仕訳帳・元帳への記入
【事前・事後学習課題】 教科書 p 147～p 156
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ
評価方法 (基準)
学期末試験の結果により評価する。
- 教材等
教科書…「日商簿記検定問題集3級」実教出版 (900円)
参考書…「日商簿記検定テキスト3級」実教出版 (1,619円)
- 学生へのメッセージ
簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。
- 関連科目
財務会計論、原価計算論、会計情報論等。
- 担当者の研究室等
11号館8階(佐井 教授室)
- 備考
前期開講の「企業簿記」を履修したが、単位を取得できなかった学生のみ履修できます。前期開講クラスの再履修クラスです

コンピュータ概論
Computer Science

久保 貞也 (クボ サダヤ)
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本講義は、現代社会を支える重要な社会基盤となったコンピュータおよびインターネットについて、その機能と仕組みを理解し、利用者として賢く利用していく方法について学ぶことを目的としている。前期では、コンピュータによってもたらされている現代社会の利便性の向上について考え、情報に関する概念や表現方法、コンピュータの構成要素である論理回路や5大機能、コンピュータを制御するソフトウェアやプログラミング言語など、コンピュータに関する基礎的な知識の習得を目指す。後期では、インターネットの歴史、通信技術の仕組みや急速な勢いで展開される情報サービスの特徴や最新動向およびその利用方法などについて、適時、デモンストレーションや映像教材の視聴を行いながら解説していく。

授業方法及び留意点

プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行う。定期的に小テストを実施する。

科目学習の効果 (資格)

ITパスポート試験・基本情報技術者試験などIT系の資格を取得するのに重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション (コンピュータ概論 (前期) について)
【内容・方法 等】 講義の狙い、進め方について
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと
- 第2回** 【授業テーマ】 コンピュータの活用 (1)
【内容・方法 等】 現在のコンピュータ利用についての紹介
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 コンピュータの活用 (2)
【内容・方法 等】 コンピュータを利用した学習や生活の変化
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 企業のIT活用 (1)
【内容・方法 等】 企業におけるIT利活用の実状、その必要性について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 企業のIT活用 (2)
【内容・方法 等】 情報化社会のビジネスチャンスについて
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 コンピュータの歴史
【内容・方法 等】 コンピュータが登場した背景と発展の経緯
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 ソフトウェアの歴史
【内容・方法 等】 プログラミング言語の発展からオペレーティングシステムの発展について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 情報の表現 (1)
【内容・方法 等】 2進数の表現
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: テストの解答内容を見直しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 情報の表現 (2)
【内容・方法 等】 画像や音声の圧縮について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 ハードウェアの仕組み (1)
【内容・方法 等】 システムの構成について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 ハードウェアの仕組み (2)
【内容・方法 等】 記憶装置や記録方式について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、

- 関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 ソフトウェアの役割 (1)
【内容・方法 等】 プログラムの必要性、開発方法について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 ソフトウェアの役割 (2)
【内容・方法 等】 データベースの設計について
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 情報倫理と情報セキュリティ
【内容・方法 等】 個人のセキュリティ対策、情報モラルと著作権などについて
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 前期のまとめ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第16回** 【授業テーマ】 コンピュータ概論 (後期) について
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットが社会にもたらしたもの
・本講義の進め方
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第17回** 【授業テーマ】 インターネットの歴史
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットの歴史
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第18回** 【授業テーマ】 未来の情報社会
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・次世代情報通信技術
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第19回** 【授業テーマ】 インターネットのサービス類型
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットを基盤とした各種サービス
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第20回** 【授業テーマ】 インターネット・ビジネスの市場と動向
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・情報通信産業の規模、市場動向
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第21回** 【授業テーマ】 マーケティングとIT (1)
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・マーケティングとメディア
・これからのマーケティングと情報通信技術
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第22回** 【授業テーマ】 マーケティングとIT (2)
【内容・方法 等】 中間まとめとテスト
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: テストの解答内容を見直しておくこと。
- 第23回** 【授業テーマ】 インターネットの仕組み (1)
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・コンピュータの基本構造
・インターネットの基本的仕組み
・HTTP
・メールの送受信とSMTPの仕組み
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第24回** 【授業テーマ】 インターネットの仕組み (2)
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットの要素技術
【事前・事後学習課題】 予習: 事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習: 講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第25回** 【授業テーマ】 モバイル通信の仕組み (1)
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・移動体情報通信とは

- ・携帯電話で通話できる仕組み
- ・モバイルキャリア

- 第26回** 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
【授業テーマ】 モバイル通信の仕組み（2）
【内容・方法等】 この回では、主に以下について解説する。
・無線LAN
・データ通信
・スマートフォン
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
【授業テーマ】 ソーシャルメディア（1）
【内容・方法等】 この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
【授業テーマ】 ソーシャルメディア（2）
【内容・方法等】 この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
【授業テーマ】 情報セキュリティ
【内容・方法等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットのリスクと対策
・情報セキュリティ技術各種
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
【授業テーマ】 後期のまとめ

評価方法（基準）

小テスト、レポート、期末試験、出席をもとに総合的に評価する。私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等

教科書…講義にて指定する。
参考書…適時、配布する。

学生へのメッセージ

受け身の姿勢では何も身につけません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目

情報関連科目全般

担当者の研究室等

前期：11号館7階（久保准教授室）
後期：11号館7階（針尾准教授室）

備考

シラバスの内容については、受講生の理解の程度、関心に合わせて適時調整する。

C言語プログラミング C Programming				
牧野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

コンピュータを理解するためにはプログラミングの学習が欠かせない。「プログラミング基礎」の授業では、C言語を用いた基礎的なプログラミングを通して、コンピュータの構造と動作について理解を深めた。この授業ではC言語についてさらに学習を進め、プログラミングの技術を高める。C言語の文法の基礎的な部分をマスターし、簡単なプログラムが自由に書けるようになることを目標とする。

授業方法と留意点

内容の解説と演習による。欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる。

科目学習の効果（資格）

基本情報技術者試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 Cによるプログラミング
【内容・方法等】 プログラミング作業の流れ、プログラムの書き方
【事前・事後学習課題】 プリント（1）の練習問題
- 第2回** 【授業テーマ】 文字列の表示
【内容・方法等】 文字列リテラル、拡張表記、コメント
【事前・事後学習課題】 プリント（2）の練習問題
- 第3回** 【授業テーマ】 値の表示

- 第4回** 【内容・方法等】 整数値の表示、実数値の表示、四則演算
【事前・事後学習課題】 プリント（3）の練習問題
【授業テーマ】 変数
- 第5回** 【内容・方法等】 型、変数、代入、キーボードからの読み込み
【事前・事後学習課題】 プリント（4）の練習問題
【授業テーマ】 if文
【内容・方法等】 if文、if文の入れ子、条件を表す式、ブロック
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 プリント（5）の練習問題
【授業テーマ】 switch文と条件演算子
【内容・方法等】 switch文、条件演算子
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 プリント（6）の練習問題
【授業テーマ】 while文とdo文
【内容・方法等】 while文、do文、増分演算子、減分演算子
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 プリント（7）の練習問題
【授業テーマ】 for文
【内容・方法等】 for文、複合代入演算子
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 プリント（8）の練習問題
【授業テーマ】 多重ループ
【内容・方法等】 二重ループ、多重ループ
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 プリント（9）の練習問題
【授業テーマ】 break文とcontinue文とgoto文
【内容・方法等】 break文、continue文、goto文
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 プリント（10）の練習問題
【授業テーマ】 配列
【内容・方法等】 配列、配列要素、添字、配列の初期化
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 プリント（11）の練習問題
【授業テーマ】 多次元配列
【内容・方法等】 2次元配列、多次元配列
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 プリント（12）の練習問題
【授業テーマ】 関数（1）
【内容・方法等】 標準ライブラリ関数の呼び出し、関数定義と関数呼び出し、関数プロトタイプ宣言
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 プリント（13）の練習問題
【授業テーマ】 関数（2）
【内容・方法等】 返却値のない関数、変数の有効範囲と寿命
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 プリント（14）の練習問題
【授業テーマ】 関数演習
【内容・方法等】 関数を作成し、利用するプログラムの練習
- 第16回** 【事前・事後学習課題】 プリント（15）の練習問題
【授業テーマ】 マクロ
【内容・方法等】 オブジェクト形式マクロ、関数形式マクロ
- 第17回** 【事前・事後学習課題】 プリント（16）の練習問題
【授業テーマ】 再帰関数
【内容・方法等】 再帰呼び出し、再帰関数
- 第18回** 【事前・事後学習課題】 プリント（17）の練習問題
【授業テーマ】 ポインタ
【内容・方法等】 アドレス演算子、ポインタ変数、間接参照演算子
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 プリント（18）の練習問題
【授業テーマ】 関数とポインタ（1）
【内容・方法等】 関数に変数を渡したい
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 プリント（19）の練習問題
【授業テーマ】 関数とポインタ（2）
【内容・方法等】 複数の値を戻したい
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 プリント（20）の練習問題
【授業テーマ】 配列とポインタ
【内容・方法等】 ポインタとしての配列名、配列を関数に渡したい
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 プリント（21）の練習問題
【授業テーマ】 文字と文字列
【内容・方法等】 char型と文字定数、文字の入出力、文字列と文字列リテラル、文字配列の初期化、文字列の入出力
- 第23回** 【事前・事後学習課題】 プリント（22）の練習問題
【授業テーマ】 文字列とポインタ
【内容・方法等】 配列を用いた文字列の表現、ポインタを用いた文字列の表現、関数に文字列を渡す、関数から文字列を受け取る
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 プリント（23）の練習問題
【授業テーマ】 文字と文字列の標準ライブラリ関数
【内容・方法等】 文字処理関数、文字列処理関数
- 第25回** 【事前・事後学習課題】 プリント（24）の練習問題
【授業テーマ】 構造体
【内容・方法等】 構造体、構造体の配列とポインタ
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 プリント（25）の練習問題
【授業テーマ】 動的メモリ割り付け
【内容・方法等】 動的なメモリ割り付け、割り付けたメモリの解放
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 プリント（26）の練習問題
【授業テーマ】 ファイル
【内容・方法等】 逐次アクセス、ランダムアクセス
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 プリント（27）の練習問題
【授業テーマ】 コマンドラインパラメータ

【内容・方法 等】 コマンドラインパラメータ，データ変換のライブラリ関数
第29回 【事前・事後学習課題】 プリント（28）の練習問題
 【授業テーマ】 総合演習（1）
 【内容・方法 等】 タイプ練習ソフトの作成
 【事前・事後学習課題】 プリント（29）の練習問題
第30回 【授業テーマ】 総合演習（2）
評価方法（基準）
 授業中に課せられる課題の提出と，随時実施する小テストで評価する。
教材等
 教科書…なし
 参考書…柴田望洋「新版 明解C言語 入門編」ソフトバンク（2310円）
学生へのメッセージ
 毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，欠席や遅刻をしないこと。欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる。
関連科目
 「プログラミング基礎」
担当者の研究室等
 11号館7階(牧野(純)教授室)

基本情報処理I Basic Information Processing I				
皆川 健多郎(ミナガワ ケンタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義では，表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により，情報処理の基本的な部分の習得を目的としている。そして，卒業研究やビジネスの場において活用できるよう技能の習得を目指す。

授業方法と留意点
 コンピュータを使用した実習を行う。習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果（資格）
 Microsoft Certified Application Specialist (Excel)に関する基本的な内容

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 Excelの基礎知識
 【内容・方法 等】 データの入力
 【事前・事後学習課題】 _____
 - 第2回** 【授業テーマ】 ワークシートの活用（1）
 【内容・方法 等】 ワークシートの編集，初歩的な関数
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第3回** 【授業テーマ】 ワークシートの活用（2）
 【内容・方法 等】 相対参照と絶対参照
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第4回** 【授業テーマ】 ワークシートの活用（3）
 【内容・方法 等】 基礎的な関数，条件の判定
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第5回** 【授業テーマ】 グラフ（1）
 【内容・方法 等】 基本的なグラフ作成
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第6回** 【授業テーマ】 グラフ（2）
 【内容・方法 等】 応用的なグラフ作成
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第7回** 【授業テーマ】 データベース（1）
 【内容・方法 等】 データベースの入門
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第8回** 【授業テーマ】 データベース（2）
 【内容・方法 等】 データの並べ替え，検索，抽出
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第9回** 【授業テーマ】 データベース（3）
 【内容・方法 等】 データの集計
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第10回** 【授業テーマ】 データベース（4）
 【内容・方法 等】 データの解析
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること

- 第11回** 【授業テーマ】 Excelの応用（1）
 【内容・方法 等】 順位付けの関数
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第12回** 【授業テーマ】 Excelの応用（2）
 【内容・方法 等】 行・列の検索
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第13回** 【授業テーマ】 Excelの応用（3）
 【内容・方法 等】 文字列の操作
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第14回** 【授業テーマ】 Excelの応用（4）
 【内容・方法 等】 条件付き集計
 【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
 - 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 復習
 【事前・事後学習課題】 _____
- 評価方法**（基準）
 毎週の課題の提出状況により判断する

教材等
 教科書…『30時間でマスターExcel2010—Windows7対応』実教出版，2010。（900円）
 参考書…なし
学生へのメッセージ
 積極的に手を動かして課題をおこなって，使い方を身に付けていくことを期待します。
関連科目
 情報処理基礎，プログラミング基礎，基本情報処理II
担当者の研究室等
 11号館6階（経営学部事務室）

基本情報処理II Basic Information Processing II				
皆川 健多郎(ミナガワ ケンタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義では，表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により，情報処理の基本的な部分の習得を目的としている。さまざまな観点からデータの集計を行い，分析できるよう手法の学習を行う。

授業方法と留意点
 コンピュータを使用した実習を行う。習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果（資格）
 Microsoft Certified Application Specialist (Excel)に関する基本的な内容

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 Excelの基礎知識の確認
 【内容・方法 等】 操作方法の確認
 【事前・事後学習課題】 _____
 - 第2回** 【授業テーマ】 データベースの活用（1）
 【内容・方法 等】 データの並び替えと抽出
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
 - 第3回** 【授業テーマ】 データベースの活用（2）
 【内容・方法 等】 ピボットテーブル・データの解析
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
 - 第4回** 【授業テーマ】 データベースの活用（3）
 【内容・方法 等】 ピボットテーブル・データの解析
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
 - 第5回** 【授業テーマ】 課題演習
 【内容・方法 等】 ピボットテーブル
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
 - 第6回** 【授業テーマ】 グラフの活用（1）
 【内容・方法 等】 グラフの書式設定・印刷
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
 - 第7回** 【授業テーマ】 グラフの活用（2）
 【内容・方法 等】 グラフ機能の応用
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
 - 第8回** 【授業テーマ】 グラフの活用（3）
 【内容・方法 等】 図形の操作
 【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること

- 習すること
- 第9回 【授業テーマ】 課題演習
【内容・方法等】 グラフ
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第10回 【授業テーマ】 マクロの作成 (1)
【内容・方法等】 マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第11回 【授業テーマ】 マクロの作成 (2)
【内容・方法等】 マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第12回 【授業テーマ】 マクロの作成 (3)
【内容・方法等】 マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第13回 【授業テーマ】 練習問題
【内容・方法等】 課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第14回 【授業テーマ】 練習問題
【内容・方法等】 課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 復習
【事前・事後学習課題】
- 評価方法 (基準)
毎週の課題提出状況により判断する
- 教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2007 VBA』実教出版
参考書…『30時間でマスターExcel2010—Windows7対応』実教出版, 2010。(900円)
- 学生へのメッセージ
言われたとおりにExcelを操作していくのではなく、自分で考えてExcelのシートを構成していくことを期待します。
- 関連科目
情報処理基礎, プログラミング基礎, 基本情報処理I
- 担当者の研究室等
11号館6階 (経営学部事務室)

応用情報処理I Applied Information Processing I				
藤木 健史 (フジキ タケフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

- 授業概要・目的・到達目標**
研究成果や調査結果の報告, 商品企画の発表, データの分析等, 様々な用途に表計算ソフトが用いられている。これらの情報活用は, 今後ますます必要性を増していくと考えられる。本講義では, 情報活用のツールとして, Microsoft Excel 2010を用いた表計算によるデータの処理・分析を取り扱う。
- 授業方法と留意点**
毎回コンピュータによる実習を行い, 関連する演習課題に取り組み, 習熟度合いに応じて, 講義内容は適宜変更する場合がある。
- 科目学習の効果 (資格)**
情報処理技術者試験の表計算分野等の基礎となる
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンスおよび表計算ソフトの基本操作の復習
【内容・方法等】 シラバスに沿った授業計画の概説
表計算ソフトExcelの概要
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 Excel再入門
【内容・方法等】 基本操作の復習
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第3回 【授業テーマ】 ワークシート (1)
【内容・方法等】 データ入力
セルの活用
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第4回 【授業テーマ】 ワークシート (2)
【内容・方法等】 代表的な関数
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第5回 【授業テーマ】 ワークシート (3)
【内容・方法等】 IF関数を用いた条件判定

- 条件付き書式
- 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第6回 【授業テーマ】 グラフ (1)
【内容・方法等】 代表的なグラフ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第7回 【授業テーマ】 グラフ (2)
【内容・方法等】 データの種類とグラフの選択
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第8回 【授業テーマ】 データの解析 (1)
【内容・方法等】 データから近似曲線を求める
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第9回 【授業テーマ】 データの解析 (2)
【内容・方法等】 相互相関を用いたデータの解析
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第10回 【授業テーマ】 データベース (1)
【内容・方法等】 データベース入門
データの並べ替え
データの検索と置換
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第11回 【授業テーマ】 データベース (2)
【内容・方法等】 データの抽出
条件の書き方
データの集計
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第12回 【授業テーマ】 応用演習 (1)
【内容・方法等】 順位付け
関数を用いた検索
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第13回 【授業テーマ】 応用演習 (2)
【内容・方法等】 文字列の操作
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第14回 【授業テーマ】 応用演習 (3)
【内容・方法等】 条件付き集計
3D集計
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 これまでの復習
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法 (基準)
試験は行わず, 授業時間内に行う演習や提出課題により評価する。

教材等
教科書…『30時間でマスター Windows 7対応 Excel 2010』, 実教出版, (900円)
(別途配布する電子資料だけでも大丈夫ですが, これがあると便利です)

参考書…指定しない。

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので, 可能な限り欠席や遅刻をしないこと。欠席するとそれ以降の授業の理解が困難となる。もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと。

関連科目
情報処理基礎

担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

応用情報処理II Applied Information Processing II				
藤木 健史 (フジキ タケフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では, これまで学習してきたExcelの知識を基礎とし, より大規模なデータを扱うことのできるデータベースソフト Accessを用いてデータベースの基礎知識および基本操作を習得する。本講義ではデータベースの概念や, テーブルの作成, データの挿入等のデータベース作成および検索等の操作について学習する。また, データベース標準言語であるSQLとの関係についても学習する。

授業方法と留意点

テキストを用いた演習中心の授業方式。各時間毎に演習結果をファイル、グラフ、レポート等の形で提出する。また、理解度を確認するため臨時的テスト、期末テスト等を行う場合がある。習熟度合いに応じて、授業内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果（資格）

基本情報技術者試験、Microsoft Office Specialist (Access)等の基礎となる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 データベースとは
【内容・方法 等】 データベースの基本的な概念
【事前・事後学習課題】 データベースがどれほど現代社会に用いられているかをWeb等を利用して調べる
- 第2回 【授業テーマ】 Access の基本操作
【内容・方法 等】 データベースソフト Access の基本操作方法
基本用語の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第3回 【授業テーマ】 テーブル検索1
【内容・方法 等】 最も基本的なデータ検索
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第4回 【授業テーマ】 テーブル検索2
【内容・方法 等】 複雑なデータ検索方法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第5回 【授業テーマ】 データの読み込み
【内容・方法 等】 Excelやテキストファイルからデータを読み込む
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第6回 【授業テーマ】 データの挿入
【内容・方法 等】 テーブルに新しいデータを追加する手法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第7回 【授業テーマ】 画像データの入力とフォームの活用
【内容・方法 等】 画像データを取り込むフィールドの作成
フォームによるデータ入力の効率化
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第8回 【授業テーマ】 クエリ操作1
【内容・方法 等】 選択クエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第9回 【授業テーマ】 クエリ操作2
【内容・方法 等】 クエリを用いた集計
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第10回 【授業テーマ】 クエリ操作3
【内容・方法 等】 アクションクエリ（テーブル作成、更新、追加、削除クエリ）
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第11回 【授業テーマ】 SQL 文法
【内容・方法 等】 Accessで作成されたクエリがSQLで記述されていることの確認
SQL文法
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第12回 【授業テーマ】 データベースの設計1
【内容・方法 等】 新しいテーブルの挿入
リレーションシップの設定
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第13回 【授業テーマ】 データベースの設計2
【内容・方法 等】 リレーション設定を活用したクエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第14回 【授業テーマ】 レポート作成
【内容・方法 等】 レポート機能を利用した報告書の作成
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 これまでの復習
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）

授業時間内に行う演習、提出課題により評価する。

教材等

教科書…『30時間でマスター Windows 7対応 Access 2010』、実教出版、2011年1月、(1200円)
(別途配布する電子資料だけでも大丈夫ですが、あると便利です)

参考書…指定しない。

学生へのメッセージ

毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので、欠席や遅刻をしないこと。欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる。もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと。

関連科目

情報処理基礎、応用情報処理I

担当者の研究室等

11号館6階（経営学部事務室）

経営統計学I

Business Statistics I

星 山 幸 子 (ホシヤマ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

統計学を身につけるメリットは、データに裏打ちされた客観的な事実を見抜く技術を身につけることであり、論理的思考ができるようになることである。また、統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。この授業では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、表計算ソフトを使用しながら統計学の基本的な考え方を学び、統計データの解析に必要となる基礎的知識を学ぶ。

授業方法と留意点

毎回提示される課題を提出すること。未提出の場合は欠席とみなす。なお、出席が8割未満の場合は単位を認めない。Microsoft EXCELを使用するので情報処理の基本知識を有していることが望ましい。

科目学習の効果（資格）

卒業論文やレポートなどにおけるデータの整理や解析方法の習得が期待される

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 授業の進め方、評価方法、統計学とはどのような学問か
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 統計資料の整理（1）
【内容・方法 等】 統計資料の読み方
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 統計資料の整理（2）
【内容・方法 等】 統計資料の整理方法
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第4回 【授業テーマ】 データの集計（1）
【内容・方法 等】 代表値について、平均、分散、標準偏差
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第5回 【授業テーマ】 データの集計（2）
【内容・方法 等】 度数分布、ヒストグラム
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第6回 【授業テーマ】 データの集約（1）
【内容・方法 等】 データの集約、クロス集計
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第7回 【授業テーマ】 データの集約（2）
【内容・方法 等】 クロス集計の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第8回 【授業テーマ】 前半のまとめ・学力診断テスト1
【内容・方法 等】 前半部分のまとめ
【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
- 第9回 【授業テーマ】 データの相関関係（1）
【内容・方法 等】 相関関係について、相関係数の算出
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第10回 【授業テーマ】 データの相関関係（2）
【内容・方法 等】 相関関係と因果関係
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第11回 【授業テーマ】 空間と事象（1）
【内容・方法 等】 標本空間、ベン図
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第12回 【授業テーマ】 空間と事象（2）
【内容・方法 等】 和集合、積集合
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第13回 【授業テーマ】 経営における統計学
【内容・方法 等】 経営分野で用いられる統計学の手法
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第14回 【授業テーマ】 後半のまとめ・学力診断テスト2
【内容・方法 等】 後半部分のまとめ
【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
- 第15回 【授業テーマ】 統計学の応用
【内容・方法 等】 マネジメントに求められる統計学、全体復習
【事前・事後学習課題】 全体復習の内容を整理しておく

評価方法（基準）

授業参加状況、毎回の課題（練習問題）、実技を含む試験を総合して評価する。

教材等

教科書…必要に応じて資料を配布する
参考書…「統計学がわかる」向後千春、富永敦子
技術評論社（1680円+税）

学生へのメッセージ

数学が苦手でも問題はありますが、教科書は必須です。使いこなすには多くの練習時間が必要です。空き時間を使って復習することをお勧めします。

関連科目

情報処理基礎、ビジネス数学基礎

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

経営統計学II Business Statistics II				
栢木紀哉 (カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「統計学」という言葉を聞くと、多くの学生は難しいのではないかという印象を持つであろうが、手元にあるデータからその特徴を見つけ出すために必要となる学問である。統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。経営統計学Ⅱでは、統計学の基礎的知識を習得している学生を対象として、統計解析の応用的手法について身につける。

授業方法と留意点

配布資料を中心に、プロジェクターを用いて講義を行う。講義の前半は配布資料の解説を行い、後半は演習問題を解きながら統計解析の応用手法を身につけていく。

科目学習の効果（資格）

実用的な学問であるため、将来様々な分野の仕事で生かすことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 基礎力テスト、授業の進め方、評価方法
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 統計の基礎
【内容・方法等】 記述統計（平均、標準偏差、分散、中央値）
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 統計的データの整理方法（1）
【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラムの作成
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第4回 【授業テーマ】 統計的データの整理方法（2）
【内容・方法等】 クロス集計の方法、クロス集計表の作成
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第5回 【授業テーマ】 相関分析（1）
【内容・方法等】 相関分析の手順、相関係数の算出
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第6回 【授業テーマ】 相関分析（2）
【内容・方法等】 相関分析の実践、応用例
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第7回 【授業テーマ】 相関分析（3）
【内容・方法等】 CS（顧客満足度）分析とは、CS分析の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第8回 【授業テーマ】 前半のまとめ・学力診断テスト
【内容・方法等】 前半部分のまとめ
【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
- 第9回 【授業テーマ】 回帰分析（1）
【内容・方法等】 回帰分析とは、回帰式の算出
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第10回 【授業テーマ】 回帰分析（2）
【内容・方法等】 回帰分析の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
- 第11回 【授業テーマ】 回帰分析（3）
【内容・方法等】 回帰分析の応用
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく

- 第12回 【授業テーマ】 検定（1）
【内容・方法等】 検定とは、カイ二乗検定の方法と実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
 - 第13回 【授業テーマ】 検定（2）
【内容・方法等】 t検定とは、t検定の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
 - 第14回 【授業テーマ】 検定（3）
【内容・方法等】 分散分析とは、分散分析の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
 - 第15回 【授業テーマ】 統計的検定の応用
【内容・方法等】 統計的検定の問題点・適用上の留意点、全体復習
【事前・事後学習課題】 全体復習の内容を整理しておく
- 評価方法（基準）**
レポート、小テスト、学期末試験の結果により総合的に評価する。私語、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等

教科書…配付資料
参考書…豊田利久 他（著）『基本統計学 第3版』（東洋経済新報社、2010年）
その他、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

本講義は、経営統計学Ⅰで扱った内容の理解を前提に進めます。数学や統計学に関する基礎知識がないと思われる学生は、高校の参考書等で知識を充実させておいてください。

関連科目

経営統計学Ⅰ

担当者の研究室等

11号館8階（栢木准教授室）

応用簿記 Applied Bookkeeping				
竹内 淳 (タケウチ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

簿記の目的は、一定時における財政状態を示すために資産、負債、資本の変動を秩序正しく計算すること、一会計期間の正しい経営成績を計算してその原因と結果を明らかにすること、の2点に要約されます。本講義では、これらの目的をしっかりと理解して、実務に役立つ知識を修得することを目標とし、「わかりやすい講義」をモットーとします。

授業方法と留意点

テーマごとに説明を行った後、演習問題の時間を設け、その後解説を行います。受講者は必ず電卓を持参すること。

科目学習の効果（資格）

簿記検定2級の商業簿記について、合格水準までの実力をつける。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 簿記の基本
【内容・方法等】 簿記一巡の手続き
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
 - 第2回 【授業テーマ】 特殊商品売買
【内容・方法等】 予約・試用・割賦・未着・委託・受託品販売
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
 - 第3回 【授業テーマ】 商品の評価
【内容・方法等】 商品の期末評価
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
 - 第4回 【授業テーマ】 固定資産Ⅰ
【内容・方法等】 固定資産の売却・買換え・廃棄・除却時の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
 - 第5回 【授業テーマ】 固定資産Ⅱ
【内容・方法等】 減価償却・資本的支出と収益的支出等
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
 - 第6回 【授業テーマ】 資金調達と利益処分
【内容・方法等】 株式・社債発行時および利益処分時にかかる諸々の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考

- 第7回 【授業テーマ】 当座預金と有価証券
【内容・方法 等】 当座預金と有価証券にかかる諸々の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第8回 【授業テーマ】 引当金
【内容・方法 等】 貸倒・退職給与・修繕・商品保証引当金
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第9回 【授業テーマ】 手形
【内容・方法 等】 裏書・割引手形
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第10回 【授業テーマ】 保険と税金
【内容・方法 等】 保険金の請求時と受領時の処理、法人税等の引当処理と消費税の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第11回 【授業テーマ】 帳簿等の締切
【内容・方法 等】 伝票・帳簿組織の集計、帳簿の締切と合計転記
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第12回 【授業テーマ】 決算処理
【内容・方法 等】 決算整理事項、財務諸表の作成
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第13回 【授業テーマ】 本支店会計
【内容・方法 等】 支店開設時の処理、本支店間取引、本支店会計の決算処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第14回 【授業テーマ】 総合問題
【内容・方法 等】 総合問題の解説
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第15回 【授業テーマ】 総合問題
【内容・方法 等】 総合問題の解説
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考

評価方法 (基準)

期末試験、受講態度等を総合的に勘案する。

教材等

教科書…最初の講義で、使用するプリント配布します。

参考書…授業中、適宜指示する。

学生へのメッセージ

できるだけ簿記の基本を理解してから受講してください。実務に密着した「わかりやすい講義」を行うつもりです。

関連科目

企業簿記、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、原価計算論Ⅰ・Ⅱ等

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

マネジメントサイエンスI Management Science I				
黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンス(経営科学)とは、経営活動に内在する種々の課題をモデル化して解析を行うことにより、一連の意思決定過程を科学的な方法で支援するための知識の体系である。マネジメントサイエンスIでは、線形計画法を中心とした基本的な知識と技法(解法)について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点

配布するプリントを用いて解説し、次にゲーム形式の例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果(資格)

ITパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 マネジメントサイエンスの学び方
【内容・方法 等】 授業計画とマネジメントサイエンスの対象と方法についてのあらまし
「価格決定ゲーム」による演習
【事前・事後学習課題】 復習：シラバスを読み直す
- 第2回 【授業テーマ】 線形計画法(1)
【内容・方法 等】 受注計画ゲーム(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：ゲームの内容を再確認する

- 第3回 【授業テーマ】 線形計画法(2)
【内容・方法 等】 LP問題の基礎概念、最大・最小問題の図的解法
【事前・事後学習課題】 復習：課題を解いてみよう
- 第4回 【授業テーマ】 線形計画法(3)
【内容・方法 等】 シンプレックス法による最適解と最適値の解説とパソコンによるデモ
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第5回 【授業テーマ】 線形計画法(4)
【内容・方法 等】 職員配置ゲーム(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：配付されたプリントを読み直す
- 第6回 【授業テーマ】 整数計画法(1)
【内容・方法 等】 出荷計画ゲーム(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：配付されたプリントを読み直す
- 第7回 【授業テーマ】 整数計画法(2)
【内容・方法 等】 整数計画法と輸送計画法の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：配付されたプリントを読み直す
- 第8回 【授業テーマ】 整数計画法(3)
【内容・方法 等】 割り当て問題の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：配付されたプリントを読み直す
- 第9回 【授業テーマ】 日程計画(1)
【内容・方法 等】 ガントチャートの作成演習
【事前・事後学習課題】 復習：与えられた課題(宿題)に取り組み
- 第10回 【授業テーマ】 日程計画(2)
【内容・方法 等】 日程計画ゲーム(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：配布されたプリントを読み直す
- 第11回 【授業テーマ】 日程計画(3)
【内容・方法 等】 進捗管理ゲーム(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：配布されたプリントを読み直す
- 第12回 【授業テーマ】 プロジェクト計画(1)
【内容・方法 等】 PERTの解説とネットワーク作成(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：与えられた課題(宿題)に取り組み
- 第13回 【授業テーマ】 プロジェクト計画(2)
【内容・方法 等】 クリチカルパスの算出(演習)
【事前・事後学習課題】 復習：与えられた課題(宿題)に取り組み
- 第14回 【授業テーマ】 プロジェクト計画(3)
【内容・方法 等】 CPMによるコストの評価とプロジェクト・マネジメント入門
【事前・事後学習課題】 復習：与えられた課題(宿題)に取り組み
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 前期に学習した内容のまとめ
【事前・事後学習課題】 復習：前期試験の準備をしよう

評価方法 (基準)

定期試験(60%)および授業中に課す課題に対する取り組みやレポート(40%)により評価する。

教材等

教科書…毎回、ハンドアウト(プリント)を配布する

参考書…『入門経営科学(改訂版)』宮川公男・野々山隆幸・佐藤修著、実教出版(2600円)

学生へのメッセージ

高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、8割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓(関数電卓でなくてよい)を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅れないようにしてください。

関連科目

数学基礎I、数学基礎II、経営統計学I

担当者の研究室等

11号館7階(黒澤教授室)

マネジメントサイエンスII Management Science II				
黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンス(経営科学)とは、経営活動に内在する種々の課題をモデル化して解析を行うことにより、一連の意思決定過程を科学的な方法で支援するための知識の体系である。マネジメントサイエンスIIでは、在庫計画、待ち行列や意思決定理論を中心としたマネジメントサイエンスに関わる基本的な知識と技法(解法)について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点

配布するプリントを用いて解説し、次に例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果（資格）

ITパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 前期科目の総括
【内容・方法等】 前期科目の試験答案の返却と解説
【事前・事後学習課題】 復習：家庭にある「たまご」の在庫状況の調査を始めよう
- 第2回** 【授業テーマ】 在庫管理（1）
【内容・方法等】 在庫管理ゲーム（演習）
【事前・事後学習課題】 復習：ゲームの内容を再確認しよう
- 第3回** 【授業テーマ】 在庫管理（2）
【内容・方法等】 定量発注方式とEOQの公式の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう
- 第4回** 【授業テーマ】 在庫管理（3）
【内容・方法等】 期待利益に基づく発注量の計算とABC分析
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう
- 第5回** 【授業テーマ】 在庫管理（4）
【内容・方法等】 定期発注方式の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう
- 第6回** 【授業テーマ】 待ち行列理論（1）
【内容・方法等】 経営システムにおける各種の待ち行列の解説
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう
- 第7回** 【授業テーマ】 待ち行列理論（2）
【内容・方法等】 サービス率の最適化、窓口数の最適化の定式化の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう
- 第8回** 【授業テーマ】 シミュレーション（1）
【内容・方法等】 乱数の生成、モンテカルロ法と待ち行列のシミュレーションの解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第9回** 【授業テーマ】 シミュレーション（2）
【内容・方法等】 在庫管理のシミュレーションの解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第10回** 【授業テーマ】 意思決定理論（1）
【内容・方法等】 階層化意思決定法（AHP）の解説
【事前・事後学習課題】 復習：配布されたプリントを読み直そう
- 第11回** 【授業テーマ】 意思決定の理論（2）
【内容・方法等】 階層化意思決定法（AHP）の実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第12回** 【授業テーマ】 意思決定の理論（3）
【内容・方法等】 リスクがある場合と不確実性の場合の意思決定原理の解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第13回** 【授業テーマ】 ゲーム理論（1）
【内容・方法等】 ゼロ和ゲームのモデル化と支配戦略についての解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第14回** 【授業テーマ】 ゲームの理論（2）
【内容・方法等】 非ゼロ和ゲーム、囚人のジレンマ、チキンゲームなどの解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 本年度に学習した内容のまとめと次年度科目への橋渡し
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

定期試験（60%）および授業中に課す課題に対する取り組みやレポート（40%）により評価する。

教材等

教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版）』宮川公男・野々宮隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ

高度な数学は使いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、8割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅刻しないようにしてください。

関連科目

マネジメントサイエンス1、経営統計学1・2

担当者の研究室等

11号館7階(黒澤教授室)

ベンチャービジネス論 Venture Business

安久典宏 (アグ ミチヒロ)
河田正興 (カワタ マサオキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：大学を卒業しても就職することだけが目的ではないわけで、自分自身で起業（ベンチャー企業）してみるのも一つの方法であります。ベンチャービジネスとは何か、どうすれば起業できるのかについて、わかりやすく解説します。
目的：この学習は企業を目指す学生のみではなく就職する学生にとってもベンチャースピリットがいかに大切かについて学習します。
到達目標：ベンチャースピリットの重要性について理解させます。

授業方法と留意点

授業方法：

- 1) 専門家によるリレー講義です。
 - 2) 経験豊富な実務家の貴重なビジネス体験が受講できます。
 - 3) 毎回、レジュメ（プリント）が配布されます。事前にファインリングするフォルダー（2穴）を準備すること。
- 留意点：重要な点をきちんとメモして、提出レポートに反映させること。また、当然ですが、聴講のマナーを厳守すること。

科目学習の効果（資格）

経験豊富なさまざまな専門家（起業家）の体験談を直接聞き学ぶことで、社会に対する認識と仕事選択に対する考え方や選択肢を広げることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 「ベンチャービジネス論」開講の意義、受講できる専門科目との関連性
【4月11日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス論の摂南大学のキャリア教育との関係について
(株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：ベンチャービジネスについての意味を調べてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 概説
【4月18日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネスの歴史と定義・今日的な時代要請
(株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：ベンチャービジネスについて雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第3回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論（1）
【4月25日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法・従業員採用における基礎知識・
総合事務所ネクスト 所長 特定社会保険労務士 小西勝、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：従業員の採用についてホームページで調べてみましょう。
- 第4回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論（1）
【5月2日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題 -卸売業-
船井総合研究所 チーフコンサルタント 箕浦幸孝、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：卸売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第5回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論（2）
【5月9日】
【内容・方法等】 ・国による中小・ベンチャー企業支援と東日本大震災の復興支援
(独) 中小企業基盤整備機構 地域経済振興部 コンサルティング課長 中小企業診断士 長坂泰之、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：企業支援について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第6回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論（3）
【5月16日】
【内容・方法等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題 -製造業-
(株) ウィズダムマネジメント 長谷川中小企業診断士事務所 所長 長谷川好宏、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：製造業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
- 第7回** 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論（4）

【5月23日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-
設計製造分野でのIT活用-

キャディック(株) 代表取締役 筒井真作、 安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習:キャディック(株)についてホーム
ページで調べてみましょう。

第8回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (2)

【5月30日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題
-小売業-

ビジネスファームサカモト代表 マネジメントコンサルタン
ト 坂元雅子、 安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習:小売業界について雑誌またはホ
ームページで調べてみましょう。

第9回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (3)

【6月6日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-
デバ地下事業の活性化-

MDドクターK 代表 河崎友彦、 安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習:流通業界について雑誌またはホ
ームページで調べてみましょう。

第10回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (4)

【6月13日】

【内容・方法 等】 ・食品小売業界の現状
~大手ナショナルチェーン・生協・中小スーパーの今~

AKR共栄会 事務局長 大西基裕、 質疑・討論 河田正興、
安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習:食品小売業界について雑誌また
はホームページで調べてみましょう。

第11回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (5)

【6月20日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法
-NPO法人による社会救済支援-

グッド・サマリタン・チャーチ 牧師 金子道仁、 安久
典宏

【事前・事後学習課題】 予習:NPOについて調べてみましょ
う。

第12回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (6)

【6月27日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-
投資育成の実践-

(株) ファンドファンクション 代表取締役 萩原貞幸
・コメント・質疑・討論 河田正興、 安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習:投資育成についてホームペー
ジで調べてみましょう。

第13回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 課題論

【7月4日】

【内容・方法 等】 ・実体験を踏まえたビジネスの楽しさと苦
しさについての実践事例

(株) ビジネスファーム研究所 顧問 永田賢次、 安久
典宏

【事前・事後学習課題】 予習:黒字倒産について調べてみま
しょう。

第14回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 課題論

【7月11日】

【内容・方法 等】 ・協同組合など、中小企業連携組織を活用
したベンチャービジネスの事例

-東大阪の人工衛星開発などを中心に-
(株) ビジネスファーム研究所 主任研究員 佐久間雅、
質疑・討論 河田正興、 安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習:協同組合など、中小企業連携組
織についてしらべてみましょう

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【7月18日】

【内容・方法 等】 今までの講義内容を整理し、まとめを行
います。

(株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、
安久典宏

【事前・事後学習課題】 - -

評価方法 (基準)

レポートを基本とし、受講態度と発表、定期期末試験等を勘案
した総合評価

教材等

教科書…各講師のレジュメ教材を配布します (各自レジュメ保
管ファイル<2穴>を準備すること)。

参考書…今井哲、「ベンチャービジネス」、学文社、2006、
(2400円)

学生へのメッセージ

ベンチャービジネスの専門家と直接話し合ってみませんか。
皆さんの将来に対する夢が膨らみます。

関連科目

ビジネスプラン、経営学

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

マクロ経済学

Macro Economics

杉本篤信(スギモト アツノブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経済学は効率的な資源配分を行なうことを第一としています。
現代経済学は体系化された科学としてマクロ経済学とミクロ経
済学に大別されます。マクロ経済学では、国家レベルの経済問
題や社会全体など大きな動きについて論じます。なお、ミクロ
経済学では、経済主体の意思決定プロセスや市場について議論
することを目的とします。これによりビジネスニュースや新聞
の経済面をより深く読むことが出来るようになることを目指し
ます。

授業方法と留意点

教科書を中心に行うが、適宜、新聞やTVで取り上げられた
トピックも用いる。

科目学習の効果(資格)

公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 経済学とは何か

【内容・方法 等】 経済学とはどのような学問か?

マクロ経済学とミクロ経済学の違い

【事前・事後学習課題】 経済記事や経済ニュースを普段から読
んだり聞いたりする習慣を付けてください。

第2回 【授業テーマ】 ミクロ経済学的基础

【内容・方法 等】 需要と供給:消費者と生産者

【事前・事後学習課題】 どのような経済主体がいるか考えてお
いてください。

第3回 【授業テーマ】 GDPとは何だろうか? -

【内容・方法 等】 国の経済力の指標

【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読んでおくこと。

第4回 【授業テーマ】 消費と貯蓄はどのようにして決まるか? -

【内容・方法 等】 消費と貯蓄の理論

【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読んでおくこと。

第5回 【授業テーマ】 設備投資と在庫投資

【内容・方法 等】 何のために投資をするのか?

【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読んでおくこと。

第6回 【授業テーマ】 金融と株価

【内容・方法 等】 マクロ経済における金融の役割

【事前・事後学習課題】 テキスト第4章を読んでおくこと。課
題を配布予定です。

第7回 【授業テーマ】 貨幣の需要と供給

【内容・方法 等】 貨幣の役割と貨幣供給

【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読んでおくこと。

第8回 【授業テーマ】 乗数理論とIS・LM分析

【内容・方法 等】 総需要に注目した経済分析

【事前・事後学習課題】 テキスト第5章までを復習しておくこ
と。課題の解答を行います。

第9回 【授業テーマ】 経済政策はなぜ必要か?

【内容・方法 等】 経済政策の有効性

【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んで復習しておく
こと。また、テキスト第7章を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 財政赤字と国債

【内容・方法 等】 政府支出拡大のマイナス面

【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読んでおくこと。課
題を配布予定です。

第11回 【授業テーマ】 インフレとデフレ

【内容・方法 等】 価格調整とそのコスト

【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を復習しておくこと。

第12回 【授業テーマ】 失業

【内容・方法 等】 マクロ経済における労働市場

【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を復習しておくこと。

第13回 【授業テーマ】 経済成長理論

【内容・方法 等】 経済はなぜ成長するのか?

【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読んでおくこと。課
題の解答を行います。

第14回 【授業テーマ】 オープン・マクロ経済

【内容・方法 等】 為替レートと経常収支

【事前・事後学習課題】 テキスト第12章を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ

【内容・方法 等】 授業全体のまとめ

【事前・事後学習課題】 テキスト第7章~12章までを復習して
おくこと。

評価方法(基準)

平常点(学習態度)・課題・期末試験をもとに総合的に評価する

教材等

教科書…福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣ア
ルマ、¥2,205

参考書…伊藤元重『入門 経済学』日本評論社、¥3,000

学生へのメッセージ

授業中は私語厳禁、携帯電話の利用禁止。
テキストやノートでの復習は必ずすること。

関連科目

ミクロ経済学

担当者の研究室等

11号館6階(杉本研究室)

sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

ミクロ経済学

Micro Economics

岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代経済学の理論は、体系化された科学としてマクロ経済学とミクロ経済学に大別される。本講義ではミクロ経済学を紹介し、経済主体の意思決定や市場について理解することを目標とする。

授業方法と留意点

講義は極力教科書に沿って行うので、必ず教科書を購入のこと。理解度を重視して進めるので、講義計画の変更もある。漠然と講義に出席するのではなく、予習・復習を行い、発言することを求める。発言は評価の対象である。

科目学習の効果(資格)

TVや新聞、インターネットから無造作に流される経済的事象を自らで整理し、自らで判断するための初歩的な能力が身につく。さらに、教員免許状取得・公務員試験・中小企業診断士試験など資格取得に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ミクロ経済学で学ぶこと
【内容・方法 等】 経済学を学ぶ理由、ミクロ経済学とマクロ経済学の違い、価格メカニズムの働き、図とグラフ
【事前・事後学習課題】 事前に第1章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 需要の理論
【内容・方法 等】 市場需要曲線、曲線のシフト要因、消費者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第2章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 消費者行動の理論(1)
【内容・方法 等】 最適消費点
【事前・事後学習課題】 事前に第3章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 消費者行動の理論(2)
【内容・方法 等】 需要曲線の導出、曲線のシフト要因再考
【事前・事後学習課題】 事前に第3章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 供給の理論(1)
【内容・方法 等】 限界費用、供給量の決定、供給曲線、生産者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第4章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 供給の理論(2)
【内容・方法 等】 右上がりの限界費用曲線、市場供給曲線、供給曲線のシフト要因
【事前・事後学習課題】 事前に第4章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 需給曲線と弾力性
【内容・方法 等】 需要と供給の弾力性、弾力性を左右する要因
【事前・事後学習課題】 事前に第5章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 ここまでのまとめ
【内容・方法 等】 まとめとして中間試験を行う
【事前・事後学習課題】 事前の復習を行っておくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 市場の理論
【内容・方法 等】 さまざまな市場構造、社会的余剰、効率性、分配の公正性、市場の失敗
【事前・事後学習課題】 事前に第6章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 需要と供給で解く経済問題
【内容・方法 等】 経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第7章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 余剰分析で解く経済問題
【内容・方法 等】 余剰を用い経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第8章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 市場の失敗(1)
【内容・方法 等】 外部効果、公共財

【事前・事後学習課題】 事前に第9章を読んでおくこと。復習も行うこと。

- 第13回 【授業テーマ】 市場の失敗(2)
【内容・方法 等】 情報の非対称性
【事前・事後学習課題】 事前に第10章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 市場の失敗(3)
【内容・方法 等】 独占市場
【事前・事後学習課題】 事前に第11章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 不確実性のもとでの選択行動
【内容・方法 等】 不確実性、リスク、期待効用
【事前・事後学習課題】 事前に第12章を読んでおくこと。復習も行うこと。

評価方法(基準)

中間試験と期末試験ならびに学習状況(発言や小テストなど)を総合して評価する。

教材等

教科書…家森信善・小川光『基礎からわかるミクロ経済学 第2版』中央経済社、¥2,100

参考書…岩田規久男『ゼミナール ミクロ経済学入門』日本経済新聞社、¥3,262

石川秀樹著『試験攻略 新経済学入門塾 II ミクロ編』中央経済社 ¥2,200

学生へのメッセージ

経済の基本的な考え方を身につけておくことは、社会人としてだけでなく日常生活においても“身を守る”という意味で極めて重要です。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進してください。

関連科目

くらしと経済、マクロ経済学、金融論 等々

担当者の研究室等

11号館8階(岩坪教授室)

ビジネス数学基礎

Basic Business Mathematics

能 勢 豊 一 (ノセ トヨカズ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経営や情報システムに関する専門教科を修得するためには、ある程度の数学的な論理思考と基礎知識を身につけておくことが必要不可欠です。しかし、これまで数学を学習してきたにもかかわらず、十分に理解できていなかった人も少なくないと思います。そのために本講義では、数学の必要性を感じながら数学になじめない人や、数学を基礎から改めて学習し直したいと思っている人などを主な対象に、実社会で使われている具体的な事例を取り上げながら数学の基礎を解説します。

授業方法と留意点

授業は、配布プリント、プロジェクトを用いて、授業内演習を中心に時にはパソコンを用いて行います。授業内容の理解を確認する小テスト、例題解説、類似問題のレポートで確実に理解を促進します。

科目学習の効果(資格)

経営・経済・情報処理分野の資格試験の一助となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ビジネス数学の役割
【内容・方法 等】 ・現象をとらえ、現象から因子をとらえること
・因子からデータを採取し、データから情報を創出すること
・情報から仮説を立案し、ビジネスに存在する法則を見える化すること
以上を理解してもらいます
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 ビジネスをとらえる確率・統計の役割
【内容・方法 等】 ・不確実性が增大するビジネス社会
・確率と分布による不確実事象の把握
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 乱数による確率モデルの表現
【内容・方法 等】 ・シミュレーションによる不確実事象の把握
・乱数を活用した数学モデルの表現
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成

成しますので、準備しておくこと

第4回 【授業テーマ】 経営計画と利益計画
 【内容・方法 等】 散布図による売上高と費用分析
 最小自乗法による売り上げと費用の関
 損益分岐点の算出
 資本回収点の算出
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第5回 【授業テーマ】 データの関係を知る (1)
 【内容・方法 等】 ピアソンの相関、スピアマンの順位相関、
 クラメールの関連指数、相関比
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第6回 【授業テーマ】 データの関係を知る (2)
 【内容・方法 等】 潜在需要と相関のある因子を発見し、ビジ
 ネスモデルにする法則を発見する方法を解説する
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第7回 【授業テーマ】 日程計画 (1)
 【内容・方法 等】 PERTによる日程計画と管理
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第8回 【授業テーマ】 日程計画 (2)
 【内容・方法 等】 前回、PERTによって説いた問題を、DP (動
 的計画法) により、定式化し、解答を導く
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第9回 【授業テーマ】 生産計画(1)
 【内容・方法 等】 LP (線形計画法) によって目的関数、制
 約条件式を定式化し、生産計画を立案する
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第10回 【授業テーマ】 生産計画(2)
 【内容・方法 等】 ・需要の不確実性を正規分布によってとら
 えた場合の生産計画を立案する
 ・分布を考慮した安全在庫の理論を導入する
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第11回 【授業テーマ】 在庫管理
 【内容・方法 等】 ・在庫理論の変遷：2ピン法、発注点法、
 定期発注法、s-S法、MRP
 ・需要が確率分布に従う場合の在庫管理の定式化と最適化
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第12回 【授業テーマ】 取り換え問題
 【内容・方法 等】 ・レンタルか買取りか
 ・設備の買替え
 ・故障部品の取換え
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第13回 【授業テーマ】 AHP法
 【内容・方法 等】 感覚データの数値化とその評価
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第14回 【授業テーマ】 DEA法
 【内容・方法 等】 数値データのグループ化とその評価
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作
 成しますので、準備しておくこと

第15回 【授業テーマ】 ベイズ流の意思決定
 【内容・方法 等】 ベイズの定理
 【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか
 どうかについて、前回と今回の講義内容をチェックするレ
 ポートを作成する

評価方法 (基準)
 レポート・小テスト50%、期末テスト50%

教材等
 教科書…適宜プリント配布する。
 参考書…適宜案内する。

学生へのメッセージ
 本講義の各々の領域で学ぶ数学は、一度は講義の中でそのメカ
 ニズムに触れておくだけで十分です。実際の社会でこれらの数
 学を説明することはあまり重要ではありません。多くの場合、
 ソフトウェア化されたものが世の中に出回っていますので、む

しろ、その理論や式、モデルが適切な条件と環境の下に使用す
 ることができるかということの方が重要です。

関連科目
 経営学、経営情報システム
担当者の研究室等
 11号館6階(経営学部事務室)

情報倫理 Information and Morals				
河 俣 英 美 (カワマタ ヒデミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 技術と経済最優先の現代情報社会において、一般市民が可能な
 限り自律的に豊かな人生をおくるための基礎的な理解を得る。
 情報社会に生起している諸問題のうち、一般市民の生活の立場
 から問題となる諸領域についての現状を提示した後、ありうる
 考え方の道筋について考察する。
 生活者としての情報ならびに情報システムの管理に最低限必要
 な情報社会の法制と倫理を身につけるだけでなく、将来社会人
 となった際にも職業上の対応を可能とするための基礎を身に付
 ける。

授業方法と留意点
 板書講義形式 但し、授業の理解を深めるため、授業内に課題、
 レポート等の提出を求めることがある。

科目学習の効果 (資格)
 高等学校情報科教員免許状取得に必要。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
 【内容・方法 等】 ・講義の概要、評価の方法について解説し
 ます。
 【事前・事後学習課題】 新聞の社会面、特にサイバー犯罪や個
 人情報漏えいなど情報倫理関連の記事に目を通す習慣を身
 につけてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 情報社会の光と影
 【内容・方法 等】 ・ネットワーク・コンピュータ問題分析の
 視角
 【事前・事後学習課題】 ネットワークの仕組みについて調べて
 みてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 不正競争
 【内容・方法 等】 ・ドメインネーム、デジタルデバインド、ル
 ックアンドフィールなど
 【事前・事後学習課題】 デジタルデバインドの実態について調べ
 て考えてみてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 電子商取引
 【内容・方法 等】 ・電子認証、電子署名法など
 【事前・事後学習課題】 電子商取引のしくみについて調べてみ
 てください。
- 第5回** 【授業テーマ】 消費者保護
 【内容・方法 等】 ・ネットオークション、通信販売、消費者
 契約法など
 【事前・事後学習課題】 売買トラブルの実態について調べてみ
 てください。
- 第6回** 【授業テーマ】 サイバー犯罪
 【内容・方法 等】 ・不正アクセス、電子計算機関連犯罪など
 【事前・事後学習課題】 不正アクセスの実態について調べてみ
 てください。
- 第7回** 【授業テーマ】 情報政策
 【内容・方法 等】 ・PKI、情報基本法、情報公開法など
 【事前・事後学習課題】 暗号化のしくみについて、テキストを
 読んでまとめてみてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 プライバシー
 【内容・方法 等】 ・住基ネット、プライバシー権、プライバ
 シーマークなど
 【事前・事後学習課題】 プライバシー権侵害に関連する記事を
 探してまとめてみてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 誹謗中傷、名誉毀損
 【内容・方法 等】 ・フレーミング、プロバイダ責任法など
 【事前・事後学習課題】 誹謗・中傷関連の記事を探して、問題
 点を考察してください。
- 第10回** 【授業テーマ】 監視社会
 【内容・方法 等】 ・監視カメラ、携帯電話、電子通信傍受ソ
 フト、チップ埋め込み、盗聴法など
 【事前・事後学習課題】 身近な監視の実態を調べて考えてみて
 ください。
- 第11回** 【授業テーマ】 セキュリティ
 【内容・方法 等】 ・セキュリティポリシー、利用規定など
 【事前・事後学習課題】 情報セキュリティについて調べてまと
 めてください。

- 第12回 【授業テーマ】 個人情報保護
【内容・方法 等】 ・個人情報保護法、OECDプライバシー・ガイドラインなど
【事前・事後学習課題】 個人情報漏洩に関する記事を見つけて問題点を考えてみてください。
- 第13回 【授業テーマ】 知的財産権
【内容・方法 等】 ・知的財産基本法、産業財産権、著作権、中古販売など
【事前・事後学習課題】 違法コピーの実態について調べて考えてみてください。
- 第14回 【授業テーマ】 知的財産権 (2)
【内容・方法 等】 ・著作権法、著作隣接権など
【事前・事後学習課題】 著作権侵害の記事を調べて考えてみてください。
- 第15回 【授業テーマ】 健全な情報社会
【内容・方法 等】 ・健全な情報社会の構築に向けての考察
【事前・事後学習課題】 健全な情報社会を構築するための方策について、自分自身の意見をまとめてみてください。

評価方法 (基準)

定期試験を主とし、授業内での提出物 (課題レポート等) を含めて、総合的に評価する。
【定期試験80%、授業内での提出物20%】

教材等

教科書…「インターネットの光と影 (ver 4)」情報教育研究会 北大路書房
参考書…『情報社会の法と倫理』 サラ=バズ著、日本情報倫理協会訳 ピアソン=エデュケーション
・『インターネットと法』[第4版] 松井茂記・高橋和之 編 有斐閣

学生へのメッセージ

情報倫理学、情報法学は、企業社会で経営情報学を基本から支える分野である。生活上で、身を守る基本的な知識でもあるので身につけておこう。

関連科目

情報処理基礎

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

経営組織論

Theory of Business Organization I

榎 谷 正 人 (マキタニ マサト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

今や多くの組織において、新しい企業環境の変化に応じた新たな組織づくりが問われている。この講義では、経営学の主要領域である経営組織について基本的な理解を深め、現実起こっている組織問題の本質を提示する。企業組織の基本形態を検討し、企業の戦略等によって組織がどのように変容する必要があるのか説明する。さらに、飛躍的に発展してきた組織論の基礎的な知識やロジックを学習しながら、現代的な諸問題を明らかにするとともに、それらの問題について実践的な対処法をケーススタディで解説する。

授業方法と留意点

講義、理解促進テストと演習課題、ディスカッションの3部構成で行う。
課題レポート (800字) を1~3回程度実施する。
日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業組織の現実的諸問題について情報収集を行う。
ディスカッションを中心に行うので積極的な参加が求められる。

科目学習の効果 (資格)

企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士、販売士検定試験等の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 企業と経営組織
【内容・方法 等】 ガイダンス、講義の目的、講義概要、評価方法の提示を行い、本講義を学ぶ意義を解説する。
【事前・事後学習課題】 ノートと教科書を持参してください。
- 第2回 【授業テーマ】 組織研究 (1)
組織研究の発展
【内容・方法 等】 組織研究の発展、組織の捉え方について、企業の成長と発展を事例研究で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書「序章」(pp.1-8) を読んでみてください。
- 第3回 【授業テーマ】 組織研究 (2)
組織研究の方法
【内容・方法 等】 組織の多様性、組織の合理性、伝統的組織

論の理論モデルについて解説する。

- 【事前・事後学習課題】 教科書I部「第1章1.はじめに、2.企業成長と発展」(pp.11-20) を読んでみてください。
- 第4回 【授業テーマ】 組織における諸問題 (1)
組織の多様性
【内容・方法 等】 近代組織論の理論モデルと組織均衡、組織の非合理性、事例企業で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書I部「第1章3.企業衰退、4.おわりに」(pp.20-29) を読んでみてください。
- 第5回 【授業テーマ】 組織における諸問題 (2)
テイラーの科学的管理法
【内容・方法 等】 T型フォードの生産、伝統的理論モデルの限界、科学的管理法と現代企業について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書I部「第2章1.はじめに、2.持続的成長と発展の意味」(pp.31-34) を読んでみてください。
- 第6回 【授業テーマ】 組織における諸問題 (3)
ホーソン実験
【内容・方法 等】 伝統的組織論と近代組織論、人間関係論、組織の環境適応について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書I部「第1章3.資源ベースの可能性、4.持続的成長と発展要因としての組織ルーティン」(pp.34-44) を読んでみてください。
- 第7回 【授業テーマ】 組織の意思決定 (1)
サイモンの制約された合理性
【内容・方法 等】 目的と手段の体系、意図せざる結果、組織におけるあいまいさと決定について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書I部「第2章5.個別的組織能力と職能別組織ルーティン」(pp.44-47) を事前に読んでみてください。
- 第8回 【授業テーマ】 組織の意思決定 (2)
サイモンのゴミ箱モデル
【内容・方法 等】 目的の設定、階層的秩序、ゴミ箱モデル4つの要素、事実前提と価値前提について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書I部「第2章6.組織ルーティンの実証研究、7.おわりに」(pp.47-51) を事前に読んでみてください。
- 第9回 【授業テーマ】 組織化のプロセス (1)
バーナードとサイモン
【内容・方法 等】 組織化のロジックを、バーナードの理論、サイモンの理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書II部「第4章2.持続的成長と発展モデル」(pp.88-103) を事前に読んでみてください。
- 第10回 【授業テーマ】 組織化のプロセス (2)
ワイクとマーチ
【内容・方法 等】 組織化のプロセスを、ワイクの理論、マーチの理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書II部「第4章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセスモデル」(pp.103-108) を事前に読んでみてください。
- 第11回 【授業テーマ】 環境と組織 (1)
コンティンジェンシー理論
【内容・方法 等】 オープン・システムとしての組織、機械的管理と有機的管理について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書II部「第4章4.経営理念の機能化のための経営管理制度」(pp.108-115) を事前に読んでみてください。
- 第12回 【授業テーマ】 環境と組織 (2)
ネオ・コンティンジェンシー理論
【内容・方法 等】 戦略と組織、経営戦略論の発展、組織の主体性と戦略的選択アプローチについて解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書II部「第4章5.経営理念の機能化のための経営管理制度」(pp.108-110) を事前に読んでみてください。
- 第13回 【授業テーマ】 組織デザイン (1)
組織形態の基本型
【内容・方法 等】 分業のメリット・ディメリット・組織構造の種類について、事例企業を通して解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書III部「第5章1.はじめに、2.戦略的組織ルーティンと経営理念の考察」(pp.119-154) を事前に読んでみてください。
- 第14回 【授業テーマ】 組織デザイン (2)
分業・標準化
【内容・方法 等】 分業の種類 (垂直分業・水平分業・機能別分業・並行分業) について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書III部「第5章1.はじめに、2.戦略的組織ルーティンと経営理念の考察」(pp.119-154) を事前に読んでみてください。
- 第15回 【授業テーマ】 組織デザイン (3)
分業とモチベーション
【内容・方法 等】 分業とモチベーションの関係と、経営組織論の要点について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書III部「第5章1.はじめに、2.戦略的組織ルーティンと経営理念の考察」(pp.119-154) を事前に読んでみてください。

評価方法 (基準)

定期試験 (60%)、毎回理解促進テストと演習課題 (20%)、課題レポート (20%) により総合的に評価します。

教材等

教科書…横谷正人 (2012)『経営理念の機能－組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社 (3,000円+税)
参考書…大平浩二編著 (2009)『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社 (3,200円+税)
 大月博司・高橋正泰 (2003)『経営組織』学文社。2,500円+税
 沼上幹 (2004)『組織デザイン』日経文庫。950円+税

学生へのメッセージ

人間は、限定的で合理的な存在です。我々は全てのことがオールマイティではないのです。そこで、一人の人間ができることから、集団や組織でできることの可能性について一緒に勉強しましょう。

関連科目

経営学、経営戦略論、経営管理論

担当者の研究室等

横谷研究室 (11号館7階)

経営組織論II				
Theory of Business Organization II				
横谷正人 (マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

今や多くの組織において、新しい企業環境の変化に応じた新たな組織づくりが問われている。この講義では、経営学の主要領域である経営組織について基本的な理解を深め、現実起こっている組織問題の本質を提示する。企業組織の基本形態を検討し、企業の戦略等によって組織がどのように変容する必要があるのか説明する。さらに、飛躍的に発展してきた組織論の基礎的な知識やロジックを学習しながら、現代的な諸問題を明らかにするとともに、それらの問題について実践的な対処法をケーススタディで解説する。

授業方法と留意点

講義、理解促進テストと演習課題、ディスカッションの3部構成で行う。
 課題レポート (800字) を1~3回程度実施する。
 日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業組織の現実的諸問題について情報収集を行う。
 ディスカッションを中心に行うので積極的な参加が求められる。

科目学習の資格 (資格)

企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士、販売士検定試験等の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 組織をめぐる諸問題と組織研究
 【内容・方法 等】 ガイダンス、講義の目的、講義概要、評価方法の提示を行い、本講義を学ぶ意義を解説する。
 【事前・事後学習課題】 ノートと教科書を持参してください。
- 第2回** 【授業テーマ】 組織能力と組織デザイン (1)
 部門化・公式化
 【内容・方法 等】 経営資源と組織能力を、組織デザイン (部門化・公式化) の関係から解説する
 【事前・事後学習課題】 教科書 I 部「第2章5.個別的組織能力と職能別組織ルーティン」(pp.44-47) を事前に読んできてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 組織能力と組織デザイン (2)
 標準化・分権化
 【内容・方法 等】 経営資源と組織能力を、組織デザイン (標準化・分権化) の関係から解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 I 部「第2章6.組織ルーティンの実証研究」(pp.47-49) を事前に読んできてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 組織の内的コントロールと外的コントロール (1)
 【内容・方法 等】 機械的コントロールと組織デザインによるコントロールについて、事例企業を通して解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 II 部「第3章4.経営理念の構造と機能に関する研究、5.おわりに」(pp.78-85) を事前に読んできてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 組織の内的コントロールと外的コントロール (2)
 【内容・方法 等】 正統性の獲得を、対外対内コントロールの事例企業の実際を通して解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 II 部「第3章4.経営理念の構造と機能に関する研究、5.おわりに」(pp.78-85) を事前に読

- んできてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 組織の合理性と非合理性 (1)
 【内容・方法 等】 官僚制組織の特徴、計画的戦略と創発的戦略を通して、組織の合理性と非合理性を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 II 部「第4章2.持続的成長と発展モデル」(pp.88-108) を事前に読んできてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 組織の合理性と非合理性 (2)
 【内容・方法 等】 ミンツバーグの所論非合理性の導入と活用、合理性と非合理性のバランスの重要性を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 II 部「第4章2.持続的成長と発展モデル」(pp.88-108) を事前に読んできてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 組織文化と組織学習 (1)
 【内容・方法 等】 トンプソン・モデルの限界、シャインの組織文化論を基に、事例企業を比較して解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 III 部「第6章2.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.157-161) を事前に読んできてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 組織文化と組織学習 (2)
 【内容・方法 等】 組織学習とルーティン、組織学習プロセスについて、事例企業を通して解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 III 部「第6章2.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172) を事前に読んできてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 組織間関係
 【内容・方法 等】 戦略的提携、ネットワーク型組織の探求、組織変革の展開について事例企業で解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 I 部「第1章3.企業の衰退」(pp.20-28) を事前に読んできてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 組織変革
 【内容・方法 等】 組織変革のメカニズム、断続的均衡モデル、継続性モデル、学習する組織について解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 II 部「第4章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセスモデル」(pp.103-108) を事前に読んできてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 組織イノベーション (1)
 【内容・方法 等】 イノベーションの種類、テクノロジー・サイクルの理解を事例企業で解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 III 部「第6章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172) を事前に読んできてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 組織イノベーション (2)
 【内容・方法 等】 長期にわたり系統的に異なる種類のイノベーションの実現を、事例企業で解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 III 部「第6章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172) を事前に読んできてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 知識創造とナレッジマネジメント
 【内容・方法 等】 持続的成長と発展を遂げる企業の知識創造のプロセスとマネジメントを解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 III 部「第6章4.戦略的組織ルーティンの安定と変化における経営理念の機能化」(pp.172-179) を事前に読んできてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 持続的イノベーション企業
 【内容・方法 等】 セルフォーガニゼーション企業と、近年の経営組織論の展開と考え方、要点を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書 III 部「第6章5.事例研究のインプリケーション」(pp.179-180) を事前に読んできてください。

評価方法 (基準)

定期試験 (60%)、毎回理解促進テストと演習課題 (20%)、課題レポート (20%) により総合的に評価します。

教材等

教科書…横谷正人 (2012)『経営理念の機能－組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社 (3,000円+税)
参考書…大平浩二編著 (2009)『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社 (3,200円+税)
 大月博司・高橋正泰 (2003)『経営組織』学文社 (2,500円+税)
 沼上幹 (2004)『組織デザイン』日経文庫 (950円+税)

学生へのメッセージ

人間は、限定的で合理的な存在です。我々は全てのことがオールマイティではないのです。そこで、一人の人間ができることから、集団や組織でできることの可能性について一緒に勉強しましょう。

関連科目

経営学、経営戦略論、経営管理論

担当者の研究室等

横谷研究室 (11号館7階)

経営史I Business History I				
佐藤正志(サトウ マサシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

企業経営の歴史的發展を英・米・日の事例を中心として比較史的に考察します。

前半は、経営史学の方法論や資本主義経済を生み出したイギリスの産業革命期の経営を取り上げます。とくに、技術の発展や規格化・標準化が企業経営のあり方を大きく規定することを考察します。

後半は、アメリカが生み出した大量生産システムであるフォードシステム、それがもたらせた消費社会の形成について概観して、それが現代の生産や消費形態の原型であったことを、考えていきます。

授業方法と留意点

講義形式の授業。資料を配付して説明します。アメリカや日本の幅広い事例が出てきますので、板書事項をノートにとりながら、まとめてください。

科目学習の効果（資格）

企業経営に関する基本事項を歴史的視点から学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 経営史の方法論（1）
【内容・方法等】 マックス・ウェーバーの「エートス」論
【事前・事後学習課題】 企業の歴史について興味を持っている企業のHPで調べて、まとめる。また、ウェーバーについて調べる。
- 第2回 【授業テーマ】 経営史の方法論（2）
【内容・方法等】 シュンペーター理論と企業者の役割
【事前・事後学習課題】 シュンペーターのイノベーション理論の概要を調べ、まとめる。
- 第3回 【授業テーマ】 技術の発展と企業（1）
【内容・方法等】 マニュファクチュア経営の「革命」性
【事前・事後学習課題】 マニュファクチュア、問屋制家内工業について事典で調べ、まとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 技術の発展と企業（2）
【内容・方法等】 規格化と標準化が勝負を決める（ベータとVHSの争い）
【事前・事後学習課題】 技術の発展が経営に与えた影響をまとめる。
- 第5回 【授業テーマ】 技術の発展と企業（3）
【内容・方法等】 産業革命とは何か
【事前・事後学習課題】 産業革命について調べて、まとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 技術の発展と企業（4）
【内容・方法等】 産業革命期の経営
【事前・事後学習課題】 産業革命期の経営について調べて、まとめる。
- 第7回 【授業テーマ】 技術の発展と企業（5）
【内容・方法等】 後進国の産業革命（工業化）
【事前・事後学習課題】 日本の産業革命の特質について調べて、まとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 英国の衰退と後進国の経営発展（1）
【内容・方法等】 英国経済衰退の経営的背景は何か
【事前・事後学習課題】 イギリス近代経済史について概要を把握する。
- 第9回 【授業テーマ】 英国の衰退と後進国の経営発展（2）
【内容・方法等】 英国経済は本当に衰退したのか
【事前・事後学習課題】 文化と経営の関係について、事典などで定義を調べて、まとめる。
- 第10回 【授業テーマ】 「アメリカ式生産システム」とフォード・システム（1）
【内容・方法等】 互換性部品生産方式と「科学的管理法」
【事前・事後学習課題】 アメリカ式生産システムについて調べて、まとめる。
- 第11回 【授業テーマ】 「アメリカ式生産システム」とフォード・システム（2）
【内容・方法等】 自動車産業の発展とフォード・システムの形成過程
【事前・事後学習課題】 フォード・システムの概要について事前学習し、講義後にまとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 「アメリカ式生産システム」とフォード・システム（3）
【内容・方法等】 「フォーディズム」と現代資本主義
【事前・事後学習課題】 「フォーディズム」について調べる。その意義と役割を理解する。
- 第13回 【授業テーマ】 消費社会の成立（1）
【内容・方法等】 「消費」の変容と現代社会の成立
【事前・事後学習課題】 練習問題
- 第14回 【授業テーマ】 消費社会の成立（2）

【内容・方法等】 ブランド商品の誕生
【事前・事後学習課題】 ブランドについて事前学習し、講義後にまとめる。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 練習問題

評価方法（基準）
定期試験結果および受講態度などを総合的に判断します。

教材等

教科書…とくに指定しません。資料を配付します。
参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

講義内容に関して不明な点や疑問点は、遠慮せずに質問してください。
なお、紹介する参考文献にはできるだけ目をとおして、より理解を深めていただきたい。

関連科目

経営史II、企業者史I・II（S科科目）

担当者の研究室等

11号館8階(佐藤教授室)

経営史II Business History II				
佐藤正志(サトウ マサシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

第2次大戦後の日本経済・産業の発展過程をたどりながら、各時代を代表する企業と経営者（企業家）を取り上げ、その経営活動と経営理念を分析します。企業の形成過程を、経済の発展段階との関連をふまえて考察し、これからの企業・企業者像を考えていきます。

授業方法と留意点

資料の配付やビデオ視聴を行いながら講義形式で実施します。

科目学習の効果（資格）

企業経営に関する基本的事項を歴史的観点から、また企業者の行動や考えを通して学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 戦後の経済発展の枠組みと企業経営
【内容・方法等】 戦後復興の過程と企業
【事前・事後学習課題】 第2次大戦後の経済と企業の変化について予習し、講義後にまとめる。
- 第2回 【授業テーマ】 戦後の経済発展の枠組みと企業経営（2）
【内容・方法等】 高度経済成長に果たした企業のあり方
【事前・事後学習課題】 戦後を代表する企業とその経営者をリストアップし、講義後その共通点について、まとめる。
- 第3回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業（1）
【内容・方法等】 松下電器と松下幸之助（1）
【事前・事後学習課題】 松下幸之助の履歴について、まとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業（2）
【内容・方法等】 松下電器と松下幸之助（2）
【事前・事後学習課題】 松下の経営理念「水道哲学」とは何か。
- 第5回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業（3）
【内容・方法等】 ホンダの創業と本田宗一郎（1）
【事前・事後学習課題】 本田宗一郎の人物像について調べて、まとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業（4）
【内容・方法等】 ホンダの創業と本田宗一郎（2）
【事前・事後学習課題】 ホンダが2輪車メーカーのトップメーカーへと成長した要因を調べてまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業（5）
【内容・方法等】 SONYと井深大
【事前・事後学習課題】 SONYの発展をもたらした要因を調べて、まとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（1）
【内容・方法等】 戦後流通業の変化
【事前・事後学習課題】 流通業界の主役の移り変わりを調べて、まとめる。
- 第9回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（2）
【内容・方法等】 中内・ダイエーの「流通革命」と挫折
【事前・事後学習課題】 ダイエーの経営の失敗について、その要因を調べて、まとめる。また、中内の「流通革命」の成果は現在どのような形で引き継がれているのかを考える。
- 第10回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（3）
【内容・方法等】 コンビニの発展とセブンイレブン・鈴木敏文（1）
【事前・事後学習課題】 戦後の流通業界の変化とコンビニの登場までをまとめる。

- 第11回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（4）
 【内容・方法等】 コンビニの発展とセブンイレブン・鈴木敏文（2）
 【事前・事後学習課題】 鈴木による小売業の革新は、海外においても通用するか考え、まとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業（1）
 【内容・方法等】 IT革命は企業経営をいかに変革したか
 【事前・事後学習課題】 IT革命の企業経営への影響について調べ、まとめる。
- 第13回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業（2）
 【内容・方法等】 IT革命は企業経営をいかに変革したか（2）
 【事前・事後学習課題】 IT革命の企業経営への影響について調べ、まとめる。
- 第14回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業（3）
 【内容・方法等】 IT革命は企業経営をいかに変革したか（3）
 【事前・事後学習課題】 IT革命の企業経営への影響について調べ、まとめる。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 _____
 【事前・事後学習課題】 練習問題

評価方法（基準）

受講態度、定期試験の得点、レポート内容等を総合して判断します。

教材等

教科書…とくに指定しません。資料を配付します。
 参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

講義内容に対する不明点や疑問は遠慮なく質問してください。また、紹介する参考文献にはできる限り目を通してください。

関連科目

経営史、企業者史Ⅰ（S科科目）

担当者の研究室等

11号館8階（佐藤研究室）

経営管理論 Business Management				
榎谷正人(マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

経営管理の理論として、古典的管理論、人間関係論、近代組織論、意思決定論の人間観について説明します。また、経営実践のプロセスを、組織戦略と組織デザインについて解説し、モチベーション、コミュニケーション、リーダーシップの理論について説明します。

授業方法と留意点

講義を教科書とプロジェクターで行いますが、途中で理解促進演習も実施します。最初の5分間、前回の復習のため理解促進小テストを実施します。理解促進のためケーススタディのプリントを配布しディスカッションします。質疑応答とディスカッションの時間を設けるため積極的な発言を求めます。日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業の経営戦略に関する情報収集を行う習慣を身につけてください。

科目学習の効果（資格）

企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士、販売士検定試験等の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 経営管理論の発展
 【内容・方法等】 ガイダンス、講義の目的、講義概要、評価方法の提示を行い、本講義を学ぶ意義を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書「序章1.はじめに」(pp.1-3)を事前に読んできてください。
- 第2回 【授業テーマ】 伝統的管理論（1）
 テイラーの科学的管理法
 【内容・方法等】 テイラーの科学的管理法、経済人モデルの人間観に基づき、その意義と問題点を探る。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第3章3.経営理念の先行研究」(pp.63-68)を事前に読んできてください。
- 第3回 【授業テーマ】 伝統的管理論（2）
 ファヨールの管理過程論
 【内容・方法等】 ファヨールの管理過程論、その現代での展開についてその意義と問題点を探る。
 【事前・事後学習課題】 第一回目授業で配布した「目標による学習シート」を提出してください。
- 第4回 【授業テーマ】 伝統的管理論（3）

- ホーソン実験と人間関係論
 【内容・方法等】 ホーソン実験、人間関係論、社会人モデルの人間観の現代的意義について解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.1創業期、スタート・アップ期」(pp.120-128)を事前に読んできてください。
- 第5回 【授業テーマ】 近代経営管理組織論（1）
 バーナード組織論
 【内容・方法等】 バーナード組織論の内容を解説し、現代マネジメントの観点から理解を深める。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第3章3.経営理念の先行研究」(pp.63-68)を事前に読んできてください。
- 第6回 【授業テーマ】 近代経営管理組織論（2）
 サイモンの意思決定論
 【内容・方法等】 サイモンの意思決定論、制約された合理性について人間の意思決定の問題として考察を深める。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第3章3.経営理念の先行研究」(pp.63-68)を事前に読んできてください。
- 第7回 【授業テーマ】 現代経営管理論（1）
 事業多角化
 【内容・方法等】 事業多角化と発展について、企業の成長と発展のプロセスを通して解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.2成長期」(pp.128-135)を事前に読んできてください。
- 第8回 【授業テーマ】 現代経営管理論（2）
 経営戦略①
 【内容・方法等】 経営戦略の定義、構造と体系を解説し、経営戦略の実行について解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章2.1.3成長期における経営戦略」(pp.98-99)を事前に読んできてください。
- 第9回 【授業テーマ】 現代経営管理論（3）
 経営戦略②
 【内容・方法等】 競争戦略を、ポジショニング・アプローチとリソースド・ベース・アプローチから解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅰ部「第1章2.企業成長と発展」(pp.12-20)を事前に読んできてください。
- 第10回 【授業テーマ】 現代経営管理論（4）
 組織間関係
 【内容・方法等】 戦略的提携、M&A、組織間関係について、現代の企業の事例から解説する。
 【事前・事後学習課題】 最近1か月以内の企業の戦略的提携、M&Aについて事例を3件以上整理しておいてください。
- 第11回 【授業テーマ】 組織デザイン
 【内容・方法等】 基本形として、機能別（職能制）組織、事業部制組織、マトリクス組織、アメーバ組織を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.3安定期」(pp.135-143)を事前に読んできてください。
- 第12回 【授業テーマ】 経営管理組織の基本形態（1）
 【内容・方法等】 ライン組織、ライン・アンド・スタッフ組織の特徴と問題点について解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.3安定期」(pp.135-143)を事前に読んできてください。
- 第13回 【授業テーマ】 経営管理組織の基本形態（2）
 【内容・方法等】 事業部制組織、マトリクス組織の事例研究を通して、その特徴と問題点について解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.4再成長期」(pp.143-151)を事前に読んできてください。
- 第14回 【授業テーマ】 経営管理組織の基本形態（3）
 【内容・方法等】 ネットワーク組織、アメーバ組織の事例研究を通して、その特徴とその問題点を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.4再成長期」(pp.143-151)を事前に読んできてください。
- 第15回 【授業テーマ】 戦略と組織の経営管理
 【内容・方法等】 戦略実行のための組織形態について、経営管理の実行プロセスから解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第6章2.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.157-161)を事前に読んできてください。
- 第16回 【授業テーマ】 経営管理の実践
 【内容・方法等】 ガイダンス、講義の目的、講義概要、評価方法の提示を行い、本講義を学ぶ意義を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章2.持続的成長と発展モデル」(pp.88-103)を事前に読んできてください。
- 第17回 【授業テーマ】 インセンティブ・システム
 【内容・方法等】 企業の人事管理制度とダイバーシティマネジメントについて解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第5章2.キヤノン株式会社2.1成長期、スタート・アップ期」(pp.122-128)を事前に読んできてください。
- 第18回 【授業テーマ】 人間行動と行動科学
 【内容・方法等】 組織における人間行動、人間関係について、行動科学の代表的な理論を解説する。
 【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第7章2.経営管理機能としての組織と個人の統合」(pp.185-191)を事前に読んでき

- てください。
- 第19回 【授業テーマ】モチベーション理論 (1)
 欲求理論①
 【内容・方法等】マズローの欲求段階説、マクレガーのX理論Y理論について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第6章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172)を事前に読んできてください。
- 第20回 【授業テーマ】モチベーション理論 (2)
 欲求理論②
 【内容・方法等】ハーズバークの衛生理論、マクレランドの欲求理論について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第6章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172)を事前に読んできてください。
- 第21回 【授業テーマ】モチベーション理論 (3)
 期待理論、パス・ゴール理論
 【内容・方法等】ブルームの期待理論、ハウスのパス・ゴール理論について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第6章4.戦略的組織ルーティンの安定と変化における経営理念の機能化」(pp.172-179)を事前に読んできてください。
- 第22回 【授業テーマ】モチベーション理論 (4)
 目標設定理論
 【内容・方法等】仕事場面における管理技法として、ドラッカーの目標設定理論を解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第6章5.事例研究のインプリケーション、6.おわりに」(pp.179-181)を事前に読んできてください。
- 第23回 【授業テーマ】組織活性化
 【内容・方法等】マネジャーの役割として組織活性化に焦点を合わせて、現代の企業の事例を研究する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅲ部「第7章 経営管理機能としての経営理念」(pp.183-192)を事前に読んできてください。
- 第24回 【授業テーマ】組織文化
 【内容・方法等】シャインの組織文化論を解説し、日本企業の組織文化を比較研究する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅲ部「第7章 経営管理機能としての経営理念」(pp.183-192)を事前に読んできてください。
- 第25回 【授業テーマ】リーダーシップ理論 (1)
 資質理論
 【内容・方法等】リーダーシップの初期研究として、リーダーの資質理論について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第5章 事例研究」(pp.119-154)を事前に読んできてください。
- 第26回 【授業テーマ】リーダーシップ理論 (2)
 行動理論
 【内容・方法等】行動理論(ミシガン大学、リッカート、オハイオ大学、PM論)の研究について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第5章 事例研究」(pp.119-154)を事前に読んできてください。
- 第27回 【授業テーマ】リーダーシップ理論 (3)
 コンティンジェンシー理論
 【内容・方法等】コンティンジェンシー理論(フィドラーのリーダーシップ状況適応モデル)について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第5章 事例研究」(pp.119-154)を事前に読んできてください。
- 第28回 【授業テーマ】トップマネジメントの機能
 【内容・方法等】トップマネジメントとミドルマネジメントの相違点について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅱ部「第4章2.1.持続的成長と発展プロセス」(pp.93-97)を事前に読んできてください。
- 第29回 【授業テーマ】組織変革
 【内容・方法等】企業の成長と発展プロセスにおける組織変革の時期の特定と、組織変革の方法について解説する。
 【事前・事後学習課題】教科書Ⅲ部「第4章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.103-108)を事前に読んできてください。
- 第30回 【授業テーマ】グローバル経営管理
 評価方法(基準)
 定期試験(60%)、毎回理解促進テストと演習課題(20%)、課題レポート(20%)により総合的に評価します。
- 教材等
 教科書…榎谷正人(2012)『経営理念の機能－組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社(3,000円+税)
 参考書…大平浩二編著(2009)『ステークホルダーの経営学。開かれた社会の到来』中央経済社(3,200円+税)
- 学生へのメッセージ
 企業の成長と発展を方向づける経営管理を学ぶことによって、セルフマネジメントの方法とキャリア開発に活かせます。
- 関連科目
 経営学、経営戦略論、経営組織論、経営労務論
- 担当者の研究室等
 榎谷研究室(11号館7階)

経営労務論
 Personnel Management I

羽石寛寿(ハネイシ カンジュ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：日本企業の人事管理の仕組みと課題を、わかりやすく解説します。人事管理の理論とともに日本企業の実例を紹介しながら理解を深めます。特に従来から日本的人事管理の特徴とも言われてきた、年功序列や終身雇用の変容や崩壊、そして今後の人事管理についての方向性についても解説します。
 目的：経営における人事管理の大切さと人事管理の概要についての理解。
 学習・教育目標：経営における人事管理の重要性が理解できること。

授業方法と留意点

講義を主としますが、必要に応じてパワーポイントやプリントを活用し、企業における人事管理の実態についても解説します。この授業を受講するには経営学の基礎を理解していることが望まれます。

科目学習の効果(資格)

中小企業診断士や社会保険労務士の受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】人事・労務管理の概要
 【内容・方法等】人事・労務管理の果たす役割、経営環境の変化との関係を解説します。
 【事前・事後学習課題】シラバスを読んできて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】人事管理の発生と変遷
 【内容・方法等】科学的管理法、人間関係論などの人事・労務管理の歴史を解説します。
 【事前・事後学習課題】経営学の発達について調べておいてください。
- 第3回 【授業テーマ】日本的人事管理の特徴
 【内容・方法等】終身雇用、年功序列、企業内組合などの1970年代以降の特徴と課題を述べて、日本の経営と人事管理の特徴を解説します。
 【事前・事後学習課題】日本の雇用の実態について新聞等で調べてください。
- 第4回 【授業テーマ】人事計画と要員計画
 【内容・方法等】人事情報のシステム化、人事・労務管理の計画、特に人員計画のつくり方に重点をおいて解説します。
 【事前・事後学習課題】人事管理や労務管理の意味を調べてください。
- 第5回 【授業テーマ】職能資格制度について
 【内容・方法等】日本企業の人事管理の柱である職能資格制度について解説します。
 【事前・事後学習課題】職能資格について教科書を読んでおいてください。
- 第6回 【授業テーマ】昇進・昇格管理について
 【内容・方法等】昇進・昇格管理の解説とその方法について解説します。
 【事前・事後学習課題】昇進と昇格の意味はどう違いますか調べてください。
- 第7回 【授業テーマ】人事考課について
 【内容・方法等】能力主義管理のひとつのツールである人事考課について解説します。
 【事前・事後学習課題】仕事ぶりを評価すると言うことはどういうことでしょうか、調べてください。
- 第8回 【授業テーマ】賃金の支払いと決め方
 【内容・方法等】賃金の基本的な考え方とその決定方法について解説します。
 【事前・事後学習課題】給与明細には何が書いてあるか調べてください。
- 第9回 【授業テーマ】賃金体系の意味
 【内容・方法等】職能給と年齢給からなる日本の賃金体系について解説します。
 【事前・事後学習課題】賃金とはどのようなものか考えてください。
- 第10回 【授業テーマ】能力開発と教育訓練
 【内容・方法等】企業における能力開発とOJTなどの教育訓練について解説します。
 【事前・事後学習課題】なぜ、企業において教育が必要なのでしょう、考えてください。
- 第11回 【授業テーマ】福利厚生について
 【内容・方法等】企業における福利厚生について解説します。
 【事前・事後学習課題】福利厚生の意味を調べてください。
- 第12回 【授業テーマ】労働関係法について
 【内容・方法等】労働基準法などに関する法律について解説します。
 【事前・事後学習課題】労働法には、どのような法律があるか調べてください。

- 第13回 【授業テーマ】 演習課題についての発表 I
【内容・方法 等】 演習課題についての発表をして頂きます。
【事前・事後学習課題】 レポートについて発表の準備をしておいてください。
- 第14回 【授業テーマ】 演習課題についての発表 II
【内容・方法 等】 演習課題についての発表をして頂きます。
【事前・事後学習課題】 レポートについてパワーポイントで発表できる準備をしておいてください。
- 第15回 【授業テーマ】 人事管理のまとめ
【内容・方法 等】 前期で学んだことをまとめます。
【事前・事後学習課題】 レポートを必ず提出して頂きます。

評価方法 (基準)

小テスト、レポート、発表、期末テストなどの総合点で評価します。

教材等

教科書…『人と組織のマネジメント』羽石寛寿著、清風出版、2013
参考書…『新しい人事労務管理』佐藤博樹・藤村博之・八代充史著、有斐閣、2001(1800円)

学生へのメッセージ

人事労務管理は、経営管理を理解する上で重要な分野です。皆さんが就職する企業における皆さん方への管理の方法が学べます。特に将来管理者や監督者を希望する皆さんには大切な科目ですから必ず履修しましょう。

関連科目

経営学、経営労務論 II

担当者の研究室等

11号館8階(羽石教授室)

経営労務論II Personnel Management II				
羽石寛寿(ハネイシ カンジユ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：前期に引き続き、日本企業の人事管理の仕組みと課題をわかりやすく解説します。とくに後期は企業の人事管理の診断に重点をおきます。
目的：人事労務管理の理論とともに、企業の組織診断と意識調査の分析を通して人事管理の重要性”働くとは”について考えましょう。
学習・教育目標：人事管理の診断および組織診断の手法を伝えるようにします。

授業方法と留意点

講義を主としますが、必要に応じてプリントやOHPを活用し、実社会の理解に努めます。
人事労務のケーススタディをとおして人事管理のポイントを学習します。
学生が企業等でデータ収集を行い、実際に分析・考察を行います。

科目学習の効果 (資格)

中小企業診断士と社会保険労務士の受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 モラルとモチベーション
【内容・方法 等】 仕事への意欲(モラル)と動機づけ(モチベーション)を解説します。
【事前・事後学習課題】 頑張る、一生懸命とはどういうことでしょうか、調べてください。
- 第2回 【授業テーマ】 モチベーションの理論について
【内容・方法 等】 マズロー、マグレガーの動機づけ理論について解説します。
【事前・事後学習課題】 やる気が出るとはどういうことでしょうか調べてください。
- 第3回 【授業テーマ】 ハーズバーグのM-H理論とM-R-H理論
【内容・方法 等】 ハーズバーグの動機づけ理論とM-R-H理論について解説します。
【事前・事後学習課題】 仕事をとおしての楽しみつらさとはどういうことでしょうか考えてください。
- 第4回 【授業テーマ】 モラルサーバイと労務関係調査
【内容・方法 等】 職場のモラルと労務管理施策を調査し問題点を把握する方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 仕事をとおしての満足はどのように計測すればよいでしょうか、考えてください。
- 第5回 【授業テーマ】 個人属性の診断について
【内容・方法 等】 職場ごとの個人の目標達成意欲度診断を行う方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 あなたは仕事(課題)に対してどのような気持ちで向かい合っていますか考えてください。
- 第6回 【授業テーマ】 組織風土診断について

- 【内容・方法 等】 職場の組織的な雰囲気や調査しその特徴を把握する診断方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 組織の雰囲気はどうあるべきかと思えますか考えてください。
- 第7回 【授業テーマ】 リーダーシップの診断について
【内容・方法 等】 管理者のリーダーシップを調査し、その特徴を把握する診断方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 リーダーシップの意味を調べてください。
- 第8回 【授業テーマ】 組織診断の総合演習
【内容・方法 等】 組織診断、意識調査のレポート作成の解説をします。
【事前・事後学習課題】 演習のデータを取るところを考えておいてください。
- 第9回 【授業テーマ】 年功型賃金体系から成果・能力型賃金体系への改善事例 I
【内容・方法 等】 企業の事例における、年功型から成果・能力型賃金への改善事例について演習します。
【事前・事後学習課題】 賃金体系について、あなたの考えをまとめておいてください。
- 第10回 【授業テーマ】 年功型賃金体系から成果・能力型賃金体系への改善事例 II
【内容・方法 等】 賃金制度の設計方法など演習を行います。
【事前・事後学習課題】 成果・能力主義の賃金について、あなたの考えを発表できるように準備してください。
- 第11回 【授業テーマ】 年功型賃金体系から成果・能力型賃金体系への改善事例 III
【内容・方法 等】 新賃金制度はどのように移行されていくのかについて解説します。
【事前・事後学習課題】 賃金体系のモデルを作成してください。
- 第12回 【授業テーマ】 組織診断調査の事例 I
【内容・方法 等】 個人属性、組織風土の診断について事例を用いて解説します。
【事前・事後学習課題】 組織診断の演習をして頂きます。準備をしてください。
- 第13回 【授業テーマ】 人事管理の総合演習
【内容・方法 等】 人事管理における総合診断の方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 人事管理の総合演習をして頂きます。準備してください。
- 第14回 【授業テーマ】 総合演習の発表
【内容・方法 等】 総合演習の発表をパワーポイントを使用して発表して頂きます。
【事前・事後学習課題】 発表の準備をしてください。
- 第15回 【授業テーマ】 人事管理のまとめ
【内容・方法 等】 後期の授業についてまとめをします。
【事前・事後学習課題】 パワーポイントで発表をして頂きます。準備をしてください。

評価方法 (基準)

・小テスト、ワークシート、期末テストの総合点で評価します
・ワークシート(ケーススタディ)の提出は必須です

教材等

教科書…羽石寛寿『人と組織のマネジメント』清風出版、2013年度版
参考書…羽石寛寿・地代憲弘著、『経営組織診断の理論と技法』同友館、(3,000円)

学生へのメッセージ

人事労務管理は、経営管理部門に必要なのみでなく、将来、管理・監督者を希望する皆さんに必要な管理知識です。「働くこと」とはどういうことかについて、皆で真剣に考えてみましょう。

関連科目

経営学、経営労務論 I

担当者の研究室等

11号館8階(羽石教授室)

マーケティング論 Marketing Management				
武居奈緒子(タケエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

近年の成熟市場環境下における企業間競争の激化によって、マーケティングの重要性が高まっています。マーケティング活動の内容が、企業の成否を決するといっても過言ではないでしょう。マーケティング論の講義では、マーケティングの諸問題について解説していきます。初めてマーケティングを学習する人を対象として、マーケティングの基本的概念、枠組みを理解することを目指します。この講義を通じて、マーケティングの

楽しさ・面白さを伝えていきたいと思っています。

授業方法と留意点

講義が中心ですが、ビデオも活用し、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

科目学習の効果（資格）

マーケティングの発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 マーケティング論の全体像を示します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第2回 【授業テーマ】 マーケティングとは
【内容・方法 等】 マーケティングの概略について、説明します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第3回 【授業テーマ】 マーケティングの誕生
【内容・方法 等】 マーケティングがいかに誕生したのかについて、説明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第4回 【授業テーマ】 マーケティング志向
【内容・方法 等】 マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第5回 【授業テーマ】 製品政策（1）
【内容・方法 等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第6回 【授業テーマ】 製品政策（2）
【内容・方法 等】 製品政策について、企業の具体的事例を取り上げて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第7回 【授業テーマ】 価格政策（1）
【内容・方法 等】 価格の設定方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第8回 【授業テーマ】 価格政策（2）
【内容・方法 等】 価格政策について、企業の具体的事例を取り上げて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第9回 【授業テーマ】 流通チャネル政策（1）
【内容・方法 等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第10回 【授業テーマ】 流通チャネル政策（2）
【内容・方法 等】 流通チャネル政策について、企業の具体的事例を取り上げて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第11回 【授業テーマ】 販売促進政策
【内容・方法 等】 商品のアピールの仕方について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第12回 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ（1）
【内容・方法 等】 市場細分化戦略について、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第13回 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ（2）
【内容・方法 等】 製品のポジショニングについて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第14回 【授業テーマ】 マーケティングのダイナミクス
【内容・方法 等】 製品ライフサイクル戦略について、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第15回 【授業テーマ】 中間的まとめ
【内容・方法 等】 前半部分のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第16回 【授業テーマ】 マーケティング・ミックス
【内容・方法 等】 マーケティング・ミックスの諸手段について、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第17回 【授業テーマ】 トータル・マーケティング
【内容・方法 等】 消費者を起点とするトータル・マーケティ

ングについて考えていきます。

- 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第18回 【授業テーマ】 消費行動（1）
【内容・方法 等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第19回 【授業テーマ】 消費行動（2）
【内容・方法 等】 消費行動の歴史の変遷について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第20回 【授業テーマ】 消費行動（3）
【内容・方法 等】 顧客満足とブランドロイヤリティについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第21回 【授業テーマ】 競争の3角形
【内容・方法 等】 戦略論の基礎である競争の3角形や成長戦略について考察していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第22回 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（1）
【内容・方法 等】 マーケティング・リサーチの意義・役割について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第23回 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（2）
【内容・方法 等】 マーケティング・リサーチの方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第24回 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（3）
【内容・方法 等】 質問票を作成していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第25回 【授業テーマ】 競争の戦略（1）
【内容・方法 等】 企業の資金配分の方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第26回 【授業テーマ】 競争の戦略（2）
【内容・方法 等】 ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第27回 【授業テーマ】 競争の戦略（3）
【内容・方法 等】 バリュチェーン分析、SWOT分析等について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第28回 【授業テーマ】 流通の役割（1）
【内容・方法 等】 流通の存立根拠について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第29回 【授業テーマ】 流通の役割（2）
【内容・方法 等】 卸売商業、小売商業について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ
評価方法（基準）
期末テストの成績、授業内課題を総合的に考慮して採点します。
- 教材等
教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。
- 学生へのメッセージ
授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましよう。
- 関連科目
経営学
- 担当者の研究室等
11号館8階（武居教授室）

生産管理論 Production and Inventory Control I				
伊田 嘉昌 (イダ ヨシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
生産管理の全体構造を明らかにし、生産管理の要点をマクロ的に解説することにより、生産管理のアウトラインと同時に基礎

理論ならびに手法を理解することを目的とする。又、企業におけるカイゼン活動・品質保証システムの構築等を通じて、会社が「生き残る」のに必要な市場環境への適応・体質革新等の手法や問題解決への管理科学的見方・考え方の基礎知識を理解・修得する。生産管理論Ⅰでは、とくに生産管理総論、生産管理の歴史、作業研究、生産計画と生産統制、コスト管理、工程管理および品質管理につき講述する。

授業方法と留意点

講義にはプロジェクターを用い、講義内容に関する資料を適宜配布する。演習にも重点をおくので、授業には必ず出席し、演習問題は自力で解き、理解を深めること。

科目学習の効果（資格）

中小企業診断士、技術士、ビジネス・キャリア検定の資格を取得するのに大いに役立つ科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 生産管理の概説
【内容・方法等】 ・生産管理の意義と内容・経営とは・生産とは・生産管理とは・生産管理の体系・生産管理の構成・生産管理の流れ・生産管理の管理項目・生産性の指標・生産性向上の進め方
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第2回** 【授業テーマ】 生産管理の歴史
【内容・方法等】 ・管理技術の形成・科学的管理の成立・テイラーの時間研究・ギルブレスの動作研究・エマーソンの能率・フォードの大量生産方式・管理技術の発展・日本の管理技術の発展・最新の生産管理システム
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第3回** 【授業テーマ】 作業研究手法
【内容・方法等】 ・作業研究手法の意義・IEの発展系譜と関連する思想と手法・工程分析・動作分析・時間研究・ストップウォッチ法・レイティング・ワークサンプリング・PTS法・標準時間を用いた生産性測定
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト ・レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 作業改善技術
【内容・方法等】 ・作業改善の考え方・作業簡素化計画・作業改善のための一般原則・動作経済の原則・モダブツの考えと応用事例・稼働分析による改善・トヨタにおける稼働分析・標準時間の設定の手法
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第5回** 【授業テーマ】 作業管理と作業編成技術
【内容・方法等】 ・作業計画と統制・能率管理・能率分析と向上策・作業編成技術・工程設計・習熟・流れ作業・ラインバランス・標準時間組み合わせ票の活用・目標とする生産管理システム
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第6回** 【授業テーマ】 工程管理の概説
【内容・方法等】 ・工程管理の意義と体系・工程管理の目的・工程管理の機能と体系・手順計画・負荷計画（工数計画）・日程計画・進行管理と生産統制・納期遅延対策・製造期間の短縮
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第7回** 【授業テーマ】 工程管理の手法
【内容・方法等】 ・生産計画の意義と手配・ガントチャート・ジョブショップスケジューリング・PERT・かんぱん方式・流動数曲線・基準日程の活用・製番管理（個別生産）・余力管理と進捗管理
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト ・レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 品質管理の概説
【内容・方法等】 ・品質管理の意義と歴史・品質とは・品質管理の定義・品質管理の歴史・日本の品質管理の特徴・品質の総構造・方針管理・QCサークル・シックスシグマ・TQMの概念
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第9回** 【授業テーマ】 統計的手法
【内容・方法等】 ・統計的品質管理の概念・統計的品質管理の方法・検査とは・品質水準の用語・OC曲線とは・実験計画法・工程能力・品質機能展開・FMEA
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第10回** 【授業テーマ】 QC7つ道具
【内容・方法等】 ・特性要因図・パレート図・ヒストグラム・散布図・チェックリスト・管理図・グラフ・QCストーリー・QC的問題解決法・新QC7つ道具・ビジュアルデータ分析
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第11回** 【授業テーマ】 コスト管理の概説
【内容・方法等】 ・経営の多目標と採算性の関係・損益分岐点分析・BSとPL・原価に対する考え方・変動費型企業と固定費型企業・利益構造改革への改善・原価管理の体系・採算管理の意義
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第12回** 【授業テーマ】 価値的管理の追求
【内容・方法等】 ・最小コスト志向・コスト体系・原価構築のしくみ・原価低減と目標管理・原価低減の手段展開法・ミニマムコストの追求・改善検討の原則と改善の4原則・

RIAL生産システム

- 【事前・事後学習課題】** ・演習 ・小テスト
- 第13回** 【授業テーマ】 需要予測
【内容・方法等】 ・需要予測とは・需要予測の目的・需要予測は本当に当たるか・需要予測には何が必要か・需要予測モデル・移動平均法・一次指数平滑モデル・回帰曲線近似モデル・需要予測システム
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第14回** 【授業テーマ】 マーケティングと製品開発
【内容・方法等】 ・マーケティングとは・販売戦略（PPM、ライフサイクル）・販売促進・製品開発のマネジメント・製品開発とイノベーション・製品開発プロセス・コンカレントエンジニアリング
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 ・復習と要約 ・質疑応答
【事前・事後学習課題】 ・配布資料の熟読
- 評価方法（基準）**
小テスト、レポートおよび定期試験によって総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…使用しない
参考書…その都度、紹介する
- 学生へのメッセージ**
企業において、顧客が必要とする製品を「良質で、やすく、はやく作る」ために、生産管理の確立は重要な問題です。生産管理に関わる各種管理 手法をしっかりと修得しましょう。又、製造業以外の会社においても必ず役に立ちます。
- 関連科目**
経営管理論、マネジメントサイエンス、経営統計学、原価計算論、経営労務論等を修得しておくこと。
- 担当者の研究室等**
11号館 6階（経営学部事務室）

生産管理論II Production and Inventory Control II				
伊 田 嘉 昌 (イダ ヨシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

生産管理の全体構造を明らかにし、生産管理の要点をマクロ的に解説することにより、生産管理のアウトラインと同時に基礎理論ならびに手法を理解することを目的とする。又、企業におけるカイゼン活動・品質保証システムの構築等を通じて、会社が「生き残る」のに必要な市場環境への適応・体質革新等の手法や問題解決への管理科学的見方・考え方の基礎知識を理解・修得する。生産管理論Ⅱでは、工場計画、運搬管理、設備管理、外注管理、トヨタ生産システム、セル生産方式および生産システムのニューパラダイムにつき講述する。

授業方法と留意点

授業にはプロジェクターを用い、講義内容に関する資料を適宜配布する。演習にも重点をおくので、授業には必ず出席し、演習問題は自力で解き、理解を深めること。

科目学習の効果（資格）

中小企業診断士、技術士、ビジネス・キャリア検定の資格を取得するのに大いに役立つ科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 工場計画の概説
【内容・方法等】 ・工場計画の意義と手順・工場計画の目的・工場施設に求められる機能・工場計画のインターフェイス・設備配置・工場立地の現状と今後の方向・大阪の製造業
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第2回** 【授業テーマ】 工場レイアウトの手法
【内容・方法等】 ・工場レイアウトの原則・工場レイアウトの基本手法・P-Q分析・アクティビティ相互関連分析・物の流れの分析・レイアウトの評価・工場レイアウトに必要な帳票・レイアウト改善の必要性
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第3回** 【授業テーマ】 運搬管理の基本と手法
【内容・方法等】 ・運搬管理の意義と目的・運搬経済原則・運搬改善の原則・運搬計画・運搬経路計画・運搬方法計画・運搬管理の手法・運搬工程分析・カラ運搬分析・改善の着眼点チェックリスト
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第4回** 【授業テーマ】 運搬設備
【内容・方法等】 ・運搬設備とは・運搬設備の種類・今日の課題（ロジステイクス）・ねらいとしくみの繰り返しの原則・運搬改善・運搬に関するレイアウトのチェック・運搬物に関するチェックシート
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト ・レポート

- 第5回** 【授業テーマ】 設備管理の概説
 【内容・方法 等】 ・設備管理の意義・設備管理の要点・設備管理における16のロス・設備計画・設備管理の組織・保全の計画と管理・保全の歴史・TPMについて・設備保全の評価法
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第6回** 【授業テーマ】 設備投資と採算分析
 【内容・方法 等】 ・設備投資の種類・減価償却の方式・現価と終価・現価と年価・年価と終価・経済計算の方法・MAPI方式・投資利益率法・投資評価の経済計算・生産活動での設備管理の位置
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第7回** 【授業テーマ】 外注管理の概説とVE
 【内容・方法 等】 ・外注管理とは・外注管理の目的・外注先決定の3要素・外注管理の原則・発注の方式・外注単価の決定・VAとVE・VEの実施手順・VEの7原則
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト ・レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 外注方針と外注指導
 【内容・方法 等】 ・外注方針とは・内外作決定の基準・外注能力編成・外注工場の指導・外注品の納期管理・外注品の品質管理・外注管理の機能・開発購買の推進・グローバル競争に勝ち残るサプライヤー
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第9回** 【授業テーマ】 在庫管理とEOQの概説とMRPシステム
 【内容・方法 等】 ・在庫とは・在庫のさまざまな呼称・在庫理論とは・在庫管理の目的と対象・ABC分析による重点管理・定量発注方式と定期発注方式の比較・EOQとは・MRPシステム
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第10回** 【授業テーマ】 トヨタ生産方式
 【内容・方法 等】 ・トヨタ生産方式の目的・トヨタ7つのムダ・トヨタ生産方式の8方式と4手段・トヨタ生産方式の特徴・トヨタ生産方式の体系・トヨタの原価企画・トヨタの新製品開発・トヨタウェイ
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第11回** 【授業テーマ】 個別受注生産の生産管理とGT・セル生産システム
 【内容・方法 等】 ・個別受注生産の特徴・受注選択・設計管理・工程管理・手配部門の管理・組立調整部門・GT（グループテクノロジー）とは・セル生産方式の歴史・セル生産の定義・セル生産の長短
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第12回** 【授業テーマ】 海外生産管理
 【内容・方法 等】 ・モノづくりの海外生産への発展・海外生産の分類・P社の海外生産・日本的経営と欧米経営の比較・日本的生産管理の発展と特質・日本のモノづくりを見直す・グローバルSCMの実現
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第13回** 【授業テーマ】 生産管理の周辺（ISOについて）
 【内容・方法 等】 ・ISOとは・マネジメントシステムとは・ISOを認証取得するためには・品質マネジメントシステムとは・環境マネジメントシステムとは・労働安全衛生・情報セキュリティ ・他
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第14回** 【授業テーマ】 生産管理用語
 【内容・方法 等】 ・製造業における生産管理に用いる主な用語・基本・生産システム・生産計画・生産統制・作業管理・設備管理・資材管理 ・他
 【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 ・復習と要約 ・質疑応答
 【事前・事後学習課題】 ・配布資料の熟読

評価方法 (基準)
 小テスト、レポートおよび定期試験によって総合的に評価する。

教材等
 教科書…使用しない。
 参考書…その都度、紹介する。

学生へのメッセージ
 企業において、顧客が必要とする製品を「良質で、やすく、はやく作る」ために、生産管理の確立は重要な問題です。生産管理に関わる各種管理 手法をしっかりと修得しましょう。又、製造業以外の会社においても必ず役に立ちます。

関連科目
 経営管理論、マネジメントサイエンス、経営統計学、原価計算論、経営労務論、生産管理論I等を修得しておくこと。

担当者の研究室等
 11号館6階(経営学部事務室)

企業論 Theory of Corporate Management				
古村 公久 (コムラ キミヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 企業のあり方・企業社会のあり方が様々な形で問われ始めているという状況を踏まえ、本講義では2つの視点から企業を考察する。

前半は、実務家（経営者やコンサルタントなど）の視点に立ち、企業の新しい経営スタイルというものを概説する。そのうえで後半は、研究者の視点に立ち、社会の中の企業のあり方を考えていく。

本講義を通じて、企業を実践的・理論的に分析する能力とともに、「企業社会を多面的に捉える眼」を修得し、卒業後も、自身の所属する組織・業務という視野からだけではなく、大局的な視野から物事を捉えて課題を発見・解決できるような素養を身につけることを最終目標とする。

授業方法と留意点
 本講義では、レジュメをベースに講義を行うとともに、コミュニケーションペーパーを兼ねた小テストを不定期に実施し、理解度を確認する予定である。途中、レポート課題を課したり、理解度に応じてシラバスを変更することもある。

また、座席指定を行う予定である。
科目学習の効果（資格）
 大局的な視野から物事を捉えて課題を発掘・解決できるような素養の修得・新たなビジネスチャンスの発見に有効である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
 モジュールI>
 新しい経営スタイル
【内容・方法 等】 本講義のガイダンスを行う。
 時代とともに社会の変化(パラダイムシフト)が起きた結果、企業経営はどう変わったのかについて概説する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第2回 【授業テーマ】 「良い」経営(1)
【内容・方法 等】 「品質」「経営品質」という概念を説明したうえで、経営評価基準の考え方を学習しながら、「良い」経営というものを考える。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第3回 【授業テーマ】 「良い」経営(2)
【内容・方法 等】 「良い」経営について、評価の視点ではなく、実際の成功事例から学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第4回 【授業テーマ】 「良い」経営(3)
【内容・方法 等】 「良い」経営について、ベンチマーキングによる経営革新という視点から学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第5回 【授業テーマ】 「良い」経営(4)
【内容・方法 等】 「良い」経営について、ベンチマーキングによる経営革新という視点から学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第6回 【授業テーマ】 人のマネジメント(1)
【内容・方法 等】 モチベーションについて、経営改革や業務改善という視点から検討する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第7回 【授業テーマ】 人のマネジメント(2)
【内容・方法 等】 具体的手法を通して、人のマネジメントを学習する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第8回 【授業テーマ】 これからの組織・戦略(1)
【内容・方法 等】 時代とともに社会が変化の中で、どのような組織・戦略が求められるのか、その方向性を検討する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第9回 【授業テーマ】 これからの組織・戦略(2)
【内容・方法 等】 時代とともに社会が変化の中で、どのような組織・戦略が求められるのか、その方向性を検討する。
【事前・事後学習課題】 事前：経営学全般の知識の再確認
 事後：レジュメの見直しと身近な例へのあてはめ

第10回 【授業テーマ】 <モジュールII>
 社会の中の企業(1)
【内容・方法 等】 企業とステイクホルダーとの関わりを理論的に整理したうえで、日本における企業社会の構造(日本

企業とステイクホルダーの関係)を検討する。

【事前・事後学習課題】 事前：参考書①第1章
事後：日本の企業社会構造の整理

第11回 【授業テーマ】 社会の中の企業(2)
【内容・方法等】 CSR(企業の社会的責任)について、90年代以降のグローバルな動向を追いながら、その背景・定義・各論者の主張を整理する。また、日本企業の最近の動向について、代表事例を通じて検討する。

【事前・事後学習課題】 事前：参考書①第2章
事後：CSR三次元の整理

第12回 【授業テーマ】 社会の中の企業(3)
【内容・方法等】 事例やCSRレポートの分析を通して、CSRに対する理解を深める。

【事前・事後学習課題】 事前：参考書①第4章
事後：各社のCSRレポート研究

第13回 【授業テーマ】 社会の中の企業(4)
【内容・方法等】 多様な社会的課題や社会的企業について、具体的な事例を通じてその存在を知る。

【事前・事後学習課題】 事前：参考書②第1～2章
事後：事例を通じて感じたことの整理

第14回 【授業テーマ】 社会の中の企業(5)
【内容・方法等】 社会的企業の要件・活動領域、ソーシャルイノベーション概念などを整理する。

【事前・事後学習課題】 事前：参考書②第1～2章
事後：各概念の整理

第15回 【授業テーマ】 社会の中の企業(6)
【内容・方法等】 CSRの中で社会貢献活動に着目し、その背景や課題といった基礎的内容を概説する。また、戦略的フイランソロピヤやコーズリレイテッドマーケティングといった概念について、最近の動向を検討する。

【事前・事後学習課題】 事前：参考書①第5章
事後：社会貢献活動の課題整理

評価方法(基準)
平常点(小テスト・レポート課題・その他受講態度など：50%)と定期試験(50%)の結果による。

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…①「CSR-企業と社会を考える-」谷本寛治著 NTT出版(1,680円)、②「ソーシャル・エンタープライズ-社会的企業の台頭-」谷本寛治著 中央経済社(2,940円)

学生へのメッセージ
本講義では、経営管理論(組織論・戦略論)などの経営学一般の基礎知識が必要になります。それらのエッセンスについては解説を加えるよう配慮して講義を行う予定ですが、「単位のため」「何となく」受講しようとする学生には苦痛を伴う時間になると思われまますので受講を勧めません。学習意欲のある学生の参加を前提に講義をします。
また、初回のガイダンスには必ず出席すること。正当な理由なくガイダンスを欠席する学生は大幅に減点します。

関連科目
経営学、経営組織論、戦略論、経営倫理、NPO論など

担当者の研究室等
11号館8階(共同研究室)

備考
理解を促進するために映像教材を取り入れたり、場合によっては社会的企業の経営者もしくは企業のCSR担当者をゲストスピーカーとしてお招きして議論する機会を設けたりすることもある。

経営戦略論 Strategic Management				
榎 谷 正 人 (マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
経営戦略論の系譜を概観し経営環境の変化に適合する経営戦略策定の方法を説明します。また、実際企業の経営戦略のケースを代表的なアプローチで比較検討します。
本講義の目的は、グローバル企業の競争優位の源泉と持続となっている経営戦略と組織能力について具体的に説明します。学習の到達目標は、第一に経営戦略論で繰り返し扱われるキーワードを理解し説明できること。第二に現実の企業活動を新聞やインターネットで情報収集し分析できること。第三に代表的理論アプローチを比較し、共通点と相違点を説明できることです。

授業方法と留意点
講義を教科書とプロジェクターで行いますが、途中で理解促進演習も実施します。最初の5分間、前回の復習のため理解促進小テストを実施します。理解促進のためケーススタディのプリントを配布しディスカッ

ションします。
質疑応答とディスカッションの時間を設けるため積極的な発言を求めます。
日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業の経営戦略に関する情報収集を行う習慣を身につけてください。

科目学習の効果(資格)
企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 経営戦略とは何か
【内容・方法等】 ガイダンス：講義の目的、講義概要、評価方法を提示します。

【事前・事後学習課題】 教科書第1部4「現代社会と企業」を事前に読んできてください。

第2回 【授業テーマ】 経営戦略論の基礎
【内容・方法等】 戦略論の系譜と概念を解説します。

【事前・事後学習課題】 事後に教科書第1部2「アメリカの経営学」をノートに体系的に纏めてください。

第3回 【授業テーマ】 経営戦略の内容
【内容・方法等】 ドメイン、全社戦略、事業戦略、機能別戦略を解説します。

【事前・事後学習課題】 事後に各自で事例企業を選定し経営戦略の要素を整理しておいてください。

第4回 【授業テーマ】 戦略の策定
【内容・方法等】 環境分析、資源分析、策定プロセスを解説します。

【事前・事後学習課題】 事例企業の経営戦略の構造について分析できるように整理しておいてください。

第5回 【授業テーマ】 安定期の戦略論
【内容・方法等】 成長ベクトル、多角化戦略を解説します。

【事前・事後学習課題】 安定期の企業をとりあげ、成長ベクトルで具体的に整理できるようにしてください。

第6回 【授業テーマ】 競争のメカニズム
【内容・方法等】 経済学と戦略、競争優位の源泉、多角化とシナジーを解説します。

【事前・事後学習課題】 事例企業を挙げ、多角化のシナジー効果と失敗要因を整理してください。また、課題を提示しますのでレポートを提出してください。

第7回 【授業テーマ】 競争戦略の考え方(1)
【内容・方法等】 ポジショニング・アプローチ、競争優位の構築と持続(ケーススタディ)を解説します。

【事前・事後学習課題】 5つの競争要因、3つの基本戦略、価値連鎖の説明ができるよう発表の準備をしてきてください。

第8回 【授業テーマ】 競争戦略の考え方(2)
【内容・方法等】 資源アプローチと能力アプローチ、ドメインの再定義(ケーススタディ)を解説します。

【事前・事後学習課題】 事例企業の資源と能力について抽出するための資料を準備してきてください。

第9回 【授業テーマ】 競争戦略の考え方(3)
【内容・方法等】 学習アプローチ、SWOT分析と戦略構想(ケーススタディ)を解説します。

【事前・事後学習課題】 事例企業を挙げ、企業の学習行動のプロセスをSWOT分析できるようにしてください。

第10回 【授業テーマ】 競争戦略の考え方(4)
【内容・方法等】 ゲーム・アプローチ、競争戦略と連動(ケーススタディ)を解説します。

【事前・事後学習課題】 特定業種の競合企業をとりあげ、ゲーム理論で説明できるよう発表の準備をしてきてください。

第11回 【授業テーマ】 経営戦略と組織のインタラクション
【内容・方法等】 戦略経営の考え方、計画プロセスと創発プロセスを解説します。

【事前・事後学習課題】 戦略形成と戦略実行における戦略と組織の連動を理解するため、第二部11「企業と戦略」を読んできてください。

第12回 【授業テーマ】 戦略形成プロセスとマネジメント
【内容・方法等】 経営理念、ビジョン、ミッション、経営者とリーダーシップを解説します。

【事前・事後学習課題】 経営理念と経営戦略の関係を図解で説明できるように準備してきてください。

第13回 【授業テーマ】 新事業、新製品開発の戦略と組織
【内容・方法等】 イノベーションと組織、テクノロジーとマーケティングを解説します。

【事前・事後学習課題】 企業の持続的成長と発展の重要な要因について事例企業を挙げて準備してきてください。

第14回 【授業テーマ】 現代企業の戦略課題
【内容・方法等】 外部資源活用戦略、グローバル戦略と組織を解説します。

【事前・事後学習課題】 企業間提携の事例と、グローバル企業事例を事前に選んで準備してきてください。

第15回 【授業テーマ】 近年の経営戦略論の展開と考え方
【内容・方法等】 企業の社会的戦略を解説します。

【事前・事後学習課題】 CSRと経営戦略の関係について身近な企業事例の取り組みを整理して発表できるようにして

ください。

評価方法 (基準)

定期試験 (60%)、毎回理解促進テストと演習課題 (20%)、課題レポート (20%) により総合的に評価します。

教材等

教科書…大平浩二編著 (2009) 『ステークホルダーの経営学』中央経済社 (3,200円+税)

参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

企業の成長と発展を方向づける経営戦略を学ぶことによって、自らの人生の戦略プランであるキャリア開発にもその考え方を活かします。

関連科目

経営学、経営組織論、経営管理論等

担当者の研究室等

11号館7階 (横谷研究室)

グローバルビジネス論 Global Business				
岸田 未来 (キシダ ミキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

企業活動の目的の一つは、新規市場を開拓し、既存の市場においては他社に対する支配的な地位を確立することである。本講義の目的は、そのような市場を対象とした活動の一つとして、生成・発展してきた宣伝・広告、ブランド戦略、市場調査などの多様なマーケティング活動の役割を、企業の国際的な経営活動の観点から明らかにすることである。講義では、企業による国際的なマーケティング活動を、市場環境の変化と関連付けながら体系的に理解することを目標とする。

授業方法と留意点

講義形式で行う。必要に応じて資料や映像などを使用する。

科目学習の効果 (資格)

現代企業のグローバルな経営活動を理解し、国際マーケティングに関連する諸問題について分析できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 現代企業とマーケティング活動の役割
【内容・方法 等】 講義に関するガイダンス、マーケティングとは何か、国際マーケティングの役割について
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第2回 **【授業テーマ】** マーケティング活動の歴史①
【内容・方法 等】 大量生産・大量消費社会の成立とマーケティング活動
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第3回 **【授業テーマ】** マーケティング活動の歴史②
【内容・方法 等】 管理されたマーケティング活動のはじまり、マーケティング・ミックス
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 現代マーケティングの基本概念
【内容・方法 等】 現代マーケティングにおけるSTPとマーケティング・ミックス
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 企業活動のグローバル化と国際マーケティング
【内容・方法 等】 多国籍企業の成長とマーケティング活動、国際マーケティングの特徴
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 国際マーケティングと製品政策①
【内容・方法 等】 複数国市場に対応した製品開発戦略
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 国際マーケティングと製品政策②
【内容・方法 等】 製品政策における世界同一商品戦略と現地適応化戦略
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第8回 **【授業テーマ】** 国際マーケティングと価格政策①
【内容・方法 等】 生産の多国籍化と国際価格設定
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 国際マーケティングと価格政策②
【内容・方法 等】 グローバルな価格設定の諸要因と価格政策のマネジメント
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第10回 **【授業テーマ】** 国際マーケティングと流通政策①
【内容・方法 等】 流通の国際化とグローバル・サプライチェーン
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第11回 **【授業テーマ】** 国際マーケティングと流通政策②
【内容・方法 等】 各国における流通チャネルの開拓とグローバル小売の役割

- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 配布プリントでの復習
【授業テーマ】 国際マーケティングとプロモーション政策①
【内容・方法 等】 国際プロモーション戦略の多様性
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 配布プリントでの復習
【授業テーマ】 国際マーケティングとプロモーション政策②
【内容・方法 等】 プロモーション政策における文化問題と各国の広告規制
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第14回 **【授業テーマ】** 企業の国際ブランド戦略
【内容・方法 等】 国境を越えるブランドを作り出す企業戦略とマーケティング活動
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
- 第15回 **【授業テーマ】** 新規市場の創出とマーケティング活動
【内容・方法 等】 途上国市場におけるマーケティング活動
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習

評価方法 (基準)

定期試験80%、授業中に行うミニレポート (20%) や授業参加態度 (質問、感想等) を総合的に評価する。

教材等

教科書…特になし。

参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

企業経営に関連するニュースや記事を、普段から意識的にフォローしておくことをお勧めします。

関連科目

経営学

担当者の研究室等

1号館7階 岸田准教授室 (経済学部)

グローバル経済論 International Economics				
杉本 篤信 (スギモト アツノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義のテーマは、まず、外国為替市場取引の仕組みを理解し、為替レートの決定理論を理解することである。そしてマクロ的な政策の効果は、マクロ経済学のモデルにおいて説明される。さらに国際金融市場の現状と役割について説明する。

授業方法と留意点

テキストに従った講義形式。必要に応じてプリントなどを配布。

科目学習の効果 (資格)

公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** グローバル経済論とは
【内容・方法 等】 国際経済の現状
【事前・事後学習課題】 テキストを事前に読む、配布プリントを復習
- 第2回 **【授業テーマ】** 国際貿易の基本構造 (1)
【内容・方法 等】 貿易の発生する理由、比較生産費説
【事前・事後学習課題】 テキストの第1章
- 第3回 **【授業テーマ】** 国際貿易の基本構造 (2)
【内容・方法 等】 ヘクシャー=オーリン理論
【事前・事後学習課題】 テキストの第1章
- 第4回 **【授業テーマ】** 国際貿易の基本構造 (3)
【内容・方法 等】 産業内貿易、その他の貿易理論、
【事前・事後学習課題】 テキストの第1章
- 第5回 **【授業テーマ】** 国際貿易システム
【内容・方法 等】 WTO、自由貿易協定
【事前・事後学習課題】 テキストの第2章
- 第6回 **【授業テーマ】** 経常収支とマクロ経済 (1)
【内容・方法 等】 国際収支表、経常収支、資本収支
【事前・事後学習課題】 テキストの第3章
- 第7回 **【授業テーマ】** 経常収支とマクロ経済 (2)
【内容・方法 等】 資金過不足と貯蓄・投資バランス、双子の赤字
【事前・事後学習課題】 テキストの第3章
- 第8回 **【授業テーマ】** 為替レートの理論 (1)
【内容・方法 等】 外国為替市場、為替レートの変動による影響
【事前・事後学習課題】 テキストの第3章
- 第9回 **【授業テーマ】** 為替レートの理論 (2)
【内容・方法 等】 購買力平価説
【事前・事後学習課題】 テキストの第3章
- 第10回 **【授業テーマ】** 為替レートの理論 (3)
【内容・方法 等】 アセットアプローチ
【事前・事後学習課題】 テキストの第3章
- 第11回 **【授業テーマ】** 為替レート理論 (4)
【内容・方法 等】 ファンダメンタルズとバブル、為替レート

- 変動のリスク
- 第12回 【事前・事後学習課題】 テキストの第3章
【授業テーマ】 金融のグローバル化と国際通貨システム(1)
【内容・方法等】 プレトニウッズ体制、ドル本位制
【事前・事後学習課題】 テキストの第4章
- 第13回 【授業テーマ】 金融のグローバル化と国際通貨システム(2)
【内容・方法等】 デリバティブ取引、国際金融市場のこれから
【事前・事後学習課題】 テキストの第4章
- 第14回 【授業テーマ】 グローバル化と経済開発
【内容・方法等】 貧困問題と市場経済機能、政府の役割
【事前・事後学習課題】 テキストの第5章
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
学習態度、定期試験、課題などを総合的に評価する。

教材等
教科書…「グローバル・エコノミー」 岩本武和 他 有斐閣
参考書…「国際金融入門」 岩田規久男 岩波新書
「ゼミナール国際経済入門」伊藤元重 東洋経済

学生へのメッセージ
現在の日本経済を理解するには、不可欠の知識となるであろう。普段から、新聞やテレビを通じて、現実の経済の動向には興味を持っておくこと。また、マクロ経済学、ミクロ経済学の理解が必要なので、並行して履修して下さい。

関連科目
マクロ経済学、ミクロ経済学、ベンチャーファイナンス、グローバルビジネス、経済発展論 I, II

担当者の研究室等
11号館6階(杉本研究室)
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

経営倫理I Management Ethics I				
岩田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
経営倫理学は、20世紀末になって台頭してきた比較的新しい学問分野である。また、その名称からもうかがえるように、経営学と倫理学とが融合した学際的な性格を帯びている。本講義では、1980年代以降の、経営の社会的責任の議論を辿りながら、経営倫理への関心がどのような形で高まり、その理論研究がどのように展開されてきたかを概観していく。それにより、経営倫理の必要性・重要性の認識を深めてもらいたい。

授業方法と留意点
板書を中心とした講義。

科目学習の効果 (資格)
公認会計士、税理士、中小企業診断士

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 シラバスを基に授業の進め方・留意点などを示していく
【事前・事後学習課題】 シラバスの確認
- 第2回 【授業テーマ】 経営と社会
【内容・方法等】 経営のモラルや責任が問われる社会的背景を解説する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第3回 【授業テーマ】 経営の社会的責任への基本的視角 (1)
【内容・方法等】 経営の社会的責任を支える論拠を中心にCSR理論の基本を考察する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第4回 【授業テーマ】 経営の社会的責任論への基本的視角 (2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第5回 【授業テーマ】 経営の社会的責任論への基本的視角 (3)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第6回 【授業テーマ】 経営の社会的責任論の新展開 (1)
【内容・方法等】 1980年代に台頭してきたCSP (企業の社会的パフォーマンス) をめぐる諸理論を紹介する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第7回 【授業テーマ】 経営の社会的責任の新展開 (2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第8回 【授業テーマ】 経営の社会的責任の新展開 (3)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理

- 第9回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法等】 小テストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える
- 第10回 【授業テーマ】 経営倫理学の台頭
【内容・方法等】 経営倫理学が台頭してきた背景について解説する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第11回 【授業テーマ】 経営倫理学の初期のアプローチ (1)
【内容・方法等】 経営倫理学の初期のオーソドックスな研究手法について解説する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第12回 【授業テーマ】 経営倫理学の初期のアプローチ (2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第13回 【授業テーマ】 経営倫理学の初期のアプローチ (3)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第14回 【授業テーマ】 経営倫理学の初期のアプローチ (4)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第15回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法等】 小テストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの講義の見直しとテストの準備

評価方法 (基準)
試験の成績で評価する

教材等
教科書…未定
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
連続性のある講義なので出席するのが望ましい。私語は厳禁。著しく授業を妨害する者は退出を命じる。

関連科目
経営学、経営管理論、経営組織論、企業論

担当者の研究室等
11号館8階個人研究室

経営倫理II Management Ethics II				
岩田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
主として「経営倫理I」を履修した学生を対象に、経営倫理学の最近の傾向を解説する。それにより、経営倫理への更なる理解を深めていく。

授業方法と留意点
板書中心の講義

科目学習の効果 (資格)
公認会計士、税理士、中小企業診断士

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 シラバスを基に授業の進め方・留意点などを示していく
【事前・事後学習課題】 シラバスの確認
- 第2回 【授業テーマ】 経営倫理学の転機
【内容・方法等】 1990年代半ばに新たな経営倫理学の研究手法が台頭してきた背景を解説する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第3回 【授業テーマ】 経営倫理の統合社会契約論 (1)
【内容・方法等】 経営倫理の統合社会契約論について解説する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第4回 【授業テーマ】 経営倫理の統合社会契約論 (2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第5回 【授業テーマ】 経営倫理のプラグマティズム的転回 (1)
【内容・方法等】 プラグマティックな経営倫理学の可能性を探る
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第6回 【授業テーマ】 経営倫理のプラグマティズム的転回 (2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第7回 【授業テーマ】 経営倫理のプラグマティズム的転回 (3)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
- 第8回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法等】 小テストを行う

- 【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える
- 第9回 【授業テーマ】 経営倫理と環境倫理（1）
【内容・方法等】 企業経営と地球環境問題との関係を経営倫理的に考察する
- 第10回 【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 経営倫理と環境倫理（2）
【内容・方法等】 前回の続き
- 第11回 【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 経営倫理と環境倫理（3）
【内容・方法等】 前回の続き
- 第12回 【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法等】 小テストを行う
- 第13回 【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える
- 第13回 【授業テーマ】 経営倫理と企業市民（1）
【内容・方法等】 変貌する民主主義社会における企業経営のあり方を経営倫理的に考察する
- 第14回 【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 経営倫理と企業市民（2）
【内容・方法等】 前回の続き
- 第15回 【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法等】 小テストを行う
- 【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える

評価方法（基準）

試験の成績で評価する

教材等

教科書…未定

参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ

連続性のある講義なので出席するのが望ましい。

関連科目

経営倫理Ⅰ、経営学、企業論、経営管理論、経営組織論

担当者の研究室等

1 1号館8階個人研究室

地域経営論 Management of Local Government I				
相川 康子 (アイカワ ヤスコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

人口減少社会を迎え、日本では地域間の格差が広がるとともに、大都市、地方都市、中山間地域それぞれに、高度経済成長期とは様相が異なる「都市問題」や「過疎問題」を抱えています。地域の暮らしを維持するため、さまざまな行政施策や民間事業が行われており、それらを包括的にとらえる「地域経営」の視点が、ますます重要になっています。

本講では、経済社会状況の変化や地域政策の変遷を踏まえた上で、自治体の規模ごとに、どんな課題に直面しているのか、それをどう克服しようとしているのか、を概観します。受講生が、身近な地域の歴史や現況に関心を持ち、維持や活性化の方策を考えられる知見を得ることを目指します。

授業方法と留意点

配布するレジュメや資料に沿って講義形式で行いますが、自ら考える力を養うため、学生間や学生一教員との対話を積極的に取り入れます。

科目学習の効果（資格）

地域の現状について、経済社会状況の変化や政策の変遷、基礎データなどをもとに、構造的に理解できる手法や視点を学びます。公務員志望者や地域課題に取り組む事業者への就職を考えている人、これから社会人になろうとするすべての学生の「地域人」の能力を高めます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション／導入
【内容・方法等】 この講義で学ぶこと、学習方法・評価方法なぜ「地域」が注目されるのかを、トピックを紹介しながら考える。
【事前・事後学習課題】 自分の住む地域に関心を持ち、新聞やテレビで地域にかんするニュースをチェックする。
- 第2回 【授業テーマ】 地域概念をつかむ①少子高齢化と地域間格差
【内容・方法等】 少子高齢化について、日本全体の影響と、局地的な地域への影響について、それぞれ考察する。また、それに伴う地域間格差の影響について考える。
【事前・事後学習課題】 少子高齢化が急激に進むのはどんな地

- 域なのか、どんなことになるのか、を自分なりに考察する。
- 第3回 【授業テーマ】 地域概念をつかむ②国と地方の関係、地方自治体のかたち
【内容・方法等】 中央集権と地方分権の違い。地方公共団体の多様性（都道府県と基礎自治体、政令指定都市、中核市、特例市、広域連合、一部事務組合）について理解する。
【事前・事後学習課題】 自分のまち(自治体の規模など)について調べる。
- 第4回 【授業テーマ】 地域の概要をつかむ③地域政策の変遷
【内容・方法等】 全総の「国土の均衡ある発展」から地域間競争の推奨へ。合併の背景、影響。
【事前・事後学習課題】 地域間競争のプラス面・マイナス面について考察する。
- 第5回 【授業テーマ】 地域経営のデータを集める
【内容・方法等】 公開されている統計から地域の特徴をつかむ
どこに、どんなデータがあるか等、データへのアクセスと読み解き方を学ぶ
※ミニレポート（1）
【事前・事後学習課題】 地元自治体の各種データを集め、特徴や課題を分析する→ミニレポート提出
- 第6回 【授業テーマ】 都市の経営①都市問題とはなにか
【内容・方法等】 世界の都市問題と日本の都市問題。都市間競争にかんする理論等。
【事前・事後学習課題】 海外の事情も合わせて、グローバルな視点で「都市」を理解する。
- 第7回 【授業テーマ】 都市の経営②大都市の現状を捉える
【内容・方法等】 大都市の人口構造やコミュニティの特徴、就業構造など。大都市のSWOT（強み・弱み・機会・脅威）を整理する。
【事前・事後学習課題】 身近な大都市のSWOTについて、自分なりに分析する。
- 第8回 【授業テーマ】 都市の経営③新たな環境問題
【内容・方法等】 ヒートアイランド現象やエネルギー自立、災害への脆弱性など、新たな都市問題について考える。
【事前・事後学習課題】 ヒートアイランドの緩和策について調べる。
- 第9回 【授業テーマ】 都市の経営④地方都市の現状を捉える
【内容・方法等】 急激に変化する地方都市の姿を、人口構造や就業構造からとらえる。地方都市のSWOT（強み・弱み・機会・脅威）について整理する。
【事前・事後学習課題】 身近な地方都市のSWOTについて、自分なりに分析する。
- 第10回 【授業テーマ】 都市の経営⑤地方都市の生き残り戦略
【内容・方法等】 中心市街地活性化や定住自立圏構想の背景と実際に学ぶ。特産品開発、観光戦略、子育て支援策など生き残りをかけた施策の動向を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 地域活性化方策の光と影について考える。
- 第11回 【授業テーマ】 非都市部の経営①過疎の諸側面
【内容・方法等】 中山間地域の小規模集落など従来からの過疎と、オールドニュータウンなど新たな過疎の違いについて学ぶ。
※ミニレポート（2）
【事前・事後学習課題】 身近な自治体の過疎の実態について調べる→ミニレポート提出
- 第12回 【授業テーマ】 非都市部の経営②中山間地域の現状を捉える
【内容・方法等】 中山間地域の人口構造やコミュニティの特徴、就業構造など。中山間地域のSWOT（強み・弱み・機会・脅威）を整理する。
【事前・事後学習課題】 身近な中山間地域のSWOTについて、自分なりに分析する。
- 第13回 【授業テーマ】 共通する課題①少子化時代の地域経営
【内容・方法等】 コンパクトタウン、スマートグロース、縮退などの都市政策の試み二つについて学ぶ。集落の活性化と、その対極にあるゆるやかな衰退方策について考える。
【事前・事後学習課題】 コンパクトタウンの実例について調べてみる。
- 第14回 【授業テーマ】 共通する課題②地域の持続可能性を探る
【内容・方法等】 都市農村交流の可能性。新たなまちづくりの展開、地域自治組織の再編成など。
【事前・事後学習課題】 地域社会の持続可能性について考える。
- 第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法等】 あらためて「地域とはなにか」「地域経営とはなにか」を考える。
【事前・事後学習課題】 地域の諸課題について、自分に何ができるかを考える。

評価方法（基準）

受講態度やコメントペーパーの内容（30%）

ミニレポート2回(各10%)
定期試験(50%)により評価します。

教材等

教科書…適宜、レジュメ及び資料を配布します。
参考書…宮本憲一著「日本の地方自治～その歴史と未来」自治体研究社(2600円)
川村健一+小門裕幸著「サステナブル・コミュニティ～持続可能な都市のあり方を求めて」学芸出版社(2500円)
矢作弘著「『都市縮小』の時代」角川書店(705円)

学生へのメッセージ

ここ数十年、地域は急激に変化しています。都市間競争が促され、自治体の破たんも懸念される中、地域経営の視点はますます重要になってくるでしょう。そんな地域の現状を正しく捉えるためには、過去の政策を知るとともに、必要なデータを集めて分析する作業が欠かせません。新聞記事などで地域のトピックを知ると同時に、背景や構造についても、関心を持って学んでください。

関連科目

地域経営論Ⅱ、公共経営論、NPO論、地方自治論

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

地域経営論Ⅱ Management of Local Government II				
相 川 康 子 (アイカワ ヤスコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

前期の地域経営論Ⅰで学んだ知見をもとに、地域経営の主体や手法についてさらに詳しく学びます。観光振興や就業、社会資本整備といった地域課題に対して、地域の多様な主体(個々の住民、事業者・商店、地縁団体、NPO、産業・商業団体、議会、行政等)が、どのように連携・役割分担すれば良いかを考え、ICTの活用方法についても考察します。

本講義の目的及び到達目標は、受講生が自ら地域課題の解決に向けたマネジメントのデザインを考えられるようになることです。

授業方法と留意点

テキストおよび配布するレジュメや資料をもとに講義形式で行いますが、学生間、学生-教員間の対話を重視します。

科目学習の効果(資格)

地域経営に多様な主体があることや連携の方策を学ぶことで、視野が広がり、課題解決能力が身に付きます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション/概要
【内容・方法等】 この講義で学ぶこと、学習方法・評価方法。前期の地域経営論Ⅰで学んだことの復習。
【事前・事後学習課題】 前期Ⅰの資料に目を通しておくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 地域経営の考え方
【内容・方法等】 テキスト第1章～ガバメント・ガバナンスからマネジメントへ～
なぜガバメントではなくマネジメントなのかを考察する。
【事前・事後学習課題】 テキストを熟読し、ガバメントとマネジメントの違いについて考察する。
- 第3回 【授業テーマ】 地域を経営する主体
【内容・方法等】 テキスト第2章
地域にはどんな主体があるのか。各特性、単体とネットワークの相違点、プラットフォームの機能など。
【事前・事後学習課題】 地元にはどんな団体があるのか、どんな活動を行っているのか調べてみる。
- 第4回 【授業テーマ】 地域の経営体制のパターン
【内容・方法等】 テキスト第2章の応用
英国のLSP、CIC、日本のまちづくり会社、CBなどの比較検討。
【事前・事後学習課題】 自治体の規模や特性に応じた経営体制を考えてみる。
- 第5回 【授業テーマ】 地域マネジメント①企業経営と地域経営の共通点・相違点
【内容・方法等】 「マネジメント」とは。起業経営の手法を自治体・地域の経営に活用するための注意点。
民活、PFI、指定管理者制度などの具体手法。
【事前・事後学習課題】 PFIや指定管理について調べてみる。
- 第6回 【授業テーマ】 地域マネジメント②構造を転換するために
【内容・方法等】 テキスト第3章～地域発展のためのマネジメント活動
運営と経営の違い、エリア設定の考え方など。
【事前・事後学習課題】 運営と経営の違いを、具体的にイメ

- 【事前・事後学習課題】 テキストを熟読し、マーケティングの必要性について考える。
- 第7回 【授業テーマ】 地域のマーケティング①
【内容・方法等】 テキスト第4章
地域マーケティングの顧客をどう設定するか。価値や能力をどう高めるかなど。
【事前・事後学習課題】 テキストを熟読し、マーケティングの必要性について考える。
- 第8回 【授業テーマ】 地域のマーケティング②マーケティング・マネジメント
【内容・方法等】 テキスト第4章の応用～関係性や情報共有に注目したマーケティング。
※ミニレポート(1) 身近な地域課題でマーケティングを行ってみる
【事前・事後学習課題】 ミニレポート作成→提出
- 第9回 【授業テーマ】 地域のマーケティング③地域の内発的発展、観光・交流、特産品開発
【内容・方法等】 観光・交流や特産品開発について、何のために、どのように行うのか地域経営の視点から考え、具体例を分析してみる。
【事前・事後学習課題】 観光・交流の成功事例・失敗事例を調べてみる。
- 第10回 【授業テーマ】 地域のマーケティング④社会資本や公共サービスの整備と維持
【内容・方法等】 人口減少に伴い維持や整備が難しくなってくる社会資本や公共サービスについて、地域経営の視点から考え、代替策を探る。
【事前・事後学習課題】 住民参加の社会資本整備の具体例を調べてみる。
- 第11回 【授業テーマ】 地域のマーケティング⑤地域雇用・就業戦略
【内容・方法等】 定住化のためには欠かせない雇用の受け皿の確保について、地域経営の視点からさまざまな対策を探る。企業誘致やコミュニティビジネスの起業など。
【事前・事後学習課題】 地域政策と雇用就業対策の最近の動向を調べてみる。
- 第12回 【授業テーマ】 地域のマーケティング⑥ICTの活用
【内容・方法等】 空間的距離を克服できる、とされるICTを、地域経営にどのように活用するか、先行事例から考える。
【事前・事後学習課題】 ICTを使った地域活性化のアイデアを考える。
- 第13回 【授業テーマ】 自治体のマネジメント
【内容・方法等】 テキスト第5章
政策と地域経営、職員の能力向上など。
【事前・事後学習課題】 身近な自治体の行財政改革の取り組みについて調べてみる。
- 第14回 【授業テーマ】 マネジメントの評価
【内容・方法等】 テキスト第6章 経営診断の指標、手法
定量評価と定性評価、評価の実際など
【事前・事後学習課題】 なぜ評価が必要かを、自分なりに考えてみる。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 豊かな地域社会のために
【事前・事後学習課題】 自分にとって地域経営とはなんだろうかを考える。

評価方法(基準)

受講態度(コメントペーパーの内容など): 30%
ミニレポート: 10%
期末レポート: 60%

教材等

教科書…海野進著「地域を経営する～ガバメント・ガバナンスからマネジメントへ～」同友館(2400円)
参考書…大野秀敏+アバンアソシエイツ「シュリンキング・ニッポン縮小する都市の未来戦略」鹿島出版会(2800円)

学生へのメッセージ

自治体や地域の経営にも「効率化」が求められていますが、民間に丸投げしたり、費用対効果だけで判断したりするのではなく、公共を意識したマネジメントが求められます。なにが本質なのか、皆さんと議論しながら深めていきたいと思います。

関連科目

地域経営論Ⅰ、公共経営論、NPO論、地方自治論

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

環境ガバナンス論 Environmental Governance				
山 本 芳 華 (ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	0	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

環境問題は一個人や一組織だけでは解決できない問題であり、

社会の中でさまざまな主体の協働と連携が必要である。この授業では、環境問題解決のためにどのような組織がどのような役割を担っているのかを明確にしたうえで、環境ガバナンスとは何かを考える。最終的には、環境問題解決のために自分の立場から、どのようなことができるのかを考える能力を習得することを目的とする。

授業方法と留意点

板書を中心とするのでしっかりとノートを取ることを。この授業では、自らがインターネットや文献、新聞資料などを検索して課題を作成することになります。授業中に配布した資料は自己管理してください。

科目学習の効果（資格）

社会人として環境経営・環境政策を理解する上での必須知識と政策論の習得。環境部門担当者には必須知識の取得をめざす。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** はじめに
【内容・方法 等】 授業概要の説明
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第2回 **【授業テーマ】** 環境問題とは
【内容・方法 等】 現在の環境問題の多様化複雑化、さまざまな政策種類、企業や市民との連携の重要性
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第3回 **【授業テーマ】** 公害時代から環境問題の時代へ
【内容・方法 等】 公害問題から地球環境問題への変遷と現在の状況について
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第4回 **【授業テーマ】** 私たちの生活と環境問題
【内容・方法 等】 私たちの生活と環境問題（水、廃棄物、交通問題、化学物質、環境教育など）
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第5回 **【授業テーマ】** 地球環境問題の現状
【内容・方法 等】 地球環境問題とはどのようなものなのか、現状の把握
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第6回 **【授業テーマ】** 市民と環境問題
【内容・方法 等】 市民活動、NPOの活躍、私たち一市民にできること
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第7回 **【授業テーマ】** 企業と環境問題（1）
【内容・方法 等】 公害問題時代における企業の対応
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第8回 **【授業テーマ】** 企業と環境問題（2）
【内容・方法 等】 地球環境問題と経済問題、企業の自主的な対応促進
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第9回 **【授業テーマ】** 企業と環境問題（3）
【内容・方法 等】 企業における更なる取組の最新事例について
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第10回 **【授業テーマ】** 国における政府の役割
【内容・方法 等】 環境省、環境法制度、さまざまな経済的手法など
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第11回 **【授業テーマ】** 地域における地方自治体の役割
【内容・方法 等】 地方分権時代における環境対応、自治体の最新事例について
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第12回 **【授業テーマ】** 国際的な取り組みの現状について
【内容・方法 等】 実務家による具体的事例の報告
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第13回 **【授業テーマ】** 私たち自身はどのような役割を担うべきか
【内容・方法 等】 一市民として、将来の社会人として何ができるか
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第14回 **【授業テーマ】** ガバナンスとは
【内容・方法 等】 これまでの授業を振り返り、ガバナンスとはどのようなものであるのかを各主体とのかかわりで具体的な事例から考える
【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ

【内容・方法 等】 授業全体のまとめ

【事前・事後学習課題】 授業内容にかかわる新聞記事を切り抜いて感想文を提出

評価方法（基準）

随時提出を求める事前事後課題と授業での発表、期末試験を勘案して総合的に評価する。

教材等

教科書…石川宗孝編著 『環境読本』 電気書院
配布資料

参考書…授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ

現在の環境問題は、誰もが加害者になり、被害者になりうる問題です。そのため環境問題解決のためには、さまざまな主体を取りまとめることが重要となります。この授業を通じて日常生活の中でガバナンスとは何なのかを考えるきっかけにしてほしいです。

関連科目

環境マネジメントシステム、地域と環境法、地球温暖化問題と経営、環境と経営

担当者の研究室等

11号館8階（山本准教授室）

地域と国際ビジネス Regional International Business				
山本芳華(ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現在どのような企業であっても国際ビジネスを切り離しては、成立しない世の中になってきている。この授業においては、とくに地域ということでは自らが生活する基盤である関西を事例として取上げてどのようなビジネスが国際的に行われているかを習得する。こうしたケーススタディの中で、地域企業がどのように国際的に活躍していけばよいのか、さらには地域全体としてこうした国際化の流れの中で経済をとらえるのかについて自ら考えられる能力を得ることを最終目標とする。

授業方法と留意点

この授業では、自らがインターネットや文献、資料などを検索して課題を作成することになる。授業中に配布した資料は必ずファイルしておくこと。ビジネス上で求められる基礎的な能力の習得もあわせてめざす。

科目学習の効果（資格）

現在の地域産業の特徴をとらえ、将来に向けた国際的ビジネスの素養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** はじめに
【内容・方法 等】 授業概要の説明、地域の特性と国際ビジネスについて
【事前・事後学習課題】 国際ビジネスについての関連情報をインターネットから収集してレポートを作成し提出する
- 第2回 **【授業テーマ】** 地域とはなにか
【内容・方法 等】 アジア、東アジア、日本、関西など
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第3回 **【授業テーマ】** 国際ビジネスの種類と特性（1）
【内容・方法 等】 国際的なビジネス展開をしている組織について 多国籍企業、日本企業
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第4回 **【授業テーマ】** 国際ビジネスの種類と特性（2）
【内容・方法 等】 中国、韓国、日本、台湾を中心とした国際ビジネスの現状
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第5回 **【授業テーマ】** 国際ビジネスの種類と特性（3）
【内容・方法 等】 ASEAN諸国、インドとの国際ビジネス
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第6回 **【授業テーマ】** 国際ビジネスの種類と特性（4）
【内容・方法 等】 輸出中心の国際ビジネスからの展開
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第7回 **【授業テーマ】** 世界の中の日本企業
【内容・方法 等】 さまざまな企業の国際ビジネス事例～多国籍企業事例、商社事例など
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第8回 **【授業テーマ】** 関西地域における産業特性について
【内容・方法 等】 関西地域の産業特性と経済力
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第9回 **【授業テーマ】** 地域と国際ビジネス（1）
【内容・方法 等】 地域に求められる国際競争力
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第10回 **【授業テーマ】** 地域と国際ビジネス（2）
【内容・方法 等】 地域特性と産業構造について

- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 地域と国際ビジネス (3)
【内容・方法等】 地域特性を国際ビジネスに展開させるために
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 地域と国際ビジネス (4)
【内容・方法等】 実務家による具体的事例報告
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 私たちの生活と国際ビジネス
【内容・方法等】 事例調査
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 ビジネスモデルの作成
【内容・方法等】 地域特性からみた国際的なビジネスモデルの構築を考える
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 講義のまとめ

評価方法 (基準)
随時提出をもとめる事前事後課題、さらには授業での発表などと期末試験を勘案して総合評価する。

教材等
教科書…配布資料
参考書…授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ
地域に根づく企業が特性を活かして国際的に活躍するケースは少なくありません。この授業を通じて、地域の中で信念を持って活動する企業が、世界でも活躍できることを知ってもらえればと思います。

関連科目
地域産業論
担当者の研究室等
11号館8階 (山本准教授室)

環境マネジメントシステム Environmental Management System				
山本 芳華 (ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
現在、組織における自発的な環境問題への取組が求められている。この授業では企業や自治体などの組織が取り組んでいる環境マネジメントシステムとはどのようなシステムであるのかという基礎知識と共に、システム構築にあたりどのような点が重要であるのかを学ぶ。マネジメントシステムの一部を自らで作成することによって、システム内容を体得する。また、組織の中で環境マネジメントシステムがどのような位置づけになっているかを企業事例を考察しながら学び、政策との関連を学ぶ。

授業方法と留意点
授業では、実際に自分でマネジメントシステムを構築します。そのため、授業でもとめられる課題提出は必ず提出してください。また、事業中に配布する資料はかならず自分でファイルして管理をしておいてください。

科目学習の効果 (資格)
企業組織における環境マネジメントシステムの基礎知識を得ると共に、その組織経営への活用方法を習得する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業概要
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第2回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムとは何か
【内容・方法等】 環境マネジメントシステムの基礎
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第3回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの背景
【内容・方法等】 ISO14001の背景と成り立ち
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第4回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法等】 計画項目について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第5回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法等】 運用項目について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第6回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法等】 チェック項目について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第7回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法等】 監査について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出

- 第8回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法等】 経営層の見直しについて
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第9回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法等】 監査模擬実習
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第10回** 【授業テーマ】 企業における環境マネジメントシステムの実際
【内容・方法等】 企業ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第11回** 【授業テーマ】 自治体における環境マネジメントシステムの実際
【内容・方法等】 自治体ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第12回** 【授業テーマ】 ISO14001以外の環境マネジメントシステム規格
【内容・方法等】 エコアクション21、エコステージ、KES、ISO14005
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第13回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステム認証審査システム
【内容・方法等】 認証組織の仕組みと今後の課題
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第14回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムと私たち
【内容・方法等】 一市民として、将来の社会人として自分とのかかわり
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第15回** 【授業テーマ】 中間まとめ
【内容・方法等】 中間まとめと今後の授業について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第16回** 【授業テーマ】 企業の中の環境マネジメントシステムの位置づけ
【内容・方法等】 CSRでの環境問題の位置づけ、企業経営の中での環境問題
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第17回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステム構築による効果
【内容・方法等】 環境マネジメントシステムを構築することによるメリットデメリット
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第18回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステム規格認証取得による効果
【内容・方法等】 グリーンサプライヤーチェーン、入札条件、PR効果など
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第19回** 【授業テーマ】 認証制度のあり方について
【内容・方法等】 現在の国際標準化機構を中心とした国際規格の流れについて
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第20回** 【授業テーマ】 国内環境マネジメントシステムの現状について
【内容・方法等】 多様な環境マネジメントシステムの連携と協力体制
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第21回** 【授業テーマ】 環境報告書から見た企業の環境活動
【内容・方法等】 環境報告書の取り寄せと環境マネジメントシステムの位置づけ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第22回** 【授業テーマ】 環境報告書から見た企業の環境活動
【内容・方法等】 報告書の中の環境指標について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第23回** 【授業テーマ】 企業の社会的責任
【内容・方法等】 CSR時代における企業の環境マネジメントシステム
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第24回** 【授業テーマ】 企業の自主的取り組みを活用する環境政策
【内容・方法等】 地球温暖化対策、欧州排出権取引制度
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第25回** 【授業テーマ】 企業における環境マネジメントシステムの実際例
【内容・方法等】 ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第26回** 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムと環境政策事例
【内容・方法等】 ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第27回** 【授業テーマ】 自分たちの生活の中での環境マネジメントシステム (1)
【内容・方法等】 自分たちがどのように環境マネジメントシステムを役立てられるか考える
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 第28回** 【授業テーマ】 自分たちの生活の中での環境マネジメントシステム (2)
【内容・方法等】 自分たちがどのように環境マネジメントシステムを役立てられるかについて、PDCAの概念を使ってシステムモデルを構築する
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出

第29回 【授業テーマ】 自分たちの生活の中での環境マネジメントシステム（3）
 【内容・方法等】 自分たちがどのように環境マネジメントシステムを役立てられるかについて、PDCAの概念を使ってシステムモデルを構築する
 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
 第30回 【授業テーマ】 まとめ
 評価方法（基準） 事前事後課題やレポート、期末試験などを総合して評価する。

教材等

教科書…配布資料
 参考書…石川宗孝編著 『環境読本』 電気書院
 その他は授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ

環境マネジメントシステムの基礎知識の下に、「ISO14001認証取得」の本当の意味を学んでほしいです。その上で、これらのシステムをどのようにしたら社会の中で活用できるかを自らで考えられる力を養ってもらえればと思います。

関連科目

地域と環境法

担当者の研究室等

11号館8階（山本准教授室）

公共経営論 Public Management				
荒川 俊雄 (アラカワ トシオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

公共経営（自治経営）は、地域・公共サービスのあり方、地域・公共部門の組織運営管理についての学問です。経営は、民間企業の経営だけを考えがちですが、私たちの日常生活に大きく関わっている公共サービスの提供についても経営を意識することが必要です。地域における活動は自治体だけでなく、様々な組織によって展開されており、その組織運営管理の巧拙がまちづくりや市民生活等に大きく影響します。この授業では、公共サービスのあり方、提供手法や公共経営の革新と今後の展開について考え、地域社会に関心を持つことから、市民や社会人としての役割と自治体の運営責任を学びます。

授業方法と留意点

配布するレジュメ、資料と参考書に沿って講義形式で行いますが、できるだけ対話等により双方向的に進めることをめざし、自分で考え、その考えをまとめる能力の育成を図ります。また、一部映像等により実践事例を学びながら進めます。

科目学習の効果（資格）

公共部門やその他の組織における組織運営の手法、改革、展望を学ぶことにより、公務員志望者や企業に参画する人の活動に役立つとともに、地域人としての基礎力を高めます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
 【内容・方法等】 この講義で学ぶこと
 学習方法・評価方法
 公共とは
 【事前・事後学習課題】 自分の住む地域や自治体に関心を持ち、新聞を読む習慣をつけてください。
- 第2回 【授業テーマ】 公共経営
 【内容・方法等】 公共経営とは
 公共サービス
 公共サービスの行政サービス化
 【事前・事後学習課題】 自分はどのような公共サービスを受けているか考える。
- 第3回 【授業テーマ】 人と地域
 【内容・方法等】 人々と地域とのつながり
 人々と共同体との関わり
 まちづくり
 【事前・事後学習課題】 自分の行動範囲のまちの様子を観察し、素敵なところ、不便なところを考える。
- 第4回 【授業テーマ】 公共経営の主体
 【内容・方法等】 公共経営の担い手
 市民と自治体の関係
 市民の参加・参画・協働
 【事前・事後学習課題】 行政の行事等に参加した経験を考える。
- 第5回 【授業テーマ】 地方分権
 【内容・方法等】 地方自治とは
 地方分権・地域主権
 分権改革後の自治体
 【事前・事後学習課題】 地方分権改革について、総務省ホームページ等で、その基礎を学んでおく。
- 第6回 【授業テーマ】 市町村合併

- 【内容・方法等】 市町村合併の背景・特徴
 市町村合併の功罪
 基礎的自治体のあり方
 【事前・事後学習課題】 自分の住む自治体は合併したか、否か、その結果今どうなのかについて考える。
- 第7回 【授業テーマ】 公共組織の課題と展開
 【内容・方法等】 組織理論
 官僚組織
 組織ガバナンス
 【事前・事後学習課題】 自分の住む自治体の組織を調べておく。
- 第8回 【授業テーマ】 公共サービスの揺らぎ
 【内容・方法等】 公共サービスの再編成
 公共経営をめぐる課題と解決手法
 民間との連携
 【事前・事後学習課題】 身近なところで公共サービスが民営化されている例を探してみる。
- 第9回 【授業テーマ】 公共経営と改革
 【内容・方法等】 NPMによる公共経営
 行政改革
 自治体行政の改革を
 【事前・事後学習課題】 行政の改革について考えておく。
- 第10回 【授業テーマ】 行政計画の歴史と展開
 【内容・方法等】 行政計画とは
 戦後日本の計画行政の展開
 自治体総合計画とその展開
 【事前・事後学習課題】 自分の住む自治体の総合計画について調べておく。
- 第11回 【授業テーマ】 政策形成
 【内容・方法等】 政策とは
 自治体の政策形成
 政策形成の主体
 【事前・事後学習課題】 新聞等により政策とその展開について考えておく。
- 第12回 【授業テーマ】 公共意見の合意形成
 【内容・方法等】 地域の課題と合意形成
 公共社会での意思決定
 議会とその役割
 【事前・事後学習課題】 自分の意見は公共・公共的組織に反映されているか、について考えておく。
- 第13回 【授業テーマ】 公共経営の革新
 【内容・方法等】 行政の改革
 NPM改革の効果と限界
 市民との関係改革
 【事前・事後学習課題】 国や自治体はどのように改革を進めているかについて調べておく。
- 第14回 【授業テーマ】 公共経営の展開
 【内容・方法等】 人の生活と自治
 新しい公共
 豊かな市民社会
 【事前・事後学習課題】 自分の生活がどのような社会的仕組みに関わっているかを考える。
- 第15回 【授業テーマ】 総括
 【内容・方法等】 まとめ
 【事前・事後学習課題】 自分と公共経営の関わりについて整理しておく。

評価方法（基準）

意見提出書・受講状況（25%）、定期試験（75%）により評価します。

教材等

教科書…適宜、レジュメ及び資料を配布します。
 参考書…公共経営論 宮脇 淳著 P H P 研究所 1890円
 自治体経営改革（自治体改革2）武藤博己編著 ぎょうせい3000円
 その他必要に応じて指示します。

学生へのメッセージ

誰もが関わりをもつ地域社会、その地域社会のまちづくりや地域公共部門における組織運営の手法、改革、展望を学びながら、地域人や社会人に求められる意思決定や行動の基礎力について一緒に探求しましょう。

関連科目

経営学、地域経営論Ⅰ・Ⅱ、NPO論

担当者の研究室等

11号館6階（経営学部事務室）

NPO論 Non Profit Organization				
古村 公久 (コムラ キミヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

地球環境・貧困・少子高齢化・コミュニティ開発といった社会的課題に対するNPO（非営利組織）の存在意義が増している状況を踏まえて、本講義ではまず、サードセクターとは何か、なぜ生まれたのか、その活動の結果社会はどうなるのか、といった理論的な枠組みを説明する。そのうえで、サードセクターとしてのNPOの意義や特徴などを確認する。次に、企業経営と比較しながら、NPOのマネジメントに関する基礎論点について、具体的な事例とあわせて検討する。最後に、社会的課題に対するNPOの可能性を考察する。

以上の検討を通じて、「企業社会を多面的に捉える眼」を修得することを最終目標とする。

授業方法と留意点

本講義では、レジュメをベースに参考書で補足しながら講義を行い、途中でレポートを課す予定である。また、コミュニケーションペーパーを兼ねた小テストを不定期に実施し、理解度を確認していく。理解度に応じてシラバスの変更をすることもある。

科目学習の効果（資格）

現代の企業社会を大局的な視野から捉えて、課題を発掘・解決できるような分析能力の修得に有効である。また、新たなビジネスチャンスの発見にも役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法 等】 本講義のガイダンスを行いながら、講義の全体像を示す。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：全体スケジュールの確認
- 第2回 **【授業テーマ】** <モジュールⅠ>
NPO事例（国内）
【内容・方法 等】 具体的な事例を通じて、NPO設立にかかる想い、支える人々の存在、活動実態などを知る。
【事前・事後学習課題】 事前：インターネット等によるNPO情報の検索
事後：事例を通じたNPO概論の復習
- 第3回 **【授業テーマ】** NPO概論
【内容・方法 等】 現代における社会的課題を示し、その解決の担い手として期待されるサードセクターという概念を検討する。また、NPOの具体的なイメージを確認したうえで、NPOの意義・特徴・類型などを整理する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：サードセクター・NPOに関わる情報収集・論点整理
- 第4回 **【授業テーマ】** <モジュールⅡ>
NPOのマネジメント（1）
P（計画）：組織・戦略設定に関わる論点
【内容・方法 等】 NPOのマネジメントに関するポイントを確認する。また、ミッションやドメインなどの戦略の基礎概念を示し、中期計画などの長期戦略策定プロセスにおける論点を整理する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：PDCAサイクルの概要整理、戦略策定プロセスの整理
- 第5回 **【授業テーマ】** NPOのマネジメント（2）
D（実施）：活動基盤の構築に関わる論点
【内容・方法 等】 NPOにとっての資金調達の意味と多様な資金源の特徴を整理する。また、NPOの資金調達プロセスを示したうえで、効果的に資金調達するための留意点を示す。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：資金調達に関わる論点整理
- 第6回 **【授業テーマ】** NPOのマネジメント（3）
D（実施）：活動基盤の構築に関わる論点
【内容・方法 等】 NPOの資金源としての事業収入に着目し、効果的に資金調達するための留意点を示す。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：資金調達（特に事業収入）に関わる論点整理
- 第7回 **【授業テーマ】** 確認作業（1）
【内容・方法 等】 課題に対するレポート作成を通じて、知識の定着を図る。
【事前・事後学習課題】 事前：講義の復習
事後：レポート作成内容の確認
- 第8回 **【授業テーマ】** NPOのマネジメント（4）
D（実施）：効果的な組織運営に関わる論点
【内容・方法 等】 組織文化論・モチベーション論の概要を示したうえで、NPOにおける人材マネジメントのあり方について、ボランティアマネジメントを中心に検討する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：モチベーション論やボランティアマネジメントの課題整理
- 第9回 **【授業テーマ】** NPOのマネジメント（5）
D（実施）：資源戦略遂行に関わる論点
【内容・方法 等】 企業の社会的責任（CSR）という概念を説明し、NPOと企業の連携のレベルを3つに整理したうえで、連携に関する諸課題を検討する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：CSR概念、組織間の連携に関わる課題の整理
- 第10回 **【授業テーマ】** NPOのマネジメント（6）
C&A（評価・改善）に関わる論点

【内容・方法 等】 伝統的な企業評価の基礎を確認したうえで、NPO評価の意義・種類・手法、プロセスなどを説明し、評価を活かした改善活動を検討する。

【事前・事後学習課題】 事前・事後：組織評価に関わる論点整理

- 第11回 **【授業テーマ】** 確認作業（2）
【内容・方法 等】 課題に対するレポート作成を通じて、知識の定着を図る。
【事前・事後学習課題】 事前：講義の復習
事後：レポート作成内容の確認
- 第12回 **【授業テーマ】** <モジュールⅢ>
NPOの可能性（1）
【内容・方法 等】 具体的な事例を通じて、「国際的な社会的課題」が身近に存在することを知る。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：インターネット閲覧
- 第13回 **【授業テーマ】** NPOの可能性（2）
【内容・方法 等】 社会的課題に対してビジネスの手法を活用して取り組む社会的企業の存在について検討したうえで、社会的企業の要件・活動領域・組織形態などを整理する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：社会的企業の概念整理
- 第14回 **【授業テーマ】** NPOの可能性（3）
【内容・方法 等】 ソーシャルイノベーションの創出や普及に関わるプロセスを整理する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後：ソーシャルイノベーションに関わる論点整理
- 第15回 **【授業テーマ】** 確認作業（3）
【内容・方法 等】 課題に対するレポート作成を通じて、本講義全体を振り返り、知識の定着を図る。
【事前・事後学習課題】 事前：講義全体の復習
事後：レポート作成内容の確認

評価方法（基準）

レポートを中心に、小テスト・その他受講態度などを総合的に勘案して評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。
参考書…特に指定しない。

学生へのメッセージ

本講義では、経営管理論（組織論・戦略論）・ファイナンス理論（特に企業財務論）などの経営学一般の知識が必要になります。それらのエッセンスについては解説を加えるよう配慮する予定ですが、学生側にもそれなりの努力が必要になります。学習意欲のある学生の参加を前提に講義をします。なお、座席指定を行う予定です。
また、初回のガイダンスには必ず出席すること。正当な理由なくガイダンスを欠席する学生は大幅に減点します。

関連科目

経営学、経営組織論、戦略論、企業論、公共経営論など

担当者の研究室等

11号館8階(共同研究室)

備考

理解を促進するために、映像教材を積極的に取り入れ、場合によってはNPOの経営者をゲストスピーカーとしてお招きして議論する機会を設けたりすることもある。

地域産業論 Regional Industries				
内田 勝巳 (ウチダ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本の地域産業は経済のグローバル化や人口減少社会の進展により構造変化を迫られている。本授業では、地域経済学における産業立地と集積の理論、地域経済構造と地域振興策の概要を理解した上で、日本の製造業が直面している課題とその対応策について考察する。地域産業に関する理論・実態・政策を有機的に捉え考察する力を身につけることを目的とする。

授業方法と留意点

10回までは教科書に基づく講義。12回目以降は、経済産業省の製造基盤白書（ものづくり白書）を参考に、日本の製造業の現状と課題につき地域産業振興の視点から考察を行う。

科目学習の効果（資格）

公務員試験・資格試験に役立つ知識が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** グローバル化と地域経済
【内容・方法 等】 授業の進め方および日本の地域産業の現状について説明する。
【事前・事後学習課題】 地域経済学入門の復習
- 第2回 **【授業テーマ】** 産業構造の変化と地域構造
【内容・方法 等】 日本標準産業分類、ベティ＝クラークの法

則、シフト・シェア分析、スロー効果について解説する。

- 第3回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 地域の産業連関分析
【内容・方法等】 大阪府の産業連関表を事例に解説する。
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 地域間の交易
【内容・方法等】 比較優位（リカードモデル、ヘクシャー＝オリーンモデル）、地域間交易の経済効果について解説する。
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 産業立地論（Ⅰ）
【内容・方法等】 ウェーバーの工業立地論について解説する。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 産業立地論（Ⅱ）
【内容・方法等】 ホテリングの空間的競争モデルについて解説する。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 産業集積の理論
【内容・方法等】 マーシャルの外部経済、収穫逦増について解説する。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 都市システム
【内容・方法等】 商圏分析、中心地理論について解説する。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 前半のまとめ
【授業テーマ】 都市の形成・発展の要因
【内容・方法等】 比較優位、集積の利益、社会資本について解説する。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 日本の地域政策
【内容・方法等】 全国総合開発計画、産業クラスター戦略について解説する。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 前回の復習とまとめ
【授業テーマ】 復習と中間試験
【内容・方法等】 1回から10回までの内容のまとめと中間試験を行う。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 事前に、10回までの内容を復習すること
【授業テーマ】 日本の製造業の動向
【内容・方法等】 製造業の動向、雇用・労働の現状について解説する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
【授業テーマ】 日本の製造業が直面する課題と展望
【内容・方法等】 構造変化と企業のビジネスモデルの変化、現場力とマザー機能、新たな展開について解説する。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
【授業テーマ】 製造基盤強化のための人材育成
【内容・方法等】 中核人材の確保・育成状況と課題、中核人材の育成支援・促進の施策について解説する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
【授業テーマ】 製造基盤を支える教育・研究開発
【内容・方法等】 人材育成における教育の役割、教育・文化の基盤、研究開発の推進について解説する。

評価方法（基準）

中間試験30%、期末試験50%、授業での課題提出及び授業態度20%の割合で総合的に評価する。ただし、欠席が4回以上ある場合には、成績評価しない。

教材等

教科書…山田浩之・徳岡一幸 編著『地域経済学入門（新版）』有斐閣 2007（2,300円＋税）
経済産業省『2013年版ものづくり白書』（2013年6月発行 見込）（<http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/index.html>からダウンロード）
このほか、必要に応じて講義資料を配布。

参考書…松原 宏『産業立地と地域経済』財団法人 放送大学教育振興会（3,000円＋税）

学生へのメッセージ

1年次に学習した「地域経済学入門」を「地域産業」の視点から再レビューした上で、経済産業省の製造基盤白書（ものづくり白書）を参考として、地域産業振興について、課題提出を通じて考えながら学びます。

関連科目

地域経済入門、都市経済論、関西経済論

担当者の研究室等

1号館7階 内田教授室（経済学部）

環境倫理 Environmental Ethics I				
有馬善一（アリマゼンイチ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「地球環境問題」という言葉が端的に表しているように、現代の環境問題はまさに地球規模で起きている。この講義では自然環境の問題を中心に、現代の文明・社会がどのような問題を抱えているかを取り上げる。地球温暖化、森林破壊、水と食糧の問題などどれも深刻で簡単に解決できないものであるが、現状を知ることなしにはその解決もおぼつかない。まずは、我々の置かれている現状を知って欲しいと思う。

授業方法と留意点

テキストを用いない「ノート講義」方式。適宜プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

現代社会が直面している地球問題を理解することは、これからの社会を担う若者にとって欠かすことのできない教養であろう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 授業への導入
【内容・方法等】 ・環境と倫理
・環境と人間
・環境問題へのアプローチの基本
【事前・事後学習課題】 地球とは何か？どのように説明するか。自分の考えをまとめてくる。
- 第2回** 【授業テーマ】 生態系の問題（Ⅰ）
【内容・方法等】 ・生態系に関する基礎的知識
・マイクロゾウムと生態系
【事前・事後学習課題】 生態系、マイクロゾウムについて調べておく。
- 第3回** 【授業テーマ】 生態系の問題（Ⅱ）
【内容・方法等】 ・生態系におけるストックとフロー
・「自然」の生態系と人工的生態系
【事前・事後学習課題】 配布離礁を参照すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 ガイア理論をめぐる（Ⅰ）
【内容・方法等】 ・ガイア理論と地球システム論
・人間の生態系における位置とガイアの「意志」
【事前・事後学習課題】 ガイア理論について調べておく。
- 第5回** 【授業テーマ】 ガイア理論をめぐる（Ⅱ）
【内容・方法等】 ・マイクロゾウムとガイア
・生態系の破壊と種の絶滅の帰結
【事前・事後学習課題】 ガイア理論に対する自分なりの評価をまとめる。
- 第6回** 【授業テーマ】 公害問題の過去と現在（Ⅰ）
【内容・方法等】 ・公害問題とは何か
・日本における「四大公害問題」と世界の公害問題
【事前・事後学習課題】 四大公害とは何かを調べておく。
- 第7回** 【授業テーマ】 公害問題の過去と現在（Ⅱ）
【内容・方法等】 ・公害問題の原型としての水俣病
・近年の公害問題（ヒートアイランド現象、酸性雨）
【事前・事後学習課題】 ヒートアイランド現象、酸性雨について調べておく。
- 第8回** 【授業テーマ】 公害問題から地球環境問題へ
【内容・方法等】 ・公害問題の地理的拡大と地球環境問題
・オゾンホールとフロンガス規制
【事前・事後学習課題】 地球環境問題にはどんなものがあるか調べておく。
- 第9回** 【授業テーマ】 地球温暖化問題（Ⅰ）
【内容・方法等】 ・地球温暖化とは何か
・地球温暖化を巡る論争
【事前・事後学習課題】 地球温暖化についてニュースを検索しておく。配付資料を参照。
- 第10回** 【授業テーマ】 地球温暖化問題（Ⅱ）
【内容・方法等】 ・国際政治と二酸化炭素排出規制
・京都議定書と今後の国際交渉の行方
【事前・事後学習課題】 COP、IPCCについて調べておく。
- 第11回** 【授業テーマ】 地球温暖化問題（Ⅲ）
【内容・方法等】 ・日本の地球温暖化問題にたいするこれまでの対応
・今後の課題
【事前・事後学習課題】 日本の地球温暖化問題への対応について自分の考えをまとめる。
- 第12回** 【授業テーマ】 森林破壊の問題
【内容・方法等】 ・森林破壊と文明の興亡
・現代における森林破壊の進行と森林再生への可能性
【事前・事後学習課題】 配付資料を参照。
- 第13回** 【授業テーマ】 人口問題と地球環境
【内容・方法等】 ・20世紀の人口爆発
・南の貧困と食糧危機
【事前・事後学習課題】 配付資料を参照。
- 第14回** 【授業テーマ】 農業と水の問題
【内容・方法等】 ・農業の産業化と農業の問題
・将来の農業の危機
・水を巡る戦争
【事前・事後学習課題】 日本の農業について自分なりの考えをまとめてくる。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 ・講義のまとめ

【事前・事後学習課題】 これまでの講義ノートをまとめておく。
評価方法 (基準)
 ・講義内容に沿ってレポートを作成してもらおう。課題は適宜指示する。
 ・期末試験を実施。
 ・授業態度 (正当な理由のない欠席、遅刻・途中退席・私語・携帯電話の使用) も評価の対象とする。

教材等
教科書…なし
参考書…『地球生命圏ーガイアの科学』 ラブロック 工作舎 (2520円)

学生へのメッセージ
 人間が自然とともに生きるためにはどうしたらいいのか。なかなか難しい問題ですが、ともに考えていきましょう。

関連科目
 環境倫理Ⅱ
担当者の研究室等
 11号館7階(有馬准教授室)

環境倫理Ⅱ Environmental Ethics Ⅱ				
有馬善一 (アリマ センイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 いわゆる日本の高度成長期には「消費は美德」という言葉が流行した。「大量生産／大量消費社会」を賛美したものである。しかし、現在ではこれはもはや死語である。代わって、時代をリードしているのは「Mottainai」(もったいない) であるが、現代社会は本当にエコロジーを主軸に転換することに成功しているだろうか。この講義では、20世紀の半ば以降、今日に至るまで社会を動かしている経済のシステムを理解した上で、それを変革するための道を探る。

授業方法と留意点
 テキストを用いない「ノート講義」方式。適宜プリントを配布する。

科目学習の効果 (資格)
 現代社会の根幹をなす資本主義を理解することによって、自分たちが混沌の時代に生きていること、また、これにどう対処すべきかのヒントが得られるはず。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 授業への導入
【内容・方法 等】 ・現代=近代の特徴とは何か
 ・〈熱い〉社会と〈冷たい〉社会 (レヴィ=ストロース)
 ・資本主義と成長の「神話」
【事前・事後学習課題】 現代社会の特徴と問題点を自分なりに考えてみる。
- 第2回** **【授業テーマ】** 資本主義社会の成立 (1)
【内容・方法 等】 ・冒険商人と資本家
 ・「倫理」としての資本主義 (マックス・ウェーバー)
【事前・事後学習課題】 配付資料について自分なりの考えをまとめる。
- 第3回** **【授業テーマ】** 資本主義社会の成立 (2)
【内容・方法 等】 ・恋愛と贅沢と資本主義 (ゾンバルト)
 ・禁欲的生産と享楽的消費の関係
【事前・事後学習課題】 ウェーバーとゾンバルトの着眼点の違いを整理して、現代の商品開発に当てはめてみる。
- 第4回** **【授業テーマ】** 古典的資本主義の限界と現代資本主義
【内容・方法 等】 ・資本主義の帰結としての恐慌と帝国主義
 ・現代資本主義の登場 (フォードとGMの経営戦略)
【事前・事後学習課題】 『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。
- 第5回** **【授業テーマ】** 現代資本主義社会の特徴
【内容・方法 等】 ・大量生産／大量消費社会
 ・情報化／消費化社会におけるゆたかさ
【事前・事後学習課題】 『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。
- 第6回** **【授業テーマ】** 産業の文明論的進化と情報化社会
【内容・方法 等】 ・梅棹忠夫の「情報産業論」
 ・情報化と脱工業化
 ・情報化と消費化
【事前・事後学習課題】 『情報の文明学』の該当箇所を読んでおく。
- 第7回** **【授業テーマ】** 情報化と人間社会
【内容・方法 等】 ・インターネットの発達とコミュニケーションの変質
 ・ネット社会の光と影
【事前・事後学習課題】 ネット社会の問題点を自分なりに考えてくる。

- 第8回** **【授業テーマ】** 大衆社会と消費文化
【内容・方法 等】 ・社会の大衆化と文化としての消費
 ・情報の消費としてのマス・コミュニケーション
 ・消費と消尽 (バタイユ)
【事前・事後学習課題】 社会の大衆化によって形成されてきた消費文化の事例を考えてみる。
- 第9回** **【授業テーマ】** 現代社会の「外部問題」(1)
【内容・方法 等】 ・経済システムと物理システム
 ・資源・エネルギーと環境の経済的「価値」
【事前・事後学習課題】 『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。
- 第10回** **【授業テーマ】** 現代社会の「外部問題」(2)
【内容・方法 等】 ・貨幣の謎とアントロピー
 ・エコロジー経済学の可能性
【事前・事後学習課題】 エントロピー概念についての資料を理解する。
- 第11回** **【授業テーマ】** 現代社会の「外部問題」(3)
【内容・方法 等】 ・社会システムの限界としての「共有地の悲劇」
 ・外部問題としての南北問題
 ・途上国の人口爆発と先進国の少子高齢化
【事前・事後学習課題】 「共有地の悲劇」について調べてくる。
- 第12回** **【授業テーマ】** 「成長の限界」をめぐる (1)
【内容・方法 等】 ・『成長の限界』の予測とそれに対する様々な評価
 ・エネルギー・資源の限界と「2050年問題」
【事前・事後学習課題】 「算術級数的増加」と「幾何級数的増加」の意味について調べてくる。
- 第13回** **【授業テーマ】** 「成長の限界」をめぐる (2)
【内容・方法 等】 ・成長神話からの脱却
 ・江戸時代における循環型社会
 ・循環型社会の構築のための条件
【事前・事後学習課題】 フローとストックについて調べてくる。
- 第14回** **【授業テーマ】** グローバル化と自由主義
【内容・方法 等】 ・グローバル化の様々な局面
 ・市場主義と経済の自由
 ・リバタリアンとコミュニタリアン
【事前・事後学習課題】 グローバル化の事例について調べてみる。
- 第15回** **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 ・講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 これまでの講義ノートをまとめておく。

評価方法 (基準)
 ・講義内容に沿ってレポートを作成してもらおう。課題は適宜指示する。
 ・期末試験を実施。
 ・授業態度 (正当な理由のない欠席、遅刻・途中退席・私語・携帯電話の使用) も評価の対象とする。

教材等
教科書…なし
参考書…『現代社会の理論』 見田宗介 岩波書店 (735円)
 『情報の文明学』 梅棹忠夫 中央公論社 (720円)

学生へのメッセージ
 環境問題の解決のためには現代社会全体の改革が必要です。21世紀のあるべき企業の姿もそこに重なっていきます。

関連科目
 環境倫理Ⅱ
担当者の研究室等
 11号館7階(有馬准教授室)

地方自治論 Local Autonomy				
片本 隆 (カタモト タカシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 地方自治の現状は混迷を極めている。財政の危機状況はより一層厳しくなり、地域間の格差はさらに拡大している。再度の政権交代により、分権改革の取組みも混沌としてきた。このような状況を踏まえ、授業では、わが国の地方自治制度や現状・課題について学び、地方自治のあり方を考えるための基本的な能力を得ることを目標とする。

授業方法と留意点
 配布プリント、参考書等を用いて講義方式で行う。また、常に地方自治に関する新たな動向を取り上げ、現状と課題を意識して授業を進める。

科目学習の効果 (資格)
 公務員試験の対策となる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の概要と進め方。地方自治を取り巻く近時の社会情勢。
【事前・事後学習課題】 「地方自治論」を学ぶ目的・目標
- 第2回** 【授業テーマ】 地方自治体
【内容・方法等】 地方自治体の概念。地方自治の存在根拠。
【事前・事後学習課題】 今住んでいる地方自治体が果たしている役割。参考書第1章。
- 第3回** 【授業テーマ】 地方自治制度
【内容・方法等】 地方自治制度の形成過程とその特徴
【事前・事後学習課題】 今住んでいる地方自治体の歴史。参考書第2章。
- 第4回** 【授業テーマ】 分権改革
【内容・方法等】 地方分権改革・地方主権改革の背景と過程
【事前・事後学習課題】 地方分権改革・地方主権改革の必要性の有無。参考書第3章。
- 第5回** 【授業テーマ】 都道府県と市区町村
【内容・方法等】 基本的枠組み。広域行政制度。大都市等の特例。市町村合併。
【事前・事後学習課題】 大都市制度の在り方。参考書第4章。
- 第6回** 【授業テーマ】 地方自治体の議会
【内容・方法等】 二元代表制。議会の権限。議会の組織と運営。
【事前・事後学習課題】 議会の機能の向上。参考書第5章。
- 第7回** 【授業テーマ】 地方自治体の執行機関(1)
【内容・方法等】 執行機関多元主義。地方自治体の長の権限。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の長の役割。参考書第6章。
- 第8回** 【授業テーマ】 地方自治体の執行機関(2)
【内容・方法等】 地方自治体の委員会及び委員。地方自治体の長と議会の関係。地方自治体の統治機構の国際比較。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の長と議会の在り方。参考書第7章。
- 第9回** 【授業テーマ】 地方自治体の組織・機構
【内容・方法等】 地方自治体組織の基本形態。組織の意思決定。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の組織と民間企業の組織の比較。参考書第15章。
- 第10回** 【授業テーマ】 地方自治体の財政制度
【内容・方法等】 地方自治体の財政制度と運営の実態。財政改革の取組み。
【事前・事後学習課題】 経営学的視点からみた地方自治体の財政運営。参考書第16章。
- 第11回** 【授業テーマ】 地方公務員制度
【内容・方法等】 地方公務員法。人事管理制度。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の人事管理制度と民間企業の人事管理制度の比較。参考書第17章。
- 第12回** 【授業テーマ】 地方自治体の行政統制
【内容・方法等】 行政統制の内容。地方自治体改革。
【事前・事後学習課題】 地方自治体のコンプライアンスの取組み。参考書第18章。
- 第13回** 【授業テーマ】 住民と地方自治体の関係
【内容・方法等】 地方自治体の行政と住民。コミュニティの自治。
【事前・事後学習課題】 災害時におけるコミュニティ活動。参考書第19章、20章。
- 第14回** 【授業テーマ】 住民運動と市民参加
【内容・方法等】 住民運動の種類。住民訴訟。住民投票制度。
【事前・事後学習課題】 住民投票制度の必要性の有無。参考書第21章。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業の全体的なまとめ。
【事前・事後学習課題】 「地方自治論」を学んで得たこと。
- 評価方法 (基準)**
レポート、期末試験により総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…特に指定しない。プリントを配布する。
参考書…磯崎初仁・金井利之・伊藤正次『ホーンブック地方自治[改訂版]』北樹出版.2011年(2,700円+税)
- 学生へのメッセージ**
地方自治をめぐる現実的な課題について、より理解を深めるため、後期の「地方行政実務」の受講を勧める。
何事も常に課題意識を持つことの重要性を学んでほしい。
- 関連科目**
地方行政実務
- 担当者の研究室等**
11号館6階(経営学部事務室)

地方行政実務

Practical Local Administration

片本 隆 (カタモト タカシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私達の生活に密接な関わりのある地方自治体、とりわけ市町村の行政サービスにはどのようなものがあるのか。そして、それは私たちの生活全体の向上にどのように役立っているのか。この授業では、このような行政サービスの実務の内容及び現状と課題について学び、あるべき行政サービスを考える契機とすることを目標とする。

授業方法と留意点

配布プリント、参考書等を用いて講義方式で行う。また、常に地方行政実務に関する新たな動向を取り上げ、現状と課題を認識して授業を進める。

科目学習の効果 (資格)

公務員試験の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の概要と進め方。地方行政実務を取り巻く近時の社会情勢。
【事前・事後学習課題】 「地方行政実務」を学ぶ目的・目標
- 第2回** 【授業テーマ】 地方自治体の政策
【内容・方法等】 地方自治体のさまざまな政策活動
【事前・事後学習課題】 身近な政策の内容。参考書第8章。
- 第3回** 【授業テーマ】 政策法務
【内容・方法等】 政策法務の意義、役割
【事前・事後学習課題】 興味のある条例。参考書第9章。
- 第4回** 【授業テーマ】 都市計画とまちづくり
【内容・方法等】 まちづくりの法制度と地方自治体独自の取組み。
【事前・事後学習課題】 理想とする住みよい「まち」。参考書第10章。
- 第5回** 【授業テーマ】 公共事業
【内容・方法等】 公共事業と地域づくり。公共事業の制度と実態。
【事前・事後学習課題】 公共事業の在り方。参考書第10章。
- 第6回** 【授業テーマ】 産業政策
【内容・方法等】 工業振興、商業振興等
【事前・事後学習課題】 中心市街地の再生。参考書第12章。
- 第7回** 【授業テーマ】 地域振興
【内容・方法等】 地域の振興、活性化、再生
【事前・事後学習課題】 地域の再生策。参考書第12章。
- 第8回** 【授業テーマ】 福祉政策(1)
【内容・方法等】 福祉政策の概要。生活保護。児童福祉。
【事前・事後学習課題】 少子化社会の対応。参考書第13章。
- 第9回** 【授業テーマ】 福祉政策(2)
【内容・方法等】 障害者福祉。高齢者福祉。
【事前・事後学習課題】 高齢化社会の対応。参考書第13章。
- 第10回** 【授業テーマ】 保健医療政策
【内容・方法等】 保健と医療の現状と課題。
【事前・事後学習課題】 国民健康保険制度の在り方。配布プリント。
- 第11回** 【授業テーマ】 住民と生活
【内容・方法等】 人権政策。社会保障。消費者政策。
【事前・事後学習課題】 社会保障制度の在り方。配布プリント。
- 第12回** 【授業テーマ】 危機管理
【内容・方法等】 危機管理の概要。防災対策。防犯対策。
【事前・事後学習課題】 危機管理における自助・共助・公助。配布プリント。
- 第13回** 【授業テーマ】 環境政策
【内容・方法等】 環境問題の構造の変化。温暖化対策。産業廃棄物。ごみの減量化。
【事前・事後学習課題】 地方自治体のエネルギー政策。参考書第11章。
- 第14回** 【授業テーマ】 教育文化政策
【内容・方法等】 教育行政の仕組み。教育委員会制度。学校教育。文化行政。
【事前・事後学習課題】 首長部局と教育委員会の関係。参考書第14章。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業の全体的なまとめ。
【事前・事後学習課題】 「地方行政実務」を学んで得たこと。

評価方法 (基準)

レポート、期末試験により総合的に評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。プリントを配布する。
参考書…磯崎初仁・金井利之・伊藤正次『ホーンブック地方自治[改訂版]』北樹出版.2011年(2,700円+税)。その他適宜、授業で紹介する。

学生へのメッセージ

地方行政実務の理解を助けるという意味で、前期の「地方自治論」を受講しておくことを勧める。
何事も常に課題意識を持つことの重要性を学んでほしい。

関連科目

地方自治論

担当者の研究室等

11号館6階（経営学部事務室）

地球温暖化問題と経営I Global Warming and Corporate Management I				
山本 芳華 (ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

環境問題のなかで解決が難しいと言われているもののうちのひとつに地球温暖化問題がある。地球温暖化による影響は徐々にあらわれてきているといわれている。この授業では、地球温暖化問題の基礎となるさまざまな情報の見方とともに、問題解決のために重要となる経済発展との関連性や企業経営の係わり合いを学ぶ。さらに総合的な解決のための政策のあり方についても考察を行う。

授業方法と留意点

地球温暖化問題の現状は、日々新しい情報によって更新されていきます。そのため、授業での板書に加えて、新聞記事やニュースなどの情報を自ら集めてノートにまとめていくことが求められます。レポートや発表が求められます。

科目学習の効果（資格）

経済と環境問題、企業経営の関連性から地球環境問題を捉える能力を身につけることができ、将来社会人となったときに業務のなかで地球温暖化問題の現状と特性を知った上で、ビジネスにいかすことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業概要説明と環境問題の基礎
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第2回 【授業テーマ】 地球環境問題
【内容・方法 等】 地球環境問題の特性
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第3回 【授業テーマ】 地球環境問題と各主体
【内容・方法 等】 各主体と地球環境問題とのかかわり
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第4回 【授業テーマ】 地球温暖化問題と解決手法
【内容・方法 等】 国際的解決手法と国内的解決手法
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第5回 【授業テーマ】 地球温暖化とはなにか（1）
【内容・方法 等】 地球温暖化のメカニズムについて
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第6回 【授業テーマ】 地球温暖化とはなにか（2）
【内容・方法 等】 地球温暖化のメカニズムと温暖化データについて
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第7回 【授業テーマ】 経済発展と地球温暖化問題（1）
【内容・方法 等】 地球温暖化による経済発展への影響 国際問題（京都議定書ほか）
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第8回 【授業テーマ】 経済発展と地球温暖化問題（2）
【内容・方法 等】 地球温暖化による経済発展への影響 国内問題
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第9回 【授業テーマ】 企業経営と地球温暖化問題（1）
【内容・方法 等】 温暖化ガスを排出する主体としての企業
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第10回 【授業テーマ】 企業経営と地球温暖化問題（2）
【内容・方法 等】 企業経営と温暖化ガス抑制の取り組み
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第11回 【授業テーマ】 企業経営と地球温暖化問題（3）
【内容・方法 等】 排出権取引と企業経営
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第12回 【授業テーマ】 企業経営と地球温暖化問題（4）
【内容・方法 等】 企業戦略と地球温暖化対策
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第13回 【授業テーマ】 地球温暖化政策と企業のかかわり（1）
【内容・方法 等】 地球温暖化対応と戦略的企業経営 ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第14回 【授業テーマ】 地球温暖化政策と企業のかかわり（2）
【内容・方法 等】 地球温暖化対応と戦略的企業経営 ケーススタディ

【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出

- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出

評価方法（基準）

学習態度、課題提出、定期試験の結果をふまえて、総合的に評価する。

教材等

教科書…配布資料
参考書…石川宗孝編著 『環境読本』 電気書院

学生へのメッセージ

地球温暖化問題は自らの生活に深くかかわる問題です。日常生活の中でどのように問題が解決できるかを考えながら授業を受けてもらえればとおもいます。

関連科目

地球温暖化問題と経営、環境ガバナンス論、環境経済学、環境マネジメントシステム、環境倫理、地域と環境法

担当者の研究室等

11号館8階（山本教授室）

地球温暖化問題と経営II Global Warming and Corporate Management II				
山本 芳華 (ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

環境問題のなかで解決が難しいと言われているもののうちのひとつに地球温暖化問題がある。地球温暖化による影響は徐々にあらわれてきているといわれている。この授業では、問題解決のための方法と各主体のかかわりあいについて考察する。

授業方法と留意点

地球温暖化問題の現状は、日々新しい情報によって更新されていきます。そのため、授業での板書に加えて、新聞記事やニュースなどの情報を自ら集めてノートにまとめていくことが求められます。レポートや発表が求められます。

科目学習の効果（資格）

経済と環境問題、企業経営の関連性から地球環境問題を捉える能力を身につけることができ、将来社会人となったときに業務のなかで地球温暖化問題の現状と特性を知った上で、ビジネスにいかすことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業概要説明
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第2回 【授業テーマ】 国際的な地球温暖化問題（1）
【内容・方法 等】 京都議定書にいたる経緯
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第3回 【授業テーマ】 国際的な地球温暖化問題（2）
【内容・方法 等】 地球温暖化問題をめぐる現在の状況と日本
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第4回 【授業テーマ】 地球温暖化と国内対策（1）
【内容・方法 等】 排出事業者である企業と国内対策
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第5回 【授業テーマ】 地球温暖化と国内対策（2）
【内容・方法 等】 企業の自発的な取り組みと地球温暖化防止対策
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第6回 【授業テーマ】 地球温暖化と地域（1）
【内容・方法 等】 地域における地方自治体の役割
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第7回 【授業テーマ】 地球温暖化と地域（2）
【内容・方法 等】 地域の地球温暖化対策と企業経営
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第8回 【授業テーマ】 地球温暖化問題と社会（1）
【内容・方法 等】 各主体の協力体制と地球温暖化防止
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第9回 【授業テーマ】 地球温暖化問題と社会（2）
【内容・方法 等】 エネルギー政策などの各政策と地球温暖化問題解決
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第10回 【授業テーマ】 地球温暖化問題と社会（3）
【内容・方法 等】 低炭素社会実現に向けて
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第11回 【授業テーマ】 私たちの暮らしと地球温暖化問題（1）
【内容・方法 等】 私たちの生活と地球温暖化問題のかかわり
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第12回 【授業テーマ】 私たちの暮らしと地球温暖化問題（2）
【内容・方法 等】 私たちの生活と地球温暖化問題のかかわり
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出

- 第13回 【授業テーマ】 社会全体での地球温暖化問題の解決に向けて
 (1)
 【内容・方法 等】 社会全体での地球温暖化対応 ケーススタ
 ディ
 【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第14回 【授業テーマ】 社会全体での地球温暖化問題の解決に向けて
 (2)
 【内容・方法 等】 社会全体での地球温暖化対応 ケーススタ
 ディ
 【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
 【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出

評価方法 (基準)
 学習態度、課題提出、定期試験の結果をふまえて、総合的に評
 価する。

教材等

教科書…配布資料
 参考書…石川宗孝編著 『環境読本』 電気書院

学生へのメッセージ

地球温暖化問題は自らの生活に深くかかわる問題です。日常生活
 の中でどのように問題が解決できるかを考えながら授業を受け
 てもらえればとおもいます。

関連科目

地球温暖化問題と経営、環境ガバナンス論、環境経済学、環境
 マネジメントシステム、環境倫理、地域と環境法

担当者の研究室等

11号館8階 (山本教授室)

環境経済学 Environmental Economics				
杉本篤信(スギモト アツノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

地球温暖化、増え続けるゴミ、廃棄物など環境問題はますます
 深刻になってきています。様々な対策もされていますが、なか
 なか成果が上がらないのが現状です。環境問題を経済の観点から
 考えて、その困難性は何から生じるのかを明らかにし、その
 解決策を模索することが授業の目的です。環境問題の現状を知
 ること、そして経済学的把握ができることが、授業の目的となる。

授業方法と留意点

テキストと配布プリントを用いた講義。必要に応じてレポート
 などを行うので、話をよく聞くこと。

科目学習の効果 (資格)

経済学をどのように応用するのかを理解する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 環境経済学とは
 【内容・方法 等】 環境問題は経済問題として把握できる
 【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおく。
- 第2回 【授業テーマ】 市場システムの役割と限界1
 【内容・方法 等】 需要と供給により価格が決まり、効率的生
 産量が決まる
 【事前・事後学習課題】 ミクロ経済学の復習、テキストの該当
 部分を読む。
- 第3回 【授業テーマ】 市場システムの役割と限界2
 【内容・方法 等】 外部効果、公共財により市場システムは失
 敗する
 【事前・事後学習課題】 ミクロ経済学の復習、テキストの該当
 部分を読む。
- 第4回 【授業テーマ】 環境問題への対策1
 【内容・方法 等】 税や補助金や数量規制により、公害をなく
 することができる
 【事前・事後学習課題】 ミクロ経済学の復習、テキストの該当
 部分を読む。
- 第5回 【授業テーマ】 環境問題への対策2
 【内容・方法 等】 税、補助金、数量規制の効果はどのよう
 に違うのか
 【事前・事後学習課題】 ミクロ経済学の復習、テキストの該当
 部分を読む。
- 第6回 【授業テーマ】 問題解決への困難性
 【内容・方法 等】 環境問題を解決を難しくするのは、グロー
 バル化や世代間の分配に関連している
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第7回 【授業テーマ】 地球温暖化問題
 【内容・方法 等】 温室効果ガスの排出の増加により、地球の
 温度が上昇してきている
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを

- 読む。
- 第8回 【授業テーマ】 京都議定書の意義と問題点
 【内容・方法 等】 京都議定書による地球温暖化対策が始まっ
 た
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第9回 【授業テーマ】 エネルギー問題
 【内容・方法 等】 代替エネルギーの開発は、石油などの化石
 燃料エネルギー依存からの脱却を可能にするのか
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第10回 【授業テーマ】 循環型社会
 【内容・方法 等】 大量消費、大量投棄の経済システムは見直
 さなければならない
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第11回 【授業テーマ】 我が国の公害問題
 【内容・方法 等】 高度成長期にあった公害について
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第12回 【授業テーマ】 企業、消費者の対応
 【内容・方法 等】 企業、消費者はどのように環境問題に対応
 すべきか
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第13回 【授業テーマ】 温暖化問題と「不確実性」
 【内容・方法 等】 原因や将来の展望が不確実な地球温暖化へ
 の対策をどう捉えるべきか
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第14回 【授業テーマ】 グローバル化と環境問題
 【内容・方法 等】 経済発展と環境保全は両立するのか
 【事前・事後学習課題】 テキストの該当部分と配布プリントを
 読む。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
 定期試験に平常点、レポートなど考慮して総合的に評価する。

教材等

教科書…「入門環境経済学」日引・有村(中公新書)819円
 参考書…「経済学は温暖化を解決できるか」山本隆三(平凡社
 新書)720円
 「環境・循環型社会・生物多様性白書」(環境省のHP
 でダウンロードできます)

学生へのメッセージ

ミクロ経済学は履修済みを前提に講義します。履修できていな
 い方は、並行して履修するか、自力で習得してください。

関連科目

ミクロ経済学、マクロ経済学、環境マネージメントシステム、
 環境倫理

担当者の研究室等

11号館6階 (杉本研究室)
 sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

地域と環境法 Environmental Laws & Regulations in Local Communities				
山本芳華(ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私たちの生活の中で一番身近な地域社会における環境問題を解
 決するにあたって、法律は重要な役割をもつ。この授業では、
 環境に関連する法規を理解する前提として、立法、司法、行政
 の役割の基礎知識を学ぶ。その上で、地域において重要な役割
 を担う地方自治体、さらにはその地域で活動をする企業、そし
 てその地域に住む市民からの視点から環境問題解決のための手
 法としての法律とはどのようなものであるのかを習得する。

授業方法と留意点

板書を中心とするのでしっかりとノートを取る。この授業
 では、自らがインターネットや文献、新聞資料などを検索して
 課題を作成することになる。レポートに重点をおくので、自分
 の意見をまとめられるように授業を受けてください。

科目学習の効果 (資格)

組織で働く上で必要となる環境問題と法律の知識を得ることが
 できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
 【内容・方法 等】 授業概要の説明

- 第2回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 法とは
【内容・方法等】 日本における法体系を学びます。司法、行政、立法の三権分立や国と行政の関係を学びます。
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 法律と私たちの生活～身近にある法律
【内容・方法等】 私たちの中で法がどのような働きをしているのかについて学びます。とくに地域との関連を学びます。
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 法律と私たちの生活～環境問題を題材にして
【内容・方法等】 環境問題を解決するために法律がどのような役割を果たしているのかを学びます。地方自治体が作成している条例なども取上げます。
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題と立法
【内容・方法等】 国会や県議会、市議会といった立法機関の基礎的な流れとさまざまな環境に関する法律について学びます。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題を取り扱う法律について
【内容・方法等】 環境問題を取り扱う法律にはどのようなものがあるのかについて学びます。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題を取り扱う法律について（渡邊）
【内容・方法等】 さまざまな環境問題をめぐってどのように法律を調べていけばいいのか、さらには法律の内容の読み方を学びます。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題を取り扱う法律について（渡邊）
【内容・方法等】 一つの環境問題を取上げて、地域の特性を重視して自分ならばどのように解決するのかを考えます。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題と行政
【内容・方法等】 各行政が行っている環境問題への法解決について学びます。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題と行政～地域行政から
【内容・方法等】 地方自治体が地域においてどのような環境問題を取り扱っているかをケーススタディで学びます。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題と司法
【内容・方法等】 日本における裁判制度の中でどのように環境問題が解決されてきたのかを学びます。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 環境問題と司法
【内容・方法等】 これからの裁判制度のなかでの環境問題の解決方法について考えます。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 地域と環境についての総合考察
【内容・方法等】 地域が持つ特性と環境問題についての総合考察を行います。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 法律と環境についての総合考察
【内容・方法等】 一市民として、そして社会人として、組織人として環境問題にどのように関わっていいのか、法律との付き合い方を考えます。具体的には法律の有識者を招いて講義を行います。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 この授業のまとめを行います。
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
- 評価方法（基準）**
 事前事後課題、提出物、小テスト、授業中での発表、期末試験などを総合して評価する。
- 教材等**
教科書…石川宗孝編著 『環境読本』 電気書院
 授業中の配布資料
参考書…授業中に随時指示します。
- 学生へのメッセージ**
 社会に出ると法律にふれる機会も増えてきます。授業で学んだ法の基礎知識を持って、学生時代のうちにニュースなどから環境問題のみならず多くの社会問題を法的な視点から考えてみると新しい発見があるかと思えます。
- 関連科目**
 環境ガバナンス論、地域と環境ビジネス 地球温暖化問題と経営
- 担当者の研究室等**
 11号館8階（山本准教授室）

経営財務論 Business Finance I				
高尾裕二（タカオ ヒロジ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 一般に企業は、ヒト、モノ、カネ、情報から構成されるといわれることがある。経営財務論は、株主の立場に立って、これら4つの企業構成要素のうち、主に、カネの観点から企業の行動を分析し、いかなる行動が企業価値の創造に結びつくのかを検討する経営学関連の主要な領域の一つである。経営財務Iでは、経営財務論の基礎を構成する一連の論点（企業の資金調達、リスクとリターンの関係、資本コスト、現在価値とキャッシュフローなど）を取り上げる。基礎論の内容を理解するとともに、現実の企業に照らして、これら基礎論に関する応用能力を養うことが講義の目標となる。

授業方法と留意点
 基本的には、教科書の内容に沿ったノート方式により授業を進める。必要に応じて演習問題を含むプリントを適宜配布する。演習問題には熱心に取り組むこと。私語を慎み、真面目な態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果（資格）
 企業への就職希望にとって必要な知識であり、専門的職業人（とくに公認会計士、証券アナリストなど）の資格取得に関連する。

- 毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション-経営財務論とは何か
【内容・方法等】 経営財務論の目的を理解し、経営財務論で取り上げられる主要な論点の概観を得る。加えて、授業の進め方、評価方法等について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書の目次に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 経営財務の5つの基本命題
【内容・方法等】 経営財務の5つの基本命題を簡潔に説明し、本講義に取り上げる経営財務Iの主要な論点を理解する。
【事前・事後学習課題】 教科書第1章に目を通しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 企業の資金調達-株式による調達
【内容・方法等】 企業の資金調達の主要な手段を概観するとともに、株式発行による資金調達について検討する。
【事前・事後学習課題】 教科書第15章1、4、5、6に目を通しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 企業の資金調達-負債による調達
【内容・方法等】 銀行借入および社債による資金調達について説明するとともに、株式による調達と比較・検討する。
【事前・事後学習課題】 教科書第15章1-3に目を通しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 経営財務の第2命題-リスク・リターン関係と資本コスト
【内容・方法等】 リスクとは何か、リターンとは何か、リスクとリターンの関係、期待収益率、リスク・プレミアムを理解する。
【事前・事後学習課題】 教科書第4章1-4に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第6回** 【授業テーマ】 経営財務の第2命題-リスク・リターン関係と資本コスト
【内容・方法等】 負債コスト、株主資本コスト（自己資本コスト）、総資本コスト、債権者へのリターン、株主へのリターン等の推計方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書第4章2-5に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第7回** 【授業テーマ】 経営財務の第2命題-資本資産評価モデル（CAPM）の基礎
【内容・方法等】 リスクとリターンの関係を理解するうえで極めて重要な資本資産評価モデル（CAPM）の基礎的な考え方を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書第4章6-9に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第8回** 【授業テーマ】 経営財務の第3命題-（割引）現在価値計算と企業価値
【内容・方法等】 経営財務論の根幹をなすキャッシュフローの（割引）現在価値の計算方法の基礎を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書第5章1-4に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第9回** 【授業テーマ】 経営財務の第3命題-（割引）現在価値計算と企業価値
【内容・方法等】 前回の（割引）現在価値計算に続き、リスクがあるキャッシュフローを前提に、企業価値がどのように推定され、算定されるのかを議論する。
【事前・事後学習課題】 教科書第5章5-6に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第10回** 【授業テーマ】 これまでの論点整理と確認テスト（講義の進捗に応じて前後することがある）
【内容・方法等】 これまで取り上げた主要な論点を改めて整

理・解説し、質疑応答を受ける。理解の確認のための小テストを実施する。

- 第11回** 【授業テーマ】 経営財務の第4命題－企業を取り巻く各種のリスク
 【内容・方法等】 企業が直面するあるいは企業を取り巻くリスクには、どのようなタイプのものがあるのかを整理する。加えて、そのようなリスクをどのように計測するのかについても議論する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第6章1－5に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第12回** 【授業テーマ】 経営財務の第4命題－企業のリスクとコーポレート・ガバナンス
 【内容・方法等】 前回の企業を取り巻く各種のリスクの存在を踏まえて、企業価値創造におけるコーポレート・ガバナンスの意義を検討する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第8章1－4に目を通しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 経営財務の第5命題－伝統的な経営指標
 【内容・方法等】 経営財務においてしばしば利用されるさまざまな経営指標をのうち、伝統的な財務分析における財務指標として有名なデュボン・システムを説明する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第7章、第20章に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第14回** 【授業テーマ】 経営財務の第5命題－新しい経営指標
 【内容・方法等】 キャッシュフローに基づく経営指標および経済付加価値を中心に、新しい経営指標を取り上げ、その特徴を説明する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第7章に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 これまでの講義の整理とまとめ。
 【事前・事後学習課題】 これまでの講義の全体について復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。

評価方法 (基準)
 基本的には期末テストの結果による。加えて、小テストの結果、授業への参加状況等を加味する。

教材等
 教科書…津森信也著「入門 企業財務 理論と実践」、東洋経済新報社（2,900円）。
 参考書…井手正介・高橋文郎著「ビジネス・ゼミナール 経営財務入門」日本経済新聞社（3,600円）

学生へのメッセージ
 経営財務論にはかなり難解な内容も含まれることから、可能な限りわかり易い講義を心がける。テキスト・電卓は常に持参すること。私語は他の受講者の迷惑なることから絶対に慎むこと。質問は大いに歓迎する。

関連科目
 企業簿記システム、経営学、経営分析論

担当者の研究室等
 現在のところ未定。決定次第、通知する。

備考
 本年度が初めての講義となるので、講義の内容が前後するなど、若干の試行錯誤が予想される。変更等が必要となった場合には、事前の授業の場で必ず通知するので、この点に十分留意して受講してほしい。

経営財務論II Business Finance II				
高尾裕二 (タカオ ヒロジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 経営財務論Iの議論を前提に、前半は、企業価値創造の観点から、企業の投資決定と資金調達のあるり方を中心に講義する。後半は、経営財務論における重要と思われる個別論点を順次取り上げる。現実の企業の投資決定と資金調達行動を、効率性の観点から理解し、評価する能力を身につけることが講義の目標となる。

授業方法と留意点
 基本的には、教科書に基づいたノート方式により講義を進める。必要に応じて演習問題を含むプリントを適宜配布する。配布された演習問題には熱心に取り組むこと。私語を慎み、真面目な態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果 (資格)
 企業への就職希望者にとって必要な知識であり、専門的職業人（とくに公認会計士、証券アナリストなど）の資格取得に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
 経営財務論IIの概観
 【内容・方法等】 経営財務論Iの議論を前提にして、経営財務論IIで取り上げる主要なテーマについて概観する。加えて、授業の進め方、評価方法等について説明する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の目次に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 企業の投資行動－正味現在価値計算
 【内容・方法等】 企業はどのように投資（プロジェクト）の意思決定をなすのかを検討するうえで、その前提となる正味現在価値計算（NPV）の方法を学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 教科書第5章1－4に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第3回** 【授業テーマ】 企業の投資行動－投資決定のプロセスと企業価値
 【内容・方法等】 前回の正味現在価値（NPV）に加えて、投資価値のその他の推定方法をも併せて取り上げるとともに、具体的な企業の投資政策決定のプロセスとその結果としての企業価値の算定方法について講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第5章1－4に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第4回** 【授業テーマ】 企業の投資行動－リアル・オプション
 【内容・方法等】 企業の投資決定において、近時、注目されているリアル・オプションの基礎を学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 教科書、第12章5および第18章10に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第5回** 【授業テーマ】 企業の資金調達－投資行動との関係
 【内容・方法等】 企業の資金調達方法について、企業の投資行動との関係から、改めて検討する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第15章1－5に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第6回** 【授業テーマ】 企業の資金調達－資本構成と企業価値
 【内容・方法等】 企業の資金調達の結果としての資本構成が企業価値とどのような関係にあるのかを、負債がある企業とない企業を比較しながら、検討する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第3章5に目を通しておくこと。電卓を用いた数値の算定。
- 第7回** 【授業テーマ】 企業の資金調達－最適資本構成
 【内容・方法等】 前回の講義で取り上げたMMの「無関連命題」を前提に、法人税やデフォルト・リスクを考慮した場合の現実的な資本構成のあり方について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 教科書第15章6に目を通しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 これまでの論点整理と確認テスト（講義の進捗に応じて前後することがある）
 【内容・方法等】 これまで取り上げてきた、企業の投資決定と資金調達に関する主要な論点を改めて整理・復習するとともに質問を受ける。理解の確認のための小テストを実施する。
 【事前・事後学習課題】 これまで取り上げた論点の理解度のチェックと疑問点の整理。
- 第9回** 【授業テーマ】 企業の配当政策
 【内容・方法等】 株主に対する企業の利益還元としての配当政策を巡る一連のテーマを取り上げ、配当政策と株主価値、投資決定および資金調達との関係を理解する。
 【事前・事後学習課題】 教科書には特段取り上げられていないテーマであることから、企業の配当について、インターネット、新聞や金融雑誌等から、予備的な知識を得ておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 企業の自社株買いと株主価値
 【内容・方法等】 自社株買いとは、企業が発行している自社の株式を株主から買い取ることをいう。本講義では、自社株買いの性格、株主価値に与える影響、わが国における自社株買いの動向などを説明する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第15章6に目を通しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 経営財務の個別論点①－企業の合併と買収（M&A）
 【内容・方法等】 企業の事業戦略の一つとして重要な合併と買収（M&A）について、その種類、動機および効果等を取り上げ、事業戦略としての合併・買収の意義を検討する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第13章に目を通しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 経営財務の個別論点②－社債の格付け
 【内容・方法等】 負債による資金調達の一つとして、銀行借入れとともに重要な社債による資金調達における「格付け」について概観する。併せて資産の証券化についても講義する。
 【事前・事後学習課題】 教科書、第15章7および第17章に目を通しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 経営財務の個別論点③－リスク管理とデリバティブ
 【内容・方法等】 近時、リスク管理手段として発展してきたデリバティブについて概観するとともに、企業のリスク管理手段としてデリバティブがどのように利用されているのかを概観する。
 【事前・事後学習課題】 教科書第18章に目を通しておくこと。

第14回 【授業テーマ】 経営財務の個別論点④－企業価値創造に向けて
 【内容・方法 等】 講義の冒頭にも説明したように、経営財務論の目的は企業価値の向上にある。本講義では、これまで取り上げる機会がなかった企業価値創造に向けたその他の論点、例えば、企業理念、株主とのコミュニケーション、企業の社会的責任（CRS）等を一括して取り上げる。
 【事前・事後学習課題】 教科書第8章1-2、4-6、8に目を通しておくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 これまでの講義の整理とまとめ。
 【事前・事後学習課題】 これまでの講義全体を復習し、疑問点・理解が不十分な箇所について整理しておくこと。

評価方法（基準）
 基本的には期末テストの結果による。加えて、小テストの結果、授業への参加状況等を加味する。

教材等
 教科書…津森信也著「入門 企業財務 理論と実践」東洋経済新報社（2,900円）
 参考書…井手正介・高橋文郎著「ビジネスゼミナール 企業財務入門」日本経済新聞社（3,600円）

学生へのメッセージ
 経営財務論にはかなり難解な内容も含まれることから、可能な限りわかり易い講義を心がける。テキスト・電卓は常に持参すること。私語は他の受講者の迷惑になることから絶対に慎むこと。質問は大いに歓迎する。

関連科目
 企業簿記システム、経営学、経営分析論

担当者の研究室等
 現在のところ未定。決定次第、通知する。

備考
 本年度が初めての講義となるので、講義の内容が前後するなど、若干の試行錯誤が予想される。変更等が必要となった場合には、事前の授業の場で必ず通知するので、この点に十分留意して受講してほしい。

【内容・方法 等】 予算の種類と体系、予算の編成、参加的予算管理
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.51-57を読んでおくこと。

第7回 【授業テーマ】 予算管理(3)
 【内容・方法 等】 予算統制、予算管理の新しい展開
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.57-60を読んでおくこと。

第8回 【授業テーマ】 CVP分析
 【内容・方法 等】 CVP分析の意義、CVP分析の計算方法、原価の固定分解
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.61-68を読んでおくこと。

第9回 【授業テーマ】 直接原価計算
 【内容・方法 等】 直接原価計算の意義、直接原価計算の計算構造、直接原価計算と経営管理
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.68-77を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 標準原価計算(1)
 【内容・方法 等】 原価管理の意味、標準原価計算の意義と目的、標準原価の種類
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.78-82を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 標準原価計算(2)
 【内容・方法 等】 原価標準の設定、原価差異の分析
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.82-91を読んでおくこと。

第12回 【授業テーマ】 業務執行的意思決定(1)
 【内容・方法 等】 経営意思決定の意義と分類、差額原価収益分析
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.109-113を読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 業務執行的意思決定(2)
 【内容・方法 等】 業務執行的意思決定の計算例
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.113-121を読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 戦略的意思決定
 【内容・方法 等】 戦略的意思決定の必要性、設備投資の経済性計算
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.122-133を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
 【事前・事後学習課題】 今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
 定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等
 教科書…山田庫平、吉村聡編著「経営管理会計の基礎」東京経済情報出版、3,360円(税込)、2006年
 参考書…山田庫平、崎章浩、吉村聡編「経営管理会計ハンドブック」東京経済情報出版、4,410円(税込)、2008年

学生へのメッセージ
 授業中の私語は周りの受講生の迷惑になりますので慎んで下さい。また、講義の内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目
 企業簿記、応用簿記、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、経営分析論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
 11号館7階(三木准教授室)

管理会計論 Management Accounting I				
三木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 管理会計は、企業内部の経営管理者が適切な意思決定や業績管理を行う上で役に立つ会計情報の提供を目的とする会計領域である。本講義では、管理会計とは何かについて学んだ上で、損益分岐点分析や標準原価計算など伝統的な管理会計の諸技法について学んでいく。本講義の到達目標は、管理会計の基礎的事項について一通り理解することである。

授業方法と留意点
 講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果（資格）
 日商簿記検定2級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
 【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等についての説明
 【事前・事後学習課題】 ————

第2回 【授業テーマ】 管理会計の意義(1)
 【内容・方法 等】 企業会計とは何か、財務会計と管理会計の相違
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.3-10を読んでおくこと。

第3回 【授業テーマ】 管理会計の意義(2)
 【内容・方法 等】 管理会計の体系(業績管理会計と意思決定会計)
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.10-20を読んでおくこと。

第4回 【授業テーマ】 原価計算の基礎知識
 【内容・方法 等】 原価計算の目的、原価計算の種類、原価要素、原価計算の手続き
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.32-43を読んでおくこと。

第5回 【授業テーマ】 予算管理(1)
 【内容・方法 等】 利益管理の意義、予算管理の意義、予算管理の機能
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.47-50を読んでおくこと。

第6回 【授業テーマ】 予算管理(2)

管理会計論II Management Accounting II				
三木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 管理会計は、企業内部の経営管理者が適切な意思決定や業績管理を行う上で役に立つ会計情報の提供を目的とする会計領域である。本講義では、管理会計の基礎的事項を理解していることを前提にして、1980年代後半から登場してきた戦略管理会計と呼ばれる新しい管理会計の領域について学習していく。本講義の到達目標は、戦略管理会計の意義および戦略管理会計で用いられる諸技法について理解することである。

授業方法と留意点
 講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果（資格）

日商簿記検定1級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等の説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 戦略管理会計の展開(1)
【内容・方法等】 企業環境の変化と管理会計、経営戦略と戦略マネジメント
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.141-150を読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 戦略管理会計の展開(2)
【内容・方法等】 戦略管理会計の目的とそれを実現する手法
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.150-156を読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 ライフサイクル・コスト(1)
【内容・方法等】 ライフサイクル・コストの意義、製品ライフサイクルとライフサイクル・コスト
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.157-161を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 ライフサイクル・コスト(2)
【内容・方法等】 戦略的ライフサイクル・コストマネジメント
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.161-168を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 原価企画(1)
【内容・方法等】 原価企画の生成とその背景、原価企画の手続き
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.169-176を読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 原価企画(2)
【内容・方法等】 原価企画の実施状況、原価企画の課題
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.176-180を読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 ABCとABM(1)
【内容・方法等】 ABC台頭の背景、ABCの意義、ABCの計算構造
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.181-192を読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 ABCとABM(2)
【内容・方法等】 ABMの意義、活動分析、コスト・ドライバー分析、業績分析、ABCとABMの今後の展開
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.192-196を読んでおくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 品質原価計算(1)
【内容・方法等】 品質原価計算の必要性、品質の意義、品質コストの定義・分類
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.197-201を読んでおくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 品質原価計算(2)
【内容・方法等】 品質コストの測定と報告、品質原価計算のトレードオフ関係
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.201-208を読んでおくこと。
- 第12回 【授業テーマ】 BSCとEVA(1)
【内容・方法等】 業績評価指標の多元化、BSCの意義
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.209-212を読んでおくこと。
- 第13回 【授業テーマ】 BSCとEVA(2)
【内容・方法等】 BSCの基本構造、因果連鎖、戦略マップ
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.213-218を読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 BSCとEVA(3)
【内容・方法等】 EVAの意義、EVAの特徴
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.218-222を読んでおくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法(基準)

期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等

教科書…山田康平、吉村聡編著「経営管理会計の基礎」東京経済情報出版、3,360円、2006年
参考書…山田康平、崎章浩、吉村聡編「経営管理会計ハンドブック」東京経済情報出版、4,410円、2008年

学生へのメッセージ

授業中の私語は周りの受講生の迷惑になりますので慎んで下さい。また、講義の内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目

企業簿記、応用簿記、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、経営分析論Ⅰ・Ⅱ
担当者の研究室等
11号館7階(三木准教授室)

財務会計論

Financial Accounting I

佐井英子(サイ ヒデコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会計とは、経済主体の経済活動を一定のルールに従って、計数的に認識し、測定し、報告することである。このルールとは、商法、証券取引法等の法律の他に、各種の省令や通達および会計基準や会計慣行を意味している。今日、企業を取り巻く環境の多様化、国際化に伴い、この会計ルールもより複雑に、国際的統一化の方向へ変化している。財務諸表を理解するためには、この会計ルールの理解が不可欠となる。この講義では、会計情報開示制度と財務諸表の作成方法に重点を置き、財務会計の基礎的知識の修得に努める。

授業方法と留意点

テキストや配布資料にに基づいた講義方式。講義内容を確認するために、原則的には毎回授業の最後に練習問題を解いて提出する。

科目学習の効果(資格)

簿記検定試験2級以上、税理士試験、公認会計士試験には不可欠である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 会計の意義
【内容・方法等】 財務会計の目的と役割
【事前・事後学習課題】 当日配布プリントと板書を整理する
- 第2回 【授業テーマ】 会計情報開示制度①
【内容・方法等】 会計制度の変遷、
【事前・事後学習課題】 当日配布プリントと板書を整理する
- 第3回 【授業テーマ】 会計情報開示制度②
【内容・方法等】 新会計基準と国際会計基準
【事前・事後学習課題】 練習問題1
- 第4回 【授業テーマ】 企業会計原則
【内容・方法等】 企業会計原則—一般原則と会計公準—
【事前・事後学習課題】 練習問題2
- 第5回 【授業テーマ】 2つの損益計算方法
【内容・方法等】 複式簿記と貸借対照表および損益計算書
【事前・事後学習課題】 練習問題3
- 第6回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】 1回～5回までの資料、練習問題
教科書P17-P35
- 第7回 【授業テーマ】 資産会計①
【内容・方法等】 貸借対照表の役割、貸借対照表の概観と表示原則
【事前・事後学習課題】 練習問題4
- 第8回 【授業テーマ】 資産会計②
【内容・方法等】 資産の本質と分類、評価
【事前・事後学習課題】 連取問題5
- 第9回 【授業テーマ】 資産会計③
【内容・方法等】 流動資産、金融商品の処理
【事前・事後学習課題】 練習問題6
- 第10回 【授業テーマ】 資産会計④
【内容・方法等】 有形固定資産の処理
【事前・事後学習課題】 練習問題7
- 第11回 【授業テーマ】 資産会計⑤
【内容・方法等】 無形固定資産、のれん、ソフトウェアの処理
【事前・事後学習課題】 練習問題8
- 第12回 【授業テーマ】 資産会計⑥
【内容・方法等】 投資その他の資産の処理
【事前・事後学習課題】 練習問題9
- 第13回 【授業テーマ】 資産会計⑦
【内容・方法等】 繰延資産の処理
【事前・事後学習課題】 練習問題10
- 第14回 【授業テーマ】 資産会計⑧
【内容・方法等】 リース会計
【事前・事後学習課題】 練習問題11
- 第15回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】 7回～14回の練習問題
教科書P37-P52

評価方法(基準)

定期試験の評価と、レポートの提出、授業への参加を総合的に評価する。

教材等

教科書…「会計情報分析」鳥邊・東原 中央経済社 (2,800円)
参考書…適宜、指定する。

学生へのメッセージ

講義に出席して、その後必ず教科書を読み直して、講義の内容を整理して理解してください。その上で理解できないところは、どんどん質問して下さい。

関連科目

企業簿記システム、会計情報論、管理会計論、経営分析論、国際会計論、税務会計論

担当者の研究室等

11号館8階(佐井教授室)

財務会計論II Financial Accounting II				
佐井英子 (サイ ヒデコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

財務会計論Iに引き続き、貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書、キャッシュ・フロー計算書、についてその意義と内容を解説する。また、例えば退職給付会計では、年金の積立不足問題、税効果会計では繰延税金資産の資産性についての問題点及び会計処理方法が及ぼす影響等、具体的な事例を紹介しながら説明していく。

授業方法と留意点

テキストや配布資料に基づいた講義方式 その日の講義内容を確認するために、最後に練習問題を解いて提出する。
財務会計論Iからの続きですから、必ず財務会計論Iを受講して下さい。

科目学習の効果 (資格)

簿記検定2級以上、税理士試験、公認会計士試験には不可欠である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 負債会計①
【内容・方法 等】 負債の本質と分類
【事前・事後学習課題】 練習問題1
- 第2回 【授業テーマ】 負債会計②
【内容・方法 等】 引当金の処理、退職給付引当金
【事前・事後学習課題】 練習問題2
- 第3回 【授業テーマ】 純資産の会計①
【内容・方法 等】 会計理論上の資本概念と資本の分類
【事前・事後学習課題】 練習問題3
- 第4回 【授業テーマ】 純資産の会計②
【内容・方法 等】 企業会計上の資本の分類、純資産と資本
【事前・事後学習課題】 練習問題4
- 第5回 【授業テーマ】 純資産の会計③
【内容・方法 等】 資本金と剰余金
【事前・事後学習課題】 練習問題5
- 第6回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 1回～5回の練習問題と教科書 P52～P66
- 第7回 【授業テーマ】 損益計算書①
【内容・方法 等】 損益計算書の役割と概観
【事前・事後学習課題】 練習問題6
- 第8回 【授業テーマ】 損益計算書②
【内容・方法 等】 費用収益の対応原則と期間配分
【事前・事後学習課題】 練習問題7
- 第9回 【授業テーマ】 損益計算書③
【内容・方法 等】 費用収益の認識・測定原則
【事前・事後学習課題】 練習問題8
- 第10回 【授業テーマ】 損益計算書④
【内容・方法 等】 経常損益計算
【事前・事後学習課題】 練習問題9
- 第11回 【授業テーマ】 損益計算書⑤
【内容・方法 等】 特別損益計算
【事前・事後学習課題】 練習問題10
- 第12回 【授業テーマ】 税効果会計①
【内容・方法 等】 税効果会計とは、企業会計と税務会計
【事前・事後学習課題】 練習問題11
- 第13回 【授業テーマ】 税効果会計②
【内容・方法 等】 一時差異と永久差異
【事前・事後学習課題】 練習問題12
- 第14回 【授業テーマ】 税効果会計③
【内容・方法 等】 資産負債法と繰延法
【事前・事後学習課題】 練習問題13
- 第15回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法 等】 _____

【事前・事後学習課題】 5回～13回の練習問題、教科書 P67～P82

評価方法 (基準)

定期試験の評価と、レポートの提出、授業への参加を総合的に評価する。

教材等

教科書…「会計情報分析」 鳥邊 東原 中央経済社 (2,800円)
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ

講義に出席して、ノートを取り、その後教科書を読み直して下さい。わからないところは、どんどん質問して下さい。

関連科目

企業簿記システム、会計情報論、管理会計論、経営分析論、国際会計論、税務会計論、財務会計論I

担当者の研究室等

11号館8階(佐井教授室)

原価計算論I Cost Accounting I				
三木僚祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

製造業を営む企業にとって、原価計算はなくてはならない計算技術である。製造業においては、原価計算がなければ、財務諸表作成だけでなく、価格決定など様々な経営管理上の課題も解決することができない。本講義では、原価とは何か、原価計算の目的は何か、原価計算はどのように行われていくのかなど原価計算を理解する上で必要不可欠な基礎知識を身につけてもらうことを目標として授業を進める。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果 (資格)

日商簿記検定2級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の内容、授業の進め方、評価基準等についての説明
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 原価計算の目的(1)
【内容・方法 等】 財務諸表作成目的、原価管理目的
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.3-12を読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 原価計算の目的(2)
【内容・方法 等】 利益管理目的、経営意思決定目的
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.12-15を読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 原価計算の種類
【内容・方法 等】 原価計算制度と特殊原価調査
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.16-20を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 原価概念(1)
【内容・方法 等】 広義における原価の一般概念、原価計算制度における原価の一般概念、原価計算制度における原価の諸概念
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.21-28を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 原価概念(2)
【内容・方法 等】 特殊原価調査における原価の諸概念
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.210-212を読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 原価要素
【内容・方法 等】 形態別分類、製品との関連による分類、機能別分類、操業度との関連における分類、原価の管理可能性にもとづく分類
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.28-32を読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 原価計算の手続(1)
【内容・方法 等】 原価計算の手続過程、原価単位、原価計算期間
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.34-36を読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 原価計算の手続(2)
【内容・方法 等】 個別原価計算、総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.36-38を読んでおくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 原価管理のための原価計算(1)

- 【内容・方法等】 標準原価計算の意義、標準原価の種類、原価標準の設定
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.157-165を読んでおくこと。
- 第11回 **【授業テーマ】** 原価管理のための原価計算(2)
【内容・方法等】 標準原価差異の計算と分析(直接材料費・直接労務費)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.167-174を読んでおくこと。
- 第12回 **【授業テーマ】** 原価管理のための原価計算(3)
【内容・方法等】 標準原価差異の計算と分析(製造間接費)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.175-179を読んでおくこと。
- 第13回 **【授業テーマ】** 利益管理のための原価計算(1)
【内容・方法等】 損益分岐点分析の意義、損益分岐点の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.183-190を読んでおくこと。
- 第14回 **【授業テーマ】** 利益管理のための原価計算(2)
【内容・方法等】 原価の固変分解、直接原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.190-207を読んでおくこと。
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法 (基準)

定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等

教科書…山田庫平、吉村聡編著「原価計算の基礎」東京経済情報出版3,360円(税込)2008年

参考書…山田庫平編著「基本原価計算用語辞典」白桃書房、2,000円(税込)2004年

学生へのメッセージ

授業中の私語は周りの受講生の迷惑になるので絶対に慎んで下さい。また、講義内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目

企業簿記、応用簿記、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、管理会計論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

11号館7階(三木准教授室)

原価計算論II Cost Accounting II				
三木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

原価計算論Ⅰで学んだことを踏まえて、本講義では財務諸表作成のための原価計算の具体的な手続過程について学習していく。原価計算は、費目別計算、部門別計算、製品別計算の3つの手続過程を経て行われるが、本講義では、3つの手続過程の基礎的な事項について理解することを目標として授業を進める。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果 (資格)

日商簿記検定2級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等の説明
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** 費目別計算(1)
【内容・方法等】 材料費の分類、材料購入原価の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.41-52を読んでおくこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** 費目別計算(2)
【内容・方法等】 材料消費量の計算、材料消費価格の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.52-68を読んでおくこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** 費目別計算(3)
【内容・方法等】 労務費の分類、支払賃金の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.69-75を読んでおくこと。
- 第5回 **【授業テーマ】** 費目別計算(4)
【内容・方法等】 消費賃金の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.75-82を読んでおくこと。

- と。
【授業テーマ】 費目別計算(5)
【内容・方法等】 経費の分類、経費の計算、費目別計算のまとめ
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.83-86を読んでおくこと。
- 第7回 **【授業テーマ】** 部門別計算(1)
【内容・方法等】 部門別計算の目的、原価部門の設定、部門に集計される原価要素の範囲
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.87-91を読んでおくこと。
- 第8回 **【授業テーマ】** 部門別計算(2)
【内容・方法等】 部門別計算の手続き(部門費の第1次集計)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.91-95を読んでおくこと。
- 第9回 **【授業テーマ】** 部門別計算(3)
【内容・方法等】 部門別計算の手続き(部門費の第2次集計)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.95-102を読んでおくこと。
- 第10回 **【授業テーマ】** 製品別計算(1)
【内容・方法等】 個別原価計算の意義、個別原価計算の手続
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.103-110を読んでおくこと。
- 第11回 **【授業テーマ】** 製品別計算(2)
【内容・方法等】 総合原価計算の意義、単純総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.118-127を読んでおくこと。
- 第12回 **【授業テーマ】** 製品別計算(3)
【内容・方法等】 工程別総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.132-136を読んでおくこと。
- 第13回 **【授業テーマ】** 製品別計算(4)
【内容・方法等】 組別総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.140-143を読んでおくこと。
- 第14回 **【授業テーマ】** 製品別計算(5)
【内容・方法等】 等級別総合原価計算、連産品の原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.143-153を読んでおくこと。
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法 (基準)

定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等

教科書…山田庫平、吉村聡編著「原価計算の基礎」東京経済情報出版3,360円(税込)2008年

参考書…山田庫平編著「基本原価計算用語辞典」白桃書房、2,000円(税込)、2004年

学生へのメッセージ

授業中の私語は周りの受講者の迷惑になるので絶対に慎んで下さい。また、講義内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目

企業簿記、応用簿記、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、管理会計論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

11号館7階(三木准教授室)

経営分析論I Business Analysis I				
高尾 裕 二 (タカオ ヒロジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

企業を分析し企業の現状や将来の展望を知るために、さらには企業価値の評価に向けて、不可欠な一連の分析手法を取り上げ、検討するのが経営分析論の目的である。到達目標は、このような現実の企業を理解するうえで有意義な経営分析の基本的な手法を理解し、自ら分析することのできる能力を身につけることである。

授業方法と留意点

基本的には、教科書の内容に沿ったノート方式により授業を進める。必要に応じて、演習問題を含むプリントを適宜配布する。ケース分析や演習問題には熱心に取り組むこと。私語を慎み、真面目な受講態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果 (資格)

企業への就職希望者、専門的職業人(とくに中小企業診断士、

証券アナリストなど)の資格取得に関連する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクションー経営分析論の概要
【内容・方法 等】 経営分析の意義と目的を理解するため、経営分析論で取り上げる主要なテーマについて概説する。加えて、授業の進め方、評価方法などについても説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書の目次および第1章に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 個別財務諸表と連結財務諸表
【内容・方法 等】 経営分析の主な分析対象となる連結財務諸表および連結財務諸表の作成の基礎となる個別財務諸表を概観する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第1章5-6に目を通しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 連結財務諸表の見方・読み方①
【内容・方法 等】 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などの財務諸表が、それぞれ企業のどのような側面の情報を提供するものなのかを理解する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第2章に目を通しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 連結財務諸表の見方・読み方②
【内容・方法 等】 引き続き、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などの財務諸表が、それぞれ企業のどのような側面の情報を提供するものなのかを学ぶ。加えて、それらの財務諸表の相互の関係についても検討する。
【事前・事後学習課題】 引き続き、教科書の第2章に目を通しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 経営分析の手順と主要分析方法
【内容・方法 等】 経営分析のプロセスと主要な分析方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書の第3章に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第6回** 【授業テーマ】 財務比率分析の体系と企業の営業管理
【内容・方法 等】 財務比率の出発点となる自己資本利益率(ROE)の分解を説明するとともに、収益性分析の内容を検討する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第3章に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第7回** 【授業テーマ】 企業の投資管理
【内容・方法 等】 財務比率分析の体系を踏まえて、今回は、運転資本、資産回転率、資産回転期間など企業の投資管理に役立つ活動性分析を理解する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第5章に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第8回** 【授業テーマ】 企業の資金調達管理
【内容・方法 等】 財務比率分析の体系を踏まえて、今回は、流動性分析、長期支払能力分析など企業の資金調達管理に役立つ安全性分析について講義する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第4章に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第9回** 【授業テーマ】 企業の配当政策と市場評価分析
【内容・方法 等】 財務比率分析の体系を踏まえて、今回は、配当性向などの配当政策に関する比率、1株当たり利益などの資本市場関連の財務比率、および両者の関係を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書の第8章2に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第10回** 【授業テーマ】 財務比率分析のまとめと確認テスト(講義の進捗に応じて前後することがある)
【内容・方法 等】 これまで学んできた財務比率分析について、改めて整理・復習し、質問を受ける。理解の確認のための小テストを実施する。
【事前・事後学習課題】 財務比率分析の理解度のチェックと疑問点の整理
- 第11回** 【授業テーマ】 付加価値指標と企業の生産管理
【内容・方法 等】 自己資本利益率(ROE)の分解に基づく財務比率の体系の範囲外であるが、極めて重要な付加価値指標に基づく生産性分析について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第7章に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第12回** 【授業テーマ】 損益分岐点分析
【内容・方法 等】 変動費と固定費の分解による営業管理のための収益性分析の一つとして重要な損益分岐点分析について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書の第7章に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第13回** 【授業テーマ】 経済全体からみた財務比率の動向
【内容・方法 等】 教科書には取り上げられていないが、上場企業と中小企業、業界等における財務比率の動向を比較・検討し、企業規模や所属する業界の特性を、財務比率等から検討する。
【事前・事後学習課題】 財務比率等の経営分析で学んだ分析手法の応用能力を養う。
- 第14回** 【授業テーマ】 経営分析のトピックスと経営分析論Iの重点項目の補講(進捗度・内容で前後することがある)
【内容・方法 等】 経営分析に関連する最近の話題となったト

- ピックスを取り上げるとともに経営分析論Iの重点項目について補講する。
【事前・事後学習課題】 取り上げられたトピックスについて、自らの分析に基づいて、問題点の整理を試みる。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 経営分析論Iで講義したテーマの整理とまとめ
【事前・事後学習課題】 これまで学習した論点について復習し、疑問点・理解が不十分な点について整理しておくこと。
- 評価方法(基準)**
基本的には期末テストの結果による。加えて、小テストの結果、授業への参加状況等を加味する。
- 教材等**
教科書…渋谷武夫著「ベーシック 経営分析」中央経済社(2,600円)
参考書…K. G. バレブ、P. M. ヒーリー、V. L. バーナード著(斉藤静樹監訳、筒井知彦・川本淳・八重倉孝・亀坂安紀子訳「企業分析入門」(第2版)東京大学出版会(4,800円))
- 学生へのメッセージ**
教科書と電卓は必ず持参してください。熱心かつ真面目な態度で授業に臨み、私語は他の受講生の迷惑となることから絶対に慎んでください。質問は大いに歓迎します。
- 関連科目**
企業簿記システム、財務会計論、管理会計論、会計情報論、企業財務論。
- 担当者の研究室等**
現在のところ未定。決定次第、通知する。
- 備考**
本年度が初めての講義となるので、講義の内容が前後するなど、若干の試行錯誤が予想される。変更等が必要となる場合には、事前の授業の場で必ず通知するので、この点に十分留意して受講してほしい。

経営分析論II Business Analysis II				
高尾裕二(タカオ ヒロジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
経営分析論Iで学んだ主要な経営手法(経営分析論IIの前半の議論を含む)の利用を踏まえて、企業価値を評価する方法を中心に講義する。到達目標は、規模・業種等、さまざまな経営環境下にある企業をどのように評価すればよいのかを理解し、収集したデータを基に基づいて自ら企業を評価することのできる能力を身につけることである。
- 授業方法と留意点**
基本的にノート方式により講義を進める。必要に応じて、演習問題を含むプリントを適宜配布する。演習問題やケース分析には熱心に取り組むこと。私語を慎み、真面目な受講態度で講義に臨むこと。
- 科目学習の効果(資格)**
企業への就職希望者、専門的職業人(特に、中小企業診断士、証券アナリストなど)の資格取得に関連する。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクションー経営分析論IIの概要
【内容・方法 等】 経営分析の意義と目的を理解し、経営分析論、とりわけ経営分析論IIで取り上げる主要なテーマを概観する。併せて、授業の進め方、評価方法等についても説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書の目次および第1章に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 キャッシュ・フロー計算書の見方・読み方
【内容・方法 等】 経営分析論Iにおいても、一部、取り上げたが、キャッシュ・フロー計算書の構造、他の財務表との関係、およびキャッシュ・フロー計算書が提供する情報の意味を改めて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第2章4および第11章1-2に目を通しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 キャッシュフロー分析
【内容・方法 等】 フリー・キャッシュフローを含むキャッシュフロー指標を用いたキャッシュフロー分析を理解する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第11章3に目を通しておくこと。電卓で比率を算定。
- 第4回** 【授業テーマ】 成長性分析
【内容・方法 等】 成長性分析に焦点を当て、二期間の損益計算書データの比較による利益増分分析の手法を中心に講義する。
【事前・事後学習課題】 教科書の第10章に目を通しておくこ

- と。電卓で比率を算定。
- 第5回** 【授業テーマ】 予測財務諸表作成の基礎①
【内容・方法等】 経営分析論Ⅰで取り上げた財務比率分析などの手法も含む、これまでの各種の経営分析手法を整理し、これらの知識のもとに、予測財務諸表をどのように作成するのかの基礎を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 これまでの講義で取り上げた経営分析手法の復習しておく。
- 第6回** 【授業テーマ】 予測財務諸表作成の基礎②
【内容・方法等】 仮想的な設定のもとで、予測財務諸表を具体的に作成する。
【事前・事後学習課題】 電卓による簡単な予測財務諸表の作成。エクセルの利用方法を復習しておくことが望ましい。
- 第7回** 【授業テーマ】 キャッシュフローに基づく企業価値評価
【内容・方法等】 いわゆるファンダメンタル分析とよばれる、キャッシュフローに基づく各種の企業価値評価方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 予測財務諸表と企業価値評価の関係について考えておく。電卓で企業価値を算定。
- 第8回** 【授業テーマ】 会計数値に基づく企業価値評価
【内容・方法等】 いわゆる「残余利益モデル」(または「オールソン・モデル」とよばれる、財務諸表で示される会計利益や純資産簿価を用いた企業評価方法を取り上げ、検討する。
【事前・事後学習課題】 キャッシュフローに基づく企業価値評価と会計利益に基づく企業価値評価との関係について考えておく。電卓で企業価値を算定。
- 第9回** 【授業テーマ】 E V A (経済付加価値)を用いた企業価値評価
【内容・方法等】 企業価値評価方法の最後として、E V A (経済付加価値)を用いた企業評価方法を取り上げ、検討する。
【事前・事後学習課題】 先の2つの評価方法と比較し、E V A (経済付加価値)企業価値評価の特徴を考える。電卓で企業価値を算定。
- 第10回** 【授業テーマ】 市場評価分析と企業価値評価
【内容・方法等】 主要な資本市場分析を学び、理論的に算定された企業価値評価との関係性を検討する。
【事前・事後学習課題】 教科書第8章2に目を通しておくこと。電卓で企業価値評価額と市場評価の関係分析。
- 第11回** 【授業テーマ】 これまで取り上げた論点の復習と確認テスト(講義の進捗に応じて前後することがある)
【内容・方法等】 これまで取り上げた経営財務論Ⅱの主要な論点を整理・復習し、質問を受ける。理解の確認のための小テストを実施する。
【事前・事後学習課題】 これまで取り上げた主要な論点の理解度のチェックと疑問点の整理
- 第12回** 【授業テーマ】 個別論点①-会計数値と株価の関係
【内容・方法等】 会計利益、純資産簿価、営業キャッシュフローといった会計数値と資本市場で形成される企業の株価とが、どのような関係があるのかについて、実際のデータから読み取る。
【事前・事後学習課題】 統計学ないし計量経済学で議論される回帰分析の基礎を理解していることが望ましい。
- 第13回** 【授業テーマ】 個別論点②-利益マネジメントと経営分析
【内容・方法等】 経営分析の出発点となる財務諸表の数値は、経営者の裁量によって、過大に報告されたり、過少に報告されたりすることがある。これは、経営者による「利益マネジメント」とよばれるが、この利益マネジメントが経営分析に及ぼす影響について検討する。
【事前・事後学習課題】 統計学ないし計量経済学で議論される回帰分析の基礎を理解していることが望ましい。
- 第14回** 【授業テーマ】 経営分析のトピックスと経営分析論Ⅱの重点項目の補講(講義の進捗に応じて前後することがある)
【内容・方法等】 経営分析に関連する最近の話題を取り上げ検討するとともに、経営分析論Ⅱの重点項目について補講する。
【事前・事後学習課題】 取り上げられたトピックスについて、自らの分析に基づいて問題点の整理を試みる。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 経営分析論Ⅱで講義したテーマの整理とまとめ
【事前・事後学習課題】 これまで学習した論点について、復習し、疑問点・理解が不十分な

評価方法(基準)

基本的に期末テストの結果による。加えて、小テストの結果、授業への参加状況等を加味する。

教材等

教科書…渋谷武夫著「ベーシック 経営分析」中央経済社(2,600円)

参考書…乙政正太著「財務諸表分析」同文館出版(3,000円)
伊藤邦雄著「ゼミナール 企業価値評価」日本経済新聞社(3,900円)

学生へのメッセージ

教科書と電卓は必ず持参してください。熱心かつ真面目な態度

で授業に臨み、私語は他の受講生に迷惑となることから絶対に慎んでください。質問は大いに歓迎します。

関連科目

財務会計論、会計情報論、企業財務論。

担当者の研究室等

現在のところ未定。決定次第、通知する。

備考

本年度が初めての講義となるので、講義の内容が前後するなど、若干の試行錯誤が予想される。変更等が必要となる場合には、事前の授業の場で必ず通知するので、この点に注意して受講してほしい。

会計情報論

Accounting and Information Systems I

佐井英子(サイ ヒデコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会計情報とは、企業の経済活動という現実の事象を、会計ルールに従って加工ないし写像したものである。ゆえに会計情報を解釈し、その背後にある現実の事象を正しく把握するには、会計ルールすなわち会計固有の用語とその仕組みに関する知識が不可欠である。特に近年、企業活動の多様化、グローバル化に伴い会計ルールは、さまざまな形で新設、変更された。本講義では、キャッシュフロー計算書、連結会計情報、連結株主資本等変動計算書、金融商品会計等について解説する。

授業方法と留意点

テキストを用いた講義及び事例研究のため資料を配付する。講義内容の理解を深めるために練習問題を解く。

科目学習の効果(資格)

公認会計士試験、税理士試験、証券アナリスト試験等の会計資格取得に有用である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 連結財務諸表の作成①
【内容・方法等】 連結財務諸表とは、連結主体論、連結範囲、少数株主持分の処理、持分法
【事前・事後学習課題】 練習問題1(講義後に配布)
- 第2回** 【授業テーマ】 連結財務諸表の作成②
【内容・方法等】 連結貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】 練習問題2
- 第3回** 【授業テーマ】 連結財務諸表の作成③
【内容・方法等】 連結損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】 練習問題3
- 第4回** 【授業テーマ】 セグメント情報
【内容・方法等】 セグメント別会計情報
【事前・事後学習課題】 練習問題4
- 第5回** 【授業テーマ】 キャッシュ・フロー計算書①
【内容・方法等】 キャッシュ・フロー計算書の意義と目的、間接法と直接法
【事前・事後学習課題】 練習問題5
- 第6回** 【授業テーマ】 キャッシュ・フロー計算書②
【内容・方法等】 営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フロー
【事前・事後学習課題】 練習問題6
- 第7回** 【授業テーマ】 為替換算会計
【内容・方法等】 為替相場と会計数値、換算とは、在外支店、在外子会社の財務諸表項目の換算
【事前・事後学習課題】 練習問題7
- 第8回** 【授業テーマ】 株主資本等変動計算書
【内容・方法等】 株主資本等変動計算書の意義と目的、表示区分と作成方法
【事前・事後学習課題】 練習問題8
- 第9回** 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】 配布プリント
【事前・事後学習課題】 1回～8回までに配布した練習問題、例題の復習、教科書p83～p120を理解する
- 第10回** 【授業テーマ】 会計情報の特質①
【内容・方法等】 会計情報の有用性と限界、情報の非対称性
【事前・事後学習課題】 練習問題9
- 第11回** 【授業テーマ】 会計情報の特質②
【内容・方法等】 会計戦略と会計数値
【事前・事後学習課題】 練習問題10
- 第12回** 【授業テーマ】 会計情報の特質③
【内容・方法等】 会計情報のフィードバック効果
【事前・事後学習課題】 練習問題11
- 第13回** 【授業テーマ】 企業価値とディスクロージャー①
【内容・方法等】 企業価値とは、なぜディスクロージャーが必要とされるのか

- 第14回 【事前・事後学習課題】 練習問題1 2
【授業テーマ】 企業価値とディスクロージャー②
【内容・方法等】 資本コストと企業価値、自発的開示とIR
- 第15回 【事前・事後学習課題】 練習問題1 3
【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】 10回～14回までに配布した資料、練習問題

評価方法 (基準)
レポートの提出、授業への参加、期末試験の結果を総合的に評価する。

教材等
教科書…「会計情報分析」鳥邊・東原 中央経済社 (2,800円)
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ
米国においてエンロン、ワールドコムに代表される会計不祥事が次々と発覚し、我国においても、山一証券、りそな、足利銀行等の破綻に会計が大きく関わっている。そのため、会計に対する世間の関心が高まり、その重要性が再認識されています。是非、会計の素養を身につけるよう積極的に参加してください。

関連科目
企業簿記システム、財務会計論、管理会計論、経営分析論、国際会計論

担当者の研究室等
11号館8階(佐井教授室)

会計情報論II Accounting and Information Systems II				
佐井英子 (サイ ヒデコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
会計情報とは、現実の複雑な事象が、詳細性と理解可能性のバランスを考慮して、統合・集約されたものである。ゆえに財務諸表に開示される情報はすべての経営活動がそのままの形で表現されたものではなく、不可避的に情報のロスが存在している。また、企業環境が複雑さを増すにつれて、同一企業の会計情報であってもそこから得られる分析結果の解釈には多面的評価が不可欠である。この講義では、会計情報の利用という観点からいくつかの企業を取り上げ、各種分析の意義や分析プロセス等の説明を行う。

授業方法と留意点
前半では、会計情報の利用という観点から、収益性、安定性等の企業分析の理論と手法を学ぶ。後半では、学生が興味のある会社を1社選択し、有価証券報告書から様々な情報を入手し、経営内容、戦略などを調べ、企業分析をおこなう。前半は講義の後、練習問題を解くという形式で進めるが、後半は、企業のホームページやEDINETを利用し、個々に情報収集、分析をおこなう実習形式で進める。講義は、前半、後半とも情報処理室でおこなう。

科目学習の効果 (資格)
公認会計士試験、税理士試験等の会計関連資格に関連する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 収益性分析①①
【内容・方法等】 収益性分析とは、いろいろな資本利益率
【事前・事後学習課題】 講義終了時に練習問題を配布、練習問題①
教科書P121～130
- 第2回 【授業テーマ】 収益性分析②②
【内容・方法等】 収益性分析の手順
【事前・事後学習課題】 練習問題②
教科書P131～P15
- 第3回 【授業テーマ】 会計情報開示制度
【内容・方法等】 有価証券報告書の見方、IR情報の活用法
【事前・事後学習課題】 練習問題3
教科書P24～P31
- 第4回 【授業テーマ】 企業分析①
【内容・方法等】 分析対象企業の選択、企業概要の調査
【事前・事後学習課題】 レポートの作成、提出
- 第5回 【授業テーマ】 企業分析②
【内容・方法等】 調査対象企業の事業戦略、製品戦略、市場戦略を調べる。
【事前・事後学習課題】 レポートの作成、提出
- 第6回 【授業テーマ】 企業分析③
【内容・方法等】 調査対象企業の財務情報を調べる。
【事前・事後学習課題】 レポートの作成、提出
- 第7回 【授業テーマ】 企業分析④
【内容・方法等】 短期的分析-2年間の売上高、営業利益、

- 純利益の増減の要因を調べる。
- 第8回 【事前・事後学習課題】 レポートの作成、提出
【授業テーマ】 企業分析⑤
【内容・方法等】 トレンド分析-企業の長期的動向を把握し、総合的に評価する。また、その要因を探る。
【事前・事後学習課題】 レポートの作成、提出
- 第9回 【授業テーマ】 企業分析⑥
【内容・方法等】 同業他社との比較と評価
【事前・事後学習課題】 レポートの作成と提出
- 第10回 【授業テーマ】 発表会
【内容・方法等】 分析結果の発表を行う。
【事前・事後学習課題】 プレゼンの準備
- 第11回 【授業テーマ】 損益分岐点分析①
【内容・方法等】 損益分岐点図表と限界利益図表、固定費・変動費の分解
【事前・事後学習課題】 練習問題④
教科書P152～p160
- 第12回 【授業テーマ】 損益分岐点分析②
【内容・方法等】 固定費・変動費の分解
【事前・事後学習課題】 練習問題⑤
教科書P161～P178
- 第13回 【授業テーマ】 企業分析⑦
【内容・方法等】 調査対象企業のキャッシュ・フロー分析
【事前・事後学習課題】 レポートの作成と提出
教科書P197～208
- 第14回 【授業テーマ】 企業分析⑧
【内容・方法等】 調査対象企業のキャッシュ・フロー分析
【事前・事後学習課題】 レポートの作成と提出
教科書P209～P221
- 第15回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】 確認テストを行う
【事前・事後学習課題】 授業中配布したプリント、教科書 P121～P178、P197～P222

評価方法 (基準)
授業への参加 (出席、レポート提出、授業での発言) と試験の結果により総合的に評価する。

教材等
教科書…「会計情報分析」鳥邊・東原 中央経済社 (2,800円)
参考書…適宜、指定する。

学生へのメッセージ
ビジネスや企業行動を理解するために会計に対する素養は不可欠です。身近な事例を多く紹介しますので、積極的に参加してください。

関連科目
財務会計論I・II、会計情報論I、管理会計論、経営分析論、(企業簿記)

担当者の研究室等
11号館8階(佐井教授室)

税務会計論I Tax Accounting I				
中塚賢 (ナカツカ ケン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
税務会計は、法人税法という法律に基づいた会計である。税務会計の目的である課税所得計算は、確定決算による企業の利益をベースに算定されるものである。本講義では、多分、初めて法人税という分野を学ぶ学生諸君に対し、税務会計の基本的な構造を中心として、入門・基礎的な部分を主に講義する。

授業方法と留意点
講義ノート方式。随時、練習問題も行う。わかりやすく、そして興味を持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。

科目学習の効果 (資格)
法人税の基礎知識を得ることによって、法人の課税所得の計算ができるようになる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 税務会計の基礎①
【内容・方法等】 租税法の基礎
法律・施行令・施行規則・通達
【事前・事後学習課題】 税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
- 第2回 【授業テーマ】 税務会計の基礎②
【内容・方法等】 法人課税の基礎 課税所得の計算 確定申告書 (別表)
【事前・事後学習課題】 税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等

- 第3回** 【授業テーマ】 税務会計の基礎③
 【内容・方法等】 基本的な用語Ⅰ（益金算入、損金算入、課税所得と当期純利益）日本の徴税組織（国税庁・国税局・税務署）の役割
 【事前・事後学習課題】 税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
- 第4回** 【授業テーマ】 税務会計の基礎④
 【内容・方法等】 基本的な用語Ⅱ（租税法主義、確定決算主義、損金経理、青色申告）税務調査と不服申立て
 【事前・事後学習課題】 税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
- 第5回** 【授業テーマ】 益金の処理①
 【内容・方法等】 一般的な収益の認識
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 益金の処理②
 【内容・方法等】 一般的な収益の認識
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 長期割賦販売等・長期請負工事等の益金計上益金の処理
 【内容・方法等】 特別な収益の認識
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第8回** 【授業テーマ】 受取配当益金不算入
 【内容・方法等】 法人擬制説
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第9回** 【授業テーマ】 損金経理の意味とその役割・確定決算主義Ⅰ
 【内容・方法等】 損金経理の意味Ⅰ
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第10回** 【授業テーマ】 損金経理の意味とその役割・確定決算主義Ⅱ
 【内容・方法等】 損金経理の意味Ⅱ
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第11回** 【授業テーマ】 棚卸資産の範囲・取得価額棚卸資産の評価方法Ⅰ
 【内容・方法等】 商品・製品等の売上原価Ⅰ
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第12回** 【授業テーマ】 棚卸資産の範囲・取得価額棚卸資産の評価方法Ⅱ
 【内容・方法等】 商品・製品等の売上原価Ⅱ
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習
- 第13回** 【授業テーマ】 総合課題Ⅰ
 【内容・方法等】 まとめと練習問題Ⅰ
 【事前・事後学習課題】
- 第14回** 【授業テーマ】 総合課題Ⅱ
 【内容・方法等】 まとめと練習問題Ⅱ
 【事前・事後学習課題】
- 第15回** 【授業テーマ】 総合課題Ⅲ
 【内容・方法等】 まとめと練習問題Ⅲ
 【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

期末のテストによる。
 受講態度も評価する。

教材等

教科書…紙 博文著『税務会計概説』テキスト版（2000円）を使用する予定であるが平成25年版は4月中旬になる予定。別途授業中指示する。
 参考書…・演習「法人税法」(社)全国経理教育協会編、清文社（1890円）
 ・「法人税入門の入門」辻・斎藤共著税務研究会出版局（1680円）

学生へのメッセージ

新聞等で税金に関する記事を積極的に読むこと。授業中に聞いたことでわからないことがあれば、授業終了後質問にいくこと。講義には必ず出席し、授業中は静粛にすること。

関連科目

企業簿記システム、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、税務会計論Ⅱ

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

税務会計論Ⅱ Tax Accounting II				
紙 博文(カミ ヒロフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

税務会計は、法人税法という法律に基づいた会計である。税務会計の目的である課税所得計算は、確定決算による企業の利益をベースに算定されるものである。本講義では、前期の税務会計Ⅰを踏まえて基本的な損金・益金計算を中心として講義する。とりわけ、損金算入項目として、役員給与、減価償却費、交際費、

寄付金、圧縮記帳等について講義する。

授業方法と留意点

講義ノート方式。随時、練習問題も行う。わかりやすく、そして興味を持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。

科目学習の効果（資格）

法人税の基礎知識を得ることによって、法人の課税所得計算が出来るようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 減価償却
 【内容・方法等】 減価償却の計算方法
 少額の減価償却資産の内容
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 特別償却・割増償却・繰延資産
 【内容・方法等】 特別償却・割増償却の内容
 税務上の繰延資産の内容
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習
- 第3回** 【授業テーマ】 修繕費と資本的支出・除却損失等
 【内容・方法等】 修繕費と資本的支出の区分基準
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 役員給与Ⅰ
 【内容・方法等】 役員範囲 同属会社
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習
- 第5回** 【授業テーマ】 役員給与Ⅱ
 【内容・方法等】 みなし役員 使用人兼務役員 過大給与の損金不算入
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 役員給与Ⅲ
 【内容・方法等】 練習問題
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 寄付金Ⅰ
 【内容・方法等】 寄付金の性格、寄付金課税
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習、新聞記事等に注目
- 第8回** 【授業テーマ】 寄付金Ⅱ
 【内容・方法等】 練習問題
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習、新聞記事等に注目
- 第9回** 【授業テーマ】 交際費
 【内容・方法等】 交際費の性格と損金算入の要件
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、新聞記事等に注目
- 第10回** 【授業テーマ】 租税公課・損害賠償金・罰科金
 【内容・方法等】 租税公課・損害賠償金・罰金の取扱い
 租税公課等の取扱いの留意点
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習、新聞記事等に注目
- 第11回** 【授業テーマ】 貸倒損失、貸倒引当金への繰入
 【内容・方法等】 貸倒損失と不良債権
 法律上・事実上・形式上の貸倒れ、法定繰入率
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、ASBJ基準の復習、新聞記事等に注目
- 第12回** 【授業テーマ】 圧縮記帳
 【内容・方法等】 意義、計算方法
 【事前・事後学習課題】 財務会計の復習、新聞記事等に注目
- 第13回** 【授業テーマ】 申告と納税 グループ納税制度
 【内容・方法等】 税額計算の仕組 同属会社の留保金課税
 青色申告納税 連結納税
 【事前・事後学習課題】
- 第14回** 【授業テーマ】 総合課題Ⅰ
 【内容・方法等】 練習問題と復習 その1
 【事前・事後学習課題】
- 第15回** 【授業テーマ】 総合課題Ⅱ
 【内容・方法等】 練習問題と復習 その2
 【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

期末のテストによる。受講態度も評価する。

教材等

教科書…紙 博文著『税務会計論概説 平成25年・26年版』テキスト版（2000円）。
 参考書…・演習「法人税法」(社)全国経理教育協会編、清文社（1890円）
 ・「法人税入門の入門」辻・斎藤共著税務研究会出版局（1680円）

学生へのメッセージ

新聞等で税金に関する記事を積極的に読むこと。授業中に聞いたことでわからないことがあれば、授業終了後質問にいくこと。講義には必ず出席すること。授業中は静粛にすること。

関連科目

企業簿記システム、財務会計論、税務会計論Ⅰ

担当者の研究室等

11号館8階(紙教授室)

国際会計論 International Accounting I				
高尾裕二(タカオ ヒロジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 次の内容について講義する。①国際会計の意義②各国の会計制度の比較考察 ③IASCの成立からIASBへの経緯、④会計基準のコンバージェンスからアドプション⑤会計基準の統一化に関する最近の動向。以上、国際会計基準(IFRS)に関する基礎的な項目を踏まえて、国際会計基準についての特徴を講義する。なお、国際会計基準を学ぶことは、これから(未来)の会計学を学ぶことでもある。

授業方法と留意点
 講義方式。わかりやすく、そして興味を持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。新聞記事も利用する。

科目学習の効果(資格)
 財務会計論をより発展させた科目で未来(将来)の会計であるともいえる。会計の内容をより深める科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 国際会計の意義
 【内容・方法等】 ・会計の国際化と国際会計の定義
 【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 国際会計の課題
 【内容・方法等】 ・個別企業、国家、国際各レベルでの課題
 【事前・事後学習課題】 新聞記事等にて国際会計に関する記事を読む。
- 第3回 【授業テーマ】 国際会計へのアプローチ I
 【内容・方法等】 ・IASCの成立からIASBへ
 【事前・事後学習課題】 新聞記事等にて国際会計に関する記事を読む。
- 第4回 【授業テーマ】 国際会計へのアプローチ II
 【内容・方法等】 ・コンバージェンスからアドプションへ
 【事前・事後学習課題】 新聞記事等にて国際会計に関する記事を読む。
- 第5回 【授業テーマ】 わが国の会計規制 I
 【内容・方法等】 ・会社法の会計、金融商品取引法の会計、税務会計
 【事前・事後学習課題】 日本の会計制度に関する予備知識をもつこと。ASBJの機能等
- 第6回 【授業テーマ】 わが国の会計規制 II
 【内容・方法等】 ・わが国会計規制の変容と理論的基礎
 【事前・事後学習課題】 日本の会計制度に関する予備知識をもつこと。ASBJの機能等
- 第7回 【授業テーマ】 アングロ・アメリカン型会計制度
 【内容・方法等】 ・アングロ・アメリカン型会計制度の特徴(アメリカ、イギリス)
 【事前・事後学習課題】 アメリカのFASB、SECの役割を調べておく。
- 第8回 【授業テーマ】 フランコ・ジャーマン型会計制度
 【内容・方法等】 ・フランコ・ジャーマン型会計制度の特徴(ドイツ、フランス)
 【事前・事後学習課題】 正規の簿記の諸原則、プラン・コンタブル・ジェネラル等に関する予備知識
- 第9回 【授業テーマ】 国際会計基準(IFRS)に関する最近の動向 I
 【内容・方法等】 EU、アメリカ、日本の対応
 【事前・事後学習課題】 新聞記事等を読み込む。最近の動向を知ること
- 第10回 【授業テーマ】 国際会計基準(IFRS)に関する最近の動向 II
 【内容・方法等】 アメリカ、日本のロードマップとその対応
 【事前・事後学習課題】 新聞記事等を読み込む。最近の動向を知ること
- 第11回 【授業テーマ】 IFRSの基礎知識 I
 【内容・方法等】 IFRSの構成、特徴、実質優先思考
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
- 第12回 【授業テーマ】 IFRSの基礎知識 II
 【内容・方法等】 原則主義と細則主義、資産・負債アプローチ、公正価値の概念
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
- 第13回 【授業テーマ】 IFRSの基礎知識 III
 【内容・方法等】 概念フレームワークの説明 I
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
- 第14回 【授業テーマ】 IFRSの基礎知識 IV
 【内容・方法等】 概念フレームワークの説明 II
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
- 第15回 【授業テーマ】 総復習とまとめ
 【内容・方法等】 練習問題とまとめ
 【事前・事後学習課題】 _____
- 評価方法(基準)

学期末テスト及びレポートによって評価する。また、受講態度も評価する。

教材等
 教科書…紙博文著『国際会計論概説2013年版』テキスト版(1800円)
 参考書…授業中に紹介する。

学生へのメッセージ
 講義中、私語は慎んでください。テキストにしたがって講義をします。なお、補足部分は板書きをしますので、それを教科書(テキスト)に書き込んで後で復習をしてください。不明な点があれば慮することなく質問をしてください。

関連科目
 企業簿記(簿記論)・財務会計論I・IIをあらかじめ修得しておくこと。

担当者の研究室等
 11号館8階(高尾教授室)

国際会計論II International Accounting II				
紙 博文(カミ ヒロフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 国際会計論Iに引続き次の内容を講義する。①IFRSの特質、②IFRSの内容、③IFASの将来像、④変わりゆくIFRS。国際会計論Iより内容を進化させ、IFRSの実際の会計基準を学ぶ。もちろん2年次履修した財務会計論の知識が必要となるのでその復習も各自行っておく。また、国際会計論IIの履修にあたっては、必ず国際会計論Iの履修をしておくこと。この科目だけの履修は難しい。

授業方法と留意点
 講義方式。わかりやすく、そして興味を持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。新聞記事も利用し最新の「国際会計」に関するニュースを知らせるとともに学生諸君も新聞等には常に注目しておくこと。

科目学習の効果(資格)
 財務会計論をより発展させた科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 IFRS基準 I
 【内容・方法等】 時価概念、資産・負債アプローチ
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 IFRS基準 II
 【内容・方法等】 包括利益概念
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 IFRS基準 III
 【内容・方法等】 財務諸表の表示、包括利益計算書、財政状態計算書
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 IFRS基準 IV
 【内容・方法等】 キャッシュ・フロー計算書
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 IFRS基準 V
 【内容・方法等】 収益の認識、工事進行基準
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 IFRS基準 VI
 【内容・方法等】 棚卸資産
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 IFRS基準 VII
 【内容・方法等】 金融商品、その他
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 IFRS基準 VIII
 【内容・方法等】 有形固定資産、無形固定資産
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 IFRS基準 IX
 【内容・方法等】 減損会計
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 IFRS基準 X
 【内容・方法等】 リース
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 IFRS基準 XI
 【内容・方法等】 退職給付会計
 【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 IFRS基準の将来象とIFRS基準の最新の話
 【内容・方法等】 新聞記事等又はDVDにより紹介
 【事前・事後学習課題】 ASBJ基準、国際会計論Iの復習
- 第13回 【授業テーマ】 変わりゆくIFRS基準
 【内容・方法等】 IASB/FASBの共同プロジェクト
 【事前・事後学習課題】 ASBJ基準、国際会計論Iの復習

- 第14回 【授業テーマ】 まとめと復習 I
【内容・方法 等】 総復習
【事前・事後学習課題】 _____
- 第15回 【授業テーマ】 まとめと復習 II
【内容・方法 等】 総復習
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)

学期末テストによって評価する。また、受講態度も評価する。

教材等

教科書…紙博文著『国際会計論概説2013年版』テキスト版1800円
参考書…授業中に紹介する。

学生へのメッセージ

講義中、私語は慎んでください。教科書(テキスト)にしたがって講義をします。なお、補足部分は板書きをしますのでそれを教科書に書き込んで後で復習してください。不明な点があれば臆することなく質問してください。

関連科目

企業簿記(簿記論)・財務会計論をあらかじめ修得しておくこと。

担当者の研究室等

11号館8階(紙教授室)

金融論 Theory of Money and Banking				
岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

本講義では、新聞やTV、インターネットを通した、さらに言えば身の回りにも潜む金融的事象を整理・理解するために、金融の基礎的知識とその応用力の修得を目標とする。巷には、「どう考えてもおかしい」という金融事例が沢山あり、我々はそれらを的確に判断し対応することが求められる。講義前半はマクロの視点から金融を概観し、後半は金融の根本的な問題である不確実性や情報の非対称性に起因する問題について、企業金融(ミクロの視点の金融論)の観点から説明する。

授業方法と留意点

前半は教科書を中心に適宜資料を配布しながら板書形式で、また後半は教科書を用いつつ配布資料を中心に講義を行う。できる限り学生との対話を重視しながら講義を進めるので、恐れず恥ずかしがらずに参加して欲しい。

科目学習の効果(資格)

金融的事象について適格に判断し対応できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 金融論で学ぶこと
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第1章について予習・復習のこと
- 第2回 【授業テーマ】 貨幣
【内容・方法 等】 貨幣の役割・定義、貨幣需要と貨幣供給等
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第2章について予習・復習のこと
- 第3回 【授業テーマ】 金利
【内容・方法 等】 単利と複利、実質利率と名目利率 等
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第3章について予習・復習のこと
- 第4回 【授業テーマ】 代表的な金融市場
【内容・方法 等】 長短金融市場、金融市場の規制、商品先物市場
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第13章を予習・復習のこと
- 第5回 【授業テーマ】 金融商品
【内容・方法 等】 預貯金、保険、年金、公社債、株式、金融派生商品 等
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第11、12章を予習・復習のこと
- 第6回 【授業テーマ】 金融政策(1)
【内容・方法 等】 マクロ経済変数、金融政策の長期効果の分析
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第4章を予習・復習のこと
- 第7回 【授業テーマ】 金融政策(2)
【内容・方法 等】 金融政策の短期効果の分析
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第4章を予習・復習のこと
- 第8回 【授業テーマ】 金融政策(3)
【内容・方法 等】 金融政策の実際
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第5、6章を予習・復習のこと
- 第9回 【授業テーマ】 金融システム
【内容・方法 等】 金融システムの機能、日本の金融システム

- 第10回 【授業テーマ】 金融仲介機関の理論
【内容・方法 等】 金融仲介機関の機能
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第7章を予習・復習のこと
- 第11回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業(1)
【内容・方法 等】 銀行、信託会社(信託銀行)
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第8、9章を予習・復習のこと
- 第12回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業(2)
【内容・方法 等】 保険会社
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第9章を予習・復習のこと
- 第13回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業(3)
【内容・方法 等】 証券会社、証券取引所、格付け機関
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第9章を予習・復習のこと
- 第14回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業(4)
【内容・方法 等】 公的金融機関と財政投融资
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第9章を予習・復習のこと
- 第15回 【授業テーマ】 金融システムの安定化
【内容・方法 等】 ブルーデンス政策
【事前・事後学習課題】 教科書(1)第10章を予習・復習のこと
- 第16回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 ここまでのまとめとして期中試験を行う
【事前・事後学習課題】 ここまでの内容について復習のこと
- 第17回 【授業テーマ】 企業金融の基礎(1)
【内容・方法 等】 資産価格と金利、裁定、金利の期間構造、リスクとリターン
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第1章を予習・復習のこと
- 第18回 【授業テーマ】 企業金融の基礎(2)
【内容・方法 等】 分散投資、ポートフォリオ理論
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第1章を予習・復習のこと
- 第19回 【授業テーマ】 企業金融の基礎(3)
【内容・方法 等】 ポートフォリオ理論の続き
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第1章を予習・復習のこと
- 第20回 【授業テーマ】 証券のプライシング(1)
【内容・方法 等】 CAPM
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第2章を予習・復習のこと
- 第21回 【授業テーマ】 証券のプライシング(2)
【内容・方法 等】 金融工学概観
【事前・事後学習課題】 教科書は使用せず、復習のこと
- 第22回 【授業テーマ】 証券のプライシング(3)
【内容・方法 等】 オプションプライシング
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第2章を予習・復習のこと
- 第23回 【授業テーマ】 投資政策
【内容・方法 等】 投資の意思決定、資本コスト、リアルオプション
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第3章を予習・復習のこと
- 第24回 【授業テーマ】 資金調達政策(1)
【内容・方法 等】 内部資金と外部資金
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第4章を予習・復習のこと
- 第25回 【授業テーマ】 資金調達政策(2)
【内容・方法 等】 最適資本構成の理論
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第4章を予習・復習のこと
- 第26回 【授業テーマ】 配当政策
【内容・方法 等】 配当、企業価値、株主価値、自社株買い
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第5章を予習・復習のこと
- 第27回 【授業テーマ】 リスクマネジメント
【内容・方法 等】 リスクマネジメントの基礎と実際
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第6章を予習・復習のこと
- 第28回 【授業テーマ】 中小企業の金融
【内容・方法 等】 中小企業の資金調達の現状
【事前・事後学習課題】 配布資料をもとに予習・復習のこと
- 第29回 【授業テーマ】 ベンチャー企業の金融
【内容・方法 等】 ベンチャー企業とそのファイナンスの特徴
【事前・事後学習課題】 教科書(2)第8章を予習・復習のこと
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ
- 評価方法 (基準)
学習状況と期中・期末試験の結果を基に総合的に評価する。詳しくは初回講義時に発表する。
- 教材等
教科書…(1)家森信善『はじめて学ぶ金融のしくみ』中央経済社(1回~16回)
(2)米澤康博・小西大・芹田敏夫『新しい企業金融』有斐閣(17回~30回)
参考書…花輪俊哉・小川英治『金融経済入門【第2版】』東洋経済新報社、大野早苗他『金融論』有斐閣、砂川伸幸『コーポレート・ファイナンス入門』日本経済新聞
- 学生へのメッセージ
周知のように就職環境は極めて厳しく、企業は即戦力を求めている。単位を稼ぐための受動的な受講ではなく、学ぶための能動的な受講姿勢を希望する。
- 関連科目
ミクロ経済学、マクロ経済学
- 担当者の研究室等
11号館8階(岩坪教授室)

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安久典宏 (アグ ミチヒロ)
高尾明照 (タカオ アキテル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

大学に入学してきた学生に早い段階で目的意識を持たせ、4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。

- この講義を通して、
- ①自己理解を深め自分の「強み」と自信が持てるようになる。
 - ②コミュニケーションについて、理解を深める。
 - ③社会（企業）の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
 - ④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
- を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果（資格）

将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的な行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】 大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第2回** 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか①
【内容・方法 等】 ・4年間の行動計画を考える
・目標達成意欲度を診断します
【事前・事後学習課題】 4年間で3大目標をはっきりと決めてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第3回** 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか②
【内容・方法 等】 ・目標に向かってどれだけ頑張ろうとしているかを計画に落とし込む
【事前・事後学習課題】 アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください。
今までの経験から自分のアピールポイントを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第4回** 【授業テーマ】 「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法 等】 ・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PR文をまとめるワークをおこなう
【事前・事後学習課題】 自分の将来の夢や目標について、考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第5回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り①
【内容・方法 等】 ・大学生生活の過ごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする
【事前・事後学習課題】 カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第6回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り②
【内容・方法 等】 自分発見マップのレイアウトと内容を整理、作成
【事前・事後学習課題】 自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第7回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り③
【内容・方法 等】 ・自分の将来像を一枚の絵にまとめ、グループ発表する
【事前・事後学習課題】 将来設計について自分なりの計画を考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第8回** 【授業テーマ】 ライフプラン設計を考える
【内容・方法 等】 ・大学生生活とライフプランの設計図（リファインシート）作成を通して、目標設定の考え方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 フリーターとニートの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第9回** 【授業テーマ】 ワーキングスタイルについて考える
【内容・方法 等】 ・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリーター、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】 コミュニケーションの意味について考

- えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第10回** 【授業テーマ】 コミュニケーションとは
【内容・方法 等】 ・コミュニケーションについて再考し、クリティカルコミュニケーションとフィーリングコミュニケーションについて考える
【事前・事後学習課題】 キャリア教育について調べてきてください。
モチベーションの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第11回** 【授業テーマ】 キャリア教育とは
【内容・方法 等】 ・キャリア教育とは
・モチベーション
・マズローの5段階の欲求説
【事前・事後学習課題】 「セレンディピティ」の意味を調べてきてください。
あなたの知っている業界をできるだけ多く書き出してきてください。
(安久・高尾担当)
- 第12回** 【授業テーマ】 社会を知ろう
【内容・方法 等】 ・「セレンディピティ」という魔法のことは
・「働く」ということ
・あなたは、どの業界やポジションで仕事をしたいですか？
【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第13回** 【授業テーマ】 SPI試験対策
【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】 将来計画について、まとめてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第14回** 【授業テーマ】 大学生生活とライフプランの設計図を発表しよう①
【内容・方法 等】 ・各人が大学生生活とライフプランの設計図を作成します
【事前・事後学習課題】 ライフプランについて完成させてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第15回** 【授業テーマ】 大学生生活とライフプランの設計図を発表しよう②
【内容・方法 等】 ・各人が作成したライフプランをグループの中で発表し代表を選出します
・SPI模擬試験結果の解説
【事前・事後学習課題】 ライフプランについて、さらに完成度をたかめておいてください。
夏休み中に後期のSPI模擬試験の準備をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 評価方法（基準）**
レポート（提出物）、授業態度、定期期末試験による総合評価とします。
- 教材等**
教科書…「キャリアデザイン」 安久典宏、羽石寛寿 清風出版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」 渡辺峻 中央経済社、「就職筆記試験パーフェクト問題集」 安久典宏 P H P 研究所
- 学生へのメッセージ**
・毎回、出席カードや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑（遅刻・欠席）をかけるないように。
・大学生生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。
- 関連科目**
・「キャリアデザイン入門（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているため、通年受講することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。
- 担当者の研究室等**
11号館6階(経営学部事務室)

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安久典宏 (アグ ミチヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

大学に入学してきた学生に早い段階で目的意識を持たせ、4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。

この講義を通して、

- ①自己理解を深め自分の「強み」と自信が持てるようになる。
 - ②コミュニケーションについて、理解を深める。
 - ③社会（企業）の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
 - ④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
- を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果（資格）

将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的な行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】 大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第2回** 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか①
【内容・方法 等】 ・4年間の行動計画を考える
・目標達成意欲度を診断します
【事前・事後学習課題】 4年間で3大目標をはっきりと決めてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第3回** 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか②
【内容・方法 等】 ・目標に向かってどれだけ頑張ろうとしているかを計画に落とし込む
【事前・事後学習課題】 アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください。
今までの経験から自分のアピールポイントを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第4回** 【授業テーマ】 「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法 等】 ・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PR文をまとめるワークをおこなう
【事前・事後学習課題】 自分の将来の夢や目標について、考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第5回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り①
【内容・方法 等】 ・大学生活の過ごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする
【事前・事後学習課題】 カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第6回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り②
【内容・方法 等】 自分発見マップのレイアウトと内容を整理、作成
【事前・事後学習課題】 自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第7回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り③
【内容・方法 等】 ・自分の将来像を一枚の絵にまとめ、グループ発表する
【事前・事後学習課題】 将来設計について自分なりの計画を考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第8回** 【授業テーマ】 ライフプラン設計を考える
【内容・方法 等】 ・大学生活とライフプランの設計図（リファインシート）作成を通して、目標設定の考え方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 フリーターとニートの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第9回** 【授業テーマ】 ワーキングスタイルについて考える
【内容・方法 等】 ・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】 コミュニケーションの意味について考えてきてください。
(安久・高尾担当)

- 第10回** 【授業テーマ】 コミュニケーションとは
【内容・方法 等】 ・コミュニケーションについて再考し、クリティカルコミュニケーションとフィーリングコミュニケーションについて考える
【事前・事後学習課題】 キャリア教育について調べてきてください。
モチベーションの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第11回** 【授業テーマ】 キャリア教育とは
【内容・方法 等】 ・キャリア教育とは
・モチベーション
・マズローの5段階の欲求説
【事前・事後学習課題】 「セレンディピティ」の意味を調べてきてください。
あなたの知っている業界をできるだけ多く書き出してきてください。
(安久・高尾担当)
- 第12回** 【授業テーマ】 社会を知ろう
【内容・方法 等】 ・「セレンディピティ」という魔法のことは
・「働く」ということ
・あなたは、どの業界やポジションで仕事をしたいですか？
【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第13回** 【授業テーマ】 SPI試験対策
【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】 将来計画について、まとめてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第14回** 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を発表しよう①
【内容・方法 等】 ・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成します
【事前・事後学習課題】 ライフプランについて完成させてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第15回** 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を発表しよう②
【内容・方法 等】 ・各人が作成したライフプランをグループの中で発表し代表を選出します
・SPI模擬試験結果の解説
【事前・事後学習課題】 ライフプランについて、さらに完成度を高めておいてください。
夏休み中に後期のSPI模擬試の準備をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 評価方法（基準）**
レポート（提出物）、授業態度、定期期末試験による総合評価とします。
- 教材等**
教科書…「キャリアデザイン」 安久典宏、羽石寛寿 清風出版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」 渡辺峻 中央経済社、「就職筆記試験パーフェクト問題集」 安久典宏 P H P 研究所
- 学生へのメッセージ**
・毎回、出席カードや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑（遅刻・欠席）をかけないように。
・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。
- 関連科目**
・「キャリアデザイン入門（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているため、通年受講することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。
- 担当者の研究室等**
11号館6階(経営学部事務室)

インターンシップ基礎 Introduction to Internship				
安久典宏 (アグ ミチヒロ) 高尾明照 (タカオ アキテル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①前期のキャリアデザインで履修した自己理解をさらに深め、グループワークなどを通じて自ら発信できるコミュニケーション能力を高めていく。
- ②履歴書の書き方やアピールの方法を学ぶことにより、今やるべきことや将来設計を明確にする。
- ③希望者による工場見学や短期インターンシップを実施し、仕事や社会に対する理解を深める。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的・自律的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
また、より深く仕事について学ぶため、企業見学を行う。

科目学習の効果(資格)

「ビジネスインターンシップII」の就業体験を有意義に行うための基礎的な考え方や社会の理解を深めるのに役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・授業ガイダンス
・インターンシップとは
・先輩の就職活動状況と社会の動き、組織人に求められる新しい仕事観
【事前・事後学習課題】 インターンシップの意味を調べてください。
(安久・高尾担当)
- 第2回** 【授業テーマ】 SPI試験対策
【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第3回** 【授業テーマ】 コミュニケーション①
【内容・方法 等】 ・コミュニケーションの目的
・傾聴とは
【事前・事後学習課題】 傾聴の意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第4回** 【授業テーマ】 コミュニケーション②
【内容・方法 等】 ・アサーションとは
・ケースワーク
・SPI模擬試験結果の解説
【事前・事後学習課題】 自分の主張をうまく伝えるには、どうすればいいか考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第5回** 【授業テーマ】 社会人基礎力
【内容・方法 等】 ・社会人基礎力の理解
・働くことについて再確認
【事前・事後学習課題】 社会人に求められる能力について調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第6回** 【授業テーマ】 自己分析①
【内容・方法 等】 ・自分自身の振り返り
・心の中にいる5人の私
【事前・事後学習課題】 今までに思い出に残る出来事を5つ書き出してきてください。
(安久・高尾担当)
- 第7回** 【授業テーマ】 自己分析②
【内容・方法 等】 ・自己PRのロールプレイング
・診断を活用し、自分の職業適性を考える
【事前・事後学習課題】 他人からほめられたことを3つ書き出してきてください。
(安久・高尾担当)
- 第8回** 【授業テーマ】 グループ討論①
【内容・方法 等】 ・グループ討論とは
・ブレイン・ストーミング
【事前・事後学習課題】 グループで話をする場合に大切なことを3つ考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第9回** 【授業テーマ】 グループ討論②
【内容・方法 等】 ・ディベートとは
・ロールプレイング
【事前・事後学習課題】 ディベートの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第10回** 【授業テーマ】 履歴書の書き方を学ぶ
【内容・方法 等】 ・履歴書を書いてみる

- ・どうすれば、アピールできるか
【事前・事後学習課題】 履歴書を見る人の立場になって、どんなところに注意したらいいかを3つ考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第11回** 【授業テーマ】 将来設計を考える①
【内容・方法 等】 ・学生生活と将来設計を再確認、修正する
・自分の夢について考える
【事前・事後学習課題】 今の目標と将来の夢とうまくつながっているかを考えておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第12回** 【授業テーマ】 将来設計を考える②
【内容・方法 等】 ・学生生活と将来設計を再確認、修正する
・自分の夢について考える
【事前・事後学習課題】 今の目標と将来の夢とうまくつながっているかを考えておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第13回** 【授業テーマ】 マナーを学ぶ
【内容・方法 等】 ・社会人のマナー VTR学習
【事前・事後学習課題】 改まった話し方や敬語について調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第14回** 【授業テーマ】 インターンシップとは
【内容・方法 等】 ・インターンシップについて考えてみよう
・グループによるプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 企業見学のポイントを調べて書き出してきてください。
(安久・高尾担当)
- 第15回** 【授業テーマ】 企業見学・短期インターンシップのための準備
【内容・方法 等】 ・企業見学や短期インターンシップのために何を準備すべきかを考えていきます
・それらの体験を通じ、何を学びたいのかを深めます
【事前・事後学習課題】 企業見学やインターンシップになぜ参加したいかを考えてきてください。
(安久・高尾担当)

評価方法(基準)

講義感想レポート、授業態度、期末試験による総合評価とします。

教材等

教科書…「キャリア教育ワークブック」 羽石寛寿 安久典宏 清風出版
・必要に応じてプリントを配布します

参考書…摂南大学「インターンシップ体験報告集」(2012年度)、「就職筆記試験パーフェクト問題集」(PHP研究所)

学生へのメッセージ

- ・毎回、出席カードや提出物で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
- ・グループワークを取り入れます積極的に参画し発言してください
- ・グループ学習などでは、他人に迷惑を(遅刻・欠席)をかけないように
- ・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目

・「キャリアデザイン入門(前期)」と「インターンシップ基礎(後期)」は通年でカリキュラム構成しているため、通年受講することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修(合格)しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

ビジネスプラン Business Plan				
萩原貞幸 (ハギハラ サダユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	全	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会経済が激動する昨今、キャリアプランを考える際に「起業」が一つの選択肢になりつつあります。起業は自らの価値観にあった働き方であり、ひいては経済に活力を与える源泉であるといえます。
そこで「ビジネスプラン」の講義では、起業環境を認識し、そして起業する際に必要とされるものの学習をはじめ、起業成功確率を高める「ビジネスプラン」の書き方、作り方学びます。また「ビジネスプラン」を実行する際の経営戦略法、市場戦略手法についても解説します。

授業方法と留意点

レジュメ(プリント)を用い講義し、起業・ビジネスプラン・経

営戦略に関する知識の習得だけでなく、実際の起業現場において、どのようなビジネスプランが作成されているのかを体験します。

科目学習の効果（資格）

ビジネス系資格取得のプラス知識になります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 起業・起業環境を知る
【内容・方法等】 起業の現状と課題
日本経済社会の現状とこれからのを考える
【事前・事後学習課題】 「生きる」「仕事をする」ことについて考える機会を得る
- 第2回** 【授業テーマ】 「働くということ」を考える
【内容・方法等】 自分のキャリアプランを考える
【事前・事後学習課題】 自分の人生について考えてみる
- 第3回** 【授業テーマ】 起業家の条件
【内容・方法等】 起業を成功させるためのポイント
【事前・事後学習課題】 自分自身の「起業家」に向いている部分について考えてみる
- 第4回** 【授業テーマ】 ビジネスプランとは？
【内容・方法等】 ビジネスプランの目的・必要性・ポイント
【事前・事後学習課題】 ビジネスをはじめるということについて考える
- 第5回** 【授業テーマ】 ビジネスアイデアとビジネスモデル
【内容・方法等】 ビジネスアイデアによるビジネスモデルの違い
【事前・事後学習課題】 同業態企業であってもアイデアによってビジネスモデルが違っている
その違いを分析してみる
- 第6回** 【授業テーマ】 ビジネスプランニング
【内容・方法等】 ビジネスアイデア発想とビジネスとしての採算性
【事前・事後学習課題】 ビジネスを発想してみる
そしてその採算性について検討しビジネスとして成立するかどうかを考える
- 第7回** 【授業テーマ】 ビジネスモデルの構築
【内容・方法等】 ビジネスモデルとは何か、またそのポイントを知る
【事前・事後学習課題】 知っている企業のビジネスモデルについて考える
- 第8回** 【授業テーマ】 起業とSNSマーケティング
【内容・方法等】 SNSを活用したマーケティングを知る
【事前・事後学習課題】 SNSを体験してみる
- 第9回** 【授業テーマ】 ビジネスプランの書き方・作り方
【内容・方法等】 ビジネスプランの書き方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 ビジネスプランを書いてみる
- 第10回** 【授業テーマ】 ビジネスプランの構成と経営戦略
【内容・方法等】 ビジネスプランの構成を学び、実行する際の経営戦略について考える
【事前・事後学習課題】 知っている企業の戦略について考える
- 第11回** 【授業テーマ】 ビジネスプラン作成実習（1）
【内容・方法等】 起業家になったつもりで自分の考えていることを、ビジネスプランとして明文化する
【事前・事後学習課題】 いろいろな業種業態について考えてみる
- 第12回** 【授業テーマ】 ビジネスプラン作成実習（2）
【内容・方法等】 フリー時代にマッチしたビジネスプランを作成する
【事前・事後学習課題】 フリー時代の生き方について考えてみる
- 第13回** 【授業テーマ】 ビジネスプランのプレゼンテーション
【内容・方法等】 ビジネスプランを完成させ、表現する
【事前・事後学習課題】 作成したビジネスプランをプレゼンテーションしてみる
- 第14回** 【授業テーマ】 ビジネスプランのまとめ
【内容・方法等】 ビジネスプラン作成のポイントをおさえる
【事前・事後学習課題】 ビジネスプランのポイントを覚える
- 第15回** 【授業テーマ】 レポート作成
【内容・方法等】 「ビジネスプラン」に関して
【事前・事後学習課題】 レポート課題を課す

評価方法（基準）

授業態度及びレポート

教材等

教科書…プリントを配布します

参考書…中小企業白書（簡易版）

学生へのメッセージ

起業・事業創業は生きがいを求める人生へのチャレンジ。
今後のキャリアプランにおいて「起業」という選択肢を用意しておいた方がいい。

関連科目

「ベンチャービジネス論」「ビジネスインターンシップI・II」

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

11号館8階(羽石教授室)

ビジネスインターンシップI

Business Internship I

安久典宏 (アグ ミチヒロ)

高尾明照 (タカオ アキテル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①組織人に求められる社会的役割および責任、仕事への情熱等を身につけ、主体的に発言できるプレゼンテーション能力の開発を目指す。

②インターンシップ体験や就職活動などを積極的にアプローチし、かつ、臨機応変な対応ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、演習や発表を多く取り入れたものにする。

科目学習の効果（資格）

将来の職業選択意識を高め適切に行動できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 ・授業の全体的な流れと進め方に関する説明
・インターンシップの狙いと重要性について
【事前・事後学習課題】 自分がなぜ、インターンシップに参加したいのかを考え、整理しておいてください
(安久・高尾)
- 第2回** 【授業テーマ】 やりたい仕事を探してみよう
【内容・方法等】 ・自分がやりたい仕事についてワークを通じて考える
・自分の行動特性を考える
【事前・事後学習課題】 自分のやりたい職種を3つ考えてきてください
(安久・高尾)
- 第3回** 【授業テーマ】 アルバイトと正社員の違いについて考える
【内容・方法等】 ・仕事の内容から求められる能力や資質について考える
【事前・事後学習課題】 アルバイトと正社員との違いを比較表にしてまとめてきてください
(安久・高尾)
- 第4回** 【授業テーマ】 自分のキャリアスタイルを考える
【内容・方法等】 ・キャリアスタイルの分析を通じて、自分の行動特性をチェックする
・見えてきた自分の強みをグループでPRする
【事前・事後学習課題】 自分の長所と短所を3つずつ考えてきてください
(安久・高尾)
- 第5回** 【授業テーマ】 業界研究①
【内容・方法等】 ・業界研究ワーク
・企業研究の仕方
・求人票の見方
【事前・事後学習課題】 自分の興味がある業界を3つ考えてきてください
(安久・高尾)
- 第6回** 【授業テーマ】 業界研究②
【内容・方法等】 ・同じ業界グループで求められる人材像を考える
【事前・事後学習課題】 自分が希望する業界の優先順位を付け、その理由も考えてきてください
(安久・高尾)
- 第7回** 【授業テーマ】 事前訪問事業所の調査
【内容・方法等】 ・事業所への事前訪問のシナリオを考える
【事前・事後学習課題】 事前訪問企業の業種や職種を決めておいてください
(安久・高尾)
- 第8回** 【授業テーマ】 インターンシップ先の選定について
【内容・方法等】 ・インターンシップ先を自分の学科と関連ある企業とマッチングをはかる
【事前・事後学習課題】 自分のインターンシップの目的を明確にしておいてください
(安久・高尾)
- 第9回** 【授業テーマ】 企業の求める人材像
【内容・方法等】 ・企業管理者による講演会（予定）
【事前・事後学習課題】 ・企業管理者の業界について調べ、400字程度にまとめてきてください
(安久・高尾)
- 第10回** 【授業テーマ】 履歴書・エントリーシートについて①
【内容・方法等】 ・履歴書・エントリーシートの書き方と留意点
【事前・事後学習課題】 自分のPR材料を探し、200字程度のPR文章を書いてきてください

- (安久・高尾)
- 第11回 【授業テーマ】 履歴書・エントリーシートについて②
【内容・方法等】 履歴書とエントリーシートの作成
【事前・事後学習課題】 面接場面を想定し、自己アピールできる文章を考えてきてください
(安久・高尾)
- 第12回 【授業テーマ】 企業研究①
【内容・方法等】 ・企業の採用側と応募者側とのロールプレイング①
【事前・事後学習課題】 自分が関心ある企業のホームページから採用情報を集めてきてください
(安久・高尾)
- 第13回 【授業テーマ】 企業研究②
【内容・方法等】 ・企業の採用側と応募者側とのロールプレイング②
【事前・事後学習課題】 ロールプレイングを行う企業について、ホームページでも調べてきてください
(安久・高尾)
- 第14回 【授業テーマ】 事前訪問の報告
【内容・方法等】 ・グループで事前訪問した事業所の報告
・グループでの代表者による発表
【事前・事後学習課題】 事前訪問結果をまとめておいてください
(安久・高尾)
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 ・インターンシップ体験に向けての準備
・インターンシップに参加するための目的を明確にする
【事前・事後学習課題】 なぜ、インターンシップに参加するかを明確にし、200字程度の文章にまとめてください
(安久・高尾)

評価方法 (基準)
レポート、授業態度、定期期末試験による総合評価とします。

教材等
教科書…「キャリア教育ワークブック」羽石寛寿、安久典宏 清風出版
参考書…摂南大学「インターンシップ体験レポート集」、「就職筆記試験パーフェクト問題集」安久典宏 P H P 研究所

学生へのメッセージ
インターンシップの流れ (予定)
4月下旬に事業所リスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み
→5月下旬に受け入れ可能かの回答→7月上旬に事前訪問→8月11日(日)～9月10日(火)の間(夏季休暇期間中)に、原則2週間(実質10日以上)のインターンシップ体験をすること。

関連科目
「ビジネスインターンシップⅡ」(企業等での就業体験実習)を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること。

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

備考
授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがあります。

ビジネスインターンシップⅡ Business Internship II				
安久典宏 (アグ ミチヒロ) 高尾明照 (タカオ アキテル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期非終講	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①就職の準備をしている学生を対象に、職業人としての社会的役割および責任、仕事への情熱と意欲、組織人としての在り方等について自ら学習します。
- ②責任を自覚して主体的に発言・行動ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。
- ③インターンシップを通して「企業とは」「組織とは」「仕事とは」について学び、就職に対する心構えを養う。

授業方法と留意点

- ①「事前指導(講義)」「インターンシップ(実習・研修)」「事後指導(就業体験の発表)」すべてに出席(参加)すること。
- ②無断欠席は絶対にしないこと。必ず事前連絡を事務室にすること。
- ③事前に授業のある土曜日のスケジュールは、確保しておくこと。
- ④全学部代表による発表会を11月上旬の土曜日に予定しているため、全員リクルートスーツ着用で出席のこと。
- ⑤体験報告書のゼミ担当教員氏名欄には署名と押印がされたものを、期日までに提出のこと。
- ⑥「ビジネスインターンシップ」実習記録簿は、毎日実習日誌を書き、受け入れ先担当者のコメントと署名押印をもらい、イ

ンターンシップ終了後は、所定の必要事項を記入しゼミ担当教員氏名欄に署名、押印されたものを、期日までに提出のこと。
⑦実習期間は、実質10日間以上でないとう単位履修したことにはならないので、くれぐれも注意すること。

科目学習の効果(資格)
①就業体験を通して、実社会への足掛かりをつかむ
②職業意識を高め、職業選択を適切に行い、就職活動への意欲を高める。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育① 6月29日(土) 1限目
【内容・方法等】 インターンシップの心構え、体験報告書等について
マナー講座 (学外講師を含む)
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーについて考える
★(スーツ着用で参加してください)
(安久・高尾)
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育② 6月29日(土) 2限目
【内容・方法等】 マナー講座 (学外講師を含む)
(授業終了後、インターンシップ先が同一の他学部の学生との顔合わせを行います)
【事前・事後学習課題】 正しい電話のかけ方を考える
(スーツ着用で参加してください)
★次回の授業前に「履歴書」と体験実習先での「テーマと内容」を提出してください
(安久・高尾)
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育③ 7月13日(土) 1限目
【内容・方法等】 パソコン講習Ⅰ(情報センター職員を含む)
【事前・事後学習課題】 エクセルとワードについて事前にトレーニングしてください
(安久・高尾)
- 第4回 【授業テーマ】 事前教育④ 7月13日(土) 2限目
【内容・方法等】 パソコン講習Ⅱ(情報センター職員を含む)
【事前・事後学習課題】 エクセルとワードについて事前にトレーニングしてください
(安久・高尾)
- 第5回 【授業テーマ】 インターンシップ(就業体験実習)
【内容・方法等】 夏季休暇期間中の8月11日(日)～9月10日(火)の間、原則2週間(実質10日間以上)の実習を行う
【事前・事後学習課題】 事前に企業等の理念や事業内容について調べ、ノートにまとめておいてください
(安久・高尾)
- 第6回 【授業テーマ】 インターンシップ(就業体験実習)
【内容・方法等】 夏季休暇期間中の8月11日(日)から9月10日(火)の間に、原則2週間(実質10日間以上)の実習を行う
【事前・事後学習課題】 インターンシップのテーマ(ねらい、目的)を決め参加してください
(安久・高尾)
- 第7回 【授業テーマ】 体験報告書の作成
【内容・方法等】 体験報告書の作成指導
【事前・事後学習課題】 報告書の書き方を熟読してください
(安久・高尾)
- 第8回 【授業テーマ】 体験報告書のゼミ教員指導
【内容・方法等】 ゼミの先生による体験報告書のチェック(署名、押印)と指導
【事前・事後学習課題】 誤字・脱字がないか確かめてから指導を受けてください
(安久・高尾)
- 第9回 【授業テーマ】 報告書の提出
【内容・方法等】 インターンシップ担当教員における体験報告書のチェックと指導
★(担当教員への提出と教務課へ電子データを<期日厳守>9月19日(木)までに提出)
【事前・事後学習課題】 何度も読み返して報告書の内容を推敲してください
(安久・高尾)
- 第10回 【授業テーマ】 事後指導① 9月21日(土) 1限目
【内容・方法等】 「インターンシップに参加して」①
インターンシップ終了学生によるグループ発表と選抜
【事前・事後学習課題】 7分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
(時間が短かったり、長すぎないように注意してください)
(安久・高尾)
- 第11回 【授業テーマ】 事後指導② 9月21日(土) 2限目
【内容・方法等】 「インターンシップに参加して」②
グループ代表による発表と選抜
【事前・事後学習課題】 7分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
(時間が短かったり、長すぎないように注意してください)
(安久・高尾)
- 第12回 【授業テーマ】 事後指導③ 9月28日(土) 1限目
【内容・方法等】 グループ代表者の発表「インターンシップに参加して」③
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備し

てください

【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようなパワーポイントにまとめてください
(パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください)
(安久・高尾)

第13回 【授業テーマ】 事後指導④ 9月28日(土) 2限目
【内容・方法 等】 グループ代表者の発表「インターンシップに参加して」④
学生代表の発表と選抜
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください

【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようなパワーポイントにまとめてください
(パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください)
(安久・高尾)

第14回 【授業テーマ】 事後指導⑤ 10月26日(土) 1限目
【内容・方法 等】 全体報告(経営学部)「インターンシップに参加して」⑤
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
★授業開始前までに体験報告書と実習記録簿を提出すること

【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで報告してください(15分程度)
(安久・高尾)

第15回 【授業テーマ】 事後指導⑥ 10月26日(土) 2限目
【内容・方法 等】 全体報告(経営学部)「インターンシップに参加して」⑥
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
★体験及び報告会の感想をレポートにまとめ提出してください

【事前・事後学習課題】 ★参加者全員、リクルートスーツ着用
(安久・高尾)

評価方法(基準)

企業が採点する報告書と学生が提出するインターンシップ報告書および体験発表、授業態度による総合評価とする。

教材等

教科書…「キャリア教育ワークブック」 羽石寛寿 安久典宏 清風出版

・適宜プリントやVTR、パワーポイントを使用する。

参考書…摂南大学「インターンシップ 体験報告集」(2012年度)

学生へのメッセージ

- ①「ビジネスインターンシップI」を同時履修すること。
- ②3年次で履修するのが望ましい。
- ③3月28日(木)に行うガイダンスに出席し、「ビジネスインターンシップII」の受講申込書を提出すること。
- ④履修希望者が多い場合は、選考する場合がある。

関連科目

教養科目「ビジネスインターンシップI」を必ず合格していること。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

備考

授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがある。

情報と職業 Information and Career				
北尾 隆夫(キタオ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会に巣立っていく学生諸氏を対象に、情報化の進展がいろいろな職業や我々の生活に及ぼす影響、情報社会における職業観や勤労観について講義する。特に職業人としての情報活用能力の必要性や社会的役割および責任、組織人としてのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の重要性について探求する。

学習・教育目標：情報の教員免許として要求されている「情報と職業」の内容について理解させます。

学科の学習・教育目標との対応[A]

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。

必要に応じてプリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介しします。

科目学習の効果(資格)

教員免許(情報)を取得するためには、この科目が必修となっています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに -職業開発と情報化の意義-
【内容・方法 等】 ・授業ガイダンス
・教育免許法施行規則での位置づけについて解説します。
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んできてください。
- 第2回 【授業テーマ】 情報社会の概念
【内容・方法 等】 ・情報社会とは、どのようなことを指すのかを説明すると同時に、情報社会への対応策について解説します。
【事前・事後学習課題】 新聞から情報社会についての記事を探して持ってきてください。
- 第3回 【授業テーマ】 情報社会における職業観や勤労観
【内容・方法 等】 ・わが国の産業界の特徴について解説します。
・職業観と職業生活に対する意識について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報産業についてどのようなものがあるか調べてください。
- 第4回 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし I
【内容・方法 等】 ・情報化社会における危機管理について解説します。
・高齢化社会と社会保障について解説します。
【事前・事後学習課題】 高齢化社会の問題について調べてください。
- 第5回 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし II
【内容・方法 等】 ・高学歴社会と自己学習力について解説します。
・労働時間の短縮と余暇の利用について解説します。
【事前・事後学習課題】 余暇の使い方について考えてください。
- 第6回 【授業テーマ】 情報社会と高等教育
【内容・方法 等】 ・情報社会で活躍する人材について解説します。
・情報通信技術遠隔学習について解説します。
【事前・事後学習課題】 生涯学習の意味を調べてください。
- 第7回 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革 I
【内容・方法 等】 ・情報と情報通信技術について解説します。
・情報化社会とIT革命について解説します。
【事前・事後学習課題】 IT革命とは何でしょう、調べてください。
- 第8回 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革 II
【内容・方法 等】 ・企業組織の情報化について解説します。
・政府・電子自治体の情報化について解説します。
【事前・事後学習課題】 電子決済について調べてください。
- 第9回 【授業テーマ】 情報技術と人材育成 I
【内容・方法 等】 ・企業活動と人材育成について解説します。
・公的資格と社会認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 皆さんに関係する資格を書き出してください。
- 第10回 【授業テーマ】 情報技術と人材育成 II
【内容・方法 等】 ・情報技術を利用した企業教育について解説します。
・情報産業における職制と職種について解説します。
【事前・事後学習課題】 企業における教育の必要性について考えてください。
- 第11回 【授業テーマ】 情報産業と国際化 I
【内容・方法 等】 ・情報技術革命とは何かについて解説します。
・インターネット革命と日本企業について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報社会における企業の姿について考えてください。
- 第12回 【授業テーマ】 情報産業と国際化 II
【内容・方法 等】 ・情報産業における国際規格について解説します。
・情報産業におけるビジネスモデルと情報倫理について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報と国際化について、今後の姿を考えてください。
- 第13回 【授業テーマ】 情報と職業のまとめ
【内容・方法 等】 ・情報が職業開発に及ぼす影響についてのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 授業を受けてのまとめをしてください。
- 第14回 【授業テーマ】 情報と職業のレポート発表
【内容・方法 等】 ・レポートを発表していただきます。
【事前・事後学習課題】 レポートの発表準備をしてください。
- 第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法 等】 ・情報と職業の講義についてのまとめと感想
【事前・事後学習課題】 情報と職業の全体のまとめをしてください。

評価方法(基準)

全体評価は、平常評価(35%)と学期末試験評価(65%)により行います。

平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。

教材等

教科書…近藤 勲編著 「情報と職業」 丸善株式会社
参考書…熊田三喜男編著 「情報時代の社会・経営」 学文社

学生へのメッセージ

- ・ 毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。遅刻をしないようにしてください。
- ・ 座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。
- ・ 授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目

情報科学関連や職業開発に関する講義を受講しておくことが理解を深めることに役立ちます。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

民法I Civil Law I				
大 川 謙 蔵 (オオカワ ケンゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

民法Iおよび民法IIを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法衡は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点

講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるという点を留意してください。

科目学習の効果(資格)

宅地建物取引主任者、行政書士などをを目指す人の入門として

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 法律学および民法
【内容・方法 等】 法律科目というもののガイダンス、法律一般および民法の概要について確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 新聞などから、目次も含め、教科書から興味を持てる部分を是非見つけてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 民法と財産法総論
【内容・方法 等】 法律というものが対象としているものなどを大きく捉え、その中で民法典の役割を確認し、さらに財産法の内容を確認していく予定です。
【事前・事後学習課題】 1回目の内容から、自分の周りに存在する財産法と関連する問題を考えてみてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 民法と契約という制度①
【内容・方法 等】 契約という制度を通して、社会における法律関係を確認していく予定です。
【事前・事後学習課題】 現実の生活の中で、どのような契約をしているのかなどを把握してみてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 民法と契約という制度②
【内容・方法 等】 契約をするうえで、何らかの問題がある場合を前回に続いて確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 人は間違いをしてしまうものです。契約において何らかの問題があった場合の事例の対処方法を考えてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 民法における人という存在
【内容・方法 等】 契約をすることができるのは誰なのか、また単独では契約ができない人がいるのかなどを確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 これまでの経験から、法的に自分が置かれている立場を理解し、なぜ親の同意が必要だったのかを考えてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 代理
【内容・方法 等】 人は完全に自分ひとりで物事を処理できません。契約もそうです。その場合に、代わりに契約を行ってくれる人が必要となります。そのような人についてみていく予定です。
【事前・事後学習課題】 他人が自分のために契約をしてくれる便利さと怖さを確認してください。
- 第7回** 【授業テーマ】 時効
【内容・方法 等】 契約は無限に続くのか、他人の物を知らずに占有しているとどのようなこととなるのかなどを確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 犯罪捜査における時効とは何が違い、また時効の必要性についても考えてください。

- 第8回** 【授業テーマ】 契約の締結
【内容・方法 等】 契約を締結するとはどのようなことなのかを確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 友達との約束についても法的に考えてみてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 所有権を通しての物権
【内容・方法 等】 人が物を所持すること、すなわち支配することを、法律はどのように考えているのかを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】 他人が自分の物を返さないという経験がこれまでありましたか?これを、法的に考えてみてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 不法行為①
【内容・方法 等】 他人に損害を与えてしまい、賠償をしなければならぬことを、法的に見ていきます。
【事前・事後学習課題】 交通事故や約束違反によって生じた損害は、賠償により回復することができるのでしょうか。考えてみてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 不法行為②
【内容・方法 等】 現代社会は進歩が激しく、法律も新しい局面に向かいあう必要が生じています。そこで、不法行為の制度をより多角的に見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】 他人に損害賠償を請求するということの難しさを考えてみてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 事務管理・不当利得
【内容・方法 等】 契約や不法行為とは異なった形で、他人との間で法的な関係が生じる場合をみます。
【事前・事後学習課題】 人情を法律でとらえることや、契約終了後の関係について考えてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 債務の弁済について①
【内容・方法 等】 契約を守ってもらえない場合に対して、あらかじめ対処する方法などを見る予定です。
【事前・事後学習課題】 お金の貸し借りの難しさと、その対処方法を考えてみてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 債務の弁済について②
【内容・方法 等】 担保をという制度を把握し、それが実行されたのちの関係などを見る予定です。
【事前・事後学習課題】 他人を信頼することの難しさ、債権というものを担保する必要性を今一度考えてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 講義全体のまとめをしながら、財産法の持つ意義をもう一度確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 全体的な復習を通して、財産法とはどのような視点から見るとべきかを考えてみてください。

評価方法(基準)

講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等

教科書…野村豊弘『民法入門(第5版補訂版)』(有斐閣)(1600円+税)。出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。
参考書…適宜指示いたします。

学生へのメッセージ

講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目

後期の民法IIと共に受講をしていただきたいと思います。

担当者の研究室等

11号館9階大川研究室

民法II Civil Law II				
大 川 謙 蔵 (オオカワ ケンゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

民法Iおよび民法IIを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法衡は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点

講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるという点を留意してください。

科目学習の効果(資格)

民法は私法の一般法といわれ、数多くの資格試験や公務員試験にも必要とされています。基礎理論を是非押さえます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 財産法と家族法の確認
【内容・方法等】 民法衡でみた財産法の内容について確認しつつ、家族法の全体を確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 前期で扱った財産法の部分を復習しておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 家族法総論
【内容・方法等】 家族法全体について、また家族とはどのようなものなのかを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】 家族とはどのような人たちが、法的にどのように考えられているのかを確認すること。ここで確認した用語を今後使用します。
- 第3回 【授業テーマ】 婚姻
【内容・方法等】 婚姻がどのようにすると成立し、その結果どのような義務が生じるのかなどを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】 誰とでも婚姻できるのか、婚姻する意味を考えてください。
- 第4回 【授業テーマ】 婚姻の効果ならびに離婚
【内容・方法等】 婚姻が成立するとどのような権利義務が生じるのかを確認する予定です。また、婚姻関係が終了する場合の一つである、離婚についても簡単に確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 一緒に住むこと以外にも、婚姻には大きな意義があることを確認すること。
- 第5回 【授業テーマ】 離婚に関する諸問題
【内容・方法等】 離婚原因を確認し、離婚の際に生じる問題を確認していく。
【事前・事後学習課題】 国家が認める婚姻関係を解消することの重大性を今一度確認すること。
- 第6回 【授業テーマ】 婚姻類似の関係
【内容・方法等】 婚姻関係にないが内縁関係のように、類似する場面もある。それを法的にどのようにとらえるのかをみる。
【事前・事後学習課題】 なぜ、そのような関係を保護するのか、その必要性を考えること。
- 第7回 【授業テーマ】 親子関係
【内容・方法等】 親子は互いにどのような権利義務関係があるのか、また、子の扱いが異なる現状を確認する。
【事前・事後学習課題】 法律が完全に正義を実現しているのかどうかを考える重要な問題が出てきます（非嫡出子の問題）。それを考えること。
- 第8回 【授業テーマ】 養子縁組
【内容・方法等】 実子以外と親子関係を形成する手段である養子縁組の制度を見ながら、現代の生殖補助の問題も確認する予定です。
【事前・事後学習課題】 養子制度の必要性や現代における科学技術の進歩についても意識する必要がある。
- 第9回 【授業テーマ】 親権
【内容・方法等】 親は子に対してどのような義務を負うのかを確認していく。
【事前・事後学習課題】 法的に負わされた義務を本当に社会において実現されているのかを考えてみる。
- 第10回 【授業テーマ】 相続について
【内容・方法等】 相続の意義や誰が相続できるのかについて確認する。
【事前・事後学習課題】 法律がどのような範囲で相続を認めているのかを理解するため、家族というものを復習しておくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 相続できる者とは
【内容・方法等】 相続とはどのような人間関係に成立するのを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】 誰でも相続できるのでしょうか。なぜ相続で争うのでしょうか。考えて下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 相続分について
【内容・方法等】 誰がどのような内容を相続するのかについて確認する。
【事前・事後学習課題】 多少の計算が必要となります。自分の家族などに置き換えて、頭の中で考えること。
- 第13回 【授業テーマ】 相続分の調整原理
【内容・方法等】 相続が開始したとしても、それまでに多くの財産をもらっていた人や、財産形成に寄与した人もいます。その場合の調整方法を確認する。
【事前・事後学習課題】 計算などの場合、具体例を想定して考える必要があるの、あわせて考えること。
- 第14回 【授業テーマ】 遺言
【内容・方法等】 相続における被相続人の意思を遺す方法やその問題点を確認する。
【事前・事後学習課題】 遺言の重要性と、不明確な場合の問題を現実の例から確認すること。
- 第15回 【授業テーマ】 遺留分および、講義のまとめ
【内容・方法等】 相続人が最低限確保することが認められている相続分の意義について確認していく。また、講義全体のまとめにも入りたい。

【事前・事後学習課題】 全体の復習をしておくこと。

評価方法（基準）

講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等

教科書…教科書の指定はしません。ただし、出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。
参考書…野村豊弘『民法入門（第5版補訂版）』（有斐閣）（1600円+税）。

学生へのメッセージ

講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目

民法Ⅰの内容を前提に講義をいたします。ただし、やる気のある方は受講して下さってかまいません。

担当者の研究室等

11号館9階 大川研究室

会社法

Corporate Law

高田 尚彦 (タカダ ナオヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会社法Ⅰでは、各種会社のうち株式会社を中心に会社法の講義を行います。株式会社の設立、株式、株式会社の機関について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいうように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点

会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果（資格）

会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験（法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など）の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】 教科書p.1～p.4を読んでおくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 会社法総論
【内容・方法等】 会社の概念、会社の種類、会社法総論。
【事前・事後学習課題】 教科書p.5～p.18を読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 株式会社の設立
【内容・方法等】 株式会社の設立総論、設立手続、設立の無効。
【事前・事後学習課題】 教科書p.19～p.34を読んでおくこと。
【授業テーマ】 株式（1）
【内容・方法等】 株式総説、株主名簿。
【事前・事後学習課題】 教科書p.34～p.41を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 株式（2）
【内容・方法等】 株式の譲渡、自己株式。
【事前・事後学習課題】 教科書p.41～p.47を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 株式（3）
【内容・方法等】 株式の併合・分割・無償割当て、単元株式数、募集株式の発行、株券。
【事前・事後学習課題】 教科書p.47～p.54を読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 新株予約権
【内容・方法等】 新株予約権の意義、新株予約権原簿、新株予約権の譲渡。
【事前・事後学習課題】 教科書p.54～p.59を読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 株式会社の機関（1）
【内容・方法等】 株式会社の機関総論。
【事前・事後学習課題】 教科書p.59～p.61を読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 株式会社の機関（2）
【内容・方法等】 株主総会、種類株主総会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.62～p.76を読んでおくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 株式会社の機関（3）
【内容・方法等】 役員等の選任および終任、取締役、取締役会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.76～p.95を読んでおくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 株式会社の機関（4）
【内容・方法等】 会計参与、監査役・監査役会、会計監査人。
【事前・事後学習課題】 教科書p.95～p.104を読んでおくこと。
- 第12回 【授業テーマ】 株式会社の機関（5）

第13回 【内容・方法等】 委員会設置会社。
【事前・事後学習課題】 教科書p.104～p.115を読んでおくこと。
【授業テーマ】 株式会社の機関（6）
【内容・方法等】 役員等の責任、株主の差止請求権、株主代表訴訟。
【事前・事後学習課題】 教科書第p.115～p.132を読んでおくこと。
第14回 **【授業テーマ】** 計算、定款の変更
【内容・方法等】 会計帳簿、計算書類、資本金と準備金、剰余金の配当、定款の変更。
【事前・事後学習課題】 教科書p.132～p.145を読んでおくこと。
第15回 **【授業テーマ】** 解散、清算、会社法Iまとめ
【内容・方法等】 解散原因、解散の効果、通常清算、特別清算、会社法I総括。
【事前・事後学習課題】 教科書p.146～p.150を読んでおくこと。
評価方法（基準）
 原則として、定期試験の結果によって評価する。
教材等
教科書…加藤徹・塚本和彦（編）「新会社法の基礎」（法律文化社2009年）（2,600円+税130円）
参考書…授業中に適宜示します。
学生へのメッセージ
 会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。
関連科目
 会社法Ⅱ、民法、企業論、企業簿記。
担当者の研究室等
 11号館6階 法学部

会社法II Corporate Law II				
高田尚彦 (タカダ ナオヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 会社法Ⅱでは、会社法Ⅰで習得した知識をもとに、組織再編を中心に会社法の講義を行います。株式会社の合併・分割・事業譲渡について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点
 会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果（資格）
 会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験（法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など）の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】 教科書p.1～p.4を読んでおくこと。
第2回 **【授業テーマ】** 会社法Iまとめ（1）
【内容・方法等】 会社法総論、株式会社の設立について、会社法Iのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.5～p.34を読んでおくこと。
第3回 **【授業テーマ】** 会社法Iまとめ（2）
【内容・方法等】 株式、新株予約権について、会社法Iのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.34～p.59を読んでおくこと。
第4回 **【授業テーマ】** 会社法Iまとめ（3）
【内容・方法等】 株式会社の機関、計算について、会社法Iのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.59～p.148を読んでおくこと。
第5回 **【授業テーマ】** 持分会社
【内容・方法等】 持分会社の設立、社員、計算等。
【事前・事後学習課題】 教科書p.151～p.169を読んでおくこと。
第6回 **【授業テーマ】** 社債
【内容・方法等】 社債の種類、社債の発行、社債権者の権利、社債権者集会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.170～p.180を読んでおくこと。
第7回 **【授業テーマ】** 組織再編（1）
【内容・方法等】 組織再編総説
【事前・事後学習課題】 事前に配布する補足資料を読んでおくこと。
第8回 **【授業テーマ】** 組織再編（2）
【内容・方法等】 合併の手続き、簡易合併、合併無効の訴え、

合併対価の柔軟化。
【事前・事後学習課題】 教科書p.181～p.191を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（3）
【内容・方法等】 会社分割の意義、吸収分割と新設分割、分割手続、会社分割無効の訴え。
【事前・事後学習課題】 教科書p.191～p.194を読んでおくこと。
第10回 **【授業テーマ】** 組織再編（4）
【内容・方法等】 株式交換の意義、手続、株式交換の無効の訴え。
【事前・事後学習課題】 教科書p.194～p.197を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（5）
【内容・方法等】 株式移転の意義、手続、株式移転の無効の訴え。
【事前・事後学習課題】 前回の授業の復習をしておくこと。
第12回 **【授業テーマ】** 組織再編（6）
【内容・方法等】 事業譲渡・事業の譲受け
【事前・事後学習課題】 教科書p.197～p.200を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（7）
【内容・方法等】 組織変更の意義、株式会社から持分会社への組織変更、持分会社から株式会社への組織変更。
【事前・事後学習課題】 教科書p.200～p.202を読んでおくこと。
第14回 **【授業テーマ】** 外国会社・雑則
【内容・方法等】 外国会社、会社の解散命令、公告。
【事前・事後学習課題】 教科書p.203～p.211を読んでおくこと。
第15回 **【授業テーマ】** 会社法Ⅱまとめ
【内容・方法等】 会社法Ⅱ総括
【事前・事後学習課題】 会社法Ⅱで学習したことを見直しておくこと。

評価方法（基準）
 原則として、定期試験の結果によって評価する。
教材等
教科書…加藤徹・塚本和彦（編）「新会社法の基礎」（法律文化社2009年）（2,600円+税130円）
参考書…授業中に適宜示します。
学生へのメッセージ
 会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。
関連科目
 会社法Ⅰ、民法、企業論、企業簿記。
担当者の研究室等
 11号館6階 法学部

労働法I Labor Law I				
榎原義比古 (カシハラ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 労働者の保護を目的とする法規のすべてを労働法の中でも労働者保護法と呼ぶことがある。この授業では、労働者保護法の分野の中から、労働契約、労働時間、休憩、休日、変形労働時間制、年次有給休暇、賃金、退職金、人事異動、就業規則、労働契約の終了、雇用保障などの問題を取り上げる。授業の中では、判例の中から近時問題となっている論争的テーマを織込み、紛争解決のあり方などを検討する。

授業方法と留意点
 教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
 労働基準監督官試験受験のため

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 労働契約
【内容・方法等】 ・募集、採用、採用内定、試用期間、契約上の権利義務、労務の提供と報酬の支払、職場規律の維持、配慮義務
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.7 8 - 8 9
第2回 **【授業テーマ】** 労働契約
【内容・方法等】 ・労働契約と法的規制、契約の期間、労働条件の明示義務、賠償予定の禁止、前借金相殺の禁止、強制貯金の禁止
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.8 9 - 9 6
第3回 **【授業テーマ】** 有期労働契約等
【内容・方法等】 ・労働者派遣法
 ・パートタイム労働者、外人労働者問題
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.3 7 - 4 9
第4回 **【授業テーマ】** 労働時間

- 【内容・方法等】 ・労働時間の規制、規制の弾力化、除外と例外、割増賃金、時間外・休日労働
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.132-159
- 第5回 【授業テーマ】 休憩、休日
- 【内容・方法等】 ・休憩時間の長さ、一斉休憩の原則、自由利用の原則
- ・週休の付与、週休の振替、代休、変形労働時間と振替
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.152-159
- 第6回 【授業テーマ】 変形労働時間制
- 【内容・方法等】 ・一ヶ月以内変形労働時間制、一年以内変形労働時間制、非定型変形労働時間制
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.140-142
- 第7回 【授業テーマ】 変形労働時間制
- 【内容・方法等】 ・一週間単位の変形労働時間制
- ・フレックスタイム制
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.142-144
- 第8回 【授業テーマ】 労働時間制の適用除外
- 【内容・方法等】 ・除外と例外、対象労働者
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.144-148
- 第9回 【授業テーマ】 年次有給休暇
- 【内容・方法等】 ・意義、成立要件、時季指定権、時季変更権、年休権の行使と不利益変更
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.160-170.
- 第10回 【授業テーマ】 賃金
- 【内容・方法等】 ・労基法上の賃金、賃金請求権、支払方法、平均賃金
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.113-117
- 第11回 【授業テーマ】 退職金
- 【内容・方法等】 ・退職金、退職年金
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.117-120
- 第12回 【授業テーマ】 人事異動
- 【内容・方法等】 ・配転、出向、転籍
- ・会社分割と労働契約承継法、営業譲渡
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.102-111
- 第13回 【授業テーマ】 就業規則
- 【内容・方法等】 ・就業規則の意義と法規制、作成義務と記載事項
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.198-204
- 第14回 【授業テーマ】 就業規則
- 【内容・方法等】 ・就業規則の法的性質、就業規則の不利益変更
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.204-214
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
- 【内容・方法等】 以上の総括
- 【事前・事後学習課題】 課題 レポート提出
- 評価方法（基準）
- 学期末テスト、授業出席時の質疑応答への積極性、レポート等を総合して評価する。
- 教材等
- 教科書…「労働法（第10版）」安枝英紳・西村健一郎著（有斐閣）
- 参考書…「労働法（第七版補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）
- 学生へのメッセージ
- 教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。
- 関連科目
- 法学入門、日本国憲法、民法、労働法Ⅱ
- 担当者の研究室等
- 11号館10階(樫原研究室)

労働法Ⅱ Labor Law Ⅱ				
樫原 義比古 (カシハラ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

労働組合と使用者もしくは使用者団体の関係、あるいは労働組合内部の関係を規律する法として団体的労働関係法があり、同法は労使関係法とも呼ばれる。団体的労働関係法分野の中から、労働組合、団体交渉、争議行為、労働協約、不当労働行為などの問題を取り扱う。授業の中では、近時問題となっている論争的テーマを織込み、問題の背景、状況、判例などの分析を通じて法的対応や紛争解決のあり方を検討する。

授業方法と留意点

教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）

- 労働基準監督官試験受験のため
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 労働法の授業
- 【内容・方法等】 ・労働法の意義
- ・労働法の性格
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.2-6
- 第2回 【授業テーマ】 労働基本権
- 【内容・方法等】 ・団結権、団体交渉権、団体行動権（労働三権）、理念、限界
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.15-22
- 第3回 【授業テーマ】 労働組合
- 【内容・方法等】 ・目的、態様
- ・労働組合法上の要件
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.270-276
- 第4回 【授業テーマ】 労働組合
- 【内容・方法等】 ・内部統制、ユニオンショップ協定
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.276-283
- 第5回 【授業テーマ】 団体交渉
- 【内容・方法等】 ・意義、形態、当事者、担当者
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.284-288
- 第6回 【授業テーマ】 団体交渉
- 【内容・方法等】 ・団交事項、効力
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.289-290
- 第7回 【授業テーマ】 団体行動
- 【内容・方法等】 ・組織活動
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.334-344
- 第8回 【授業テーマ】 争議行為
- 【内容・方法等】 ・争議行為
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.309-325
- 第9回 【授業テーマ】 争議行為
- 【内容・方法等】 ・ロックアウト
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.325-328.
- 第10回 【授業テーマ】 労働協約
- 【内容・方法等】 ・意義、効力発生、要件、効力-規範的効力、債務的効力
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.291-303
- 第11回 【授業テーマ】 労働協約
- 【内容・方法等】 ・協約の拡張、一般的拘束力
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.303-305
- 第12回 【授業テーマ】 不当労働行為
- 【内容・方法等】 ・意義、態様-不利益取扱、団交拒否、支配介入、経費援助
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.345-361
- 第13回 【授業テーマ】 不当労働行為の救済
- 【内容・方法等】 ・行政救済
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.364-370
- 第14回 【授業テーマ】 不当労働行為の救済
- 【内容・方法等】 ・司法救済
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.366
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
- 【内容・方法等】 ・以上の総括
- 【事前・事後学習課題】 レポートの提出
- 評価方法（基準）
- 学期末テスト、出席時の質疑応答への積極性、レポート等を総合して評価する。
- 教材等
- 教科書…「労働法（第10版）」安枝英紳・西村健一郎著（有斐閣）
- 参考書…「労働法（第七版補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）
- 学生へのメッセージ
- 教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。
- 関連科目
- 日本国憲法、民法、刑法（法学部科目）、労働法Ⅰ
- 担当者の研究室等
- 11号館10階(樫原研究室)

経営学特講V Up-to-date Topics of Business Administration V				
仲 秀 樹 (ナカ ヒデキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、監査の中でも企業会計の監査である財務諸表監査を中心に講義する。監査の本質を理解するために、監査の意義・種類について解説し、まず監査の基本的概念について検討したい。また実際の財務諸表監査とは、いかなる証拠を収集し、評価するのかなど、監査人の具体的な手続についても見ていく

ことにする。

授業方法と留意点

教科書にもとづいた講義方式。監査について学生諸君はイメージを描きにくいと思われるので、具体例を交えながら平易な講義を心がけたい。

科目学習の効果（資格）

監査論の基礎知識を得ることにより、公認会計士試験の初歩的な知識を獲得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 監査のフレームワーク (1)
 【内容・方法 等】 監査とは何か。監査がなぜ必要とされるのか。その意義について検討する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第2回** 【授業テーマ】 監査のフレームワーク (2)
 【内容・方法 等】 監査の生成要因と監査の種類について解説する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第3回** 【授業テーマ】 監査のフレームワーク (3)
 【内容・方法 等】 財務諸表監査の特質と監査の経済的機能について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第4回** 【授業テーマ】 監査制度のフレームワーク
 【内容・方法 等】 アメリカにおける監査基準の生成と展開を概説し、わが国の商法監査制度および証券取引法監査制度について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第5回** 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準 (1)
 【内容・方法 等】 監査規範の意義と体系について解説する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第6回** 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準 (2)
 【内容・方法 等】 監査基準の生成と展開について解説する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第7回** 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準 (3)
 【内容・方法 等】 監査基準における一般基準、実施基準、報告基準について概説する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第8回** 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス (1)
 【内容・方法 等】 監査意見形成のプロセスはどのような論理に支えられているか、を説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第9回** 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス (2)
 【内容・方法 等】 財務諸表監査における経営者の主張と監査要点について考える。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第10回** 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス (3)
 【内容・方法 等】 監査手続と監査技術の関係、および監査技術の詳細につき講義する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第11回** 【授業テーマ】 リスク・アプローチと監査戦略
 【内容・方法 等】 リスク・アプローチの意義と監査リスクの構成要素について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第12回** 【授業テーマ】 リスク評価、実証手続および監査の完了
 【内容・方法 等】 固有リスクの評価や統制リスクの評価について講義する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第13回** 【授業テーマ】 監査報告書と情報提供機能
 【内容・方法 等】 監査業務の最終成果物である監査報告書について、その意義と機能、利害関係者にとっての意味や監査報告書の利用方法について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第14回** 【授業テーマ】 総論
 【内容・方法 等】 現在の会計監査の重要性とその将来性について検討する。
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第15回** 【授業テーマ】 おわりに
 【内容・方法 等】 講義のまとめ
 【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

評価方法（基準）

定期試験による。授業中の小テストにより加点されることがある。

教材等

教科書…「五訂版 ベーシック監査論」伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏共著 同文館出版 (3,990円)
 参考書…特になし

学生へのメッセージ

講義中の私語は厳禁。質問は大歓迎です。学生の講義の理解度に応じて講義内容を変更する場合があります。

関連科目

会計関連科目、とくに財務会計論を履修していることが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階（経営学部事務室）

基礎演習

Reference Studies

黒澤敏朗 (クロザワ トシロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
 演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
 参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
 基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

有馬善一 (アリマ センイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制

で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

佐藤 正志 (サトウ マサシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

杉本 篤信 (スギモト アツノブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

高尾 裕二 (タカオ ヒロジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション

ョン技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
武 居 奈 緒 子 (タケスエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…書籍名：マーケティングの基本
著書：野口智雄
出版社：日本経済新聞社
価格：1000円

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
樋 口 友 紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につける

べき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
黒 澤 敏 朗 (クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されて

いる。実りある大学生生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

山本 芳華 (ヤマモト ヨシカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

牧野 純 (マキノ ジュン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	J	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生と情報として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方

やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習

Reference Studies

山本 圭三 (ヤマモト ケイゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	K	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生と情報として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

専門基礎演習

Information Semina

武居 奈緒子 (タケスエ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談のり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…書籍名：流通の基本
著書：小林隆一
出版社：日本経済新聞社
価格：1000円
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
三木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談のり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・

レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
樋口 友紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談のり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
岩田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2

年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習
Information Semina

福 田 市 朗 (フクダ イチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に

進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習
Information Semina

杉 本 篤 信 (スギモト アツノブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習
Information Semina

高 尾 裕 二 (タカオ ヒロジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立つため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
有 馬 善 一 (アリマ センイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	J	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立つため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
佐 藤 正 志 (サトウ マサシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	K	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立つため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意

義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

演習I Seminar I				
有馬善一 (アリマ センイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ～〈環境と経営と社会〉

21世紀の社会が存続していくために環境問題の解決は不可欠である。そのためには社会全体の方向転換が必要である。古い日本の言葉で言えば「世直し」である。そして、世直しを通じて社会の発展、ひいては経済の成長を達成することができる。そのための具体的方策について考える。

授業方法と留意点

1. テキスト読解 発表担当者を指名する。口頭でテキストの要約を発表する。さらに、内容の補足・解説をしながら議論をする。参加者相互の積極的な議論が望まれる。
2. 調査報告 関連トピックに関する質問を考えてくる。これも担当者を決めて、調査報告をしてもらう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業計画】

今年度はできるだけ多くの資料にあたりたい。最初に取り上げるテキストの内容は、以下の通り。

現在社会のインフラを「スマート化」することで、社会変革の可能性とビジネスチャンスの実現を目指す「スマートシティ」構想が世界中で動き始めている。

日本流スマートシティのメリット、その実現への道のり、海外での導入事例、具体的なビジネスチャンス、課題と展望について考えていく。

評価方法・評価基準

発表、レポート、授業における積極的な参加態度、出席状況を総合的に評価する。

教材等

教科書…『図解ビジネス情報源 最先端ビジネスがひと目でわかる スマートシティ』（岡本久和著、アスキー・メディアワークス、1600円）

参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】

スマートシティの実現は「日本再生」のプロジェクトとも言えるものです。しかし、これを実現するためにはまだ多くのハードルをクリアしなければなりません。どうすればいいのかを一緒に考えていきましょう。

演習I Seminar I				
佐藤正志 (サトウ マサシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究（経営史）」

各自が興味ある経営者（企業家）や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。

（2年次～3年次前半）教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企

業経営の歴史的な流れを学習していきます。

（3年次後半～4年次）本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。また、各自がホームページを作成して、「情報発信能力」や「自己表現能力」をたかめていきます。

ところで、経営史研究では史料（資料）が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおりて文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点

【授業内容】

2年次には教科書をもとに、その報告と質疑を行いながら、日本経営史の基礎知識を身につけていきます。

第1回 本演習のオリエンテーション

（前期）近代経営の発展・展開（明治後期～昭和初期）と経営者

（後期）企業経営の変容・大企業体制の成立と経営者

情報・消費社会のなかでの経営者活動

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

日本を代表する企業家の経営活動を分析します。基本的には事前学習が大切です。まずは、教科書を読んでおいてください。また、事後学習は、より詳しく、専門書などにあたり、深く研究してもらいたいと思います。

評価方法・評価基準

出席状況を重視し、発表・ゼミ活動への参加態度などを総合的に判断します。

教材等

教科書…宇田川勝編『企業家に学ぶ経営史』有斐閣（2,800円＋税）

参考書…適宜、紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】

楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかっています。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主体的に参加してください。

演習I Seminar I				
杉本篤信 (スギモト アツノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ 日本経済の分析

日本経済に関する様々な問題を分析するため、基本的な経済理論を身に付ける。そして以下のような目標を達成する。

- （1）現状をよく知るために、新聞などを読む。
- （2）理論的な知識をつけるために、多くの本を読む。
- （3）論理的な思考をする。
- （4）自分の考えを、口頭で発表する。
- （5）形式の整った、内容のあるレポートを書く。

授業方法と留意点

【授業内容】

【授業内容】

経済理論の理解。経済の現状の把握。

【授業方法と留意点】

テキストを利用した、発表と討論。出席と授業中の発言などが、最も重視される。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

日本の企業、経済、社会に関する問題を取りあげ、検討していく。テキストなどの担当項目の報告を通じ、理論的に思考し、また自分の考えを表現する力をつけていく。

評価方法・評価基準

平常点、授業での取り組み、レポートなどで総合的に評価。

教材等

教科書…未定（相談のうえ決定）

参考書…授業中に紹介します

備考

【学生へのメッセージ】

上にも書いたように、できるだけ多くの本を読むようにしてほしい。基本的知識をつけることは、どのような分野を勉強するにも大事なことであり、また自分の考えをまとめ、人に伝える技量をつけてほしい。

演習I Seminar I 榎谷正人(マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】

テーマ「カイシャのマネジメント研究」

皆さんが社会で起きている現象に興味関心を持ち、特に身の回りの商品やサービスを提供するカイシャの活動について解説します。

【目的】

カイシャのマネジメントを研究することで、皆さんが社会で活躍できるよう、自らの視点で問題を解決する基礎能力を鍛えます。

【到達目標】

経営学における戦略と組織のマネジメントを研究し、日本のカイシャが直面する課題を実証研究します。そのうえで、4年次には卒業論文を完成させます。

授業方法と留意点

【授業内容】

カイシャの課題を解決するために必要なマネジメント（戦略を立てる・組織をつくる・人を動かす）を研究（文献・現場・卒業論文）します。

【授業方法と留意点】

2年次では、課題図書のと問題提起を行います。そのため毎回チーム学習で、プレゼンテーション、ディスカッションなど相互学習を行います。

3年次では、ロジカルシンキングと情報分析方法について理解を深めます。

4年次では卒業論文を完成させます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ】 カイシャのマネジメント研究

皆さんにとって身近な商品やサービスについて学びます。そのため、それらを創り出しているカイシャのとりくみを研究します。たとえば、グローバル経営を展開する自動車・電機・通信・情報などの産業を始め、流通・小売業・外食などの産業に至るまで、広く皆さんが興味関心を寄せているカイシャを対象にします。

【事前事後学習課題】

「読み・書き・話す」能力のトレーニングを図るため、「課題図書」の選定、要約、プレゼンテーション」を毎回行います。また、毎回各自発表を行うため、A4×1枚、あるいはパワーポイント8枚の資料を作成してもらいます。主な研究方法は、書籍などの文献調査を中心に、新聞、インターネット、現場での観察、聞き取り調査などです。

評価方法・評価基準

1. プロセスの評価：出席は必須とし、調査・報告・ディスカッションなど、貢献の量
2. 結果の評価：卒業論文のテーマの独自性と内容など、成果の質

教材等

教科書…榎谷正人（2012）『経営理念の機能-組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社（3,000円+税）

参考書…大平浩二編著（2009）『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社
戸田山和久（2002）『論文の教室-レポートから卒論まで』日本放送出版
P.F.ドラッカー（2001）『マネジメント-基本と原則』ダイヤモンド社

備考

本ゼミでは4年生までに頭を柔軟に鍛える習慣を身に着けます。そのためには、夢に向かって失敗を恐れず挑戦し続けることが必要です。

演習I Seminar I 羽石寛寿(ハネイシ カンジュ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

経営学の専門を学ぶための導入期間として、演習Iの前期ではテキストを使用して経営学の基礎を学習します。特に、企業について、企業を取り巻く環境について、組織について、生産管理について、マーケティングについて、人間の管理についてを学びます。後期にはプレゼンテーション能力を付けるために、各人が選んだ雑誌の内容についてパワーポイントを使って発表

します。
目的と到達目標：経営学の基礎を理解する。自分で読んだことをまとめ発表できるようにする。

授業方法と留意点

授業方法：前期はテキストを中心に各人ごとに各章の分担を決めて、レジュメを作成、報告をしていきます。また、その報告内容について全員で討論します。

後期は「日経ビジネス」の雑誌を使い、各人が興味を持ったテーマについてレジュメを作成、報告をしていきます。また、その報告内容について全員で討論します。

留意点：遅刻、欠席はしないようにしましょう。発表は皆さんに理解されるように創意工夫しましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容：前期は経営学の基礎を中心に学習します。特に企業について、組織について、生産管理について、人事管理について学びます。

後期は「日経ビジネス」を使って興味のあるところをまとめて発表をします。
授業方法：毎回出席をとります。遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席のときは必ず連絡してください。

評価方法・評価基準

出席、発表、レポートの総合点で評価します。

教材等

教科書…摂南大学経営情報学部編 「経営学ガイダンス」中央経済社（2800円）
参考書…「日経ビジネス」日経BP社

備考

【学生へのメッセージ】

3年間を同じゼミで、同じメンバーで、過ごすのですから楽しく愉快にやっていきましょう。

そのためにはルールを守って、お互いを認め合い、信頼感を持って協力していきましょう。
グループまたは個人での発表は、発表する日の3日前にはワードでレジュメを作成し、提出してください。

演習I Seminar I 福田市朗(フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

目標：＜前期＞経営と心理学 ＜後期＞意思決定と心理学
前期では経営における心理学の役割と課題について概説する。特に、組織管理における人的要素、労働者の健康管理、マーケティングにおける心理学の成果などについて学ぶ。後期は、意思決定における心理的な過程を概説し、ビジネスにおける決断や決定の合理性について学ぶ。

授業方法と留意点

経営学における心理学的なテーマは多彩である。個々のテーマに関する資料を収集・整理し、ゼミの中で発表する。ゼミ生の積極的な議論を通して、新たな着想が得られるように心掛ける。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

ゼミでは自由な発想を重視する。ゼミ生の発言は全て貴重な情報であり、特色のある意見と考える。また、本ゼミでは、自らが問題を発見し解決するというプロセスを大事にし、実践を重んずる学習を優先する。学習する場を学外に求め、地域との関係を深めるなどの活動を行う予定である。

評価方法・評価基準

ゼミ授業への参加態度、ゼミでの発言、資料の整理と分析、成果のプレゼンテーションなどをもとに総合的に評価する。

教材等

教科書…指定せず。
参考書…授業の中で随時参考となる図書を推薦する。

備考

本演習の課題は社会に対する関心を深め、様々な社会事象について考える姿勢を身につけることである。新聞を読み社会の動向に敏感になるように。

演習I Seminar I 紙博文(カミ ヒロフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

3年間の演習（ゼミナール）を通して、会計学、簿記、税法を学ぶ。演習Ⅰでは、中級簿記のマスターと会計学及び税法の基本を学ぶ。「簿記」については日商検定に向けて検定用の学習をする。「税法」「会計学」は、その基本的なテキストを輪読し各自レジメを作成し発表してもらう。プレゼンがしっかりできるようになること。

授業方法と留意点

【授業内容】

簿記をマスターするため日商簿記検定の学習をする。ゼミ生全員の日商3～2級の資格取得をのぞむ。ゼミでは検定試験に合わせて4月～6月まで、9月～11月までの期間は2級・3級の検定用の問題を解く。上記の期間以外は「税法」「会計学」の基本的なテキストの輪読を行う。

【授業方法と留意点】 前後期共、各自担当箇所の問題を解き、またレジメを作成し発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

課題は前もって与えるため各自解いてくること。また、テキストの担当箇所はレジメを作成すること。

評価方法・評価基準

出席とレジメ発表内容、受講態度（基本的なマナー）、本人の頑張り度を見る。

教材等

教科書…テキストは後日指示する。

参考書…授業中に指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミナールは、社会人となる前段階の人間修行の場であると思ってもらいたい。基本的なマナーとして、次のことをゼミ生には要求する。“約束を守る。時間を守る。挨拶をする。キチンとした服装をする。授業中は私語慎み、また寝ないこと。先輩（年配者）を敬うこと、言葉で、また態度で……。責任感を持つ。努力をすることを忘れない。”等々 いずれも最低限のマナーである。

なお、当ゼミは、明るく陽気な、頑張り力のあるゼミナールをしたい。そして、そうした気風を皆で創りあげたい。また、ゼミ生は、全員、簿記検定ははじめ何らかの資格を取得してほしい。なお、ゼミナールでは就職対策も行う。

演習Ⅰ Seminar I				
佐井英子 (サイ ヒデコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

英語、パソコン、会計（国際）が現代の「三種の神器」である、といわれるがこの三者に共通していることは、どれもグローバルなコミュニケーション手段であるということです。会計は企業活動を計数的に写像したものであり、企業経営そのものを指し示している。経営者による裁量的な会計行動による不祥事が次々と発覚し、近年、会計の重要性が再認識されつつある。本演習では、会計情報を利用する立場から会計の基礎知識の修得に努める。

授業方法と留意点

基本的知識を習得するために、入門書を輪読し、各自内容をまとめ発表する。また簿記、工業簿記の基本も習得する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

会計と経営、経済社会の関わりについて学び、会計の基本的な枠組み、知識を習得する。ゼミでは、毎回、各自の発言を求め、質疑、応答形式で進めていく。

評価方法・評価基準

演習への参加（出席、レポートの提出、発表等）

教材等

教科書…未定。参加者と相談の上決定します。

参考書…適宜、指定する。

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミは、必ず出席し、積極的に参加してください。一方的に知識が与えられる場としてではなく、活発な討論を通じて教員もゼミ生も互いに切磋琢磨していける場としてゼミを考えています。

演習Ⅰ Seminar I				
岩坪加紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

今般の金融危機は米国のサブプライムローンという住宅ローンに端を発している。巨大国家米国とはいえ、一国家の住宅ローン問題、さらに言えばサブプライムローンは全住宅ローンの一部に過ぎず、その一国家の一部の住宅ローン問題が、今や世界のあらゆる国の経済に損失をもたらしている。この問題を通して我々は如何に金融が身近な存在であるのかを改めて痛感させられた。

本演習では主として金融問題を扱い、学生諸君自身がこれらを解き明かすことを目的とする。扱うテーマは、例えば資金の借り手としての企業や貸し手としての銀行、また証券会社、格付け機関といった金融市場のプレイヤーから、株式・債券市場といったマクロ的な金融市場を取り上げて良い。また、マクロ金融政策やブルーデンス政策など政策的観点からテーマを選んでも良い。

ただし、本演習の論文作成においては、論理・理論に基づくことは言うまでもないが、さらにそれらを支えるデータや統計学的手法、同時にパソコンを駆使する傾向が強くなる。したがって本演習を希望する学生には、入門水準でよいので、できうる限りこれらの知識を習得しておいて欲しい。そして何より、ヤル気や積極性が重要である。テーマ選定や演習の運営については学生諸君に任せるという意味で自由だがその反面、積極的な参加姿勢求められると思っておいて欲しい。

授業方法と留意点

演習は基本的に学生によるプレゼンテーション形式で進める。プレゼンテーションの準備をする人はいうまでもないが、プレゼンテーションを聞いている学生にも積極性を求める。なおテキストは開講時に知らせる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

演習Ⅰでは、金融に関する基礎的な知識の習得に始まり、卒業研究のテーマの選定を目標とする。

(1) 金融論関連テキストを用いたプレゼンテーションを行う。毎週2, 3人ずつ発表する形式を採る。(2)必要に応じ論文の書き方やアイデアの作り方を教授する。(3)後期後半には各自関心のあるテーマについて報告し、卒業研究のテーマ選定に努める。

評価方法・評価基準

学習態度、プレゼンテーションの出来映えなどを総合的に判断する。

教材等

教科書…別途指示する

参考書…別途指示する

備考

【学生へのメッセージ】

昨今の就職状況を鑑み、本演習では卒業論文の作成を前倒しに行う。したがって、演習の進捗状況は通常よりも早く、少々、キツイかもしれない。その点、覚悟願う。

演習Ⅰ Seminar I				
三木僚祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本演習では、管理会計について学んでいく。管理会計とは、企業内部の各階層の経営管理者に、経営管理に有用な会計情報の提供を目的とする会計である。管理会計は、経営管理を有効に行うために不可欠な手段であり、管理会計を学ぶことは今後社会に出るにあたって、大変意義のあることであると考える。本演習の目的は、管理会計の基礎的事項を理解することである。そこで、管理会計とは何かや、予算管理、標準原価計算といった伝統的な管理会計技法の意義・手続きについて理解してもらう。

授業方法と留意点

管理会計の基礎的な教科書を用いて授業を行なう。毎回担当を決めて、事前に演習参加者に教科書の内容についてまとめた資料を作成してもらう。その資料を授業中に発表してもらい、発表後は、その内容について議論を行う。活発な議論を期待する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

管理会計に関する基礎的な教科書を用いて、授業を進める。毎回の進捗は、教科書1章分。前期は、管理会計を理解する上で欠かすことのできない原価計算の基礎的な事項について学ぶ。後

期は、予算管理や標準原価計算など伝統的な管理会計技法について学んでいく。授業での発表者以外の人も、当日の授業内容について事前に自分なりにまとめておくこと。

評価方法・評価基準

授業態度、授業中の発言などを考慮して評価する。

教材等

教科書…未定、第1回目の授業のときに指示する。
参考書…未定、第1回目の授業のときに指示する。

備考

授業の無断欠席や遅刻は認めません。授業には、真剣に取り組んで下さい。また、授業中は、積極的に発言することを期待します。演習参加者全員の努力で、演習での学びを、充実した実りのあるものにしましょう。

演習II Seminar II				
羽石寛寿 (ハネイシ カンジウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習IIの前期では「問題発見能力」と「問題解決能力」を習得するために、「QCの7つ道具」、「新QC7つ道具」を学習し、問題の発見、整理、改善の方法について学びます。
演習IIの後期では卒業論文の書き方について学習します。
目的と到達目標：「問題発見能力」と「問題解決能力」を身につける。卒業論文の書き方を理解する。

授業方法と留意点

授業方法：前期はQCの7つ道具、新QCの7つ道具を学習します。各人が選んだ課題についてパワーポイントを使って発表し、出された課題について全員で演習を行います。
後期は卒業の準備として、人事労務の研究方法について、人事労務資料の収集について、人事労務資料の解析について、卒業論文のテーマ設定について、卒業論文作成のグループ作成について、事例研究のための企業選択についてを行います。
留意点：遅刻、欠席はしないようにしましょう。発表は創意工夫をして臨みましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容：前期は「QCの7つ道具」と「新QCの7つ道具」のテキストを使用し数値データおよび言語データについての問題の発見方法や整理、改善の方法についてグループ学習をします。後期は卒業研究の準備として「卒業論文の書き方」のテキストを使用し、テーマの選び方、テーマの決定、データの取方と分析の仕方、考察の仕方、プレゼンの仕方などについて学びます。授業方法：欠席はしないように欠席するときは事前に連絡をしてください。グループ学習が多いので協力して進めてください。

評価方法・評価基準

出席、発表、レポートの総合点で評価します。

教材等

教科書…日科技連「QCの7つ道具」、(1800円)。滝川好夫「レポート/論文はこう書く」税務経理協会、(1200円)。過去の卒業論文、プリントなど
参考書…日科技連、「新QCの7つ道具」、(2800円)

備考

【学生へのメッセージ】
3年間を、同じメンバーで、過ごすのですから楽しく愉快にやっていきましょう。
そのためにはルールを守って、お互いを認め合い、信頼感を持って協力しましょう。
グループまたは個人での発表は、発表する日の3日前にはワードでレジュメを作成し、提出してください。

演習II Seminar II				
佐井英子 (サイ ヒデコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

英語、パソコン、会計(国際)が現代の「三種の神器」である、といわれるがこの三者に共通していることは、どれもグローバルなコミュニケーション手段であるということです。会計は企業活動を数的に写像したものであり、企業経営そのものを指し示している。経営者による裁量的な会計行動による不祥事が次々と発覚し、近年、会計の重要性が再認識されつつある。本演習では、会計情報を利用する立場から会計の基礎知識の修得

に努める。

授業方法と留意点

会計に関する基本書を読み、各自報告・発表し、内容について議論する。
グループに分かれて、実際の企業のデータを用いて、企業分析、業界分析を行い発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

会計が実際の社会で果たしている役割について、新聞、雑誌等の記事を取り上げ、考察する。各自が調べて、発表する形式で進めていく。

評価方法・評価基準

演習の参加(出席、レポートの提出、発表等)

教材等

教科書…未定、新聞、雑誌等の資料も利用する。
後期より卒業論文に取り組む。
テーマの設定、作成方法の指導、文献研究
参考書…適宜、指定する。

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミは、必ず出席し、積極的に参加してください。一方的に知識が与えられる場としてではなく、活発な討論を通じて教員もゼミ生も互いに切磋琢磨していける場としてゼミを考えています。

演習II Seminar II				
佐藤正志 (サトウ マサシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究(経営史)」
各自が興味ある経営者(企業家)や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。
(2年次～3年次前半)教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企業経営の歴史的な流れを学習していきます。
(3年次後半～4年次)本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。また、各自がホームページを作成して、「情報発信能力」や「自己表現能力」をたかめていきます。
ところで、経営史研究では史料(資料)が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおして文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点

【授業内容】
(前期)2年次に続いて、テキストを講読しますが、課外学習(ゼミ旅行)やホームページ作成、コンパなど、盛りだくさんの行事・活動が予定されています。
(後期)卒論の研究テーマを各自が決めていきながら、個別に資料収集についての方法論を学んでいきます。また、就職活動についてゼミの先輩からの体験談を聞いたり、交流する会を開きます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

企業家の経営活動が彼らが経営した企業の発展過程といかに関わったのか分析します。基本的には事前学習が大切です。まずは、教科書を読んでおいてください。また、事後学習は、より詳しく、専門書などにあたり、深く研究して、卒論のテーマや内容について考えてください。

評価方法・評価基準

出席状況を重視し、発表・ゼミ活動への参加などを総合的に判断します。

教材等

教科書…宇田川勝編『ケースブック 日本の企業家活動』有斐閣(2800円+税)
参考書…適宜、紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】
楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかっています。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主体的に参加してください。

演習II Seminar II				
紙 博 文 (カミ ヒロフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

3年間の演習（ゼミナール）を通して、会計学、簿記、税法を学ぶ。演習IIは、会計学、税法主体にゼミナールを展開する。テキストをどうするかはゼミ生皆で相談して決めたい。

会計は、企業の経済活動を貨幣額で認識、測定、記録、伝達する行為である、とされる。こうした行為（企業活動）の成果としての貸借対照表、損益計算書等の内容を学び、理論としての会計を知る。一方、税法は法人税法、所得税法、消費税法等を学ぶ。学生諸君にとって税法を学ぶのは初めてであると思うが、税法が現代社会に及ぼす影響の大きさをよく知ってもらいたい。

授業方法と留意点

【授業内容】

会計学、税法を主として学ぶ。会計学は個別の会計基準を、また税法は課税計算等も含めて学習する。

【授業方法と留意点】

テキストの輪読、各自担当箇所のレジメを作成し発表する。後にディスカッションする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自、テキストの担当箇所のレジメを作成し発表する。

評価方法・評価基準

出席とレジメ発表内容、受講態度（基本的なマナー）、本人の頑張り度を見る。

教材等

教科書…別途指示する。

参考書…授業中指示する

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミナールは、社会人となる前段階の人間修行の場であると思ってもらいたい。基本的なマナーとして、次のことをゼミ生には要求する。"約束を守る。時間を守る。挨拶をする。キチとした服装をする。授業中は私語慎み、また寝ないこと。先輩（年配者）を敬うこと、言葉で、また態度で・・・。責任感を持つ。努力をすることを忘れない。"等々 いずれも最低限のマナーである。

なお、当ゼミは、明るく陽気な、頑張り力のあるゼミナールとしたい。そして、そうした気風を皆で創りあげたい。また、ゼミ生は、全員、簿記検定はじめ何らかの資格を取得してほしい。なお、ゼミナールでは就職対策も行う。

演習II Seminar II				
榎 谷 正 人 (マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「企業の戦略・組織・人」の理論研究

卒業論文のテーマと参考文献のレビューを行います。

- (1) 概要書・事典などで主要文献を絞る
- (2) 主要文献をテキスト批評する
- (3) 問題の設定をする
- (4) 議論構成のための複数の意見検討する
- (5) 補助的資料・文献を集める

【目的】

「卒業研究に向けたテーマの絞込み」

卒論を書くために一番難しいことは、テーマ設定です。他の人が興味深いと思うような卒論タイトルを見つけるため、参考文献を10冊選定し、「テキスト批評」行います。

【到達目標】

参考文献の要約・問題意識やテーマ設定能力の養成

授業方法と留意点

【授業内容】

企業が環境変化に適応し克服すべき課題を解決するため、必要なマネジメント（戦略を立てる・組織をつくる・人を動かす）について解説します。例えば、企業の「イノベーション」「マーケティング」活動などに着目し、事例企業の文献調査を行います。

【授業方法と留意点】

3年次では、ロジカルシンキングと情報分析方法について理解を深めます。また、卒論のテーマに該当しそうな本や論文を集めることから始めてください。同時に、テーマが決まれば、チーム学習によるディスカッションとプレゼンテーションによる

相互コメントで、焦点を絞っていきます。

参考文献や論文を読んで、テキスト批評を自分でしておく、それ自体が卒論用のノートや準備メモとなります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ】「企業の戦略・組織・人」の理論研究

【内容】

マネジメント(1)戦略を立てる

- ・企業の成長と発展
- ・企業の競争戦略
- ・戦略的組織ルーティン

マネジメント(2)組織をつくる

- ・企業の組織構造
- ・企業の組織形態
- ・企業の組織文化

マネジメント(3)人を動かす

- ・企業の組織能力
- ・企業のインセンティブ・システム
- ・企業のリーダーシップ

【事前事後学習課題】

参考文献の「テキスト批評」を10冊行い、Power Pointでプレゼンテーションを6回以上行う。各回の相互コメントなどから、毎回、A4(1,600字)×1枚以上Wordで、先行研究の要約と課題を提出します。

評価方法・評価基準

- 1.プロセスの評価：調査・報告・ディスカッションなど、貢献の量
- 2.結果の評価：卒業論文のテーマの独自性と内容など、成果の質

教材等

教科書…榎谷正人（2012）『経営理念の機能-組織ルーティンによる持続的成長のしくみ』中央経済社

参考書…坂下昭宣（2000）『経営学への招待』白桃書房

大平浩二編著（2009）『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社

戸田山和久（2002）『論文の教室-レポートから卒論まで』日本放送出版協会

河野哲也（2011）『レポート・論文の書き方入門（第3版）』慶應義塾大学出版会

T.W.クルーシアス、C.E.チャンネル・杉野俊子他訳（2004）『大学で学ぶ議論の技法』慶應義塾大学出版会

備考

本ゼミでは参考文献の調査（読み・書き・話す）を、チーム学習・ディスカッション・プレゼンテーション・フィードバックを通じたサーキットトレーニングを行います。

演習II Seminar II				
杉 本 篤 信 (スギモト アツノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ 日本経済の分析

日本経済に関する様々な問題を分析するため、基本的な経済理論を身に付ける。そして以下のような目標を達成する。

- (1) 現状をよく知るために、新聞などを読む。
- (2) 理論的な知識をつけるために、多くの本を読む。
- (3) 論理的な思考をする。
- (4) 自分の考えを、口頭で発表する。
- (5) 形式の整った、内容のあるレポートを書く。

授業方法と留意点

【授業内容】

【授業内容】

経済理論の理解。経済の現状の把握。各自の研究のテーマに関する発表。これらは踏まえて卒業研究の主要部分を仕上げる。

【授業方法と留意点】

個人発表と討論。出席と授業中の発言などが、最も重視される。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

日本の企業、経済、社会に関する問題を取りあげ、検討していく。テキストなどの担当項目の報告を通じ、理論的に思考し、また自分の考えを表現する力をつけていく。前期に卒業研究のテーマを決定し、後期には論文の作成に取り掛かります。

評価方法・評価基準

平常点、授業での取り組み、レポートなどで総合的に評価。

教材等

教科書…未定（相談の上で決定）

参考書…授業中に紹介します

備考

【学生へのメッセージ】

上にも書いたように、できるだけ多くの本を読むようにしてほしい。基本的知識をつけることは、どのような分野を勉強する

にも大事なことである。また自分の考えをまとめ、人に伝える技量をつけてほしい。

演習II Seminar II				
有馬 善一 (アリマ センイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ～（環境と経営と社会）
21世紀の社会が存続していくために環境問題の解決は不可欠である。そのためには社会全体の方向転換が必要である。古い日本の言葉で言えば「世直し」である。そして、世直しを通じて社会の発展、ひいては経済の成長を達成することができる。
3.11以後の日本の進むべき進路は大きく転換を迫られている。昨年度に続いて、原発・エネルギーの問題に取り組む。

授業方法と留意点

1. テキスト読解 発表担当者を指名する。口頭でテキストの要約を発表する。さらに、内容の補足・解説をしながら議論をする。参加者相互の積極的な議論が望まれる。
2. 調査報告 関連トピックに関する質問を考えてくる。これも担当者を決めて、調査報告をしてもらう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業計画】
前期は『エネルギー進化論:「第4の革命」が日本を変える』を手始めに、日本のエネルギー問題をどう解決するか、また、そこにどのようなビジネスチャンスがあるかを考えていく。必要な資料は適宜配布する。
また、これと並行して卒論のテーマを考えて、資料集めも進めてもらう。
後期は卒論のテーマを決めて、具体的な準備に入っていく。

評価方法・評価基準

発表、レポート、授業における積極的な参加態度、出席状況を総合的に評価する。

教材等

教科書…『エネルギー進化論:「第4の革命」が日本を変える』
飯田哲也 ちくま書房 819円
『新版 大学生のためのレポート・論文術』 小笠原 喜康 講談社現代新書 756円
参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】
日本のこれからをどうすべきか、一緒に考えていきましょう。

演習II Seminar II				
黒澤 敏朗 (クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは「生産のマネジメント」についての研究・教育を行います。
生産とは企業の活動で付加価値をつける行動（オペレーション）のことで、ハードウェアの製造だけでなく、ソフトウェアや販売・物流・観光などの各種サービスも対象に含まれます。演習や卒業研究を通じて、このような活動を合理的に行い、高い生産性をあげるためのさまざまな理論や手法を学び、企業で活躍するための基礎力を養います。

授業方法と留意点

3年次のゼミでは、個人あるいはグループで「企業の付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを1年間にわたり実施しますので、休まないようにしてください。長期休暇期間などに行う事業所や工場などの見学にも積極的に参加してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

3年次の演習では、個人あるいはグループごとに対象となる企業数社を選び、それらの企業の「付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを1年間にわたり実施します。それらを通じて生産やサービスのマネジメントに関わるさまざまな知識や方法を学びます。さらに、キャリア形成に向けて、長期休暇期間などを活用して各種の事業所や工場などの見学も行います。

評価方法・評価基準

まずは調査・研究し、その結果を発表することが必要です。そ

して見学などを含んだ最終レポートを提出することとあわせて総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回、必要な内容を含んだハンドアウト（プリント）を配布します。
参考書…授業中に適切な参考書を推薦します。

演習II Seminar II				
岩田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

各人の問題意識に沿って研究を行います。そこにおいて、論文の書き方や研究の深め方について学習する。

授業方法と留意点

オープンな討論を中心とした演習スタイルをとる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各人が図書館やインターネットで調べたテーマに従って報告してもらいます。それをゼミ生全員で議論することにより、各人の研究能力を高めます。

評価方法・評価基準

出席を重視し、報告の内容や討論への参加を総合的に判断します。

教材等

教科書…未定
参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】

卒業研究 Senior Thesis				
羽石 寛寿 (ハネイシ カンジュウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究では過去3年間で学んできた中で興味を持った組織や人間に関すること、また、経営管理に関することや企業のこと等について、研究します。
テーマはグループごとに自由に決めてもらいます。なお、企業などの協力による事例研究等もあります。

授業方法と留意点

研究方法： まず文献研究を行い、その内容について実際の企業等に向き、直接インタビューをしたりデータを収集して分析考察を行います。
研究はグループ研究が原則です。
今までの卒業研究のテーマの一部を紹介します。「ヒトを生かす人事制度の構築」「人的資源管理における能力開発の研究」「モチベーション理論の実証的研究」「成果主義管理における賃金システムの研究」「組織診断の実証的研究」「職能資格制度による人事システム」
留意点： 発表は積極的にしましょう。企業等へ向くときには必ず事前にアポイントを取り、特に服装や言葉使い、マナーに気をつけましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容：3年生の後半より文献を読みまとめを行っていきます。進め方は一般的に実践的な研究をしますので、企業や組織に向き、アンケートでデータを取ったり、インタビューをしたりしながらデータを集め、分析、考察を行います。完成した論文の内容は企業での報告や学内での報告を行って終了となります。

評価方法・評価基準

中間発表、最終発表、論文の内容などによる総合点で評価します。

教材等

教科書…過去の卒業論文、プリントなど
参考書…各人が必要とする専門書、白書など

備考

【学生へのメッセージ】
グループ研究ではルールを守って、お互いを認め合い、信頼感を持って協力していきましょう。
グループまたは個人での発表は、発表する日の3日前にはワードでレジュメを作成し、先生まで提出してください。

卒業研究 Senior Thesis				
佐井英子(サイ ヒデコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

英語、パソコン、会計(国際)が現代の「三種の神器」である、といわれるがこの三者に共通していることは、どれもグローバルなコミュニケーション手段であるということです。会計は企業活動を計数的に写像したものであり、企業経営そのものを指し示している。経営者による裁量的な会計行動による不祥事が次々と発覚し、近年、会計の重要性が再認識されつつある。本演習では、会計情報を利用する立場から会計の基礎知識の修得に努める。

授業方法と留意点

基本的には、各自の進捗度の沿った個人指導が中心となるが、全員で中間発表、最終発表を行う卒業論文の経過発表を行い、必要に応じて修正、加筆を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自のテーマにそって卒論を作成し、ゼミで報告すること。

評価方法・評価基準

平常点(演習の参加)と卒業論文を総合的に評価する。

教材等

教科書…卒論のテーマの応じて適宜決定する。

参考書…「大学生のためのレポート・論文術」、小笠原善康、講談社現代新書、

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミは、必ず出席し、積極的に参加してください。一方的に知識が与えられる場としてではなく、活発な討論を通じて教員もゼミ生も互いに切磋琢磨していける場としてゼミを考えています。

卒業研究 Senior Thesis				
佐藤正志(サトウ マサシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究(経営史)」
各自が興味ある経営者(企業家)や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。

(2年次～3年次前半)教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企業経営の歴史的な流れを学習していきます。

(3年次後半～4年次)本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。また、各自がホームページを作成して、「情報発信能力」や「自己表現能力」をたかめていきます。

ところで、経営史研究では史料(資料)が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおして文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点

【授業内容】

卒論執筆の基本的な方法について全体的に説明し、個別指導を経て、各自締め切りまでに研究をまとめます。最終的な論文内容等の個別指導の後、卒論を完成させ、提出します。

- (前期) (1) 卒業論文のテーマの確定と章立ての確認
(2) 論文作成の関する具体的な方法(目次、内容の展開、資料収集・分析、文献引用など)についての指導・説明
(後期) (1) 論文執筆に関する個別指導(データベースの利用)
(2) 卒論内容の発表、質疑

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

企業家の経営活動が彼らが経営した企業の発展過程といかに関わったのか分析します。レベルが高くオリジナリティのある卒論執筆のために、関連論文や専門書などにあたり、深く研究していきます。

評価方法・評価基準

卒業論文の内容、発表、出席状況などを総合的に評価します。

教材等

教科書…特に指定しません。

参考書…適宜、紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】

楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかっています。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主体的に参加してください。

卒業研究 Senior Thesis				
紙博文(カミ ヒロフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究は、演習(ゼミナール)の縮め括りである。これまで学んだ会计学、簿記、税法の領域から自分で研究テーマを見つけ、自分で調べて、自分の力で論文を書く。

授業方法と留意点

4月末までに研究テーマを決めること。そして、各自の研究テーマを論文としてまとめあげていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

決められた期日までに該当箇所を調べ、文章にしてくること。なお、各自のテーマが異なることから、各自個別の指導となる。

評価方法・評価基準

研究論文の内容をみる。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】

就活と平行しての勉強となるが、毎日、少しでもよいから参考文献を読み、テーマについて考える時間を持つこと。

卒業研究 Senior Thesis				
榎谷正人(マキタニ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「企業の戦略・組織・人」の理論と実践の研究

【目的】

企業の成長と発展要因を、戦略と組織の考察・調査を通して卒業論文を完成させます。

【到達目標】

皆さんが社会で活躍できるよう、情報収集と分析能力を習得し、論理思考を高めて自らの視点で問題を解決するビジネス実務能力を鍛えます。

授業方法と留意点

【授業内容】

卒業論文の構造(「問い」-「答え」という形式で出来ている)について解説します。

- (1) 複数の人間に読まれることを想定した文章表現である。
- (2) 問題設定し、論理的・実証的に論述し、最後に問題解決を提示する。

【授業方法と留意点】

卒業論文作成の留意点:各部分で何を書くか?

- (1) 目次 (2) 序論 (3) 本論 (4) 結論 (5) 付録・脚注 (6) 参考文献

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ】

「企業の戦略・組織・人」の理論と実践の研究

【方法】

経営学における戦略と組織のマネジメントを研究し、日本の企業が直面する課題を実証研究します。そのため、最初に、各自取り上げた事例企業が、激変する環境や競争状況をどのようにして乗り越えてきたのか、その活動を調査します。次に、「戦略と組織のダイナミックな相互作用」の優位性について解明することにより、体系化・モデル化します。

【事前事後学習課題】

参考文献の「テキスト批評」を行います。尚、A4(1,600字)×1枚以上Wordで作成し、全体構成は下記の通りです。

1. 表題
2. 目的の提示(5~10行ほど)
3. 要約(全体の30~40%ほど)
4. 問題の提起(全体の10~20%ほど)

- 5. 議論 (全体の30~40%ほど)
- 6. まとめ (全体の10~20%ほど)

評価方法・評価基準

- 1.プロセスの評価：参考文献の「テキスト批評」、調査研究の量
- 2.結果の評価：卒業論文内容の独自性・実証的記述・論理一貫性など、成果の質

教材等

教科書…榎谷正人 (2012)『経営理念の機能-組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社 (3,000円+税)
参考書…大平浩二編著 (2009)『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社
 戸田山和久 (2002)『論文の教室-レポートから卒論まで』日本放送出版協会

備考

本ゼミでは、参考文献の「テキスト批評」のプレゼンテーションとフィードバック、及び、事例企業の調査研究によるアクションラーニングも取り入れて、卒業論文を完成させます。

卒業研究 Senior Thesis				
杉本 篤信 (スギモト アツノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ 日本経済の分析
 日本経済に関する様々な問題を分析するため、基本的な経済理論を身に付ける。そして以下のような目標を達成する。
 (1) 現状をよく知るために、新聞などを読む。
 (2) 理論的な知識をつけるために、多くの本を読む。
 (3) 論理的な思考をする。
 (4) 自分の考えを、口頭で発表する。
 (5) 形式の整った、内容のあるレポートを書く。

授業方法と留意点

【授業内容】
 [授業内容] 各自の卒業研究のテーマに関する発表。個人的な論文の指導。
 [授業方法と留意点] 個人発表と討論。出席と授業中の発言などが、最も重視される。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業研究の製作

評価方法・評価基準

平常点、授業での取り組み、卒研レポートなどで総合的に評価。

教材等

教科書…特になし
参考書…授業中に紹介します

備考

【学生へのメッセージ】
 上にも書いたように、できるだけ多くの本を読むようにしてほしい。基本的知識をつけることは、どのような分野を勉強するにも大事なことである。また自分の考えをまとめ、人に伝える技量をつけてほしい。

卒業研究 Senior Thesis				
有馬 善一 (アリマ ゼンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ~ (環境と経営と社会)
 21世紀の社会が存続していくために環境問題の解決は不可欠である。そのためには社会全体の方向転換が必要である。古い日本の言葉で言えば「世直し」である。そして、世直しを通じて社会の発展、ひいては経済の成長を達成することができる。そのための具体的な方策について考える。

授業方法と留意点

【授業内容】
 [授業内容] 卒業論文を仕上げるための個別指導を中心とする。
 [授業方法と留意点] 昨年度中に決定した「テーマ」の確認、発表、卒論の執筆、草稿段階での指導、最終的な完成という手順で進める。序章、第1章の原稿は、早い時期に一度発表を行うが、その際には特定質問者を設定し、お互いの議論の中から学ぶことも求める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[前期]

昨年度に引き続き、卒業論文の作成を進める。
 全体のプランについて、発表を行う。

[後期]

卒業論文の原稿の完成とチェック。最終的なOKが出るまで。
 卒業論文の発表と論集の発行。

評価方法・評価基準

授業への参加態度、卒業論文

教材等

教科書…特に指定しない。
参考書…小笠原 喜康 『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書 (756円)

備考

【学生へのメッセージ】
 「環境問題」は単にゴミをポイ捨てにしないとか「地球に優しい」商品を買うということだけの話ではない。21世紀の社会を変革することなしには、人類そのものが生き延びることができないということなのである。そして、先進的な企業、「草の根」、地方自治体、さらには、環境先進国では、既に変革の試みが始まっているのである。21世紀の日本の変革ができるかどうかは若い諸君の双肩にかかっている。

卒業研究 Senior Thesis				
古村 公久 (コムラ キミヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

「企業と社会の関係を問い直す」ことがゼミの主なテーマである。環境・社会を所与とした経済中心の20世紀型産業社会の確立から、1970年代における新しい社会運動の台頭、1980~90年代におけるグローバル化の負の局面の顕在化と市民社会組織の成熟を経て、1990年代以降のグローバル社会においては、持続可能性を求め方向へと社会的な価値基盤が変化してきているといわれる。日本においても、このようなグローバルな潮流の中で、企業のあり方・企業社会のあり方が様々な形で問われ始めている。また、地球環境・貧困・コミュニティ開発等々、我々が直面する様々な社会的課題を解決する担い手として、サードセクターとしてのNPO (非営利組織) の存在が目ざされてきている。

このような状況を踏まえると、今後社会に出ていく学生にとって、大局的に「企業社会を捉える眼」を修得することは極めて重要である。卒業研究では、2年間学んだことをもとに各々の問題意識から研究テーマを設定し、そのテーマに関する研究・発表・討論を通じて卒業論文を作成する。

授業方法と留意点

まず、各自が設定したテーマ (問題意識) の確認、関連する文献・資料の収集から始める。次に、各自が収集した参考文献に対する考察を報告してもらい、それに対し全員でディスカッションを行うことで卒業論文を磨き上げるという作業を繰り返す。最後に、全体の構成を再確認し、論文としての体裁を整える。
 自分と関係が薄いように見えるテーマであっても、有用な情報が含まれていることは多い。常に高い参加意識を持ってディスカッションに臨んでほしい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

進捗に合わせて随時指示をする。

評価方法・評価基準

平常点 (出席を大前提とし、発表内容・ディスカッションへの貢献・ゼミ運営への貢献等) に加え、卒業論文を重視する。

教材等

教科書…各自のテーマにより変わるので、特に指定はしない。
参考書…なし。

備考

ゼミの質は学生皆さんの努力次第で大きく変わるので、自主的にゼミを創りあげるという自覚をもって臨んで下さい。ゼミ生が自ら考え自主的に行うことに対しては担当教員として最大限のサポートをします。また、これからビジネスの世界へ飛び込む学生が多いと思うので、私の経験やノウハウなども惜しまず提供するつもりでいます。

卒業研究 Senior Thesis				
黒澤 敏朗 (クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

「生産のマネジメント」についての研究を行います。
 生産とは企業の活動で付加価値をつける行動（オペレーション）のことで、ハードウェアの製造だけでなく、ソフトウェアや販売・物流・観光などの各種サービスも対象に含まれます。卒業研究を通じて、このような活動を合理的に行い、高い生産性をあげるためのさまざまな理論や手法を学び、企業でどのように活用されているのか、についてを中心に調査・研究を行い、その結果を論文としてまとめます。

授業方法と留意点

卒業研究では、個人あるいはグループで「企業の付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを1年間にわたり実施し、最終的に卒業研究論文として完成させます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

個人あるいはグループで対象となる企業数社を選び、それらの企業の「付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを1年間にわたり実施し、その内容を論文としてまとめます。それらのプロセスを通じて生産やサービスのマネジメントに関わるさまざまな知識や方法を修得します。

評価方法・評価基準

まずは調査・研究し、その結果を発表することが必要です。そのようなプロセスと最終的に提出された卒業論文とをあわせて総合的に評価します。

教材等

教科書…とくに必要とはしませんが、対象分野で標準的な書籍は所持する方が望ましいので、適宜推薦します。
参考書…適切な参考書を適宜紹介します。

卒業研究 Senior Thesis				
山 本 芳 華 (ヤマモト ヨシカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミのテーマ： 地球環境問題とマネジメント
 自らが選択したテーマに基づいて情報を収集し卒論形式にまとめる。特に、定期的に卒業研究テーマをパワーポイントにて報告することで、研究成果の進捗状況とプレゼンテーション能力の向上を図る。ゼミ全体での報告会では、ほかの発表者に対して適切なアドバイスをを行うなど、他者と協力しながら卒業研究の完成度を高めることを目標とする。

授業方法と留意点

今まで行ってきた研究を統括し、卒業論文を完成します。自らが集めてきた情報を文章をもってわかりやすく他者に伝える能力は社会においても重要です。3年間の成果を形にすることに全力を注いでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

自らの卒業研究テーマに関しては、自主的に情報を収集し論文作成を図ること。

評価方法・評価基準

演習への参加状況（出席、レポート提出、発表など）

教材等

教科書…随時提示します。
参考書…随時提示します。

備考

随時、卒業論文進行についての報告を行います。日々の準備を行ってください。

英語I a
English Ia

ブルース ライリー

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	5	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

Students will learn basic patterns of English conversation to be applied to a variety of situations.

授業方法と留意点

The teacher will facilitate student-centered speaking tasks using pair work, and group discussions

科目学習の効果（資格）

Students will become more confident and fluent in everyday conversations.

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introductions and greetings
【内容・方法等】 Please call me Beth
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第2回 【授業テーマ】 Introductions and greetings
【内容・方法等】 Please call me Beth
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第3回 【授業テーマ】 Describing work and school
【内容・方法等】 How do you spend your day
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第4回 【授業テーマ】 Describing work and school
【内容・方法等】 How do you spend your day
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第5回 【授業テーマ】 Talking about prices
【内容・方法等】 How much is it?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第6回 【授業テーマ】 Talking about prices
【内容・方法等】 How much is it?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第7回 【授業テーマ】 Talking about likes and dislikes
【内容・方法等】 Do you like rap?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第8回 【授業テーマ】 Talking about likes and dislikes
【内容・方法等】 Do you like rap?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第9回 【授業テーマ】 Talking about families
【内容・方法等】 Tell me about your family
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第10回 【授業テーマ】 Talking about families
【内容・方法等】 Tell me about your family
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第11回 【授業テーマ】 Asking about and describing routines
【内容・方法等】 How often do you exercise?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第12回 【授業テーマ】 Asking about and describing routines
【内容・方法等】 How often do you exercise?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第13回 【授業テーマ】 Talking about past events
【内容・方法等】 We had a great time
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第14回 【授業テーマ】 Talking about past events

【内容・方法等】 We had a great time
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

第15回 【授業テーマ】 Asking about and describing locations and places

【内容・方法等】 What's your neighborhood like?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

評価方法（基準）

Students' grade will be based on class participation, homework, a midterm and a final speaking test.

教材等

教科書…Interchange IA Full Contact FOURTH EDITION
Published by Cambridge University Press

参考書…なし

学生へのメッセージ

Full participation is mandatory

関連科目

なし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語I b
English I

ブルース ライリー

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	5	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

Students will learn basic patterns of English conversation to be applied to a variety of situations.

授業方法と留意点

The teacher will facilitate student-centered speaking tasks using pair work, and group discussions

科目学習の効果（資格）

Students will become more confident and fluent in everyday conversations.

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Asking about and describing people's appearance
【内容・方法等】 What does she look like?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第2回 【授業テーマ】 Asking about and describing people's appearance
【内容・方法等】 What does she look like?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第3回 【授業テーマ】 Exchanging information about past experiences and events
【内容・方法等】 Have you ever ridden a camel?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第4回 【授業テーマ】 Exchanging information about past experiences and events
【内容・方法等】 Have you ever ridden a camel?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第5回 【授業テーマ】 Asking about and describing cities
【内容・方法等】 It's a very exciting place
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第6回 【授業テーマ】 Asking about and describing cities
【内容・方法等】 It's a very exciting place
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第7回 【授業テーマ】 Talking about health problems
【内容・方法等】 It really works
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第8回 【授業テーマ】 Talking about health problems

- 【内容・方法 等】** It really works
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第9回** **【授業テーマ】** Expressing likes and dislikes
【内容・方法 等】 May I take your order?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第10回** **【授業テーマ】** Expressing likes and dislikes
【内容・方法 等】 May I take your order?
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第11回** **【授業テーマ】** Describing countries, making comparisons
【内容・方法 等】 The biggest and the best
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第12回** **【授業テーマ】** Describing countries, making comparisons
【内容・方法 等】 The biggest and the best
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第13回** **【授業テーマ】** Talk about plans, accepting and rejecting invitations
【内容・方法 等】 I'm going to a soccer match
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第14回** **【授業テーマ】** Talk about plans, accepting and rejecting invitations
【内容・方法 等】 I'm going to a soccer match
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
- 第15回** **【授業テーマ】** Review and Test
【内容・方法 等】 Review and Test
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

評価方法 (基準)

Students' grade will be based on class participation, homework, a midterm and a final speaking test.

教材等

教科書…Interchange 1B Full Contact FOURTH EDITION
 Published by Cambridge University Press
 参考書…なし

学生へのメッセージ

Full participation is mandatory

関連科目

なし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語II a English Ila				
藤岡 真樹 (フジオカ マサキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、アメリカ合衆国の政治や経済、社会構造や文化について平易な文章で書き下ろされた文献の読解を通じて、学生の皆さんに、1. 基本的な語彙力と文法力を身につけてもらうこと、2. 一定量の英文から必要な情報をできるだけ速く、正確に読み取る力を身につけてもらうことを目的として実施するものです。最終的な目標は、皆さんに、英字新聞や英字雑誌、あるいは英語で記されたインターネット上の情報に自信を持って接するだけの知識とスキルを養ってもらうことです。

授業方法と留意点

授業は毎回1. 単語テスト (約20分)、2. 語彙習得についての簡単な議論 (約10分)、3. テキストの読解・解説 (約60分) で構成し、この順番で進めます。

1. 単語テストについて：問題はThe 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOKから出題します (範囲は「事前・事後学習課題」の項目に記した通り)。単語テストは授業の冒頭に実施しますので、遅刻などのないようしてください。

2. 語彙習得の議論について：毎回の課題として、テキストの他に『英単語速習術』を1章ずつ読んできてもらいます (英単語

は覚えなくてもかまいません)。授業では、講師が指名した学生に、読んできた部分の内容を口頭で説明してもらいます。その上で、どのようにすれば語彙力をアップさせることができるのかについて受講者全員で討議してもらいます。

3. テキストの読解・解説について：A Changing America in a New World: Understanding Culture Society and Peopleを「授業テーマ」の項目に沿って進めます。前期では、アメリカの政治・社会制度に関するトピックを読んでいきます。授業では皆さんに本文の内容と問題の解答を尋ねますので、事前に必ずテキストを読み、問題を解いてきてください。難解な点や背景知識については、講師から解説します。後期は、アメリカの社会や文化についてのトピックを読んでいきますので、英語IICとの連続履修を推奨します。

(留意点1)

リーダーズなど中レベル以上の英和辞典を毎回必ず持参してください。書籍型でも電子型でもかまいません。

(留意点2)

この授業は、講師が一方向的に教授するのではなく、講師と受講者全員とが力を合わせて英語力の向上を図ることを目的としています。したがって授業中は、私語をしないなどの最低限の常識は守ってください。講師の注意・指導に従わない学生は、単語テストや定期試験の出来いかにかわからず、単位を認定しません。

科目学習の効果 (資格)

英語力、特に読解力の向上

現代世界を構造的に把握するのに欠かせないアメリカ合衆国の政治、経済、社会、文化についての理解を深める

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション

【内容・方法 等】 授業内容・評価方法についての説明

英単語の習得についての説明

基礎的な文法事項の確認

【事前・事後学習課題】 なし

第2回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (移民)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 1: The New Immigrantsの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 1の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 714~793の暗記

『英単語速習術』「プロローグ」を読む

第3回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (移民)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 1: The New Immigrantsの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 1の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 794~874の暗記

『英単語速習術』「第1章」を読む

第4回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (移民)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 1: The New Immigrantsの読解、答え合わせ、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 1の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 875~958の暗記

『英単語速習術』「第2章」を読む

第5回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (司法制度)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 2: The Legal Systemの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 2の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 959~1037の暗記

『英単語速習術』「第3章」を読む

第6回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (司法制度)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 2: The Legal Systemの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 2の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 1038~1121の暗記

『英単語速習術』「第4章」を読む

第7回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (司法制度)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 2: The Legal Systemの読解、答え合わせ、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 2の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 1122~1216の暗記

『英単語速習術』「第6章」を読む

第8回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める (選挙制度)

【内容・方法 等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 3: Elections in Novemberの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 3の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 714～793の復習
『英単語速習術』「第7章」を読む

第9回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（選挙制度）

【内容・方法 等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 3: Elections in Novemberの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 3の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 794～874の復習
『英単語速習術』「第8章」を読む

第10回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（選挙制度）

【内容・方法 等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 3: Elections in Novemberの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 3の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 875～958の復習
『英単語速習術』「第9章」を読む

第11回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（教育）

【内容・方法 等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 4: Education; Democratic and Diverseの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 4の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 959～1037の復習
『英単語速習術』の復習

第12回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（教育）

【内容・方法 等】 単語テスト
Chapter 4: Education; Democratic and Diverseの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 4の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1038～1121の復習
『英単語速習術』の復習

第13回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（教育）

【内容・方法 等】 単語テスト
Chapter 4: Education; Democratic and Diverseの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 4の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1122～1216の復習

第14回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカ文化への理解を深める（自由）

【内容・方法 等】 単語テスト
Chapter 5: Homeland Security in a Free Societyの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 5の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 714～958の復習

第15回 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカ文化への理解を深める（自由）

【内容・方法 等】 単語テスト
Chapter 5: Homeland Security in a Free Societyの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 5の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 959～1216の復習

評価方法（基準）
平常点（授業態度、予習の有無、単語テストなど）50%、定期試験50%の割合で評価します。

教材等
教科書…William M. Balsamo・廣田典子, *A Changing America in a New World: Understanding Culture Society and People*, 金星堂 (1,680円)

NISHIYA Koji, *The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK*, 成美堂 (1,785円)
晴山陽一『英単語速習術—この1000単語で英文が読める』、ちくま新書 (714円)

参考書…渡辺靖編『現代アメリカ』、有斐閣アルマ (1,995円)

学生へのメッセージ
英語の習得において、多くの単語の暗記や文法の理解は不可欠です。そして、この授業の毎回の課題も決して「楽」でないでしょう。しかしそれを乗り越えたところには、英語を読む「楽しさ」があります。その楽しさを感じることでできる力を身につけるため、共にがんばりましょう。

関連科目
他の英語全科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

英語II b
English II

松井智子(マツイ トモコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、リーディングとリスニングを中心に、初級～中級レベルの英語の理解力と表現力を身につけることを狙っています。現代社会にかんする様々な内容のエッセイを読み進めながら、語彙力の養成、リスニングの訓練、英文法の解説も行います。初級～中級レベルの英語をしっかりと身に付けることによって、最終的には、英語を運用する実践的な能力を修得することを目標としています。

授業方法と留意点

授業は毎回、(1)単語テスト(約20分)、(2)テキストの読解・解説の順に進めます。テキストは1章ずつ進めます。エッセイの読解では、講師が一方的に教授するのではなく、受講者の積極的な取り組みに回答しながら進めますので、予習が不可欠です。読解のあと、練習問題の答え合わせを行います。毎回少しずつ、英文法の解説も行います。

(留意点)

- ・授業は、学生の予習(本文を読み、わからない単語を調べ、練習問題を解いてくる)を前提として行います。
- ・テキスト・英和辞書(電子型も可)を毎回必ず持参してください。
- ・出席・授業態度を重視します。20分までの遅刻は出席と認めますが、それ以上になると欠席扱いとします。遅刻3回で、欠席1回とみなします。欠席が5回になると失格となり、定期試験を受ける資格を失います。
- ・授業態度が悪く、講師の注意に従わない場合は、欠席扱いとします。

科目学習の効果(資格)

初級～中級レベルの読解力、聴解力、語彙力の養成。TOEIC等の資格試験にも役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の内容・評価方法などの説明
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 Lesson 1
【内容・方法 等】 単語集917-937の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第3回 【授業テーマ】 Lesson 2
【内容・方法 等】 単語集917-958の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第4回 【授業テーマ】 Lesson 3
【内容・方法 等】 単語集959-979の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第5回 【授業テーマ】 Lesson 4
【内容・方法 等】 単語集959-999の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第6回 【授業テーマ】 Lesson 5
【内容・方法 等】 単語集1000-1019の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第7回 【授業テーマ】 Lesson 6
【内容・方法 等】 単語集1000-1037の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト、これまでの授業の復習
【内容・方法 等】 単語集917-1037の単語テスト、中間テスト、これまでの授業の解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、これまでの授業の復習
- 第9回 【授業テーマ】 中間テストの答え合わせ、これまでの授業の復習
【内容・方法 等】 中間テストの答え合わせ、これまでの授業の解説
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習
- 第10回 【授業テーマ】 Lesson 7
【内容・方法 等】 単語集1038-1058の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説

- 第11回** 【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
【授業テーマ】 Lesson 8
【内容・方法 等】 単語集1059-1079の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第12回** 【授業テーマ】 Lesson 9
【内容・方法 等】 単語集1038-1079の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第13回** 【授業テーマ】 Lesson 10
【内容・方法 等】 単語集1080-1100の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第14回** 【授業テーマ】 Lesson 11
【内容・方法 等】 単語集1101-1121の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第15回** 【授業テーマ】 Lesson 12
【内容・方法 等】 単語集1080-1121の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く

評価方法 (基準)

単語テスト (30%)、中間テスト (30%)、定期試験 (40%) により評価する。

教材等

教科書…Makoto Shishido, Steve Taylor-Knowles and Malcolm Mann 「Supreme Reading 1 (スプリーム リーディング1)」成美堂 (1900円+税)

Nishiya Koji 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト: 単語集)」成美堂 (1700円+税)

参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

リーディングの訓練を継続して行うことによって、英語に対する苦手意識を取り払い、基礎をしっかりと固めましょう。指定単語集の自習ソフト「Web英語学習システム LINGUAPORTA」を利用して自習しましょう。
<https://www.seibido.co.jp/linguaporta/index.htm>

関連科目

英語II d

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語II c English IIc				
藤岡真樹 (フジオカ マサキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、アメリカ合衆国の政治や経済、社会構造や文化について平易な文章で書き下ろされた文献の読解を通じて、学生の皆さんに、1. 基本的な語彙力と文法力を身につけてもらうこと、2. 一定量の英文から必要な情報をできるだけ速く、正確に読み取る力を身につけてもらうことを目的として実施するものです。最終的な目標は、皆さんに、英字新聞や英字雑誌、あるいは英語で記されたインターネット上の情報に自信を持って接するだけの知識とスキルを養ってもらうことです。

授業方法と留意点

授業は毎回1. 単語テスト (約20分)、2. テキストの読解・解説 (約70分) で構成し、この順番で進めます。

1. 単語テストについて：問題はThe 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOKから出題します (範囲は「事前・事後学習課題」の項目に記した通り)。単語テストは授業の冒頭に実施しますので、遅刻などのないようにしてください。

2. テキストの読解・解説について：A Changing America in a New World: Understanding Culture Society and Peopleを「授業テーマ」の項目に沿って進めます。後期では、アメリカの社会や文化に関するトピックを読んでいます。授業では皆さんに本文の内容と問題の解答を尋ねますので、事前に必ずテキストを読み、問題を解いてきてください。難解な点や背景知識については、講師から解説します。前期の英語II aとの連続履修を推奨します。(留意点1)

リーダーズなど中レベル以上の英和辞典を毎回必ず持参して

ください。書籍型でも電子型でもかまいません。(留意点2)

この授業は、講師が一方向的に教授するのではなく、講師と受講者全員とが力を合わせて英語力の向上を図ることを目的としています。したがって授業中は、私語をしないなどの最低限の常識は守ってください。講師の注意・指導に従わない学生は、単語テストや定期試験の出来いかにかわからず、単位を認定しません。

科目学習の効果 (資格)

英語力、特に読解力の向上

現代世界を構造的に把握するのに欠かせないアメリカ合衆国の政治、経済、社会、文化についての理解を深める

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 前期の内容の復習
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (夏時間)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 9: Daylight Savings Timeの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 9の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1080~1176の暗記
- 第3回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (夏時間)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 9: Daylight Savings Timeの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 9の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1177~1257の暗記
- 第4回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (夏時間)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 9: Daylight Savings Timeの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 9の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1258~1338の暗記
- 第5回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (休暇)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 10: Holidays and Vacationsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 10の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1339~1419の暗記
- 第6回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (休暇)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 10: Holidays and Vacationsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 10の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1420~1500の暗記
- 第7回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (休暇)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 10: Holidays and Vacationsの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 10の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1080~1176の復習
- 第8回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (映画と政治)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 12: Hollywood Actors and Political Activistsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 12の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1177~1257の復習
- 第9回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (映画と政治)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 12: Hollywood Actors and Political Activistsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 12の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1258~1338の復習
- 第10回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (映画と政治)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 12: Hollywood Actors and Political Activistsの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 12の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1339~1419の復習
- 第11回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (健康)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 13: Obesity-A New Health Problemの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 13の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1420~1500の復習
- 第12回** 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (健康)

【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 13: Obesity-A New Health Problemの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 13の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1080～1216の復習

第13回 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める（健康）
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 13: Obesity-A New Health Problemの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 13の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1217～1338の復習

第14回 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める（科学技術）
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 15: The Future of the Space Shuttleの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 15の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1339～1419の復習

第15回 【授業テーマ】 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める（科学技術）
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 15: The Future of the Space Shuttleの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 15の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1420～1500の復習

評価方法（基準）

平常点（授業態度、予習の有無、単語テストなど）50%、定期試験50%の割合で評価します。

教材等

教科書…William M. Balsamo・廣田典子, *A Changing America in a New World: Understanding Culture, Society and People*, 金星堂 (1,680円)
 NISHIYA Koji, *The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK*, 成美堂 (1,785円)

参考書…渡辺靖編『現代アメリカ』、有斐閣アルマ (1,995円)

学生へのメッセージ

英語の習得において、多くの単語の暗記や文法の理解は不可欠です。そして、この授業の毎回の課題も決して「楽」でないでしょう。しかしそれを乗り越えたところには、英語を読む「楽しさ」があります。その楽しさを感じることができる力を身につけるため、共がんばりましょう。

関連科目

他の英語全科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

初級～中級レベルの読解力、聴解力、語彙力の養成。TOEIC等の資格試験にも役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の内容・評価方法などの説明
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】** Lesson 13
【内容・方法 等】 単語集1297-1317の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第3回 【授業テーマ】** Lesson 14
【内容・方法 等】 単語集1297-1338の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第4回 【授業テーマ】** Lesson 15
【内容・方法 等】 単語集1339-1359の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第5回 【授業テーマ】** Lesson 16
【内容・方法 等】 単語集1339-1378の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第6回 【授業テーマ】** Lesson 17
【内容・方法 等】 単語集1379-1399の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第7回 【授業テーマ】** Lesson 18
【内容・方法 等】 単語集1379-1419の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第8回 【授業テーマ】** 中間テスト、これまでの授業の復習
【内容・方法 等】 単語集1297-1419の単語テスト、中間テスト、これまでの授業の解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、これまでの授業の復習
- 第9回 【授業テーマ】** 中間テストの答え合わせ、これまでの授業の復習
【内容・方法 等】 中間テストの答え合わせ、これまでの授業の解説
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習
- 第10回 【授業テーマ】** Lesson 19
【内容・方法 等】 単語集1420-1439の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第11回 【授業テーマ】** Lesson 20
【内容・方法 等】 単語集1440-1459の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第12回 【授業テーマ】** Lesson 21
【内容・方法 等】 単語集1420-1459の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第13回 【授業テーマ】** Lesson 22
【内容・方法 等】 単語集1460-1480の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第14回 【授業テーマ】** Lesson 23
【内容・方法 等】 単語集1481-1500の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く
- 第15回 【授業テーマ】** Lesson 24
【内容・方法 等】 単語集1460-1500の単語テスト、本文の読解、練習問題の答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 単語テストのための暗記、テキスト本文を読み、練習問題を解く

評価方法（基準）

単語テスト（30%）、中間テスト（30%）、定期試験（40%）により評価する。

教材等

教科書…Makoto Shishido, Steve Taylor-Knowles and Malcolm Mann「Supreme Reading 1（スプリームリーディング1）」成美堂（1900円＋税）
 Nishiya Koji「The 1500 Core Vocabulary for the

英語II d English IId				
松井智子(マツイ トモコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、リーディングとリスニングを中心に、初級～中級レベルの英語の理解力と表現力を身につけることを狙っています。現代社会にかんする様々な内容のエッセイを読み進めながら、語彙力の養成、リスニングの訓練、英文法の解説も行います。初級～中級レベルの英語をしっかりと身に付けることによって、最終的には、英語を運用する実践的な能力を修得することを目標としています。

授業方法と留意点

授業は毎回、(1)単語テスト（約20分）、(2)テキストの読解・解説の順に進めます。テキストは1章ずつ進めます。エッセイの読解では、講師が一方的に教授するのではなく、受講者の積極的な取り組みに応答しながら進めますので、予習が不可欠です。読解のあと、練習問題の答え合わせを行います。毎回少しづつ、英文法の解説も行います。

（留意点）

- ・授業は、学生の予習（本文を読み、わからない単語を調べ、練習問題を解いてくる）を前提として行います。
- ・テキスト・英和辞書（電子型も可）を毎回必ず持参してください。
- ・出席・授業態度を重視します。20分までの遅刻は出席と認めますが、それ以上になると欠席扱いとします。遅刻3回で、欠席1回とみなします。欠席が5回になると失格となり、定期試験を受ける資格を失います。
- ・授業態度が悪く、講師の注意に従わない場合は、欠席扱いとします。

科目学習の効果（資格）

TOEIC Test: Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト: 単語集) 成美堂 (1700円+税)

参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

リーディングの訓練を継続して行うことによって、英語に対する苦手意識を取り払い、基礎をしっかりと固めましょう。指定単語集の自習ソフト「Web英語学習システム LINGUAPORTA」を利用して自習しましょう。

https://www.seibido.co.jp/linguaporta/index.htm

関連科目

英語II

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語III a English IIIa				
中本明子 (ナカモト アキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	12345	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英文速読を目指します。英文は興味深いトピックスに焦点を絞った平易な名文で、3つの段階に分かれて英文が少しずつ長くなります。徐々に長文に慣れ、知らない単語に出会っても辞書を引かずに最後まで読み通すことによって、ビジネスの現場で使える実践的な英語能力の習得が可能になります。

授業方法と留意点

初めに重要語彙と基本的文法事項を確認した後、練習問題を解きます。知識の定着を図るために、毎回小テストをします。授業の最後に質疑応答時間を設けます。英和辞書は必ず持参して下さい。電子辞書の場合、説明書を読んで使い方を確実にマスターしておいて下さい(熟語の引き方がわからない人が時々見受けられます)。

科目学習の効果(資格)

英検、TOEICなど資格試験の得点アップにつながります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 講義内容、授業の進め方、成績評価の説明
英文の基本構造と品詞
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通しておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 Chapter 1
Never Give up
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 教科書(以下同様) pp.2-6
- 第3回 【授業テーマ】 Chapter 1
Never Give up
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.2-6
- 第4回 【授業テーマ】 Chapter 2
Communicating with Your Cell Phone
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.7-11
- 第5回 【授業テーマ】 Chapter 2
Communicating with Your Cell Phone
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.7-11
- 第6回 【授業テーマ】 Chapter 3 Different Cultures, Different Superstitions
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.12-15
- 第7回 【授業テーマ】 Chapter 3 Different Cultures, Different Superstitions
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.12-15
- 第8回 【授業テーマ】 Chapter 4
The Story of Amazing Grace
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.17-21
- 第9回 【授業テーマ】 Chapter 4
The Story of Amazing Grace
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.17-21
- 第10回 【授業テーマ】 Chapter 5
Communicating with People You Don't like
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.22-26
- 第11回 【授業テーマ】 Chapter 5
Communicating with People You Don't like
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.22-26

- 第12回 【授業テーマ】 Chapter 6
A Story of Eternal Love
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.28-33
 - 第13回 【授業テーマ】 Chapter 7
Cool Japan
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.34-39
 - 第14回 【授業テーマ】 Chapter 8
Words That Change Your Life
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.40-45
 - 第15回 【授業テーマ】 前期の総括
【内容・方法等】 前期まとめテスト
【事前・事後学習課題】 前期学習事項
- 評価方法(基準)
課題・小テスト50%、学期末まとめテスト50%、授業態度は減点方式とし、総合的に評価します。
- 教材等
教科書…Joan McConnell・武田修一著「Speed Reading with the TOEIC Test Vocabulary」成美堂(1900円+税)
参考書…英和辞書
- 学生へのメッセージ
テキストの各章における Key Words for the TOEIC Test と minimal phrases の語彙は、辞書で調べて予習しておいて下さい。
- 関連科目
英語III b、TOEIC関連科目
- 担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室
- 備考
休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

英語III a English IIIa				
岡 あゆみ (オカ アユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	6789	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

基本文法と基本語彙習得に力を置きながら、聞く、話す、読むといったコミュニケーション能力向上をめざす。英語はスポーツと同じような実技の授業と考えて欲しい。個人、ペア、グループでどんどん英語を使い、コミュニケーションと英語を使うことに慣れる。最初の授業で次回のテストや予習準備、授業の進め方などを説明するので履修を考えている人は出席すること。

授業方法と留意点

毎回授業中に小テストを行う。遅刻や欠席で試験を受験できないと0点になるので注意すること。不定期の授業中のパフォーマンス試験、まとめテストも行う。

科目学習の効果(資格)

英語を使って自分の事が表現できるようになる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 インTRODクッション
【内容・方法等】 授業の進め方。次回の準備説明。ミニテスト。自己紹介。
評価方法などの確認・プリント
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1 Be動詞
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2 一般動詞(1)
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3 一般動詞(2)
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4 人称代名詞
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5 Wh-疑問文
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等

- 【事前・事後学習課題】** 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第7回 **【授業テーマ】** Unit 7 過去形
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第8回 **【授業テーマ】** Unit 8 現在完了(1) 継続
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第9回 **【授業テーマ】** Unit 8 現在完了(2) 経験・完了
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第10回 **【授業テーマ】** Unit 9 進行形
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第11回 **【授業テーマ】** Unit 10 未来表現
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第12回 **【授業テーマ】** Unit 11 助動詞(1)
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第13回 **【授業テーマ】** Unit 12 助動詞(2)
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第14回 **【授業テーマ】** Unit 13 接続詞
【内容・方法等】 英文和訳、内容理解、リスニング、作文等
【事前・事後学習課題】 次回テストの準備、予習、わからない単語があれば調べる
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 まとめテスト、発表
【事前・事後学習課題】 今までの総復習、発表準備

評価方法(基準)
小テスト20%
不定期のテスト30%
課題・発表・パフォーマンステスト・参加度50%

教材等
教科書…Living Grammar (コミュニケーションのためのページック・グラマー)
山本厚子ほか著 (成美堂) 1,900円(税別)
CD2枚 400円(税別)
参考書…辞書(毎時間持参)。必要に応じて授業時に指示する。

学生へのメッセージ
国際語としての英語は必須。大学時代に基本的な英語力をつけ、英検、TOEICにも挑戦しよう。
将来の進路や夢実現を少しでも有利にしよう。自分の未来を決めるのは自分自身であると自覚して欲しい。

関連科目
他の英語科目すべて

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
予習、復習に加えて自分の好きなNHKラジオ、テレビの英語番組を毎日1つは聞いたり、見ること。継続して勉強することは英語力向上に有効である。3か月～6か月すればその効果を実感できるだろう。
*授業の進度や内容はクラスのレベルによって変わることがある。

ターしておいて下さい(熟語の引き方がわからない人が時々見受けられます)。

科目学習の効果(資格)
英検、TOEICなど資格試験の得点アップにつながります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法等】 講義内容、授業の進め方、成績評価の説明
英文の基本構造と品詞
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通しておくこと
- 第2回 **【授業テーマ】** Chapter 9
Everybody Needs a Friend
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 教科書(以下同様) pp.46-51
- 第3回 **【授業テーマ】** Chapter 9
Everybody Needs a Friend
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.46-51
- 第4回 **【授業テーマ】** Chapter 10
Colors and Culture
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.52-57
- 第5回 **【授業テーマ】** Chapter 10
Colors and Culture
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.52-57
- 第6回 **【授業テーマ】** Chapter 11
Communicating with People You Like
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.60-65
- 第7回 **【授業テーマ】** Chapter 11
Communicating with People You Like
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.60-65
- 第8回 **【授業テーマ】** Chapter 12
Pocahontas: The First American "Ambassador"
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.66-71
- 第9回 **【授業テーマ】** Chapter 12
Pocahontas: The First American "Ambassador"
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.66-71
- 第10回 **【授業テーマ】** Chapter 13
A Song of Peace
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.72-77
- 第11回 **【授業テーマ】** Chapter 13
A Song of Peace
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.72-77
- 第12回 **【授業テーマ】** Chapter 14
Don't Be a Shrinking Violet! Don't Be Shy!
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
【事前・事後学習課題】 pp.78-83
- 第13回 **【授業テーマ】** Chapter 14
Don't Be a Shrinking Violet! Don't Be Shy!
【内容・方法等】 演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.78-83
- 第14回 **【授業テーマ】** Chapter 15
The Power of Love
【内容・方法等】 重要語彙・基本的文法事項、読解
演習問題(リスニングも含む)
【事前・事後学習課題】 pp.84-89
- 第15回 **【授業テーマ】** 後期の総括
【内容・方法等】 後期まとめテスト
【事前・事後学習課題】 後期学習事項

評価方法(基準)
課題・小テスト50%、学期末まとめテスト50%、授業態度は減点方式とし、総合的に評価します。

教材等
教科書…Joan McConnell・武田修一著「Speed Reading with the TOEIC Test Vocabulary」成美堂(1900円+税)
参考書…英和辞書

学生へのメッセージ
テキストの各章における Key Words for the TOEIC Test と minimal phrases の語彙は、辞書で調べて予習しておいて下さい。

関連科目
英語Ⅲa、TOEIC関連科目

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

備考
休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

英語Ⅲb English III				
中本明子(ナカモト アキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
英文速読を目指します。英文は興味深いトピックスに焦点を絞った平易な名文で、3つの段階に分かれて英文が少しずつ長くなります。徐々に長文に慣れ、知らない単語に出会っても辞書を引かず最後まで読み通すことによって、ビジネスの現場で使える実践的な英語能力の習得が可能になります。

授業方法と留意点
初めに重要語彙と基本的文法事項を確認した後、練習問題を解きます。知識の定着を図るために、毎回小テストをします。授業の最後に質疑応答時間を設けます。英和辞書は必ず持参して下さい。電子辞書の場合、説明書を読んで使い方を確実にマ

ビジネスイングリッシュ
Business English

マーティン フランシス オイクル

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	123	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

This is a course in basic business English. Students will learn many business vocabulary, in addition to various business situations such as meetings, dealing with clients, making appointments, requests and offers, etc. Upon completing the course, students should be familiar with the basics of communicating in English in the business world.

授業方法と留意点

毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書（本でも電子辞書でも構わない）出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する。

科目学習の効果（資格）

ビジネス会話能力Upと英語を話す自信が上がる..

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introduction.
【内容・方法 等】 Introduction, explaining the class, overview.
【事前・事後学習課題】 No preparation required. 準備は必要ありません.
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1. First Meetings.
【内容・方法 等】 Meeting a client.
Talking about yourself.
Numbers.
【事前・事後学習課題】 Pages 4 - 6.
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 1. First Meetings continued.
【内容・方法 等】 Who are you?
Interviews.
Culture file - Greetings.
【事前・事後学習課題】 Pages 7 - 9.
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 2. You and Your Company.
【内容・方法 等】 Introducing your company.
Company activities.
Company departments.
【事前・事後学習課題】 .Pages 10 - 12.
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 2. You and Your Company continued.
【内容・方法 等】 Numbers.
Starting a conversation.
Cultural file - Socializing.
【事前・事後学習課題】 Pages 13 - 15.
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 3. Visiting a Client.
【内容・方法 等】 Arriving at an appointment.
At reception.
Meeting people.
【事前・事後学習課題】 Pages 16 - 18.
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 3. Visiting a client continued.
【内容・方法 等】 Arriving at an appointment.
At reception.
Meeting people.
【事前・事後学習課題】 Pages 19 - 21.
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 4 Business Activities.
【内容・方法 等】 Describing routines.
How often?
Talking about company activities.
【事前・事後学習課題】 Pages 22 - 24.
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 4. Business Activities continued.
【内容・方法 等】 Numbers and times.
What's your job like?
Cultural file - Office life.
【事前・事後学習課題】 Pages 25 - 28.
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 5. Fixing an Appointment.
【内容・方法 等】 Arranging to meet.
Speaking to reception.
Fixing an appointment.
【事前・事後学習課題】 Pages 29 - 31.
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 5. Fixing an Appointment continued.
【内容・方法 等】 Ordinal numbers and dates.
Telephoning.
Cultural file - The right time.
【事前・事後学習課題】 Pages 32 - 34.
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 6. Requests and Offers.
【内容・方法 等】 Placing an order.
Requests and offers.
Decimals and exchange rates.
【事前・事後学習課題】 Pages 35 - 37.
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 6. Requests and Offers continued.
【内容・方法 等】 E-mail and web site addresses.

Ordering by phone.
Culture file - E-commerce.

- 第14回 【事前・事後学習課題】 Pages 38 - 40.
【授業テーマ】 Review of units 1 - 6.
【内容・方法 等】 Review contents for units 1 - 6.
【事前・事後学習課題】 Review vocabulary of units 1 - 6.
- 第15回 【授業テーマ】 Term test units 1 - 6.
【内容・方法 等】 Test units 1 - 6.
【事前・事後学習課題】 Prepare for term test.

評価方法（基準）

授業参加態度 50%.
期末テスト 35%.
単語テスト 15%

In addition to attendance, participation and a positive attitude towards learning will also be accounted in the grading for this class.

教材等

教科書…Business Venture book 1 by Roger Barnard & Jeff Cady.

Oxford University Press, 2009. ISBN: 978-0-19-457817-2.

参考書…辞書。

学生へのメッセージ

出来る限り英語を話すこと！
そしてミスを恐れず、わからないことをわからないと言うことを恥ずかしがらずにどんどんと質問して欲しい。
Regular attendance is important and expected.

関連科目

なし。

担当者の研究室等

7号館2階, 非常勤講師室.

ビジネスイングリッシュ
Business English

松井信義 (マツイ ノブヨシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	456	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

グローバル化・通信技術の進歩とともにビジネス英語を取り巻く環境も変化している。この講座は会話文・通信文などを通して、新しいビジネス環境に対応したビジネス英語を基礎から総合的に学ぶことを目的とし、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高めることを目標とする。

授業方法と留意点

授業は 'Active Participation in Class' (授業への前向きな参加) が大前提である。双方向の全員参加の前向きな授業を目指すので予習が必須で、辞書（特に、英和辞典）は必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）

ビジネス英語の基礎知識を習得することに加え、所謂、英語の4技能を高めることを目指すので結果としてTOEICのスコアアップにもつながる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 シラバス説明
Part 1の導入
【内容・方法 等】 授業目的・計画・方法の説明、受講の心構え、英語学習の方法など
【事前・事後学習課題】 Part I. ビジネス通信の基本
1. 「手紙」の予習
- 第2回 【授業テーマ】 1. 「手紙」
TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 1. 「手紙」・TOEIC問題の復習・定着
2. 「ファックス」の予習
- 第3回 【授業テーマ】 2. 「ファックス」
TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 2. 「ファックス」・TOEIC問題の復習・定着
3. 「電子メール」の予習
- 第4回 【授業テーマ】 3. 「電子メール」
TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 3. 「電子メール」・TOEIC問題の復習・定着
4. 「電話」の予習
- 第5回 【授業テーマ】 4. 「電話」

TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 4. 「電話」・TOEIC問題の復習・定着
 Part II. 社交関係の英語
 5. 「面会の申し入れ」の予習
第6回 【授業テーマ】 5. 「面会の申し入れ」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 5. 「面会の申し入れ」・TOEIC問題の復習・定着
 6. 「ホテルの予約」の予習
第7回 【授業テーマ】 6. 「ホテルの予約」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 6. 「ホテルの予約」・TOEIC問題の復習・定着
 7. 「オフィスの移転通知」の予習
第8回 【授業テーマ】 7. 「オフィスの移転通知」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 7. 「オフィスの移転通知」・TOEIC問題の復習・定着
 8. 「支店の開設案内」の予習
第9回 【授業テーマ】 8. 「支店の開設案内」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 8. 「支店の開設案内」・TOEIC問題の復習・定着
 9. 「レセプションへの招待」の予習
第10回 【授業テーマ】 9. 「レセプションへの招待」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 9. 「レセプションへの招待」・TOEIC問題の復習・定着
 10. 「アンケートの回答依頼」の予習
第11回 【授業テーマ】 10. 「アンケートの回答依頼」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 10. 「アンケートの回答依頼」・TOEIC問題の復習・定着
 11. 「資料の送付依頼」の予習
第12回 【授業テーマ】 11. 「資料の送付依頼」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 11. 「資料の送付依頼」・TOEIC問題の復習・定着
 12. 「慶弔」の予習
第13回 【授業テーマ】 12. 「慶弔」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 12. 「慶弔」・TOEIC問題の復習・定着
 Part III. 社内の英語
 13. 「会議の通知」の予習
第14回 【授業テーマ】 13. 「会議の通知」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 13. 「会議の通知」・TOEIC問題の復習・定着
 14. 「議事録」の予習
第15回 【授業テーマ】 14. 「議事録」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 14. 「議事録」・TOEIC問題の復習・定着
 定期試験（前期末）の準備
評価方法（基準）
 定期試験（60%）
 授業への参加（発表など）（20%）
 小テスト・レポート（20%）
教材等
 教科書…「Essentials of Global Business English」、南雲堂、豊

田暁、2100円+税
 参考書…英和・和英辞典
学生へのメッセージ
 There is no royal road to English learning. (英語学習に王道なし)にあるように英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and (or but) steady wins the race. (急がば回れ)を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。諦めずに頑張ってください・・・。
関連科目
 他の英語科目
担当者の研究室等
 7号館2階（非常勤講師室）
備考
 特になし

ビジネスイングリッシュ				
Business English				
田中健二 (タナカ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	789	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 電話対応、ビジネスレターの書き方など、ビジネスに関するさまざまな場面と文章を想定した英語を学ぶ。特殊な英語ではなく一般的に用いられる英語であるから、応用が十分期待できる。
授業方法と留意点
 毎回、クラスのほぼ全員に答えてもらうので、予習を欠かさないこと。
科目学習の効果（資格）
 ビジネスの場で必要とされる読解力、語彙力をつける。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 講義の進め方、評価方法などを説明
【事前・事後学習課題】 復習
第2回 【授業テーマ】 数字
【内容・方法 等】 数字の書き方、読み方
【事前・事後学習課題】 復習
第3回 【授業テーマ】 数字
【内容・方法 等】 数字の書き方、読み方
【事前・事後学習課題】 復習
第4回 【授業テーマ】 英語ニュース
【内容・方法 等】 英語ニュースを聞く場合のポイント、方法。
【事前・事後学習課題】 復習
第5回 【授業テーマ】 英語ニュース
【内容・方法 等】 英語ニュースを聞く場合のポイント、方法。
【事前・事後学習課題】 復習
第6回 【授業テーマ】 英語ニュース
【内容・方法 等】 英語ニュースを聞く場合のポイント、方法。
【事前・事後学習課題】 復習
第7回 【授業テーマ】 英字新聞
【内容・方法 等】 英字新聞から情報を取る方法。
【事前・事後学習課題】 復習。
第8回 【授業テーマ】 英字新聞
【内容・方法 等】 英字新聞から情報を取る方法。
【事前・事後学習課題】 復習
第9回 【授業テーマ】 英字新聞
【内容・方法 等】 英字新聞から情報を取る方法。
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 ビジネス会話
【内容・方法 等】 ビジネスの場面での典型的な会話
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 ビジネス会話
【内容・方法 等】 ビジネスの場面での典型的な会話
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 ビジネス会話
【内容・方法 等】 ビジネスの場面での典型的な会話
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 電話
【内容・方法 等】 ビジネスの場で電話をかける。
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 ビジネス文書
【内容・方法 等】 典型的なビジネス文書の書き方
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 ビジネス文書
【内容・方法 等】 典型的なビジネス文書の書き方
【事前・事後学習課題】 復習
評価方法（基準）
 出席、授業参加態度、定期試験
教材等

教科書…小池直也、Media English for the Businessperson、南雲堂、1,365円
参考書…なし

学生へのメッセージ

辞書を使って予習をしてきてください。

関連科目

ビジネスイングリッシュII

担当者の研究室等

7号館3階、田中健二研究室

ビジネスイングリッシュII Business English II				
マーティン フランシス オイクル				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	12345	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

This is a course in basic business English. Students will learn many business vocabulary, in addition to various business situations such as meetings, dealing with clients, making appointments, requests and offers, etc. Upon completing the course, students should be familiar with the basics of communicating in English in the business world.

授業方法と留意点

毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書（本でも電子辞書でも構わない）出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する。

科目学習の効果（資格）

ビジネス会話能力Upと英語を話す自信が上がる..

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introduction.
【内容・方法 等】 Introduction, explaining the class, overview.
【事前・事後学習課題】 No preparation required. 準備は必要ありません.
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1. First Meetings.
【内容・方法 等】 Meeting a client.
Talking about yourself.
Numbers.
【事前・事後学習課題】 Pages 4 - 6.
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 1. First Meetings continued.
【内容・方法 等】 Who are you?
Interviews.
Culture file - Greetings.
【事前・事後学習課題】 Pages 7 - 9.
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 2. You and Your Company.
【内容・方法 等】 Introducing your company.
Company activities.
Company departments.
【事前・事後学習課題】 .Pages 10 - 12.
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 2. You and Your Company continued.
【内容・方法 等】 Numbers.
Starting a conversation.
Cultural file - Socializing.
【事前・事後学習課題】 Pages 13 - 15.
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 3. Visiting a Client.
【内容・方法 等】 Arriving at an appointment.
At reception.
Meeting people.
【事前・事後学習課題】 Pages 16 - 18.
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 3. Visiting a client continued.
【内容・方法 等】 Arriving at an appointment.
At reception.
Meeting people.
【事前・事後学習課題】 Pages 19 - 21.
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 4 Business Activities.
【内容・方法 等】 Describing routines.
How often?
Talking about company activities.
【事前・事後学習課題】 Pages 22 - 24.
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 4. Business Activities continued.
【内容・方法 等】 Numbers and times.
What's your job like?
Cultural file - Office life.
【事前・事後学習課題】 Pages 25 - 28.
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 5. Fixing an Appointment.
【内容・方法 等】 Arranging to meet.
Speaking to reception.
Fixing an appointment.
【事前・事後学習課題】 Pages 29 - 31.

- 第11回 【授業テーマ】 Unit 5. Fixing an Appointment continued.
【内容・方法 等】 Ordinal numbers and dates.
Telephoning.
Cultural file - The right time.
【事前・事後学習課題】 Pages 32 - 34.
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 6. Requests and Offers.
【内容・方法 等】 Placing an order.
Requests and offers.
Decimals and exchange rates.
【事前・事後学習課題】 Pages 35 - 37.
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 6. Requests and Offers continued.
【内容・方法 等】 E-mail and web site addresses.
Ordering by phone.
Culture file - E-commerce.
【事前・事後学習課題】 Pages 38 - 40.
- 第14回 【授業テーマ】 Review of units 1 - 6.
【内容・方法 等】 Review contents for units 1 - 6.
【事前・事後学習課題】 Review vocabulary of units 1 - 6.
- 第15回 【授業テーマ】 Term test units 1 - 6.
【内容・方法 等】 Test units 1 - 6.
【事前・事後学習課題】 Prepare for term test.

評価方法（基準）

授業参加態度 50%.

期末テスト 35%.

単語テスト 15%

In addition to attendance, participation and a positive attitude towards learning will also be accounted in the grading for this class.

教材等

教科書…Business Venture book 1 by Roger Barnard & Jeff Caday.

Oxford University Press, 2009. ISBN: 978-0-19-457817-2.

参考書…辞書。

学生へのメッセージ

出来る限り英語を話すこと！

そしてミスを恐れず、わからないことをわからないと言うことを恥ずかしがらずにどんどんと質問して欲しい。

Regular attendance is important and expected.

関連科目

なし。

担当者の研究室等

7号館2階、非常勤講師室。

ビジネスイングリッシュII Business English II				
松井信義 (マツイ ノブヨシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	6789	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

グローバル化・通信技術の進歩とともにビジネス英語を取り巻く環境も変化している。この講座は会話文・通信文などを通して、新しいビジネス環境に対応したビジネス英語を基礎から総合的に学ぶことを目的とし、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高めることを目標とする。

授業方法と留意点

授業は 'Active Participation in Class' (授業への前向きな参加) が大前提である。双方向の全員参加の前向きな授業を目指すので予習が必須で、辞書（特に、英和辞典）は必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）

ビジネス英語の基礎知識を習得することに加え、所謂、英語の4技能を高めることを目指すので結果としてTOEICのスコアアップにもつながる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 シラバス説明
Part 1 の導入
【内容・方法 等】 授業目的・計画・方法の説明、受講の心構え、英語学習の方法など
【事前・事後学習課題】 Part I. ビジネス通信の基本
1. 「手紙」の予習
- 第2回 【授業テーマ】 1. 「手紙」
TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 1. 「手紙」・TOEIC問題の復習・定着
2. 「ファックス」の予習
- 第3回 【授業テーマ】 2. 「ファックス」
TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC

- 問題
【事前・事後学習課題】 2. 「ファックス」・TOEIC問題の復習・定着
3. 「電子メール」の予習
第4回 【授業テーマ】 3. 「電子メール」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 3. 「電子メール」・TOEIC問題の復習・定着
4. 「電話」の予習
第5回 【授業テーマ】 4. 「電話」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 4. 「電話」・TOEIC問題の復習・定着
Part II. 社交関係の英語
5. 「面会の申し入れ」の予習
第6回 【授業テーマ】 5. 「面会の申し入れ」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 5. 「面会の申し入れ」・TOEIC問題の復習・定着
6. 「ホテルの予約」の予習
第7回 【授業テーマ】 6. 「ホテルの予約」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 6. 「ホテルの予約」・TOEIC問題の復習・定着
7. 「オフィスの移転通知」の予習
第8回 【授業テーマ】 7. 「オフィスの移転通知」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 7. 「オフィスの移転通知」・TOEIC問題の復習・定着
8. 「支店の開設案内」の予習
第9回 【授業テーマ】 8. 「支店の開設案内」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 8. 「支店の開設案内」・TOEIC問題の復習・定着
9. 「レセプションへの招待」の予習
第10回 【授業テーマ】 9. 「レセプションへの招待」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 9. 「レセプションへの招待」・TOEIC問題の復習・定着
10. 「アンケートの回答依頼」の予習
第11回 【授業テーマ】 10. 「アンケートの回答依頼」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 10. 「アンケートの回答依頼」・TOEIC問題の復習・定着
11. 「資料の送付依頼」の予習
第12回 【授業テーマ】 11. 「資料の送付依頼」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 11. 「資料の送付依頼」・TOEIC問題の復習・定着
12. 「慶弔」の予習
第13回 【授業テーマ】 12. 「慶弔」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 12. 「慶弔」・TOEIC問題の復習・定着
Part III. 社内の英語
13. 「会議の通知」の予習
第14回 【授業テーマ】 13. 「会議の通知」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 13. 「会議の通知」・TOEIC問題の復習・定着
14. 「議事録」の予習
第15回 【授業テーマ】 14. 「議事録」

TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 14. 「議事録」・TOEIC問題の復習・定着
定期試験（前期末）の準備

評価方法（基準）
定期試験（60%）
授業への参加（発表など）（20%）
小テスト・レポート（20%）

教材等
教科書…「Essentials of Global Business English」、南雲堂、豊田暁、2100円＋税
参考書…英和・和英辞典

学生へのメッセージ
There is no royal road to English learning. (英語学習に王道なし) があるように英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and (or but) steady wins the race. (急がば回れ) を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。諦めずに頑張ってください……。

関連科目
他の英語科目
担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

備考
特になし

英語基礎会話 a				
Basic English Conversation a				
日高俊夫 (ヒダカ トシオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
電子ファイルやプリント等を用いて基本的な文構造を理解すると同時に、教科書を使ってTOEICの実践的な力を養う。「将来仕事で英語を使う」ことを想定した基礎力をつけていきたい。

授業方法と留意点
出席は単位取得の最低条件とする。基本的に毎時間、授業のはじめに単語テストや復習テストを行う。辞書は必携。

科目学習の効果（資格）
TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
Lesson 1: 動詞と語順
【内容・方法等】 授業の概要説明、座席決定、General Introduction
動詞と、特にその後にくる語句の語順を理解して使えるようになる。
【事前・事後学習課題】 英作文、語句整序演習等
- 第2回 【授業テーマ】 Lesson 1: 動詞と語順
TOEIC Pre-test
単語テスト1-30
【内容・方法等】 動詞の意味とその動詞がとる要素の語順を理解する。
TOEIC模擬問題演習
【事前・事後学習課題】 英作文、語句整序演習等
TOEIC問題演習
- 第3回 【授業テーマ】 Lesson 2: 進行形と受動態
TOEIC演習 Unit 1
単語テスト31-60
【内容・方法等】 進行形・受動態の形と意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 進行形・受動態の問題演習
TOEIC問題演習
- 第4回 【授業テーマ】 Lesson 2: 進行形と受動態
TOEIC演習 Unit 1
単語テスト61-90
【内容・方法等】 進行形・受動態の形と意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 進行形・受動態の問題演習
TOEIC問題演習
- 第5回 【授業テーマ】 Lesson 3: 助動詞
TOEIC演習 Unit 2
単語テスト1-90
【内容・方法等】 主な助動詞の意味と用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 助動詞の問題演習
TOEIC問題演習

- 第6回** 【授業テーマ】 Lesson 4: 前置詞と前置詞句
TOEIC演習 Unit 2
単語テスト91-120
【内容・方法等】 前置詞と前置詞句の文構造における役割と位置を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 前置詞を含んだ問題演習
TOEIC問題演習
- 第7回** 【授業テーマ】 Review
TOEIC演習 Unit 3
単語テスト121-150
【内容・方法等】 これまでの学習内容を確認する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 復習問題演習
TOEIC問題演習
- 第8回** 【授業テーマ】 TOEIC演習 Unit 3
単語テスト151-180
【内容・方法等】 TOEIC問題演習に特化
【事前・事後学習課題】 TOEIC問題演習
- 第9回** 【授業テーマ】 Lesson 5: 副詞節と主節
TOEIC演習 Unit 4
単語テスト91-180
【内容・方法等】 副詞節の役割を理解し、副詞節を導く接続詞を習得する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 副詞節を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第10回** 【授業テーマ】 Lesson 6 名詞節と主節
TOEIC演習 Unit 4
単語テスト181-210
【内容・方法等】 名詞節の役割を理解し、名詞節を導く接続詞を習得する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 名詞節を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第11回** 【授業テーマ】 Lesson 6 名詞節と主節
TOEIC演習 Unit 5
単語テスト210-240
【内容・方法等】 名詞節の役割を理解し、名詞節を導く接続詞を習得する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 名詞節を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第12回** 【授業テーマ】 Lesson 7 副詞と副詞的語句
TOEIC演習 Unit 6
単語テスト241-270
【内容・方法等】 副詞および副詞的語句の定義を理解し、それらを含む文の読み書きができるようになる。
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 副詞・副詞的語句を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第13回** 【授業テーマ】 Lesson 8 形容詞節と主節
TOEIC演習 Unit 6
単語テスト181-270
【内容・方法等】 関係詞の機能を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第14回** 【授業テーマ】 Lesson 8 形容詞節と主節
TOEIC演習 Unit 6
単語テスト271-300
【内容・方法等】 関係詞の機能を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第15回** 【授業テーマ】 復習演習
単語テスト1-300
【内容・方法等】 TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 試験勉強

評価方法 (基準)

出席は単位取得の必要条件とする。最終的な成績は、単語テスト20%、スピーチ評価20%、小テスト等20%、期末試験40%を目安に評価する。

教材等

教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集)』成美堂 (1,700円+税)

Jonathan Lynch他『Before-After Practice for the TOEIC TEST』センゲージ (2,000円+税)
プリント、電子ファイル等

参考書…中辞典程度の辞書 (電子辞書でも可)

学生へのメッセージ

「使える英語」に向けての「トレーニング」をやっつけていこうと思います。繰り返し練習し「考えなくてもできる」レベルまで

身につけていくことが大切です。

関連科目

他の英語関連科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語基礎会話 b

Basic English Conversation

日 高 俊 夫 (ヒダカ トシオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

電子ファイルやプリント等を用いて基本的な文構造を理解すると同時に、教科書を使ってTOEICの実践的な力を養う。「将来仕事で英語を使う」ことを想定した基礎力をつけていきたい。なお、初回の授業には正当な欠席理由がない場合は必ず出席すること (欠席すると減点となるので注意)。

授業方法と留意点

出席は単位取得の最低条件とする。基本的に毎時間、授業のはじめに単語テストや復習テストを行う。辞書は必携。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション, 座席決定
Lesson 9: 不定詞
TOEIC演習 Unit 7
【内容・方法等】 不定詞の意味と用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 不定詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第2回** 【授業テーマ】 Lesson 9: 不定詞
TOEIC演習 Unit 7
単語テスト 301-330
【内容・方法等】 不定詞の意味と用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 不定詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第3回** 【授業テーマ】 Lesson 10: 動名詞
TOEIC演習 Unit 8
単語テスト 331-360
【内容・方法等】 動名詞の働きと用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 動名詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第4回** 【授業テーマ】 Lesson 10: 動名詞
TOEIC演習 Unit 8
単語テスト 361-390
【内容・方法等】 動名詞の働きと用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 動名詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第5回** 【授業テーマ】 Lesson 11: 分詞
TOEIC演習 Unit 9
単語テスト 301-390
【内容・方法等】 分詞の意味と文中での役割を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第6回** 【授業テーマ】 Lesson 11: 分詞
TOEIC演習 Unit 9
単語テスト 391-420
【内容・方法等】 分詞の意味と文中での役割を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第7回** 【授業テーマ】 Lesson 11: 分詞
TOEIC演習 Unit 10
単語テスト 421-450
【内容・方法等】 分詞の意味と文中での役割を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第8回** 【授業テーマ】 Lesson 12: 分詞構文
TOEIC演習 Unit 10
単語テスト 451-480
【内容・方法等】 分詞構文の文中での役割と、分詞構文を含む文の構造・意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞構文演習問題

- TOEIC問題演習
- 第9回 【授業テーマ】 Lesson 12: 分詞構文
TOEIC演習 Unit 11
単語テスト 391-480
【内容・方法等】 分詞構文の文中での役割と、分詞構文を含む文の構造・意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞構文演習問題
TOEIC問題演習
- 第10回 【授業テーマ】 Lesson 13: -ingについてのまとめ
TOEIC演習 Unit 11
単語テスト 481-510
【内容・方法等】 -ingが持つ機能をまとめ、文中での働きを理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 -ingの見分け演習問題
TOEIC問題演習
- 第11回 【授業テーマ】 Lesson 13: -ingについてのまとめ
TOEIC演習 Unit 12
単語テスト 511-540
【内容・方法等】 -ingが持つ機能をまとめ、文中での働きを理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 -ingの見分け演習問題
TOEIC問題演習
- 第12回 【授業テーマ】 Lesson 14: SVOC
TOEIC演習 Unit 12
単語テスト 541-570
【内容・方法等】 SVOCという構文の意味と動詞の関係を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 SVOC演習問題
TOEIC問題演習
- 第13回 【授業テーマ】 Lesson 14: SVOC
TOEIC演習 Unit 13
単語テスト 481-570
【内容・方法等】 SVOCという構文の意味と動詞の関係を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 SVOC演習問題
TOEIC問題演習
- 第14回 【授業テーマ】 Lesson 15: 共通関係の把握
TOEIC演習 Unit 13
単語テスト 571-600
【内容・方法等】 andやorが文中で果たす「等位接続」を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 and, orを含む文の解釈演習
TOEIC問題演習
- 第15回 【授業テーマ】 Lesson 15: 共通関係の把握
TOEIC演習: Post Test
単語テスト 301-600
【内容・方法等】 andやorが文中で果たす「等位接続」を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 試験勉強
- 評価方法(基準)
出席は単位取得の必要条件とする。最終的な成績は、単語テスト20%、スピーチ20%、小テスト等20%、期末試験40%を目安に評価する。
- 教材等
教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト単語集)』成美堂(1,700円+税)
Jonathan Lynch他『Before-After Practice for the TOEIC TEST』センテージ(2,000円+税)
プリント、電子ファイル等
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ
「使える英語」に向けての「トレーニング」をやっつけていこうと思います。繰り返し練習し「考えなくてもできる」レベルまで身につけていくことが大切です。
- 関連科目
他の英語関連科目
- 担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

日本語表現I
Japanese Expression I

船田 淳一(フナタ ジュンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCD	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果(資格)

文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 文章の書き方1
【内容・方法等】 文章表現の基礎を学ぶ(第1章)
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 【授業テーマ】 文章の書き方2
【内容・方法等】 文章表現の基礎を学ぶ(第2章)
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 【授業テーマ】 事実の記述と意見の記述
【内容・方法等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ(第2章、第3章(1))
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第5回 【授業テーマ】 【課題1】
【内容・方法等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 要約1
【内容・方法等】 要約の方法を学ぶ(第3章(2)(3))
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第7回 【授業テーマ】 フィードバック
要約2
【内容・方法等】 課題1のフィードバック
要約文を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第8回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法等】 文章を引用する方法を学ぶ(第3章(2)(3))
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第9回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第10回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法等】 レポートなどの文章構成を学ぶ(第4章)
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第11回 【授業テーマ】 【課題2】
【内容・方法等】 資料を引用して意見を述べる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第12回 【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法等】 レポートの書き方を学ぶ(第4章)
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第13回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 課題2を見直す
レポートを作成する
- 第15回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 レポートを返却し、講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法(基準)

課題・レポート(70%)、授業への取り組みなど(30%)により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法〔改訂版〕21世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房

(980円+税)

参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現I

Japanese Expression I

西尾元伸 (ニシオ モトノブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	EFG	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。

大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。

考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
文章の書き方1
【内容・方法等】 授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 文章の書き方2
【内容・方法等】 文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 【授業テーマ】 【課題1】
【内容・方法等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第5回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第6回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題1のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第7回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第8回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第9回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第10回 【授業テーマ】 【課題2】
【内容・方法等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方1
【内容・方法等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方2
【内容・方法等】 課題2のフィードバック
レポート作成の注意点を教える
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第13回 【授業テーマ】 レポートの書き方3
【内容・方法等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2を見直す
- 第14回 【授業テーマ】 小テストの復習

【レポート】

【内容・方法等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する

【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する

- 第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）

課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現I

Japanese Expression I

大石真由香 (オオishi マユカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	HJK	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。

大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。

考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
文章の書き方1
【内容・方法等】 授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 文章の書き方2
【内容・方法等】 文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 【授業テーマ】 【課題1】
【内容・方法等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第5回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第6回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題1のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第7回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第8回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第9回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第10回 【授業テーマ】 【課題2】
【内容・方法等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方1

【内容・方法 等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回 **【授業テーマ】** フィードバック
レポートの書き方2
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
第13回 **【事前・事後学習課題】** 前回の復習
【授業テーマ】 レポートの書き方3
【内容・方法 等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2を見直す
第14回 **【授業テーマ】** 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法 等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 **【授業テーマ】** レポートの講評
【内容・方法 等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法 (基準)
課題・レポート (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現II Japanese Expression II				
船田 淳一 (フナタ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCD	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、スピーチ、文章作成を行う。3回の課題を提出する。

科目学習の効果 (資格)
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
第1・2章
【事前・事後学習課題】 —————

第2回 **【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法 等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方 (第3・4章)
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第3回 **【授業テーマ】** 【課題1】レポートの作成
【内容・方法 等】 資料を引用して、意見を述べる
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第4回 **【授業テーマ】** 敬意を表す言葉
【内容・方法 等】 敬語の種類と用法 (第6章)
【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第5回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 課題1の見直し

第6回 **【授業テーマ】** 手紙
【内容・方法 等】 手紙の書式・用語・マナー (第7章)
【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第7回 **【授業テーマ】** 【課題2】手紙
【内容・方法 等】 手紙の作成
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第8回 **【授業テーマ】** フィードバック

【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し
第9回 **【授業テーマ】** 電子メールの書き方
【内容・方法 等】 電子メールの基本とマナー (第8章)
敬語と手紙の復習
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第10回 **【授業テーマ】** ディスカッション1
【内容・方法 等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ

第11回 **【授業テーマ】** ディスカッション2
【内容・方法 等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第12回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション1
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う (第5章)
【事前・事後学習課題】 発表の準備

第13回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション2
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う (第5章)
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の反省

第14回 **【授業テーマ】** 【課題3】報告文
【内容・方法 等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備

第15回 **【授業テーマ】** 授業の総括
【内容・方法 等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法 (基準)
課題 (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法 [改訂版] 21世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房 (980円+税)
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現II Japanese Expression II				
西尾 元伸 (ニシオ モトノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	EFG	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。3回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果 (資格)
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 —————

第2回 **【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法 等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第3回 **【授業テーマ】** 【課題1】レポートの作成
【内容・方法 等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第4回 **【授業テーマ】** 敬意を表す言葉

- 【内容・方法等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
【授業テーマ】 フィードバック
- 第5回 【内容・方法等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 手紙
【内容・方法等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第7回 【授業テーマ】 【課題2】手紙
【内容・方法等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第9回 【授業テーマ】 電子メールの書き方
【内容・方法等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し
- 第10回 【授業テーマ】 ディスカッション1
【内容・方法等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
- 第11回 【授業テーマ】 ディスカッション2
【内容・方法等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備
- 第12回 【授業テーマ】 プレゼンテーション1
【内容・方法等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第13回 【授業テーマ】 プレゼンテーション2
【内容・方法等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第14回 【授業テーマ】 【課題3】報告文
【内容・方法等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
- 第15回 【授業テーマ】 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
- 評価方法 (基準)
課題 (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。
- 教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。
- 学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。
- 関連科目
キャリアデザイン
- 担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現II Japanese Expression II				
大石 真由香 (オオishi マユカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	HJK	後期	選択	1

- 授業概要・目的・到達目標**
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活に必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。
- 授業方法と留意点**
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。3回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。
- 科目学習の効果 (資格)**
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 【授業テーマ】 【課題1】レポートの作成
【内容・方法等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 【授業テーマ】 敬意を表す言葉
【内容・方法等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第5回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 手紙
【内容・方法等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第7回 【授業テーマ】 【課題2】手紙
【内容・方法等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第9回 【授業テーマ】 電子メールの書き方
【内容・方法等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し
- 第10回 【授業テーマ】 ディスカッション1
【内容・方法等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
- 第11回 【授業テーマ】 ディスカッション2
【内容・方法等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備
- 第12回 【授業テーマ】 プレゼンテーション1
【内容・方法等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第13回 【授業テーマ】 プレゼンテーション2
【内容・方法等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第14回 【授業テーマ】 【課題3】報告文
【内容・方法等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
- 第15回 【授業テーマ】 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
- 評価方法 (基準)
課題 (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。
- 教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。
- 学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。
- 関連科目
キャリアデザイン
- 担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

海外語学研修 Overseas Language Training				
齋 藤 安以子 (サイトウ アイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
この研修は、語学力 (英語力) の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを

目的とする。研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は約35～40万円程度を予定（為替レートにより変動の可能性あり）。*詳細は、3月～4月の募集ガイダンスで周知する。

学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点

研修前に3回の事前ガイダンスを行う（6月～8月）
 研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。2週間、3週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

3月上旬～4月下旬
 募集ガイダンス（日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する）、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。

5月
 申込書の提出
 5月下旬
 派遣学生の決定および履修申請
 6月～8月
 事前ガイダンスを実施（全3回）
 8月上旬
 結団式

研修スケジュール
 [2週間コース]
 8月中旬～8月下旬（予定）
 [3週間コース]
 8月中旬～9月上旬（予定）

9月
 成果報告書の提出
 9月中旬
 成果報告会

評価方法・評価基準

帰国後に提出する成果報告書（20%）および研修先での成績（80%）を基に評価する。

教材等

教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。
参考書…研修先の国、地域の観光局等のホームページ
 ・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

備考

- ①参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡すること。
- ②事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意すること。

心理学I Psychology I				
毛 新 華 (モウ シンカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。

到達目標：以下の項目の理解を目標とする。

- 1) 心理学という学問に対する理解 2) 情報を捉えるメカニズム 3) 自己を探求するための手がかり

授業方法と留意点

講義方式で適宜資料を配布する。心理テストや視聴覚教材、デモンストレーション、実験・調査なども積極的に取り入れる。

科目学習の効果（資格）

取得できる資格は特にない。しかしながら、自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
 【内容・方法 等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
 【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 心理学概論

【内容・方法 等】 心理学の歴史、発展、学派、研究対象、研究方法、研究分野について概説します。

【事前・事後学習課題】 心理学に対するこれまでのイメージと比較しながら、新たに認識した心理学を考えましょう。

第3回

【授業テーマ】 心と脳

【内容・方法 等】 心と脳、脳と行動、脳の特徴・構造、部位の損傷と症状、脳波と自律系反応、睡眠と夢、記憶と脳、発達と脳について解説します。

【事前・事後学習課題】 脳に関する写真・ビデオなどを図書館などで見つけ、授業内容を映像で理解してください。

第4回

【授業テーマ】 知覚のプロセス(1)

【内容・方法 等】 感覚（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚）の種類と特性、感覚の役割・相互作用・基本特性について解説します。

【事前・事後学習課題】 教科書の第2章を事前に予習しましょう。

第5回

【授業テーマ】 知覚のプロセス(2)

【内容・方法 等】 知覚の体系化、知覚の恒常性、距離・奥行き、動きの知覚、知覚から認知へについて解説します。

【事前・事後学習課題】 関連する映像資料を紹介するので、視聴してください。

第6回

【授業テーマ】 学習理論

【内容・方法 等】 学習とは、学習の方法、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、二つの条件付けの違いについて解説します。

【事前・事後学習課題】 例を挙げながら、二つの条件付けの違いについてA4用紙にまとめて提出してください。

第7回

【授業テーマ】 心の構造

【内容・方法 等】 精神分析理論、局所論、構造論、エディプス・コンプレックスについて解説します。

【事前・事後学習課題】 教科書の第8章を事前に予習しましょう。

第8回

【授業テーマ】 パーソナリティ

【内容・方法 等】 精神分析学とパーソナリティ、外見とパーソナリティ、類型論、特性論、血液型とパーソナリティについて解説します。

【事前・事後学習課題】 教科書の第6章を読んで、要約をA4用紙にまとめて、提出してください。

第9回

【授業テーマ】 自己の形成

【内容・方法 等】 自己概念の形成、他者の評価、自己知覚、上方比較、下方比較について解説します。

【事前・事後学習課題】 例を挙げながら、自己概念はどのように作り上げたかを説明するレポートを作成してください。

第10回

【授業テーマ】 自尊感情(1)

【内容・方法 等】 自尊感情とは、自尊感情を脅かすもの（可能自己・理想自己・当為自己・セルフ・ディスクレパンシー）、ソシオメーター理論について解説します。

【事前・事後学習課題】 自尊感情の心理テストを答え、配布する関係資料と照らし合わせ、自分の自尊心を測定します。

第11回

【授業テーマ】 自尊感情(2)

【内容・方法 等】 自尊感情の維持と高揚（利己的帰属・セルフ・ハンディキャッピング・防衛的悲観主義・栄光浴）自尊感情の文化比較（自己高揚・自己卑下）、自尊感情の存在意義について解説します。

【事前・事後学習課題】 紹介する文献を読んで、感想文をまとめて、提出してください。

第12回

【授業テーマ】 自己表現

【内容・方法 等】 自己制御（客体的自覚状態・没個性化状態・公的自己・私的自己）、自己表現（自己開示・自己呈示）・ジョハリの窓について解説します。

【事前・事後学習課題】 第7章の後半部分を事前に予習してください。

第13回

【授業テーマ】 印象形成

【内容・方法 等】 中心特性と周辺特性説、初頭効果と新近効果説、ステレオタイプ、第一印象について解説します。

【事前・事後学習課題】 紹介する関連文献リストから一冊を選び、読んでおきましょう。

第14回

【授業テーマ】 健康と適応

【内容・方法 等】 心の健康と身体の健康、ストレスと健康、心の健康と適応

【事前・事後学習課題】 自分なりに、半期の内容からもっとも関心深いテーマを選び、レポートにまとめてください。

第15回

【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法 等】 授業全体のまとめ

【事前・事後学習課題】 授業後、教科書およびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

評価方法（基準）

小レポート、学期末試験の結果を総合し、到達目標の理解度によって可否を判定する。

教材等

教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』
 北大路書房（¥2,500+税）
 参考書…講義中に適宜紹介する

学生へのメッセージ

心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目

心理学Ⅱもあわせて履修することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階 経営学部事務室

心理学II Psychology II				
毛 新 華 (モウ シンカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。

到達目標：以下の項目の理解を目標とする。

- 1) 集団の中の個々人の行動
- 2) 対人的コミュニケーション
- 3) 文化と心理

授業方法と留意点

講義方式で適宜資料を配布する。心理テストや視聴覚教材、デモンストラーション、実験・調査なども積極的に取り入れる。

科目学習の資格(資格)

取得できる資格は特にない。しかしながら、自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。
- 第2回** 【授業テーマ】 対人的魅力(1)
【内容・方法 等】 外見的要因、美の定義・タイプ、魅力度、性役割、マッチング仮説、ハロー効果について解説します。
【事前・事後学習課題】 授業の前に、教科書第12章を予習してください。
- 第3回** 【授業テーマ】 対人的魅力(2)
【内容・方法 等】 環境要因、単純接触効果、類似性・相補性、生理的覚醒、錯誤帰属について解説します。
【事前・事後学習課題】 日常生活にある対人魅力に関する事柄を留意して観察してください。
- 第4回** 【授業テーマ】 対人的魅力(3)
【内容・方法 等】 ラブタイプ、恋愛行動の進展段階、友情・愛情、別れ、失恋について解説します。
【事前・事後学習課題】 対人的魅力について、関心のあるテーマを選び、レポートを作成し、提出してください。
- 第5回** 【授業テーマ】 援助行動
【内容・方法 等】 傍観者効果効果、モデリング、責任の分散、多数の無知、多数派同調バイアス、援助のプロセス、援助される側の責任について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書のp206-214を事前に予習してください。
- 第6回** 【授業テーマ】 社会的迷惑行為
【内容・方法 等】 迷惑行為の定義・範囲、迷惑行為の増加背景について解説します。
【事前・事後学習課題】 自ら社会的迷惑行為の経験を考え、生活しやすい社会のあり方を考えてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 説得
【内容・方法 等】 広告、バランス理論、逆説得の免役効果、フット・イン・ザ・ドア・テクニック、ドア・イン・ザ・フェイス・テクニック、ロー・ボール・テクニックについて解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書第16章を予習してください。
- 第8回** 【授業テーマ】 同調
【内容・方法 等】 同調の定義、規範的影響、情報的影響、同調の種類、社会的インパクト理論、沈黙の螺旋理論について解説します。
【事前・事後学習課題】 多数派の意見に流されないように、養う必要のあることを考えましょう。
- 第9回** 【授業テーマ】 権威への服従
【内容・方法 等】 服従のプロセス、代理状態、服従と同調の異動について解説します。
【事前・事後学習課題】 ユダヤ人虐殺などの歴史事件を踏まえ、人間の服従の心理について感想文を書きましょう。

- 第10回** 【授業テーマ】 社会的ジレンマ
【内容・方法 等】 囚人のジレンマ、共有地の悲劇、社会的トラップ、社会的フェンス、協力行動について解説します。
【事前・事後学習課題】 環境問題の解決には、社会的ジレンマの知識を用いて、考えてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 社会的アイデンティティ
【内容・方法 等】 個人的アイデンティティ、社会的アイデンティティ、内集団、外集団について解説します。
【事前・事後学習課題】 社会的アイデンティティがもたらしたメリットとデメリットについて、考えましょう。
- 第12回** 【授業テーマ】 社会的促進・抑制
【内容・方法 等】 社会的促進、社会的抑制、社会的手抜きについて解説します。
【事前・事後学習課題】 他者の存在は自分に対する影響を考えてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 攻撃
【内容・方法 等】 対人葛藤、攻撃、攻撃の過程モデル、攻撃の影響要因、タイプA、攻撃の抑制方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 事前に第17章を予習してください。
- 第14回** 【授業テーマ】 心と文化
【内容・方法 等】 日本人らしさ、集団主義・個人主義、文化の変容について解説します。
【事前・事後学習課題】 事前に第17章を予習してください。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業後、教科書およびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください

評価方法(基準)

小レポート、学期末試験などの結果を総合し、到達目標の理解度によって可否を判定する。

教材等

教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』
北大路書房 (¥2,500+税)
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目

心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階 経営学部事務室

哲学I Philosophy I				
島 田 喜 行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。その際、私たちの社会のルールや規範はいかなる仕方決定するのがよいのか、という問いを軸にしてこの問いと格闘した代表的な哲学者の思想を取り上げる。

- 到達目標：
- (1) 社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
 - (2) 合意説や契約説についての代表的な理論を学ぶことを通じて、哲学的な視点からこの社会の一員として主体的に生きていくことの意味を考えられるようになる。

授業方法と留意点

ノート講義方式
講義のなかで取り上げる哲学者とその思想についての一般的な知識を問う小テストを数回実施する。受講者は講義の初回に提示する小テストの問題について事前に予習しておく必要がある。

科目学習の効果(資格)

人間と社会の関わりについての哲学的な見方を学ぶことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第2回** 【授業テーマ】 ソクラテス・プラトンの哲学
【内容・方法 等】 哲学とは何か、哲学と倫理学とは別物か
【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスとプラトンがどのような哲学者か調べる。
- 第3回** 【授業テーマ】 ホッブズの哲学

【内容・方法等】 合意説／国家の役割について
 【事前・事後学習課題】 予習 ホッブズがどのような哲学者か調べる。

第4回 【授業テーマ】 ロックの哲学
 【内容・方法等】 自然状態／自然法／所有権について
 【事前・事後学習課題】 予習 ロックがどのような哲学者か調べる。

第5回 【授業テーマ】 ルソーの哲学
 【内容・方法等】 自然人／社会契約説について
 【事前・事後学習課題】 予習 ルソーがどのような哲学者か調べる。

第6回 【授業テーマ】 カントの哲学 (1)
 【内容・方法等】 義務論的／形式主義的／人格について
 【事前・事後学習課題】 予習 カントがどのような哲学者か調べる。

第7回 【授業テーマ】 カントの哲学 (2)
 【内容・方法等】 自律とは何か (1)
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第8回 【授業テーマ】 フッサールの哲学
 【内容・方法等】 自律とは何か (2)
 【事前・事後学習課題】 予習 フッサールがどのような哲学者か調べる。

第9回 【授業テーマ】 アーベルの哲学
 【内容・方法等】 討議倫理学の思想 (1)
 【事前・事後学習課題】 予習 アーベルがどのような哲学者か調べる。

第10回 【授業テーマ】 ハーバーマスの哲学
 【内容・方法等】 討議倫理学の思想 (2)
 【事前・事後学習課題】 予習 ハーバーマスがどのような哲学者か調べる。

第11回 【授業テーマ】 ベンサム
 【内容・方法等】 功利的快楽計算の思想 (1)
 【事前・事後学習課題】 予習 ベンサムがどのような哲学者か調べる。

第12回 【授業テーマ】 J. S. ミルの哲学
 【内容・方法等】 功利的快楽計算の思想 (2)
 【事前・事後学習課題】 予習 J. S. ミルがどのような哲学者か調べる。

第13回 【授業テーマ】 功利主義批判
 【内容・方法等】 功利主義の問題点とその克服の可能性
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第14回 【授業テーマ】 ロールズの哲学
 【内容・方法等】 無知のヴェール／重なり合う合意について
 【事前・事後学習課題】 予習 ロールズがどのような哲学者か調べる。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 講義のふりかえり
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法 (基準)
 定期試験60%、平常点 (小テスト、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等
 教科書…なし
 参考書…講義のなかで適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 わたしたちの社会のきまりやルールがどのような考え方に基いて作り出されてきたのかを知ることから、これからの社会の在り方について考えるヒントを見つけてください。
 私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
 哲学 I I
 担当者の研究室等
 非常勤講師控室

哲学II Philosophy II				
島田 喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義では、人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。その際、日常生活においてもっとも自明なものとみなされている〈わたし〉について改めて問い直すことを議論の手引きにして、〈わたし〉の不可解さと格闘した代表的な哲学者の思想を取り上げる。
 到達目標
 (1) 社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎

的知識が習得できる。
 (2) 自己を知ることの難しさと自己と真摯に向き合うことの意義について考えられるようになる。

授業方法と留意点
 ノート講義方式
 講義のなかで取り上げた哲学者とその思想についての知識の理解を問う小テストを数回実施する。

科目学習の効果 (資格)
 自明だと思われていることのなかにこそ解決困難な問題が潜んでいることを知り、自ら深く考えるという姿勢を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法等】 講義の説明
 【事前・事後学習課題】 特になし

第2回 【授業テーマ】 〈わたし〉をめぐって
 【内容・方法等】 わたしにとって〈わたし〉が問題になる時?
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第3回 【授業テーマ】 古代哲学における〈わたし〉 (1)
 【内容・方法等】 ブッダから〈あなた〉への問い
 「己こそ己のよるべ」
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第4回 【授業テーマ】 古代哲学における〈わたし〉 (2)
 【内容・方法等】 ソクラテスからの問い
 「汝、自らを知れ」
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第5回 【授業テーマ】 古代哲学における〈わたし〉 (3)
 【内容・方法等】 ストア派からの問い
 「ストイック」な生き方
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第6回 【授業テーマ】 〈わたし〉はわたしにとって自明なものか (1)
 【内容・方法等】 フランシス・ベーコンからの問い
 常識と先入見
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第7回 【授業テーマ】 〈わたし〉はわたしにとって自明なものか (2)
 【内容・方法等】 デカルトからの問い
 もっとも確実なものを求めて
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第8回 【授業テーマ】 〈わたし〉はわたしにとって自明なものか (3)
 【内容・方法等】 英国経験論からの問い
 わたしは幻想にすぎないのか
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第9回 【授業テーマ】 わたしは〈わたし〉を知ることができるのか (1)
 【内容・方法等】 モンテーニュからの問い
 わたしへの思索を深めるということ
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第10回 【授業テーマ】 わたしは〈わたし〉を知ることができるのか (2)
 【内容・方法等】 パスカールからの問い
 考える葦であるという自覚
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第11回 【授業テーマ】 わたしは〈わたし〉を知ることができるのか (3)
 【内容・方法等】 ラ・ロシュフコーからの問い
 理性と感情のはざま
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第12回 【授業テーマ】 この世界で生きている〈わたし〉 (1)
 【内容・方法等】 カントからの問い
 人格として、自律という生き方
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第13回 【授業テーマ】 この世界で生きている〈わたし〉 (2)
 【内容・方法等】 フッサールからの問い
 世界を意味づけるといふ生き方
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第14回 【授業テーマ】 この世界で生きている〈わたし〉 (3)
 【内容・方法等】 サルトルからの問い
 実存という生き方
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 講義のふりかえり
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法 (基準)
 定期試験60%、平常点 (小テスト、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等
 教科書…なし
 参考書…今道友信『西洋哲学史』講談社学術文庫、1987年。
 和田渡『自己の探求――自己とつきあうということ――』ナカニシヤ出版、2005年。その他は、講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
 流行の「自分探し」ではなく、哲学的な「自己探求」という迷

宮に足を踏み入れてみましょう。
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目

哲学 I

担当者の研究室等

非常勤講師控室

スポーツ科学実習 I Practice of Sports Science I				
近藤 潤 (コンドウ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習 I はスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～テニスコース～

テニスとはもともと手のひらでボールを打ち合うという人間の本能にも根ざした遊びの中から発展してきたスポーツであり、長い歴史と伝統を持っている。見る楽しみもさることながら、どちらかといえば自分で実践するスポーツであり、老若男女を問わず幅広く楽しめるものである。

本授業では、テニスの基本的な技術はもちろんのこと、テニスを通じて人間関係を築く事を目的とする。また、テニスをする事によって生涯を通じて楽しめるスポーツへと発展させる。

授業方法と留意点

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習 I と II で同じ種目を履修することはできません。

科目学習の効果 (資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 各履修コースを決定
【事前・事後学習課題】 選択種目の確認
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法等】 屋外種目
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法等】 屋内種目
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 基本技術 (ストローク)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 基本技術 (ストローク・サーブ)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 基本技術 (ストローク・サーブ・ボレー)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 基本技術 (ストローク・サーブ・ボレー)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム・形式練習)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム・形式練習)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 ゲーム (グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 ゲーム (グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 ゲーム (グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 テニス
【内容・方法等】 ゲーム (グルーピング・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 テニス

【内容・方法等】 ゲーム (グルーピング・成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

【授業テーマ】 テニス

【内容・方法等】 ゲーム (グルーピング・成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法 (基準)

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館 1F スポーツ振興センター事務室にきてください。
実施場所は、テニスコートで行う。服装はスポーツウェア及びテニスシューズを準備すること。(ラケットは授業で用意しますが、自分で持っている学生は自分のラケットのほうが良いでしょう)

関連科目

生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

体育館 1F 近藤研究室

スポーツ科学実習 I Practice of Sports Science I				
西村 和恵 (ニシムラ カズエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習 I はスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習 I では、第 1 回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習 I と II で同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果 (資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 各履修の注意と説明
各コース分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法等】 50m走、立ち幅跳、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 対人パス、1対1、2対1、6人円陣パス、基本技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、

- 簡易試合
- 第8回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
- 第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第15回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)

評価方法 (基準)
単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館1F 体育館事務室

- 第2回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
- 第3回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
- 第4回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第5回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第6回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第7回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第8回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基本技術練習・ゲーム
- 第9回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基本技術練習・ゲーム
- 第10回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基本技術練習・ゲーム
- 第11回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第12回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第13回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第14回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第15回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦

評価方法 (基準)
単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館1F 横山助教室

スポーツ科学実習I Practice of Sports Science I				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅰでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果 (資格)
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 履修上の注意やコース種目分け

スポーツ科学実習I Practice of Sports Science I				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せ

るように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習Ⅰでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法 等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法 等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第4回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第5回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第6回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第7回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第8回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術練習・ゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第9回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術練習・ゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第10回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術練習・ゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第11回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第12回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第13回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第14回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第15回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 リーグ戦
【事前・事後学習課題】 観察記録

評価方法（基準）

単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F横山助教室にきてください。実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1F 横山助教室

スポーツ科学実習Ⅱ

Practice of Sports Science II

近 藤 潤（コンドウ ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツを楽しむことを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

授業方法と留意点

1回目のガイダンスで種目選択をします。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 履修上の注意 コース種目分け
【事前・事後学習課題】 選択種目の確認
- 第2回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術（キャッチボール、トスパッティング）ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基本技術（キャッチボール、トスパッティング）ゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術（パス・キック・ランニング等）ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術（トラップ・シュート等）ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 ミニゲーム・オールコート
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。実施場所は、グラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

生涯スポーツ実習・保健論

担当者の研究室等
体育館1F 近藤研究室

スポーツ科学実習II Practice of Sports Science II				
西村和恵(ニシムラ カズエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習IIはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合っけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】
スポーツ科学実習IIでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 各履修の注意と説明
各コース分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 基本技術練習、ルール説明
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第3回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 基本技術練習、簡易試合(シングルス)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第4回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス、ルール説明
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第10回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第11回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第12回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第13回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第14回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バドミントン

【内容・方法等】 シングルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
評価方法(基準)
単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習I、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1F 体育館事務室

スポーツ科学実習II Practice of Sports Science II				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習IIはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合っけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】
スポーツ科学実習IIでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第2回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習 (パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第3回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習 (パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第4回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習 (パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第5回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習 (パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第6回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第7回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第8回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第9回 【授業テーマ】 サッカー

教養科目

- 【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第10回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第11回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第12回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第13回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第14回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第15回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録

評価方法（基準）

単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1F 横山助教室

- 第4回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第5回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第6回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第7回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第8回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第9回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第10回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第11回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第12回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第13回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第14回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第15回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録

評価方法（基準）

単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1F 横山助教室

スポーツ科学実習Ⅱ Practice of Sports Science II				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅱでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらったことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第2回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第3回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
河瀬 泰治(カワセ ヤスハル) 近藤 潤(コンドウ ジュン) 藤林 真美(フジバヤシ マミ) 内 部 昭彦(ウチベ アキヒコ) 横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】
授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動していただくことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス(履修上の注意事項の説明)
コース種目分け

【事前・事後学習課題】 ルールの理解

第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第16回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第17回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第18回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第19回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第20回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第21回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第22回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第23回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第24回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第25回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第26回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第27回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第28回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第29回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第30回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第31回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第32回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第33回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第34回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第35回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第36回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第37回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)
近藤 潤 (コンドウ ジュン)
藤林 真美 (フジバヤシ マミ)
横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)
内 部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動していただくことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス(履修上の注意事項の説明)
コース種目分け

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第16回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第17回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第18回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第19回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第20回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第21回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第22回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第23回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

【内容・方法 等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法 (基準)

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F 体育館事務室

備考

【準備物】

トレーニングウェア、スポーツシューズ (コースに適したもの)

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
		近藤 潤 (コンドウ ジュン)		
		菅生 貴之 (スゴウ タカユキ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

運動技術の向上

競技ルールの理解

学生相互のコミュニケーション能力の向上

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業4日間合わせて5日間で行う。

後期の生涯スポーツ実習が履修できること。

5日間すべて受講できること。

事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ 学習内容 場所

1回目 : 事前ガイダンス 目的、日程、準備する物、ゴルフについて 総合体育館

2回目 AM: ゴルフの基礎知識 ゴルフのルール・マナーについて 総合体育館

PM: 基礎技術 グリップ・スウィング・バター 多目的グラウンドおよび第1グラウンド

3回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場

PM: 基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド

4回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場

PM: 基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド

5回目 PM: 応用編 ラウンド (9H) 京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし

参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス (半ズボンの場合はハイソックス着用)、運動靴 (スパイク類は禁止)

保健論 Theory of Health				
		藤林 真美 (フジバヤシ マミ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会は便利さと引き換えに人々の身体活動量が著しく減少し、その結果、子どもから高齢者まで年齢階層を問わず生活習慣病に罹患する人口が激増している。この予防・改善には、「運動」「食事」「休養」のバランスが取れた生活を送ることが望ましい。

本講義では、健康について幅広い知識を習得することを目的とする。

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果 (資格)

健康な大学生を送り、さらに生涯にわたって健康を維持するための正しい知識や習慣を得る事ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 はじめに～健康とは～
【内容・方法 等】 健康の定義。厚生労働省の「健康日本21」の概要を解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第2回 【授業テーマ】 「運動」「栄養」「休養」
【内容・方法 等】 「運動」「栄養」「休養」について概説し、それらと生活習慣病との関連性について説明する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第3回 【授業テーマ】 五大栄養素
【内容・方法 等】 五大栄養素とその役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント

第4回 【授業テーマ】 身体を動かす仕組み～筋・骨格系～
【内容・方法 等】 筋・骨格系の解剖学的、形態学的特性と神経系の役割について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第5回 【授業テーマ】 身体を動かすしくみ～呼吸器系～
【内容・方法 等】 呼吸器の構造と機能について解説する。運動時の呼吸応答、酸素摂取量の変動、さらに運動トレーニングによる最大酸素摂取量の増大について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第6回 【授業テーマ】 身体を動かすしくみ～循環器系～
【内容・方法 等】 循環器の構造と機能、血液成分について解説する。運動時の心拍数、心拍出量の変動、さらに運動トレーニングによる循環器系の形態・機能の向上について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第7回 【授業テーマ】 生活習慣病予防としての運動の役割
【内容・方法 等】 エネルギー供給系について説明し、運動トレーニングによるエネルギー代謝の変化を解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第8回 【授業テーマ】 発育・発達
【内容・方法 等】 幼少期から青年期にいたる身体の形態発育・機能発達と、それらに運動トレーニングが及ぼす効果について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第9回 【授業テーマ】 老化
【内容・方法 等】 身体の形態・機能の老化について解説する。また中・高齢者における運動トレーニングの効果について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第10回 【授業テーマ】 様々な環境下における生理学的しくみ
【内容・方法 等】 暑熱下・寒冷下における体温調節のしくみを解説する。さらに暑熱環境下における水分補給について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第11回 【授業テーマ】 運動障害と予防、応急処置
【内容・方法 等】 スポーツ障害、過換気症候群、RICE処置、心肺蘇生法について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第12回 【授業テーマ】 健康づくりのための運動処方
【内容・方法 等】 有酸素・無酸素運動、レジスタンストレーニングについて、健康づくりの観点から解説する。また年代・性差による違いについても説明する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第13回 【授業テーマ】 ストレス・疲労への対策
【内容・方法 等】 ストレス要因の軽減・ストレスへの早期対応としてのスポーツの関わりを解説する。また疲労が起こるしくみとその対策について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第14回 【授業テーマ】 アルコール、タバコ、薬物、性感染症
【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体へ及ぼす影響について解説する。またHIVなど性感染症についても概説する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 皆さんのQOL (Quality of life: 生活の質) 向上の観点から、「運動」「食事」「休養」の有用性について総括する。

【事前・事後学習課題】 配布プリント

評価方法 (基準)

主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等

教科書…特になし

参考書…特になし

学生へのメッセージ

皆さんが将来知的職業人として社会で活躍するためには、まず「健康」が基盤です。自分の身体・健康に興味を持って、より

充実した大学生活を過ごしてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習、健康科学

担当者の研究室等

総合体育館1階 藤林研究室

くらしと経済 Life and Economy				
岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現在、日本を含む世界経済はダイナミックな変化の過程にある。先進国の経済成長率が鈍化する一方、新興国は世界経済の動力源として機能しつつある。ここで重要なのは、これらの現象は私たちのくらしと決して無縁ではなく、それら現象を理解し対処しなければならない、ということである。本講義の目標は、初歩的な経済の捉え方や考え方について学び、経済問題を考えるための初歩的なスキルを身につけることである。

授業方法と留意点

本講義では諸君の積極的な発言を歓迎する。ただし、講義に関係のない私語には極めて厳しく対処し、退席させることがある。また高校と異なり、大学の講義では板書よりも口頭説明が多く、自分なりのノートの取り方を考えること。

科目学習の効果（資格）

日々の新聞やニュースで接する経済・経営情報をより深く理解することや、経済・経営関連の資格取得・公務員試験などに役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法 等】 経済現象と日々のくらしとの結びつきについて概説し、「くらしと経済」で何を考え学ぶのかを解説する。新聞の読み方についても解説する。
【事前・事後学習課題】 復習すること
- 第2回 **【授業テーマ】** 分業の利益
【内容・方法 等】 分業、比較優位、機会費用について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第1章を予習復習のこと
- 第3回 **【授業テーマ】** 需要と供給
【内容・方法 等】 需要曲線、供給曲線について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第2章を予習復習のこと
- 第4回 **【授業テーマ】** 価格メカニズム
【内容・方法 等】 市場取引や価格決定のメカニズムについて解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第3章を予習復習のこと
- 第5回 **【授業テーマ】** 市場の効率性
【内容・方法 等】 望ましい経済の基準として効率性について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第4章を予習復習のこと
- 第6回 **【授業テーマ】** 市場の失敗
【内容・方法 等】 市場は万能ではない。市場の失敗について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第5章を予習復習のこと
- 第7回 **【授業テーマ】** 市場の限界
【内容・方法 等】 市場の失敗の原因の一つである情報の非対称性や市場の限界について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第6章を予習復習のこと
- 第8回 **【授業テーマ】** 中間試験
【内容・方法 等】 前回までの内容について試験を行う。
【事前・事後学習課題】 復習を行っておくこと
- 第9回 **【授業テーマ】** 労働市場
【内容・方法 等】 学生にとって最も身に染みて感じるであろう労働市場について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第7章を予習復習のこと
- 第10回 **【授業テーマ】** GDPについて
【内容・方法 等】 国の豊かさを測るGDPについて解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第8、9章を予習復習のこと
- 第11回 **【授業テーマ】** 消費需要と投資需要
【内容・方法 等】 GDP構成要素の消費と投資について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第10章を予習復習のこと
- 第12回 **【授業テーマ】** 貨幣と金融
【内容・方法 等】 経済取引に欠かせない貨幣と経済取引の大半を占める金融について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第11章を予習復習のこと
- 第13回 **【授業テーマ】** 政府の役割
【内容・方法 等】 市場は万能ではなく、政府の存在意義の一つもそこにある。政府の経済的な役割について解説する。

- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 教科書第12章を予習復習のこと
【授業テーマ】 外国貿易と為替レート
【内容・方法 等】 資源小国かつ技術立国日本は海外諸国との貿易で生計を立てている。日本の貿易の状況や為替レートの決定について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第13章を予習復習のこと
- 第15回 **【授業テーマ】** 経済成長と国民生活
【内容・方法 等】 経済の成長は豊かさの維持と密接に関わる。経済成長率の表し方やその分析方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第14章を予習復習のこと

評価方法（基準）
中間試験＋期末試験＋発言点をもとに評価する。中間・期末双方の試験を受験しなければ評価の対象とならない。私語は減点の対象となる。

教材等
教科書…中谷武・中村保編著『1からの経済学』碩学舎、2520円 ISBN978-4-502-68080-9
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
単位取得のためではなく、自身の能力向上のために受講するんだ、という姿勢であって欲しい。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進したい。

関連科目
以降の経済・経営関連科目の基礎となる科目

担当者の研究室等
11号館8階(岩坪教授室)

社会学I Sociology I				
谷 口 裕 久 (タニグチ ヤスヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

人は文化のなかに生き、そこで社会を形成して生きている。人は単独では生きてはゆけず、常に周囲に依存し影響を受けながら生きてゆく存在である。この学期では、社会学の重厚な論題の中から、身近な課題と結びつけることによって、わかりやすい授業の展開を志したい。授業の具体的な内容は授業計画を参照いただきたいが、社会における比較的身近な周辺諸現象を各回のトピックとして取り上げ、解説を進めてゆく。授業は1回から3回程度で完結するオムニバス形式で行う。これらの諸課題の学習(受講とその後の復習など)を通じて、受講者自身に諸項目の社会的な意味づけを理解させながら、社会全体への豊かな視点も養成できればと考えている。

授業方法と留意点

講義形式が中心。授業内容に即した映像を副次的に教材として利用することがある。積極的にノートをまとめることが肝要。関連科目に社会学IIを挙げておくと、講義内容はそれとは連動しないので、IIの通年に渡る受講は必須ではない。

科目学習の効果（資格）

文化や社会をめぐり、その枠組や考え方に関して検討をすすめる、より具体的な認識をもって社会のなかに具体的な像を描くことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 授業の進め方・コモنزの悲劇
【内容・方法 等】 授業の進め方を説明し、社会内個人としてコモنزの悲劇についての認識を共有する。
【事前・事後学習課題】 コモنزをめぐる問題について復習し、理解すること。
- 第2回 **【授業テーマ】** 社会と文化
【内容・方法 等】 社会や文化の定義・意味について考える。
【事前・事後学習課題】 社会や文化の定義や意味について復習し、理解すること。
- 第3回 **【授業テーマ】** 「野生児」の事例から考える
【内容・方法 等】 インドにおける「野生児」の事例から、文化的な位相や文化の恣意性について考える。
【事前・事後学習課題】 「野生児」の事例から、文化の意味について検討できること。
- 第4回 **【授業テーマ】** 親とは誰か？ 家族とは何か？
【内容・方法 等】 親や家族の定義について具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 親や家族の定義について呈示できること。
- 第5回 **【授業テーマ】** 家族の定義と区分(1)
【内容・方法 等】 家族論の展開について検討する。
【事前・事後学習課題】 家族論の現状について復習し、理解す

教 養 科 目

- ること。
- 第6回** 【授業テーマ】 家族の定義と区分(2)
【内容・方法等】 ライフスタイルとしての家族のありさまについて検討する。
【事前・事後学習課題】 家族の多様性について復習し、理解すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 住まいと家族
【内容・方法等】 家族と居住のありさまについて考える。
【事前・事後学習課題】 婚後の居住形態や居住の場としての住まいについて復習し、理解すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 家族とメディア
【内容・方法等】 家族が登場したメディアのありさまについて検討する。
【事前・事後学習課題】 家族とメディアの関係について復習し、理解すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 マスコミ(マスコミュニケーション)とは何か?
【内容・方法等】 マスコミュニケーションが惹起した諸問題について社会的に検討する。
【事前・事後学習課題】 マスコミに関する諸問題について復習し、理解すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 ドキュメンタリーは真実を描いているか?
【内容・方法等】 ドキュメンタリー映像は果たして真実を表現しているのか、そのありさまについて具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 メディアが制作するドキュメンタリー映像の諸相について復習し、理解すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 情報化社会とは何か?
【内容・方法等】 情報化社会の現状について検討する。
【事前・事後学習課題】 情報化社会のありさまやその問題点について復習し、理解すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 偏見と差別(1)
【内容・方法等】 偏見や差別が生成するしくみについて検討する。
【事前・事後学習課題】 偏見や差別の定義や意味について復習し理解すること
- 第13回** 【授業テーマ】 偏見と差別(2)
【内容・方法等】 病者をめぐる偏見や差別の現状について検討する。
【事前・事後学習課題】 病者の偏見や差別の具体例について復習し、理解すること
- 第14回** 【授業テーマ】 「男らしさ」や「女らしさ」とは何か?
【内容・方法等】 ジェンダーをめぐる諸問題について検討する。
【事前・事後学習課題】 ジェンダーをめぐる諸問題について復習し、理解すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは何か?
【内容・方法等】 DV(ドメスティック・バイオレンス)の諸相について考える。
【事前・事後学習課題】 DV(ドメスティック・バイオレンス)のありさまについて復習し、理解すること。

評価方法(基準)

定期試験によるが、それ以外に関連映像を映写した際に意見や感想を求め、点数化して得点に算入することがある。

教材等

教科書…とくに指定しない。
参考書…必要な場合、授業時間中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。パワーポイントのスライドを授業時に使用するため、積極的にノートをまとめること。毎年講義内容が変わることから、昨年度以前のノートは通用しない。試験の点数上の差は、筆記したノートの差によると考えてよい。

関連科目

社会学II

担当者の研究室等

11号館6階 経営学部事務局

社会学II Sociology II				
谷口裕久(タニグチ ヤスヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「社会学」も「経営学」と同様に社会科学の一分野として存在する。この授業では、社会学Iの内容を発展させて、社会や文化に対する認識を深めるほか、地球次元の情報論や環境問題、さらには国際援助活動などの課題を検討する。授業は1から2回程度完結のオムニバス形式で、具体的には授

業テーマにしたがいながら、各事例に即して解説を加えてゆく。比較的広いテーマから論的テーマまでを題材にして、応用社会学的な展開をすることを目指す。これらの諸課題の学習を通じて、私たちを取り巻く社会へのより豊かな視点を養いたい。

授業方法と留意点

講義形式が中心。場合によっては授業内容に即した映像を副次的に教材として利用する。積極的にノートをまとめることが肝要。

科目学習の効果(資格)

経営学と協同すべき社会や社会学をめぐり、その枠組や考え方に関して検討をすすめるが、そのことによって、より具体的な認識に近づくことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 他者や社会とは何か?
【内容・方法等】 他者認識や社会に対する認識を深める。
【事前・事後学習課題】 他者に対する認識や態度、社会とは何かという課題について復習し、理解すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 異質性と差別
【内容・方法等】 異質性に基づいて発生する差別の事例について具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 異質性の差異と差別の具体的事例について復習し、理解すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 グローバリゼーションとは何か?
【内容・方法等】 グローバリゼーションのありさまについて具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 グローバルに展開する事象とは何かについて復習し、理解すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 「伝統」とは何か?
【内容・方法等】 「伝統(的)」の意味や内容について具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 「伝統(的)」と考えられている事象について復習し、理解すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 「伝統文化」への批判を考える。
【内容・方法等】 「伝統(的)」と考えられている文化に対する批判論を検討する。
【事前・事後学習課題】 異文化からの異なった視点と、その主張について復習し、理解すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 IT化と社会
【内容・方法等】 IT化は社会に何をもたらしたのかについて、具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 IT化の進展と社会のありさまについて復習し、理解すること
- 第7回** 【授業テーマ】 情報の非対称性
【内容・方法等】 もたらされる情報によって行動に一定の変化が生まれる点について、具体的に検討する。
【事前・事後学習課題】 情報の非対称性について理解し、呈示できること。
- 第8回** 【授業テーマ】 地球環境問題考(1)
【内容・方法等】 地球環境問題の現状について検討する。
【事前・事後学習課題】 地球環境問題の現状について、一定の意見が呈示できること。
- 第9回** 【授業テーマ】 地球環境問題考(2)
【内容・方法等】 地球温暖化をめぐる緒論について検討する。
【事前・事後学習課題】 地球温暖化について復習し、理解すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 地球環境問題考(3)
【内容・方法等】 地球環境問題考と公害の差異などについて具体例から検討する。
【事前・事後学習課題】 地球環境問題と公害の差異について呈示できること。
- 第11回** 【授業テーマ】 経済援助と国際交流
【内容・方法等】 経済援助論から国際交流論への展開について検討する。
【事前・事後学習課題】 経済援助と国際交流の方法論について復習し、理解すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 援助を必要とする人々
【内容・方法等】 援助を必要とする人々とはどのような存在であるのか認識を深める。
【事前・事後学習課題】 地球規模での援助論について復習し、理解すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 国際援助活動のあり方を考える。
【内容・方法等】 国際援助活動のあり方について、視点を交えながら検討する。
【事前・事後学習課題】 国際援助活動の諸相について復習し、理解すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 失敗の事例から学ぶ(1)
【内容・方法等】 失敗を犯す人間とそれを受け止める社会の動態について検討する。
【事前・事後学習課題】 失敗の事例研究から、新たに学び取ったことを抽出することができる。
- 第15回** 【授業テーマ】 失敗の事例から学ぶ(2)
【内容・方法等】 失敗の事例研究から、それが技術的にカバーできる問題かどうかについて検討する。

【事前・事後学習課題】 失敗論と技術論の相克について復習し、理解する。

評価方法 (基準)

定期試験により達成度を評価するが、関連映像を映写した際には、提出された意見や感想を点数化して、評価点に加える。

教材等

教科書…特に指定しない。
参考書…授業時間中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。パワーポイントのスライドを授業時に使用するため、積極的にノートをまとめること。毎年講義内容が変わることから、昨年度以前のノートは通用しない。試験の点数上の差は、筆記したノートの差によると考えてよい。

関連科目

社会学I

担当者の研究室等

11号館6階 経営学部事務室

歴史学I HistoryI				
佐伯智広 (サエキ トモヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自国の文化や海外の文化を理解するためには、まず私達たち自身の歴史を知り、文化の起り・移り変わり・成り立ち・特色について考えることが欠かせません。この講義では、そのための歴史の基礎知識を学んでいきます。対象は古代から現代までの全時代です。

授業方法と留意点

板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果 (資格)

日本文化の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション 歴史と文化の接点
【内容・方法 等】 歴史と文化との関わり全般について概観します。
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回** 【授業テーマ】 飛鳥時代 一仏教伝来—
【内容・方法 等】 飛鳥時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「聖徳太子」という人物について辞書的な経歴を調べる。
- 第3回** 【授業テーマ】 奈良時代 一仏教興隆—
【内容・方法 等】 奈良時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎮護国家」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第4回** 【授業テーマ】 平安時代前期 一仏教再編—
【内容・方法 等】 平安時代前期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「密教」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第5回** 【授業テーマ】 平安時代中期 一消化と吸収—
【内容・方法 等】 平安時代中期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「念仏」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第6回** 【授業テーマ】 平安時代後期・鎌倉時代前期 一地方への拡大—
【内容・方法 等】 平安時代後期・鎌倉時代前期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「武士」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第7回** 【授業テーマ】 鎌倉時代後期 一異端の力—
【内容・方法 等】 鎌倉時代後期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎌倉新仏教」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第8回** 【授業テーマ】 南北朝時代・室町時代 一京都への回帰—
【内容・方法 等】 南北朝時代・室町時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「南北朝」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第9回** 【授業テーマ】 戦国時代・安土桃山時代 一力と平和—
【内容・方法 等】 戦国時代・安土桃山時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「小京都」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第10回** 【授業テーマ】 江戸時代前期・中期 一天下泰平—

【内容・方法 等】 江戸時代前期・中期の文化について学びます。

- 第11回** 【授業テーマ】 江戸時代後期・末期 一世界的激動の中で—
【内容・方法 等】 江戸時代後期・末期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎖国」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第12回** 【授業テーマ】 明治時代 一西洋文明との出会い—
【内容・方法 等】 明治時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第13回** 【授業テーマ】 大正時代・戦前 一植民地時代の光と影—
【内容・方法 等】 大正時代・戦前の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「モダニズム」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第14回** 【授業テーマ】 戦後 一高度経済成長と現代—
【内容・方法 等】 戦後の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「高度経済成長」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第15回** 【授業テーマ】 冠婚葬祭にまつわるエトセトラ
【内容・方法 等】 冠婚葬祭にまつわる文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「冠婚葬祭」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法 (基準)

予習シート30%、定期試験70%

教材等

教科書…ありません。
参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきょうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！
また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目

ありません。

担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

歴史学II HistoryII				
村上 司 樹 (ムラカミ モトキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「都市」と聞いて私たちが思い浮かべるのは、経済・産業の中心であり、自由な活動の場といったイメージではなからうか。経済と自由、この2つの特徴の歴史的ルーツをたどっていけば、ヨーロッパ中世都市に行き着く。高校世界史において、商業の復活がヨーロッパ中世都市を生み出し、市民の自治がこれを発展させたこと教わった人も少なくないだろう。古代や中国の例なども広く視野に入れることで、一種、常識となっているこのような通説を疑い、考えなおす。そのようにして、都市を窓口にして歴史を展望する。以上が本講義の目的である。支配と消費の中心ではなく、周辺の自然環境や地域社会と共存できる都市のあり方など、現代的な問題を解決するためのヒントも探りたい。

授業方法と留意点

毎回プリントを配布し、図像史料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのための2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

科目学習の効果 (資格)

商業や市民に限られない、中世都市の多様なあり方とダイナミズムを中心として、経営を学ぶための基礎体力となる幅広い教養と具体的思考の習慣を身に付ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業のルール・方針・全体計画
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第2回** 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市I

- 第3回 【内容・方法等】 中国都市 一停滞というウソ
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I I
- 第4回 【内容・方法等】 中国都市 一停滞というウソ (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I I I
- 第5回 【内容・方法等】 イスラーム都市 一不合理というウソ
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I V
- 第6回 【内容・方法等】 イスラーム都市 一不合理というウソ (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 V
- 第7回 【事前・事後学習課題】 小レポート
【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I
【内容・方法等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一経済より政治
- 第8回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I I
【内容・方法等】 都市古代ギリシャ・ローマ都市 一経済より政治 (続)
- 第9回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I I I
【内容・方法等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一経済より政治 (続々)
- 第10回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I V
【内容・方法等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一ライフスタイルを支える施設
- 第11回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I V
【内容・方法等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一ライフスタイルを支える施設 (続)
- 第12回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I
【内容・方法等】 はじめに教会があった
- 第13回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I I
【内容・方法等】 はじめに教会があった (続)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I I I
【内容・方法等】 自由と経済
- 第15回 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I V
【内容・方法等】 自由と経済 (続)
【事前・事後学習課題】 試験の準備

評価方法 (基準)

暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験 (40%)、②小レポート (30%)、③レスポンスペーパー (30%) の3つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書いているかどうか」である。

教材等

教科書…参考資料を適宜配布する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やることが多い」とネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

備考

【教職科目】 教科に関する科目 (中学校 社会)
【施行規則に定める科目区分】 日本史及び外国史
【履修区分】 必修

法学入門 Jurisprudence				
小島俊朗 (コジマ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

法は私たちの日常生活と密接な関係にあり、私たちが普段あまり意識しないで行動していても、その行為の裏には法律関係若しくは法律的問題のあるものが沢山あります。法を学ぶことは世の中を知ることにもつながります。この講義では、現実の社会と法の世界がどのように関係しあっているかということについて理解してもらいたいと思います。法についての基本的な知識と考え方を身につけ、世の中の動きに関心を持ってもらえたらと思います。

授業方法と留意点

講義方式をとります。決まった教科書は使用しませんが、レジュメと参考資料を配付しますので参考にしてください。

科目学習の効果 (資格)

公務員試験や教員免許の取得等に参考になるとと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 法とは何か
【内容・方法等】 法規範と道徳の違い、法源とは何かなど
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第2回 【授業テーマ】 法の解釈
【内容・方法等】 法令解釈の基本
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第3回 【授業テーマ】 国家と法
【内容・方法等】 国家と憲法、国民主権、三権分立
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第4回 【授業テーマ】 平和と法
【内容・方法等】 平和主義
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第5回 【授業テーマ】 人権と法 (I)
【内容・方法等】 基本的人権の保障 (自由権)
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第6回 【授業テーマ】 人権と法 (II)
【内容・方法等】 基本的人権の保障 (社会権)
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第7回 【授業テーマ】 政治と法
【内容・方法等】 統治機構
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第8回 【授業テーマ】 国と地方
【内容・方法等】 地方自治
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第9回 【授業テーマ】 財産と法
【内容・方法等】 所有権の絶対性
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第10回 【授業テーマ】 契約と法 (I)
【内容・方法等】 契約自由の原則
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付するので読んでおくこと
- 第11回 【授業テーマ】 契約と法 (II)
【内容・方法等】 契約各論
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第12回 【授業テーマ】 家族と法
【内容・方法等】 婚姻と離婚、相続
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第13回 【授業テーマ】 犯罪と法
【内容・方法等】 罪刑法定主義、刑法の機能
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第14回 【授業テーマ】 行政と法
【内容・方法等】 行政の仕組みと行政行為
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
- 第15回 【授業テーマ】 紛争解決と法
まとめ
【内容・方法等】 争訟制度
授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 ノートと配付資料をよく読んでおくこと

評価方法 (基準)

定期試験の結果で評価します。

教材等

教科書…レジュメを配付する
参考書…なし

学生へのメッセージ

学生時代には、いろいろなことに興味を持ち、専門分野はもち論のこと他の分野について勉強することも将来何かの役に立つことと思います。法の世界もそのひとつです。授業が進めば、一つの世界が見えてくるとと思います。

関連科目

日本国憲法

担当者の研究室等

11号館10階 小島研究室

備考

なし

日本国憲法

The Japanese Constitutional Law

大 仲 淳 介 (オオナカ アツヨシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

わたしたちの生活と関わりのある憲法を改正するという話題が出ています。このような状況において憲法の内容や運用など憲法について知ることは重要ではないでしょうか。この講義では具体的な問題から、憲法の考え方を解説・検討します。そして憲法の基礎的知識を理解し、身近に生じる憲法問題を自分で考えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業は講義形式で行います。また教科書、配付プリント、六法を使って行いますので、必ず持参してください。

科目学習の効果(資格)

公務員試験や教員免許の取得に役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 憲法の意味
【内容・方法等】 憲法の意味、憲法の最高法規性と違憲審査制、日本憲法の展開など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第2回 【授業テーマ】 基本的人権の保障
【内容・方法等】 人権の歴史、人権の分類、人権の限界、人権の享有主体など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第3回 【授業テーマ】 幸福追求権
【内容・方法等】 幸福追求権の意味、幸福追求権から導かれる人権、自己決定権など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第4回 【授業テーマ】 法の下の平等
【内容・方法等】 平等の意味、許される差別と許されない差別など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第5回 【授業テーマ】 信教の自由と政教の分離
【内容・方法等】 信教の自由の内容、信教の自由の限界、国家と宗教の分離の限界など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第6回 【授業テーマ】 表現の自由
【内容・方法等】 表現の自由の内容、表現の自由の限界、表現の自由の優越的地位など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第7回 【授業テーマ】 経済的自由権
【内容・方法等】 職業選択の自由と規制、営業規制立法など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第8回 【授業テーマ】 社会権
【内容・方法等】 生存権と社会保障制度、教育を受ける権利など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第9回 【授業テーマ】 刑罰・刑事手続と憲法
【内容・方法等】 「犯罪」と「刑罰」、罪刑法定主義、適正な刑事手続の保障など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第10回 【授業テーマ】 国会
【内容・方法等】 国会の地位、国会の組織と権能など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第11回 【授業テーマ】 内閣
【内容・方法等】 議院内閣制、衆議院の解散、内閣の組織と権能など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第12回 【授業テーマ】 裁判所と司法権
【内容・方法等】 司法権の意味と範囲、裁判所の権限、司法権の独立、違憲審査制など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第13回 【授業テーマ】 地方自治
【内容・方法等】 地方自治の本旨、条例、住民の権利など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第14回 【授業テーマ】 平和主義
【内容・方法等】 戦争放棄条項の意味、憲法9条と自衛隊など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第15回 【授業テーマ】 国民主権
【内容・方法等】 国民主権の意味、統治機構と国民主権など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと

評価方法(基準)

定期試験(70%)と小テスト(30%)で評価します。

教材等

教科書…中村睦男、岩本一郎、大島佳代子、木下和朗、齊藤正彰、佐々木雅寿、寺島壽一「はじめての憲法学」(第2版)三省堂(2600円+税)

参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

授業で生じた疑問は必ず質問してください。

関連科目

法学入門

担当者の研究室等

法学部事務室(11号館6階)

政治学概論I

Introduction to Politics I

森 康 一 (モリ コウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日々ニュースで報じられる政治の動きを、政治学という学問的な裏付けを基礎にしてとらえることを目標とする。政治体制・政党制など、政治学の理論的な整理を試みるとともに、国際政治についても目を向けていきたい。

授業方法と留意点

プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果(資格)

政治学の基本となる知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法等】 講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】 新聞の政治目・国際面を読む習慣をつける
- 第2回 【授業テーマ】 「政治」とはなにか
【内容・方法等】 「政治」の概念について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 近代国家の誕生
【内容・方法等】 近代国家とはなにか、またその誕生について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第4回 【授業テーマ】 国家の政治体制(1)
【内容・方法等】 政治体制とは何か、および政治体制の分類について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第5回 【授業テーマ】 国家の政治体制(2)
【内容・方法等】 自由民主主義体制の分類について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第6回 【授業テーマ】 国家の政治体制(3)
【内容・方法等】 非自由民主主義体制の分類について、および体制変動について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第7回 【授業テーマ】 政治と経済・福祉(1)
【内容・方法等】 政治と経済の関わりについて
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第8回 【授業テーマ】 政治と経済・福祉(2)
【内容・方法等】 戦後の福祉国家について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第9回 【授業テーマ】 政治制度と政治過程
【内容・方法等】 国民代表・利益代表の政治過程について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第10回 【授業テーマ】 政策と行政
【内容・方法等】 政策過程について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第11回 【授業テーマ】 政党制
【内容・方法等】 政党とはなにか、また政党システムの類型について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第12回 【授業テーマ】 集権と分権
【内容・方法等】 分権と連邦主義、国際統合について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第13回 【授業テーマ】 近代の国際政治と現代の国際政治(1)
【内容・方法等】 近代の国際体系=ウェストファリア体制について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第14回 【授業テーマ】 近代の国際政治と現代の国際政治(2)
【内容・方法等】 現代の国際政治の特色について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 講義のまとめと、試験について
【事前・事後学習課題】 試験に向けたノート作りをしておく

評価方法(基準)

期末の試験の結果によって評価を行います。持ち込みは認めません。

教材等

教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
 参考書…加茂利男他『現代政治学』(有斐閣, 1800円)

学生へのメッセージ

日々ニュースや新聞にふれて、世界で起きていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようになしてください。共に勉強しましょう。

関連科目

国際関係論、外交史および政治学

担当者の研究室等

11号館6階 法学部

備考

出席をとる予定です。

政治学概論II Introduction to Politics II				
森 康 一 (モリ コウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、第二次世界大戦後から現在までの国際関係についてとりあげる。
 前半では米ソを中心とする冷戦時代の国際政治を説明し、後半では冷戦後の国際関係と個別的な時事問題を考える。
 歴史をふまえた上で、現在の国際政治を理解する土台を作ることが目的とする。

授業方法と留意点

プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果(資格)

現在の世界情勢を理解するうえで必要な知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 講義の目的と内容・成績評価について
 【内容・方法等】 講義の内容全体について
 【事前・事後学習課題】 新聞の国際面を読む習慣をつける
- 第2回 【授業テーマ】 冷戦時代の国際関係 (1)
 【内容・方法等】 ヤルタ体制および冷戦初期の国際政治について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 冷戦時代の国際関係 (2)
 【内容・方法等】 第三世界の台頭、ヨーロッパ統合の理想と現実について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第4回 【授業テーマ】 冷戦時代の国際関係 (3)
 【内容・方法等】 多極化とデタントについて
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第5回 【授業テーマ】 冷戦時代の国際関係 (4)
 【内容・方法等】 「新冷戦」と冷戦の終焉について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第6回 【授業テーマ】 ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ (1)
 【内容・方法等】 冷戦終結後の国際政治全般について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第7回 【授業テーマ】 ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ (2)
 【内容・方法等】 ヨーロッパを中心とした冷戦終結後の国際政治について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第8回 【授業テーマ】 グローバルな問題群
 【内容・方法等】 核・食料・環境問題について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第9回 【授業テーマ】 同時テロと「イラク戦争」後の世界秩序
 【内容・方法等】 「9.11」以後の国際政治について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第10回 【授業テーマ】 米ロの核軍縮
 【内容・方法等】 核問題をめぐる米ロ関係について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第11回 【授業テーマ】 米中関係のゆくえ
 【内容・方法等】 アメリカと中国の外交関係について
 【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく

- 第12回 【授業テーマ】 中東問題のゆくえ
 【内容・方法等】 中東問題の経緯と「中東和平」の展望について
 【事前・事後学習課題】 イスラエル、パレスチナ問題について調べておく
 - 第13回 【授業テーマ】 緊迫する朝鮮半島情勢
 【内容・方法等】 韓国・北朝鮮をめぐる国際関係について
 【事前・事後学習課題】 最近の朝鮮半島情勢について調べておく
 - 第14回 【授業テーマ】 日本の安全保障
 【内容・方法等】 現在の日本がかかえる国際問題について
 【事前・事後学習課題】 最近の日本の外交に関して調べておく
 - 第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 講義のまとめと試験について
 【事前・事後学習課題】 試験に向けたノート作りをする
- 評価方法(基準)**
 期末の試験(論述式)の結果によって評価を行う。持ち込みは認めません。

教材等

教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
 参考書…渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』(有斐閣, 2000円)
 須藤眞志編『20世紀現代史』(一芸社, 3000円)
 伊藤芳明監修『国際紛争地図』(ダイヤモンド社, 1400円)

学生へのメッセージ

日々ニュースや新聞にふれて、世界で起きていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようになしてください。共に勉強しましょう。

関連科目

国際関係論、外交史、国際関係史など、国際関係の科目

担当者の研究室等

11号館6階 法学部

備考

出席をとる予定です。

数学基礎I Basic Mathematics I				
妻 鳥 淳 彦 (メンドリ アツヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

高校でのカリキュラムの多岐化、大学入学以前の教育課程の多面化、さらに入学選抜試験も様々にわたることから、入学時点での数学学習熟度にはかなりのバラツキが認められる。一方で経営・経済系科目、情報系科目の多くでは、かなりの数学的知識、力量を前提にして授業が進められる。この間隙を埋めるため、最低限必要な数学的素養を大学初年度前期で確実に身につけることをこの授業の目標とする。

授業方法と留意点

テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果(資格)

問題を定式化すること、定式化できれば論理的に解けることを体得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 整式の計算(1)
 【内容・方法等】 ・計算の法則
 ・因数分解
 【事前・事後学習課題】 第1章の間 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 整式の計算(2)
 【内容・方法等】 ・整式の割り算
 ・剰余, 因数の定理
 【事前・事後学習課題】 第1章の間 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 分数式・無理式(1)
 【内容・方法等】 ・通分の規則
 【事前・事後学習課題】 第2章の間 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 分数式・無理式(2)
 【内容・方法等】 ・平方根, 立方根
 ・有理化の計算
 【事前・事後学習課題】 第2章の間 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 1次方程式(1)
 【内容・方法等】 ・等式の基本法則
 【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 1次方程式(2)
 【内容・方法等】 ・方程式の導き方
 ・解き方
 【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 1次不等式(1)

- 第8回 【内容・方法等】 ・不等式の基本法則
【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
【授業テーマ】 1次不等式(2)
【内容・方法等】 ・不等式の導き方
・解き方
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(1)
【内容・方法等】 ・連立方程式の導き方
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第4章の間 課題レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(2)
【内容・方法等】 ・解き方
・基本法則
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第4章の間 課題レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(3)
【内容・方法等】 ・消去法
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第4章の間 課題レポート
【授業テーマ】 場合の数(1)
【内容・方法等】 ・数え上げの原則
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第5章の間 課題レポート
【授業テーマ】 場合の数(2)
【内容・方法等】 ・並べ方、選び方
・順列、組み合わせ
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第5章の間 課題レポート
【授業テーマ】 確率(1)
【内容・方法等】 ・確率の計算
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第6章の間 課題レポート
【授業テーマ】 確率(2)
【内容・方法等】 ・くりかえす試行の確率
【事前・事後学習課題】 第6章の間 課題レポート

評価方法 (基準)

演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等

教科書…数学研究室編 数学基礎 1400円

参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ

数学については各自様々な思いを持っているでしょうが、あらためて出発する新鮮な気分であらためて授業に参加して下さい。どのような些細なことでもかまいませんから、遠慮することなくいつでも質問してください。

関連科目

数学基礎 II、経営統計学、ビジネス数学基礎

担当者の研究室等

3号館3階(数学準備室)

数学基礎II Basic Mathematics II				
妻 鳥 淳 彦 (メンドリ アツヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、1次関数、2次関数のグラフの復習を出発点として、様々な関数の変化の様子をとらえられることを目標にする。

授業方法と留意点

テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果 (資格)

数学基礎 I に引き続き、筋道をたてた論理的思考と計算量を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 関数とグラフ
【内容・方法等】 ・座標平面 ・点の表し方
【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 1次関数
【内容・方法等】 ・グラフの書き方
・傾き、切片
【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 2次関数(1)
【内容・方法等】 ・グラフの書き方
・頂点、対称軸
【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 2次関数(2)
【内容・方法等】 ・最大値、最小値
・応用例
【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 無理関数
【内容・方法等】 ・逆関数
・定義域
【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 数列(1)

- 第7回 【内容・方法等】 ・等差数列
・和の公式
【事前・事後学習課題】 第8章の間 課題レポート
【授業テーマ】 数列(2)
【内容・方法等】 ・等比数列
・和の公式
- 第8回 【事前・事後学習課題】 第8章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(1)
【内容・方法等】 ・変化率
・微分係数、接線
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(2)
【内容・方法等】 ・導関数
・極大値、極小値
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(3)
【内容・方法等】 ・関数の増加、減少
・関数のグラフ
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(4)
【内容・方法等】 ・最大値、最小値
・応用問題
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(1)
【内容・方法等】 ・不定積分
・原始関数
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(2)
【内容・方法等】 ・区分求積法
・定積分
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(3)
【内容・方法等】 ・微積分の基本定理
・定積分の計算
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(4)
【内容・方法等】 ・面積、体積
・応用問題
【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート

評価方法 (基準)

演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等

教科書…数学研究室編 数学基礎 1400円

参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ

どのような些細なことでもかまいませんから、遠慮することなくいつでも質問してください。数学の学習は積み重ねである一方で、後になって以前不明だったことが理解できることもよくあります。続けることで充実した初年度にしましょう。

関連科目

数学基礎 I、統計学、経営数学

担当者の研究室等

3号館3階(数学準備室)

自然科学I Introduction to Natural SciencesI				
松 浦 哲 郎 (マツウラ テツロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業内容はほぼヒトの生体の話である。生体内とはとりもなおさず、10の器官系からなる我々の体の中のしくみと働きである。しかしながら、案外、我々は自分の体の中で行われていることを知らない。この半年間、生物学のうちで最も身近な対象である人体の構造・生理を中心に解説し、併せて最近話題となっているトピックスについて解説する。

授業方法と留意点

ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

科目学習の効果 (資格)

一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業中のルール説明・試験方法について
アンケート・生物の基礎知識を問う
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 細胞・組織・器官・器官系

- 【内容・方法 等】** ビデオ「動物の体」。ヒトは約60兆個の細胞から構成されている。細胞は組織を構成し、組織は器官を造る。生物における個体と細胞の関係を理解する。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第3回 **【授業テーマ】** 細胞説・・・細胞は生物の基本単位
- 【内容・方法 等】** ビデオ「細胞説」。自然発生説から細胞説への転換。レディの実験とパスツールの実験を通して細胞の概念を理解する。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第4回 **【授業テーマ】** 細胞膜
- 【内容・方法 等】** ビデオ高校生物「細胞膜」。細胞膜とシャボン玉の類似点と相違点。細胞膜は脂質で構成され、様々な物質を選択的に通過することができる。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第5回 **【授業テーマ】** 原形質と原形質流動
- 【内容・方法 等】** ビデオ高校生物「細胞小器官」。細胞の内部に様々な小器官が存在することを理解する。植物の細胞質を観察し、「原形質」と「原形質流動」のイメージをつかむ。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第6回 **【授業テーマ】** 細胞小器官
- 【内容・方法 等】** ビデオ「細胞と組織」。細胞の核と細胞質の概念を理解するとともに細胞内のミトコンドリアを初めてとする様々な細胞小器官の名前とその機能を覚える。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第7回 **【授業テーマ】** 胃の構造と機能
- 【内容・方法 等】** ビデオ「人体 消化吸収の妙」。消化器系について基礎知識を身につける。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について授業内容をもとに復習を行うこと
- 第8回 **【授業テーマ】** 循環器系
- 【内容・方法 等】** 循環器系について基礎知識を身につける。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第9回 **【授業テーマ】** 循環器系
- 【内容・方法 等】** ビデオ高校生物「体液」。生物の循環器系についてのしくみを理解する。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第10回 **【授業テーマ】** 循環器系
- 【内容・方法 等】** ビデオ「人体②しなやかなポンプ心臓・血管」。ヒトの心臓の構造と機能について理解する。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第11回 **【授業テーマ】** 肝臓の構造と機能
- 【内容・方法 等】** ビデオ「人体 壮大な化学工場・・・肝臓」
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第12回 **【授業テーマ】** 生殖器官・性周期・排卵・妊娠・出産のしくみ
- 【内容・方法 等】** 男性と女性のそれぞれの生殖器官の基本的な器官とそのしくみを覚える。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第13回 **【授業テーマ】** 生殖器官
- 【内容・方法 等】** ビデオ「人体①生命誕生・・・驚異の小宇宙」。生命の神秘とともに生殖器官のしくみを理解する。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第14回 **【授業テーマ】** 総括質問とプレゼンテーション
- 【内容・方法 等】** すべての授業内容に関する質問について答えるとともに、難解だった部分を詳細に解説する。
- 【事前・事後学習課題】** _____
- 第15回 **【授業テーマ】** 習熟度試験
- 【内容・方法 等】** すべての授業範囲について総括試験を実施する。
- 【事前・事後学習課題】** _____
- 評価方法 (基準)**
小テスト・臨時テスト・授業態度により判断。
- 教材等**
教科書…ニューステージ「生物図表」浜島書店
参考書…なし
- 学生へのメッセージ**
社会人としての一般教養の幅を広げる授業です。次週に小テストを実施するので十分に復習してください。
- 関連科目**
自然科学Ⅱと連動している。
- 担当者の研究室等**
枚方・薬学部6号館3階病理学研究室1

備考
なし

自然科学II Introduction to Natural Sciences II				
藤 森 廣 幸 (フジモリ ヒロユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

細胞からヒトを始めとする個体について概説する。また、人体の構造と機能について分子レベル（遺伝子）からも解説する。自分自身を構成する遺伝子または細胞単位から各種臓器にいたるまでを理解することにより、分子生物学の一般的な知識を身に付ける。生物の構造と機能について理解することを目標とする。

授業方法と留意点

講義は、主として配布プリントを利用して進める。

科目学習の効果 (資格)

ヒトを始めとする生物についての知識を習得することで、自然科学に関する教養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 概論および導入講義
アポトーシス (細胞死) (その1)
- 【内容・方法 等】** 講義の内容の説明とそれを学ぶ理由について学習する。
細胞死の現象について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (1) の勉強をする。
- 第2回 **【授業テーマ】** アポトーシス (細胞死) (その2)
- 【内容・方法 等】** 細胞死の発現機構について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (2) の勉強をする。
- 第3回 **【授業テーマ】** 生物とは
- 【内容・方法 等】** 生命、生命の誕生等について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (3) の勉強をする。
- 第4回 **【授業テーマ】** 細胞のしくみ (その1)
- 【内容・方法 等】** 細胞の基本構造と機能について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (4) の勉強をする。
- 第5回 **【授業テーマ】** 細胞のしくみ (その2)
- 【内容・方法 等】** 細胞膜の構造と機能について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (5) の勉強をする。
- 第6回 **【授業テーマ】** 細胞と個体 (その1)
- 【内容・方法 等】** 動物の組織について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (6) の勉強をする。
- 第7回 **【授業テーマ】** 細胞と個体 (その2)
- 【内容・方法 等】** 肝臓、腎臓等の構造と機能について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (7) の勉強をする。
- 第8回 **【授業テーマ】** 生殖と発生について
- 【内容・方法 等】** 細胞周期、初期発生について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (8) の勉強をする。
- 第9回 **【授業テーマ】** 生物の構成成分について
- 【内容・方法 等】** 生体を構成する物質について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (9) の勉強をする。
- 第10回 **【授業テーマ】** 代謝について
- 【内容・方法 等】** 糖代謝、アミノ酸代謝等について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (10) の勉強をする。
- 第11回 **【授業テーマ】** 遺伝について (その1)
- 【内容・方法 等】** 遺伝形式について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト (11) の勉強をする。
- 第12回 **【授業テーマ】** 遺伝について (その2)

【内容・方法 等】 遺伝子複製と発現について学ぶ。配布プリントにて講義する。

【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（12）の勉強をする。

第13回 **【授業テーマ】** 恒常性について

【内容・方法 等】 内部環境と恒常性について学ぶ。配布プリントにて講義する。

【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（13）の勉強をする。

第14回 **【授業テーマ】** 生体防御について

【内容・方法 等】 免疫系や内分泌化学物質について学ぶ。配布プリントにて講義する。

【事前・事後学習課題】 課配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（14）の勉強をする。

第15回 **【授業テーマ】** 再生医療について
総括

【内容・方法 等】 幹細胞や臓器移植等について学ぶ。配布プリントにて講義する。

【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行う。

評価方法（基準）
毎回（合計14回）行う簡単な小テスト20%、期末試験80%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…授業毎に配布するプリント
参考書…「illustrated 基礎生命科学 第2版」竹島 浩ら共著、京都廣川書店（本体2、800円+税）
「ZEROからの生命科学」木下勉ら共著、南山堂（2、400円+税）

学生へのメッセージ
担当者の専門分野は薬学である。講義に関する質問については、いつでも受け付けます。しかし、授業中に他の学生の迷惑になるおしゃべりをしている学生には、退席してもらいます。

関連科目
生物学

担当者の研究室等
枚方学舎1号館7階(毒性学研究室：藤森教授室)

地誌学 Regional Geography				
中西雄二 (ナカニシ ユウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
地理学の基本的な諸概念を把握した上で、日本の諸地域を事例に自然環境と人間生活の関わりについて近代以降の国民国家・日本の成り立ちや社会的文脈と合わせて理解していく。

授業方法と留意点
講義を中心に授業を進めていく。基本的には毎回の授業で図や表を配布し、重要な事項に関しては主にパワーポイントを用いて解説する。また、必要に応じて映像資料の活用も行う。

科目学習の効果（資格）
中学社会・高校地理歴史教育職員免許

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義に関する内容や進め方の解説
【事前・事後学習課題】 紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第2回 **【授業テーマ】** 北海道地方
【内容・方法 等】 アイヌ民族の文化や歴史に焦点を当て、北海道が近代日本に組み込まれていく過程と地域文化の変容について把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第3回 **【授業テーマ】** 東北地方
【内容・方法 等】 近代日本における東北地方の位置付けを踏まえた上で、東北地方の農山漁村を事例に生活文化の変容と観光文化の生成について理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第4回 **【授業テーマ】** 関東地方（1）
【内容・方法 等】 江戸の歴史地理を理解した上で、国民国家・日本の首都・東京へと変化していく過程を政治的文脈から把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第5回 **【授業テーマ】** 関東地方（2）
【内容・方法 等】 第2次世界大戦後における首都圏への政治・経済的機能の集中について、国土空間の編成とグローバリゼーションの進展に焦点を当てて把握する。

【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第6回 **【授業テーマ】** 中部地方
【内容・方法 等】 中央高地の農村地域における自然環境と生活文化の関係性について、近代化が与えた影響とともに理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第7回 **【授業テーマ】** 近畿地方（1）
【内容・方法 等】 京阪神大都市圏の形成と発展について、主に大阪における近代工業化の歴史から把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第8回 **【授業テーマ】** 近畿地方（2）
【内容・方法 等】 都市開発と自然環境の変容について、主に神戸における住宅政策を事例に理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第9回 **【授業テーマ】** 近畿地方（3）
【内容・方法 等】 都市としての京都の歴史の変容を踏まえた上で、近代化をめぐる諸事業と文化財保全の現状について把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第10回 **【授業テーマ】** 中四国地方
【内容・方法 等】 主に瀬戸内工業地域の事例をもとに、政策に基づく国土空間の編成と地域社会の変容について理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第11回 **【授業テーマ】** 九州地方
【内容・方法 等】 九州北部の旧産炭地域に焦点を当てて、経済構造の変化と地域社会の変動について理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第12回 **【授業テーマ】** 沖縄・奄美地方（1）
【内容・方法 等】 琉球王国や琉球処分などの歴史的文脈を踏まえて、沖縄・奄美地方に関する詳細な地誌的概略（自然・文化・産業・歴史など）を把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 沖縄・奄美地方（2）
【内容・方法 等】 沖縄・奄美地方の地誌的概略について、第2次世界大戦後のアメリカ軍占領期と日本返還以降の社会的文脈を踏まえて把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。

第14回 **【授業テーマ】** 日本総論
【内容・方法 等】 国民国家・日本の成立過程と国土計画の変遷を踏まえた上で、これまでの授業の復習を行う。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けたこれまでの復習。

第15回 **【授業テーマ】** 総括・確認テスト
【内容・方法 等】 全講義に関するまとめ、及び理解度を確認するための試験実施
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けたこれまでの復習。

評価方法（基準）
原則として、授業内に実施する筆記試験で評価する。

教材等
教科書…講義中に適宜紹介する。
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
授業は基本的に講義形式で行ないませんが、疑問点や不明な点がある場合は積極的に質問をしてください。

関連科目
地誌学など。

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
講義の内容および評価方法に変更が生じる際には、講義中に随時連絡する。

地理学 Geography				
笠原俊則 (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「環境」ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な述語の一つである。これは人間生活に影

響を及ぼす種々の外的要因の全体を意味する。近年、人間活動にともなうこの環境に著しい変化が生じている。本講義は、環境改変者としての人類が、自然環境をどのように改変してきたかを自然地理学的視点から理解することを目的としている。学生諸君には、我々人類は環境改変者であり、自分自身もその一員であるという自覚を持ってもらえたら、講義の目的の半分は達成されたものといえる。

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。不定期に作業を行うので、15cmの物差し、12色の色鉛筆を持参して欲しい。

科目学習の効果（資格）

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 地理学および自然地理学について
【内容・方法 等】 ・地理学の歴史および自然地理学の分野
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 **【授業テーマ】** 地理学と環境
【内容・方法 等】 人類による涵養への働きかけの歴史（過去から現在まで）
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第3回 **【授業テーマ】** 様々な地形と生活－その1－
【内容・方法 等】 谷底平野・台地・河岸段丘の地形と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回 **【授業テーマ】** 様々な地形と生活－その2－
【内容・方法 等】 扇状地・自然堤防帯・三角州の地形と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回 **【授業テーマ】** 世界の気候－その1－
【内容・方法 等】 熱帯気候・乾燥気候・高山気候
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回 **【授業テーマ】** 世界の気候－その2－
【内容・方法 等】 温帯気候・冷帯気候・寒帯気候
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回 **【授業テーマ】** ハイサーグラフの形からみる世界の気候
【内容・方法 等】 ハイサーグラフの活用方法
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回 **【授業テーマ】** 日本の気候
【内容・方法 等】 日本各地の気候と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回 **【授業テーマ】** 世界の植生と土壌
【内容・方法 等】 世界の気候との関連からみた植生および土壌
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回 **【授業テーマ】** 水文環境と生活
【内容・方法 等】 水が我々の生活にいかなる影響を与えているか
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回 **【授業テーマ】** 水文環境と水収支
【内容・方法 等】 水資源の算定
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第12回 **【授業テーマ】** ダムの歴史
【内容・方法 等】 ・世界のダムの歴史
・日本のダムの歴史
・日本における近代近代ダム建設の歩み
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回 **【授業テーマ】** ダム上流における自然環境の変化
【内容・方法 等】 ・ダム堆砂
・ダム上流における河床上昇とその影響
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回 **【授業テーマ】** ダム下流における自然環境の変化
【内容・方法 等】 ・ダム下流における河床の低下
・日本における海岸浸食の状況
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回 **【授業テーマ】** 自然地理学の役割を考える
【内容・方法 等】 ・全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 配布プリントおよび指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認して

おいて下さい。

評価方法（基準）

定期試験80%、授業への参加状況20%とする。

教材等

- 教科書**…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院（2400円＋税）
- 参考書**…「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子、岩波書店（700円＋税）
- 「風景の中の自然地理」杉谷隆ほか、古今書院（2500円＋税）

学生へのメッセージ

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。なお、指定テキストは後期の「地理学Ⅱ」でも使用する予定である。

関連科目

「環境関連科目」等

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

地理学Ⅱ Geography II				
笠原俊則 (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我々人類は過去から現在まで環境に種々の働きかけを行い、これを変化させてきた。後期の講義では前期の講義内容を受けて、このような人間活動による環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。

科目学習の効果（資格）

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 都市化の進展と水文環境の変化
【内容・方法 等】 都市化が進展することによって水の環境がどのように変化するか
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 **【授業テーマ】** 都市化にともなう流出の変化
【内容・方法 等】 都市化にともなう流出がどのように変化するか
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第3回 **【授業テーマ】** 都市化にともなう水災害の変化
【内容・方法 等】 ・都市化にともなう流出変化の実例
・都市の水害と下水道整備
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第4回 **【授業テーマ】** 農業地域における都市化と中小河川の治水
【内容・方法 等】 農業地域の都市化にともない農業水利組織によって行われてきた面的治水はどのように維持されたか
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第5回 **【授業テーマ】** 親水と多自然型川づくり
【内容・方法 等】 ・親水について
・多自然型川づくりについて
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第6回 **【授業テーマ】** 都市気候について－その1－
【内容・方法 等】 ・都市気候とは
・都市気候と緑地
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第7回 **【授業テーマ】** 都市気候について－その2－
【内容・方法 等】 都市気候の具体的な例

- 【事前・事後学習課題】** 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第8回** **【授業テーマ】** ため池の多面的機能
【内容・方法 等】 ため池の持つ多面的な機能とその利用
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第9回** **【授業テーマ】** 日本における干拓の歴史
【内容・方法 等】 干拓の歴史と戦後の干拓
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第10回** **【授業テーマ】** 干拓地の自然的特性
【内容・方法 等】 ・干拓地の地形と水文環境
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第11回** **【授業テーマ】** 諫早湾干拓と環境変化
【内容・方法 等】 諫早湾干拓にともなっているどのような環境問題が発生したか
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第12回** **【授業テーマ】** すみわけられた都市社会空間
【内容・方法 等】 ・エスニックマイノリティー社会
 ・インナーシティー問題
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第13回** **【授業テーマ】** ニュータウンの高齢化
【内容・方法 等】 ・日本におけるニュータウンの成立
 ・千里ニュータウンの高齢化
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第14回** **【授業テーマ】** 都市商業の盛衰と多様化
【内容・方法 等】 ・都市商業の発展と社会環境の変化
 ・都市中心部の空洞化と都市商業の変化
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第15回** **【授業テーマ】** 伝統工業の地域構成
【内容・方法 等】 京の伝統文化と伝統工業
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

評価方法 (基準)

定期試験 80%、授業への参加状況 20%とする。

教材等

- 教科書**…「人間活動と環境変化」吉越昭久編, 古今書院 (2400円+税)
- 参考書**…「都市の水文環境」新井正ほか, 共立出版 (3990円)
 「ダムと日本 (岩波新書716)」天野礼子, 岩波書店 (700円+税)
 「川と国土の危機 水害と社会 (岩波新書1387)」高橋裕, 岩波書店 (700円+税)

学生へのメッセージ

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいらっしゃるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目

「環境関連科目」等

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

日本事情 F I Japanese Culture & Society F I				
門 脇 薫 (カドワキ カオル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

科目学習の効果 (資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** ガイダンス・日本語レベルのチェック
【内容・方法 等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回** **【授業テーマ】** 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回** **【授業テーマ】** 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回** **【授業テーマ】** 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回** **【授業テーマ】** 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回** **【授業テーマ】** 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回** **【授業テーマ】** 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備
- 第8回** **【授業テーマ】** テーマ1・2に関する発表
【内容・方法 等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回** **【授業テーマ】** 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回** **【授業テーマ】** 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回** **【授業テーマ】** 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第12回** **【授業テーマ】** 映画4：「民族」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第13回** **【授業テーマ】** 映画4：「民族」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第14回** **【授業テーマ】** 映画4：「民族」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備
- 第15回** **【授業テーマ】** テーマ3・4に関する発表
【内容・方法 等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法 (基準)

各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等

- 教科書**…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社 (2,415円)
- 参考書**…授業時に指示します。

学生へのメッセージ

映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目

国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生

担当者の研究室等

7号館4階(門脇研究室)

日本事情 F II Japanese Culture & Society F II				
門 脇 薫 (カドワキ カオル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴 聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

科目学習の効果(資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルチェック
【内容・方法等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生活」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回 【授業テーマ】 映画3：「大学生活」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生活」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第12回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第14回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 評価方法(基準)**
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。
- 教材等**
教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社(2,415円) " 参考書…授業時に指示します。
- 学生へのメッセージ**
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！
- 関連科目**
国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生
- 担当者の研究室等**
7号館4階(門脇研究室)

日本語読解F1
Japanese Reading F1

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果(資格)

大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(上)1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(上)2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(下)1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(下)2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習
- 評価方法(基準)**
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
- 教材等**
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。
- 学生へのメッセージ**
さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。
- 関連科目**
日本語文法I
- 担当者の研究室等**
7号館2階(非常勤講師室)

日本語読解 F II
Japanese Reading FI I

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果 (資格)

大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 金融教育1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 金融教育2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 言語と文化1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 言語と文化2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 統計と数学1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 統計と数学2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法 等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習
- 評価方法 (基準)
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
- 教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。
- 学生へのメッセージ
さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。
- 関連科目
日本語文法 II
- 担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語文法 F I
Japanese Grammar FI

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果 (資格)

高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症 (上) 1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症 (上) 2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症 (下) 1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症 (下) 2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法 等】 今学期扱った文法事項の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法 等】 今学期扱った文法事項の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法 等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習
- 評価方法 (基準)
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
- 教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。
- 学生へのメッセージ
場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。
- 関連科目
日本語読解 I
- 担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語文法 F II
Japanese Grammar FII

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果 (資格)

高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 金融教育1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 金融教育2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 言語と文化1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 言語と文化2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 統計と数学1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 統計と数学2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法等】 今学期扱った文法項目の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法等】 今学期扱った文法項目の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)

確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ

場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。

関連科目

日本語読解 II

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現作文 F I
Japanese Reading and Writing FI

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、教師による解説と練習問題を行います。

科目学習の効果 (資格)

大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 基礎編1 よく使われる文の形
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる文の形について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 基礎編2 よく使われる語と表現
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる語と表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 基礎編3 引用
【内容・方法等】 引用の仕方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 基礎編4 句読点
【内容・方法等】 句読点の使い方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 基礎編5 表記規則
【内容・方法等】 表記規則について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 基礎編6 まとめ練習
【内容・方法等】 これまで学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 1 論文とは
【内容・方法等】 レポート、論文を書くときに気をつけることを学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 2 論文の構成
【内容・方法等】 論文の構成について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 3 構成の作り方
【内容・方法等】 論文の作り方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 4 本論のまとめ方
【内容・方法等】 本論のまとめ方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 5 書いてみよう①
【内容・方法等】 論文の構成を書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 6 3種類の文
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 7 書いてみよう②
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方で書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法等】 今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)

課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ

レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう!

関連科目

他の日本語関連の科目

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現作文FII

Japanese Reading and Writing FII

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、教師による解説と練習問題を行います。

科目学習の効果(資格)

大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現①
【内容・方法 等】 図表に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現②
【内容・方法 等】 図表に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集2 資料に関する表現
【内容・方法 等】 資料に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集3 調査・実験に関する表現
【内容・方法 等】 調査・実験に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術1 例を挙げる
【内容・方法 等】 例を挙げる表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術2 対比する
【内容・方法 等】 対比する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術3 注目させる
【内容・方法 等】 注目させる表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術4 推論を示す
【内容・方法 等】 推論を示す表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術5 結論の補強
【内容・方法 等】 結論を補強する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために1 論文の付属要素
【内容・方法 等】 論文の付属要素について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために2 書いてみよう
【内容・方法 等】 論文の付属要素を書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 レポート作成①
【内容・方法 等】 レポートを作成する
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 レポート作成②
【内容・方法 等】 レポートを作成する
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法 等】 今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法(基準)

課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ

レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！

関連科目

他の日本語関連の科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

日本語上級読解FI

Advanced Japanese Reading FI

古川 由理子 (フルカワ ユリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。

- ①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
- ②まとまった内容の文章の大意を把握する
- ③できるだけ速く①と②をできるようにする

なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に読んで読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。

1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果(資格)

・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。

・その成果を専門の文章の読解に応用する。

(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 指示語に注意する
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第3回 【授業テーマ】 キーワードに注意する
【内容・方法 等】 穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第4回 【授業テーマ】 文章の内容を予測する
【内容・方法 等】 並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第5回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す(1)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第6回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す(2)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第7回 【授業テーマ】 要約をする
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第8回 【授業テーマ】 説明文を読む(1)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第9回 【授業テーマ】 説明文を読む(2)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第10回 【授業テーマ】 論説文を読む(1)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第11回 【授業テーマ】 論説文を読む(2)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第12回 【授業テーマ】 随筆を読む
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第13回 【授業テーマ】 小説を読む(1)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第14回 【授業テーマ】 小説を読む(2)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第15回 【授業テーマ】 期末テスト
【内容・方法 等】 授業中に指示する
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する

評価方法(基準)

定期試験を実施(試験の形式については授業中に説明する)

出席・授業態度 + 期末テスト = 100%
50% 50%

教材等

教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。

出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級読解FII Advanced Japanese Reading FII				
古川 由理子 (フルカワ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

- この授業では次の3点を目標にします。
- ①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
 - ②まとまった内容の文章の大意を把握する
 - ③できるだけ速く①と②をできるようにする

なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に読んでいくのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。

1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果 (資格)

- ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
- ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
- ・その成果を専門の文章の読解に応用する。(JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 指示語に注意する
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第3回 【授業テーマ】 キーワードに注意する
【内容・方法 等】 穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第4回 【授業テーマ】 文章の内容を予測する
【内容・方法 等】 並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第5回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (1)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第6回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (2)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第7回 【授業テーマ】 要約をする
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第8回 【授業テーマ】 説明文を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第9回 【授業テーマ】 説明文を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第10回 【授業テーマ】 論説文を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第11回 【授業テーマ】 論説文を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第12回 【授業テーマ】 随筆を読む
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く

- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第13回 【授業テーマ】 小説を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第14回 【授業テーマ】 小説を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第15回 【授業テーマ】 期末テスト
【内容・方法 等】 授業中に指示する
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する

評価方法 (基準)

定期試験を実施 (試験の形式については授業中に説明する)
出席・授業態度 + 期末テスト = 100%
50% 50%

教材等

教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。

出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級作文FI Advanced Japanese Writing FI				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

相手との関係や文を書く目的を考慮し、媒体に応じて適切な文が書けるようになる。

授業方法と留意点

授業は、説明と実践が中心である。

科目学習の効果 (資格)

媒体、内容、読み手との関係を考慮した、適切な文章が書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 自己アピール1
【内容・方法 等】 奨学金に応募する1
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 自己アピール2
【内容・方法 等】 奨学金に応募する2
【事前・事後学習課題】 第2・3回の授業を踏まえて、清書する
- 第4回 【授業テーマ】 自己アピール3
【内容・方法 等】 履歴書を書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 自己アピール4
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く1
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 自己アピール5
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く2
【事前・事後学習課題】 第5・6回の授業を踏まえて、清書する
- 第7回 【授業テーマ】 Eメール1
【内容・方法 等】 会社に問い合わせる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 Eメール2
【内容・方法 等】 面接の機会をもらう
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 Eメール3
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会のお誘いメールを書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 Eメール4
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会のお誘いメールに返信する
【事前・事後学習課題】 第9・10回の授業を踏まえて、実際に受講生間でメールの交換をする
- 第11回 【授業テーマ】 Eメール5

【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会に先生をお誘いするメールを書く

第12回 **【事前・事後学習課題】** 実際に先生を誘う
【授業テーマ】 Eメール6
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会の事前リマインドメールを書く

第13回 **【事前・事後学習課題】** 実際にリマインドのメールを送る。
【授業テーマ】 掲示物1
【内容・方法 等】 外国語学習者募集の貼り紙を作る
【事前・事後学習課題】 実際に先生を誘う

第14回 **【授業テーマ】** 掲示物2
【内容・方法 等】 不要な家具・家電譲渡の貼り紙を作る
【事前・事後学習課題】 第13・14回の授業を踏まえ、掲示物を作成する

第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 総合的なフィードバック
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
適切な文、相手に伝わる効果的な文を勉強して、近将来の就職活動に役立てましょう。

関連科目
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級作文FII Advanced Japanese Writing FII				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
ビジネス場面でのどのようなメールを交換しているのかを説明しながら、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。

授業方法と留意点
授業は、講義と実践が中心である。

科目学習の効果 (資格)
ビジネスメールが目的に応じて適切に書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明
【事前・事後学習課題】 _____

第2回 **【授業テーマ】** ビジネスメール1
【内容・方法 等】 面識を持った人に挨拶のメール
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 **【授業テーマ】** ビジネスメール2
【内容・方法 等】 アポイントを取る (1)
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 **【授業テーマ】** ビジネスメール3
【内容・方法 等】 アポイントを取る (2)
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 **【授業テーマ】** ビジネスメール4
【内容・方法 等】 アポイントの確約をする
【事前・事後学習課題】 復習

第6回 **【授業テーマ】** ビジネスメール5
【内容・方法 等】 お問い合わせメール (1)
【事前・事後学習課題】 復習

第7回 **【授業テーマ】** ビジネスメール6
【内容・方法 等】 お問い合わせメール (2)
【事前・事後学習課題】 復習

第8回 **【授業テーマ】** ビジネスメール7
【内容・方法 等】 報告をする
【事前・事後学習課題】 復習

第9回 **【授業テーマ】** ビジネスメール8
【内容・方法 等】 お願いをする (1)
【事前・事後学習課題】 復習

第10回 **【授業テーマ】** ビジネスメール9
【内容・方法 等】 お願いをする (2)
【事前・事後学習課題】 復習

第11回 **【授業テーマ】** ビジネスメール10
【内容・方法 等】 催促をする (1)
【事前・事後学習課題】 復習

第12回 **【授業テーマ】** ビジネスメール11
【内容・方法 等】 催促をする (2)

【事前・事後学習課題】 復習

第13回 **【授業テーマ】** ビジネスメール12
【内容・方法 等】 お礼のメール
【事前・事後学習課題】 復習

第14回 **【授業テーマ】** ビジネスメール13
【内容・方法 等】 お詫びのメール
【事前・事後学習課題】 復習

第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 学習したビジネスメールの振り返り
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
就職後、日系の会社あるいは日本国内の会社で働く際に必要なビジネスメールの書き方を一緒に勉強して、就職後に戸惑わないように練習しましょう。

関連科目
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級会話F1 Advanced Japanese Speaking F1				
高井 美穂 (タカイ ミホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
ビジネス日本語能力テスト (BJT) において出題される聴解問題、聴読解問題の練習を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

科目学習の効果 (資格)
就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 敬語
【内容・方法 等】 敬語の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第2回 **【授業テーマ】** 上司の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 **【授業テーマ】** 上司の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 **【授業テーマ】** 同僚の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 **【授業テーマ】** 同僚の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第6回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第7回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第8回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第9回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第10回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第11回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第12回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼンの内容を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第13回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼンの内容を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第14回 **【授業テーマ】** 復習

【内容・方法等】 語彙・表現の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
 授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
 ビジネス日本語能力テストは、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーション能力を測る試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目
 日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
 国際交流センター

日本語上級会話FII Advanced Japanese Speaking FII				
高井美穂 (タカイ ミホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 前期に引き続き、ビジネス日本語能力テスト (BJT) において出題される聴解問題、聴読解問題の対策を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
 聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

科目学習の効果 (資格)
 就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 敬語
【内容・方法等】 敬語の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第2回 **【授業テーマ】** 上司と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 **【授業テーマ】** 上司と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 **【授業テーマ】** 同僚と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 **【授業テーマ】** 同僚と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第6回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第7回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第8回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第9回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第10回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第11回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第12回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼン
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第13回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼン
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第14回 **【授業テーマ】** 復習
【内容・方法等】 語彙・表現の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 確認テスト

【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
 授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
 ビジネス日本語能力テスト (BJT) は、ビジネス場面において必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定する試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目
 日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
 国際交流センター

教養特別講義I~V「社会と人権」 Human rights and Society				
石崎嘉彦 (イシザキ ヨシヒコ) 林田敏子 (ハヤシダ トシコ) 橋本正俊 (ハシモト マサトシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。具体的には「現実生活と人権」および「人権の歴史」の二つをテーマとして、担当者がそれぞれ専門的な見地から講義するとともに、教員間、教員と学生間の討議を通して人権に対する総合的な理解の獲得をめざす。授業においては、毎回二人以上の教員が出席し担当する。

授業方法と留意点
 毎回、二名以上の教員が同一テーマについて、異なる立場と視点から講義する。

科目学習の効果 (資格)
 人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方について (林田・橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 なし

第2回 **【授業テーマ】** 人権とは何か
【内容・方法等】 人権という考え方の基本について (石崎・林田担当)
【事前・事後学習課題】 資料の予習

第3回 **【授業テーマ】** 人権の歴史
【内容・方法等】 人権という考え方の歴史について (林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第4回 **【授業テーマ】** 女性と人権
【内容・方法等】 女性差別の現状と構造 (林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第5回 **【授業テーマ】** 指紋あるいは遺伝子情報と人権
【内容・方法等】 個人識別とプライバシーの保護について (石崎・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第6回 **【授業テーマ】** 警察と人権
【内容・方法等】 民事不介入の原則について (林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第7回 **【授業テーマ】** 国際問題としての人権
【内容・方法等】 貧困や難民問題と人権の問題について (石崎・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第8回 **【授業テーマ】** 日本における人権問題
【内容・方法等】 同和問題の歴史と現状 (橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第9回 **【授業テーマ】** 教育と人権
【内容・方法等】 人権問題と教育の役割 (林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第10回 **【授業テーマ】** 監獄と人権
【内容・方法等】 一望監獄 (パノプティコン) と見えない権力 (林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

- 第11回 【授業テーマ】 情報化社会における人権問題
【内容・方法等】 身体障害と表現(橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第12回 【授業テーマ】 マスメディアとネット社会の人権問題
【内容・方法等】 マスコミによる人権侵害と報道の自由について(橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第13回 【授業テーマ】 人権問題の全体を再考する
【内容・方法等】 具体的な経験を語り合うことを通して(林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 これまでのまとめを行っておく
- 第14回 【授業テーマ】 人権についての考えをまとめる
【内容・方法等】 これまでの講義をまとめてレポートを作成する(石崎・橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第15回 【授業テーマ】 総括と展望
【内容・方法等】 纏めた文章の相互批評と評価(石崎・橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 レポートを読み返しておく
- 評価方法(基準)
授業中における意見の表明など授業参加点と授業中に行う論文形式の小テストにより総合的に評価する。
- 教材等
教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。
参考書…とくになし。
- 学生へのメッセージ
人権がわたしたちの日常にきわめて深くかかわっている事柄であることを理解できるような講義を目指す。複数の教員が同一テーマについて同じ時間内に講義するという他に例のない授業形式の醍醐味に触れて欲しい。
- 関連科目
法学、歴史学、日本史学、哲学、日本文学
- 担当者の研究室等
7号館4階(石崎・橋本・林田研究室)

教養特別講義I～V「応用倫理学入門」 Introduction to Applied Ethics				
石崎嘉彦(イシザキ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
応用倫理学は、環境、生命、情報、経済、政治など生活世界の諸問題を「倫理的パラダイム」の視点から総合的に読み解こうとする試みであるが、この講義では、その中でも特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる諸問題に焦点を合わせて考えていこうと思う。そこから、科学とは区別される仕方では生命、環境、テクノロジーなどの諸問題に対して対処する道があることを確認していく。

授業方法と留意点
石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)をテキストに用いた講義である。とりわけ今年度は、グローバル・エシックスに焦点を合わせた議論となる。

- 科目学習の効果(資格)**
近代的思考法を超える新しい思考法の獲得に繋がる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の進め方、評価の仕方、倫理について
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界の倫理と人間論
【内容・方法等】 人間論としての倫理学、いわゆる肉眼で見ることの復権について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化とグローバル世界
【内容・方法等】 経済のグローバル化と政治のグローバル化
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 【授業テーマ】 倫理と自然法について
【内容・方法等】 力の世界と野蛮化の可能性について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 【授業テーマ】 グローバル世界と帝国
【内容・方法等】 普遍同質的な国家と新たな帝国の出現に対処するために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第6回 【授業テーマ】 人権とヒューマニズムのために
【内容・方法等】 虐待の倫理―共同への欲求と親密圏について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第7回 【授業テーマ】 テクノロジーの専制
【内容・方法等】 総動員体制にどう応えるか―技術とナショナリズムに抗して

- 第8回 【授業テーマ】 南北問題と環境の倫理学
【内容・方法等】 全体論は悪いか―自国の利益よりも世界全体の利益を優先させるために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第9回 【授業テーマ】 管理社会から福祉社会へ
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来に立ち向かうために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第10回 【授業テーマ】 帝国主義でも全体主義的帝国でもなく
【内容・方法等】 徳と教養の帝国、愛郷主義の帝国は可能か
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第11回 【授業テーマ】 男女と貧富の平等について
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうるのか
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第12回 【授業テーマ】 大衆・メディア・コミュニケーション
【内容・方法等】 情報技術とメディアの横暴を押し止めるために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第13回 【授業テーマ】 平和の問題と倫理
【内容・方法等】 戦争をこの世からなくすことについて―グローバリズムを越えて
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第14回 【授業テーマ】 共生のために―まとめにかえて
【内容・方法等】 コスモポリタニズムと共生
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第15回 【授業テーマ】 到達度の点検と確認
【内容・方法等】 レポート作成とその評価
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す
- 評価方法(基準)
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定
- 教材等
教科書…石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダン的人間論』(ナカニシヤ出版)
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』(ナカニシヤ出版)
- 学生へのメッセージ
これからの時代を生きていくためのキーワードは「倫理」と「正義」だよ
- 関連科目
哲学、エコロジー、環境倫理学、技術者倫理、情報倫理など
- 担当者の研究室等
7号館4階(石崎研究室)

教養特別講義I～V「役立つ金融知力」 Useful Financial Literacy				
東浩規(ヒガシ ヒロキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
金融の自由化が進展し、多様な金融商品やサービスが登場するなど、消費者の選択肢が大きく広がり、これまでも増して利便性や収益機会が得られるようになりました。その一方で、私たちに金融取引において、自身の判断と責任において行うべきとする「自己責任」が求められる時代になっています。自分で考え、行動することが求められるなか、「自立した個人」となるための素養・能力を養うことが今、必要とされています。これから社会人となる学生諸君も、金融・経済やマーケットの仕組みを理解する知識を身に付けていくことは、とても大切です。これらは、さまざまな金銭・金融トラブルから私たちの身を守るのに役立つばかりでなく、今後の豊かな人生の実現に欠かせないものだからです。本講義は、個人のライフステージのさまざまな局面で自立的な意思決定や適切な判断を行うのに役立つ、金融リテラシー(知力)を養成することを目指しています。
- 授業方法と留意点**
講義形式で、時事的な問題も適宜取り上げながら、基礎的内容から実務の入り口まで解説を行い、実践的な知識の習得を図ります。
- 科目学習の効果(資格)**
ファイナンシャル・プランナー資格(民間資格)、ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格)
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 金融知力の必要性
【内容・方法等】 ガイダンス
金融リテラシー(知力)の必要性について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュ

- メをよく読み復習する。
- 第2回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(1)
【内容・方法 等】 GDPや景気動向、経済指標等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第3回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(2)
【内容・方法 等】 金利、金融政策、景気対策等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第4回** 【授業テーマ】 ライフプランニング(1)
【内容・方法 等】 私たちの将来設計と資金計画について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第5回** 【授業テーマ】 ライフプランニング(2)
【内容・方法 等】 私たちの将来設計と資金計画、人生の三大資金について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
課題レポート：自分の将来設計をする/キャッシュフロー表の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 貯蓄型商品
【内容・方法 等】 預貯金や金利計算について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第7回** 【授業テーマ】 リスクとリターン
【内容・方法 等】 金融取引に関わるリスクとリターン、およびリスクを分散する方法について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第8回** 【授業テーマ】 投資信託
【内容・方法 等】 投資信託の特徴やその仕組みについて学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）とレジュメをよく読み復習する。
- 第9回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(1)
【内容・方法 等】 株式の基礎知識、株価変動の要因、経済と株式市場の関係等について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第10回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(2)
【内容・方法 等】 株式指標や投資指標等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第11回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(1)
【内容・方法 等】 債券投資の特徴とリスク、利回り等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第12回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(2)
【内容・方法 等】 債券の格付け、金利と債券価格、日本の財政等について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第13回** 【授業テーマ】 外貨建て商品、証券化
【内容・方法 等】 外貨建て商品や為替の基本的な仕組み、証券化について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第14回** 【授業テーマ】 セーフティネット
【内容・方法 等】 セーフティネットについて学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、経済や金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめと定期試験対策
【内容・方法 等】 これまでの学習のまとめ、試験の想定問題とその対策。
【事前・事後学習課題】 教科書とこれまで配布されたレジュメをよく読んで、総復習する。試験の準備。
- 評価方法（基準）**
学期末試験期間中に実施する筆記試験70%、課題レポート30%

を基本に、理解度を確認する<まとめ問題>や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価。なお、試験は持ち込み不可。

教材等

教科書…『ファイナンス基礎（第四版）』発行：NPO法人金融知力普及協会

（一般の書店では購入できないので注意して下さい）
教科書は授業では使用しません。レジュメ・資料を、毎回配布します。

参考書…特定ものは指定しません

学生へのメッセージ

経済や金融をより身近に感じてもらうためにも、新聞・ニュースには必ず目を通す習慣を身に付け、今世の中で何が起きているのか常に関心を持つようにしてください。事後学習として、テキスト(授業の該当ページ)と配布されたレジュメをよく読んで復習しておくこと、またとっつきにくい話であっても自分自身で考える、わからないところは調べてみる姿勢が望ましい。

社会人としてしっかり生きていける素養を磨くことを目標とします。授業に積極的に、私語をしない学生の参加を歓迎します。

関連科目

「ビジネスマナー」「就職実践基礎」

担当者の研究室等

11号館1階（教務課）

備考

この授業は、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社による「寄附講座」です。

教養特別講義I~V「地域連携教育活動I」
Community-Based Education Support ActivitiesI

浅野 英一（アサノ エイチ）
浦野 崇央（ウラノ タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育-1（授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法 等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育-2
【内容・方法 等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育-3
【内容・方法 等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教員委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回** 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法 等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回** 【授業テーマ】 活動-1
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 活動-2
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第7回** 【授業テーマ】 活動-3
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出

- 第8回** 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回** 【授業テーマ】 活動－5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回** 【授業テーマ】 活動－6
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回** 【授業テーマ】 活動－7
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回** 【授業テーマ】 活動－8
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回** 【授業テーマ】 活動－9
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回** 【授業テーマ】 活動－10
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回** 【授業テーマ】 活動－11
【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回** 【授業テーマ】 活動－12
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回** 【授業テーマ】 活動－13
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回** 【授業テーマ】 活動－14
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回** 【授業テーマ】 活動－15
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回** 【授業テーマ】 活動－16
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第21回** 【授業テーマ】 活動－17
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第22回** 【授業テーマ】 活動－18
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第23回** 【授業テーマ】 活動－19
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第24回** 【授業テーマ】 活動－20
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第25回** 【授業テーマ】 活動－21
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第26回** 【授業テーマ】 活動－22
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第27回** 【授業テーマ】 活動－23
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

- 第28回** 【授業テーマ】 活動－24
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第29回** 【授業テーマ】 活動－25
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第30回** 【授業テーマ】 活動－26・最終報告会
評価方法（基準）
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ
大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目
教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等
7号館5階（浅野研究室）
7号館4階（浦野研究室）

備考
授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「地域連携教育活動Ⅱ」 Community-Based Education Support ActivitiesⅡ				
浅野 英一（アサノ エイチ） 浦野 崇央（ウラノ タカオ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。
- 授業方法と留意点**
原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受け入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動Ⅰ」を履修した学生のみが登録できる。
- 科目学習の効果（資格）**
活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育－1（授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回** 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回** 【授業テーマ】 活動－1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 活動－2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動

- 活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－3
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－4
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 【授業テーマ】 活動－5
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－6
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－7
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－8
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 【授業テーマ】 活動－9
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 【授業テーマ】 活動－10
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－11
- 【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－12
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－13
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－14
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－15
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 【授業テーマ】 活動－16
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－17
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－18
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－19
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－20
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－21
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－22
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－23
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－24
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－25
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－26
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出

- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－23
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－24
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－25
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－26・最終報告会
- 評価方法（基準）
- ①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

7号館5階（浅野研究室）
7号館4階（浦野研究室）

備考

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」
Facilitator Training Program**

浅野英一（アサノ エイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスマスターの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、寝屋川青年会議所主催事業、交野市役所。

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育－1（授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「活動についての心構え」
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「守秘義務について」
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全管理スキルについて」
- 第4回 【授業テーマ】 事前教育－4
【内容・方法等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ

- 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「救命救護スキルについて」
- 第5回 【授業テーマ】 事前教育－5
【内容・方法 等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全対策スキルについて」
- 第6回 【授業テーマ】 事前教育－6
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「人とのかかわり方について」
- 第7回 【授業テーマ】 事前教育－7
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「報告、連絡、相談について」
- 第8回 【授業テーマ】 事前教育－8
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレイキング手法を学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「アイスブレイキング手法について」
- 第9回 【授業テーマ】 事前教育－9
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
- 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回 【授業テーマ】 事前教育－10
【内容・方法 等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
- 【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する
- 第11回 【授業テーマ】 実践活動－1
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第12回 【授業テーマ】 実践活動－2
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第13回 【授業テーマ】 実践活動－3
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第14回 【授業テーマ】 実践活動－4
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第15回 【授業テーマ】 実践活動－5
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第16回 【授業テーマ】 実践活動－6
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第17回 【授業テーマ】 実践活動－7
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第18回 【授業テーマ】 実践活動－8
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第19回 【授業テーマ】 実践活動－9
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第20回 【授業テーマ】 実践活動－10
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第21回 【授業テーマ】 実践活動－11
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第22回 【授業テーマ】 実践活動－12
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第23回 【授業テーマ】 実践活動－13
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第24回 【授業テーマ】 実践活動－14

- 【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
- 第25回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動－15
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第26回 【授業テーマ】 実践活動－16
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第27回 【授業テーマ】 実践活動－17
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第28回 【授業テーマ】 実践活動－18
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第29回 【授業テーマ】 実践活動－19
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第30回 【授業テーマ】 最終報告（後期分）
評価方法（基準）
- ①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調査、以上の4点を総合的に判断して評価する。
- 教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する
- 学生へのメッセージ
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。
- 担当者の研究室等
7号館5階（浅野研究室）
- 備考
授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いですので、早めに対策をしておくことと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特に勧めします。
学科の学習・教育目標との対応：[II]
- 授業方法と留意点**
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。
講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。
- 科目学習の効果（資格）**
就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義概要説明、模擬試験の実施
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①
【内容・方法 等】 四則演算①・分数①
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 数と計算②
【内容・方法 等】 四則演算②・分数②・方程式①
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 数と計算③

- 【内容・方法等】 方程式②
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
【授業テーマ】 割合①
- 【内容・方法等】 割合①
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
【授業テーマ】 割合②
【内容・方法等】 割合②・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合③
【内容・方法等】 割合③・仕事算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り①
【内容・方法等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題①
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題②
【内容・方法等】 分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算①
【内容・方法等】 速さの考え方
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算②
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率①
【内容・方法等】 場合の数
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率②
【内容・方法等】 確率
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り②
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)

テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。
(例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」 Preparation Program for Employment Examination				
		松田 剛典 (マツダ タケノリ)		
		亀田 峻宣 (カメタ タカノブ)		
		西座 由紀 (ニシザ ユキ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

就職活動時の筆記試験対策(算数・数学)について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いですので、早めに対策をしておくことと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、

大学に入って(もしくはそれ以前から)算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。
学科の学習・教育目標との対応: [II]

授業方法と留意点

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。

講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。

就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果(資格)

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 【授業テーマ】 数と計算①
【内容・方法等】 四則演算①・分数①
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 数と計算②
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 数と計算③
【内容・方法等】 方程式②
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合①
【内容・方法等】 割合①
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合②
【内容・方法等】 割合②・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合③
【内容・方法等】 割合③・仕事算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り①
【内容・方法等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題①
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題②
【内容・方法等】 分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算①
【内容・方法等】 速さの考え方
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算②
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率①
【内容・方法等】 場合の数
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率②
【内容・方法等】 確率
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り②
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)

テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。
(例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」 Business Manners				
富岡直美 (トミオカ ナオミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要： マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。

目的： 社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。

到達目標： 社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点

ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

社会に出るために必要なことが分かり、就職活動に意欲的に取り組めるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か
【内容・方法 等】 授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 第一印象
【内容・方法 等】 第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】 自分の第一印象を理想に近づけるよう意識して下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 身だしなみ
【内容・方法 等】 身だしなみと態度について
【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 言葉づかい
【内容・方法 等】 敬語の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙譲語の違いについて調べてきてください。
- 第5回 【授業テーマ】 指示の受け方
【内容・方法 等】 指示の受け方
スケジュール管理の仕方
【事前・事後学習課題】 授業内での課題の続きを終えて来ててください。
- 第6回 【授業テーマ】 電子メールのマナー
【内容・方法 等】 電子メールの書き方
【事前・事後学習課題】 事前に、電子メール、文書、電話、それぞれの長短を考えて来ててください。
また、授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第7回 【授業テーマ】 文書のマナー
【内容・方法 等】 文書の書き方
【事前・事後学習課題】 身の回りにある文書を持って来ててください。
- 第8回 【授業テーマ】 電話のマナー
【内容・方法 等】 電話のかけ方と受け方
【事前・事後学習課題】 授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第9回 【授業テーマ】 ホウ・レン・ソウ
【内容・方法 等】 報告・連絡・相談の仕方
【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来ててください。
- 第10回 【授業テーマ】 訪問のマナー
【内容・方法 等】 訪問の仕方
【事前・事後学習課題】 訪問する際に気を付けることを考えてください。
- 第11回 【授業テーマ】 名刺交換のマナー
【内容・方法 等】 名刺交換の仕方
【事前・事後学習課題】 名刺の役割について考えてください。
- 第12回 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー
【内容・方法 等】 会社説明会で何をすればいいのか
【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。
- 第13回 【授業テーマ】 面接でのマナー
【内容・方法 等】 面接の種類と面接官の狙いについて
面接での基本的な振る舞い方

【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。

- 第14回 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー
【内容・方法 等】 グループディスカッションの特徴
グループディスカッションの注意点
【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
【内容・方法 等】 授業の振り返り・まとめ
【事前・事後学習課題】 未提出の課題等がないか確認をして下さい。

評価方法（基準）

平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

教材等

教科書…レジュメ配布

参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ

マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目

キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、インターンシップⅠ、Ⅱ、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶー北河内学ー」 Introduction to University and Kitakawachi Region				
福田市朗 (フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】 学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。【目的】 摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。【到達目標】 摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

授業方法と留意点

摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）

自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」
【内容・方法 等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（1）
【内容・方法 等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（2）
【内容・方法 等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（3）
【内容・方法 等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説す

- る。
- 【事前・事後学習課題】** 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（1）寝屋川市
【内容・方法 等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
- 第6回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（2）枚方市
【内容・方法 等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
- 第7回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（3）交野市
【内容・方法 等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
- 第8回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（4）門真市
【内容・方法 等】 門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
- 第9回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（1）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第10回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（2）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第11回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（3）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第12回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（4）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第13回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第14回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第15回** **【授業テーマ】** 北河内の産業を知る
【内容・方法 等】 北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産

業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

教材等

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。

参考書…摂南大学の自校史集。

毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

関連科目

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

担当者の研究室等

11号館7階 福田教授室

備考

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。

学外講師の関係者が聴講することがあります。

また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「簿記の話」

Talk on Bookkeeping

紙 博文(カミ ヒロフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成する簿記手続の全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解する。簿記の授業という計算技術的なものとなることが多いが、「教養特別講義」でもありそうした講義は避け、簿記の役割、企業内でよく使用される、手形・小切手、試算表、勘定、取引、売上、利益等の意味について説明する。また、簿記の精緻な構造から、これを生み出した人類の知恵を知る。

授業方法と留意点

講義中心に行うが計算プリントも配布する。解答は板書きして説明する。ゆっくりとした進度で授業は進める。

科目学習の効果（資格）

日本商工会議所簿記検定等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 簿記の基本 1
【内容・方法 等】 簿記とは
【事前・事後学習課題】 教科書 p.11～p.13
 必要に応じて練習問題を配布、以降同様
- 第2回** **【授業テーマ】** 簿記の基本 2
【内容・方法 等】 貸借対照表、損益計算書（資産、負債、純資産、収益、費用）
【事前・事後学習課題】 教科書 p.11～p.13
- 第3回** **【授業テーマ】** 簿記の基本 3
【内容・方法 等】 簿記の一巡（取引から決算までの概要）
【事前・事後学習課題】 教科書 p.15
- 第4回** **【授業テーマ】** 簿記の基本 4
【内容・方法 等】 取引、仕訳、勘定、勘定科目
【事前・事後学習課題】 教科書 p.15
- 第5回** **【授業テーマ】** 簿記の基本 5
【内容・方法 等】 仕訳の演習
【事前・事後学習課題】 教科書 p.21
- 第6回** **【授業テーマ】** 簿記の基本 6
【内容・方法 等】 転記、試算表の作成、決算
【事前・事後学習課題】 教科書 p.24～p.28
- 第7回** **【授業テーマ】** 簿記の実際 1
【内容・方法 等】 現金、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金
【事前・事後学習課題】 教科書 p.38～p.43
- 第8回** **【授業テーマ】** 簿記の実際 2
【内容・方法 等】 有価証券、手形の処理
【事前・事後学習課題】 教科書 p.44～p.54
- 第9回** **【授業テーマ】** 簿記の実際 3
【内容・方法 等】 3分法、売掛金と買掛金

- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.55～p.61
【授業テーマ】 簿記の実際 4
【内容・方法等】 固定資産
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.69
【授業テーマ】 簿記の実際 5
【内容・方法等】 決算修正事項と精算表
- 第12回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.76～p.87
【授業テーマ】 まとめと確認 1
【内容・方法等】 計算問題（プリント配布）を解く
- 第13回 【事前・事後学習課題】 計算プリントの復習
【授業テーマ】 まとめと確認 2
【内容・方法等】 計算問題（プリント配布）を解く
- 第14回 【事前・事後学習課題】 計算プリントの復習
【授業テーマ】 簿記の面白さ 1
【内容・方法等】 簿記の成立
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.129～p.131
【授業テーマ】 簿記の面白さ 2
【内容・方法等】 簿記生成史から学ぶこと

評価方法 (基準)
学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

教材等
教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版（1890円）
参考書…授業中指示する

学生へのメッセージ
簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。しかし、本講義は、教養科目という性格上、講義中心で計算問題演習の時間は少ないと思う。足りない分は各自で問題を解いてみる。簿記の面白さがわかってきます。

関連科目
財務会計論、国際会計論（経営学部開講科目）

担当者の研究室等
11号館8階（紙教授室）

- 第6回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 商品生産と経済的価値の問題
【内容・方法等】 労働価値説と剰余価値の生産の問題を考える
- 第7回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 精神なき専門家と心情なき享楽人たちの棲むところ
【内容・方法等】 私はどこにもいなくなって、ただ商品だけが存在する世界について
- 第8回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 物象化された世界の出現
【内容・方法等】 コミュニケーションの世界が記号の象徴交換となることについて
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 グローバル世界は「帝国」の再来である
【内容・方法等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために
- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 テクノロジーと生産のメカニズム—技術社会論
【内容・方法等】 総駆り立て体制の出現にどう応えるか—テクノロジーと僭主政治
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 南北問題と人口問題
【内容・方法等】 自国の利益よりも世界全体の利益を優先させることは美徳か
- 第12回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 現代のコミュニズムとしての国家独占資本主義
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来によせて
- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 管理社会から福祉社会への通路は存在するか
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうるのか—EUとユーロ圏の失敗を反面教師として
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 来るべき時代の共同性を展望する—メディア全体主義に抗して
【内容・方法等】 これからの情報社会と人類の共生のために
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 到達度の点検と確認
【内容・方法等】 レポート作成とその評価
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す

評価方法 (基準)
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

教材等
教科書…石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダンの人間論』（ナカニシヤ出版）
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）

学生へのメッセージ
講義の根底にある「正義」の概念こそ、これからの時代を生き抜いていくためのキーワードだ

関連科目
政治学、経済学、エコロジー、応用倫理学、技術者倫理、情報倫理など

担当者の研究室等
7号館4階（石崎研究室）

教養特別講義 I～V「ポストモダン時代の国際政治経済」 Postmodern Political Economy				
石崎嘉彦 (イシザキ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
グローバル化したポストモダンの世界は、アレクサンドル・コジェーヴの用語でいえば「普遍同質的国家」と呼ばれる。この講義ではそのような国家(あるいは状態)の動向を理解し、それによる生活世界の破壊に対処する途を模索する。特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる環境破壊、科学技術と生産、経済発展と格差社会などの諸問題を取り上げ、それらの問題にいかに対処すべきかを考えてみる。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）をテキストに用い、講義形式で行われる授業である。

科目学習の効果（資格）
世界の政治経済的動向とその原理を理解し、そこから近代的思考法を超える新しい思考法を獲得していきたい。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の進め方、評価の仕方、政治哲学について
【事前・事後学習課題】 なし
 - 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界と人間論の課題
【内容・方法等】 モダンの終焉とポストモダンの「末人」世界の出現
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
 - 第3回 【授業テーマ】 グローバル化は普遍同質的国家を可能にするか？
【内容・方法等】 まずは経済の領域から始まった運動は政治の世界をもグローバル化しうるか？
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
 - 第4回 【授業テーマ】 分業と交易社会の出現
【内容・方法等】 交易と商品生産社会の出現の意義を歴史から見てとる
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
 - 第5回 【授業テーマ】 相互承認と等価交換
【内容・方法等】 承認をめぐる闘いから生み出されるものが自己意識ではなく物=商品となる世界であることについて

教養特別講義 I～V「感染症の歴史・病原体・治療と予防」 Infectious Diseases				
渡部 一仁 (ワタベ カスヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
人類生存の歴史は感染症との戦いであった。ヒトを襲った感染症について、その恐ろしい歴史と、感染症との戦いから生き残るため学んだヒトの知恵を縦糸にして、また、感染症の原因となる微生物の基礎を横糸にして、感染症を学ぶ。具体的には、古くは天然痘から新しくは新型インフルエンザについて、それらの発生の歴史的な背景、病原体本体、治療法と予防法、国際的な規模でのリスクマネジメント体制の構築について学習する。
学科の学習・教育目標との対応：「II」

授業方法と留意点
感染症の基礎とその予防について多彩なスライドを併用して授業を行う。特に、スライドは要点をまとめつつ、文学や絵画で取り上げられてきた題材を含めて説明する。教科書は特に定めず、

毎回講義レジメを配布する。毎回の授業終了時に理解度確認のレポート提出を科す。

科目学習の効果 (資格)

感染症を具体例として、歴史的背景や病原体、社会防衛と公衆衛生学、地球規模での対策などを学ぶことにより、それぞれの専門分野での学習に有意義な知識と情報が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 感染症と現代人

【内容・方法 等】 文明が築かれてから現代まで、約5000年の歴史をたどりながら、人類がどのように感染症と戦い、それを克服してきたかを紹介する。また、現代の我々が直面している感染症についても紹介する。

【事前・事後学習課題】 1回目の講義内容の要点及び本講義の履修動機をまとめたレポートを提出すること。(レポートは第1回授業終了時に回収)

第2回 【授業テーマ】 感染症対策の歴史

【内容・方法 等】 感染症の原因となる病原微生物や媒介生物の発見、薬やワクチンの発見、各国の感染症対策について概説する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第3回 【授業テーマ】 感染症をおこす病原微生物

【内容・方法 等】 感染症の原因となる寄生虫、細菌、ウイルスの基礎について修得する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第4回 【授業テーマ】 現代社会と感染症

【内容・方法 等】 感染症対策は医療体制の整備や発生時の的確な対応、法制度などの整備による事前対応型対策の展開、国際協力などの政策が必要である。また、対策を講じるにあたり関係者や国民の理解の促進も不可欠である。ここでは、国民に脅威を及ぼしてきた感染症の変遷、その対応の変化を講義する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第5回 【授業テーマ】 新興・再興感染症

【内容・方法 等】 20世紀後半の一時期に人類は感染症を征服したと思われた時期もあった。しかし、それは誤りであり、まったく新たな感染症(新興感染症)やいったん制圧したかに見えた感染症(再興感染症)が見られている。これらの感染症の歴史的考察から大規模感染症の成立過程や原因微生物と感染経路の解明、撲滅への対策について講義する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第6回 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(1)

【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、近年特に話題となった重症急性呼吸器感染症(SARS)と高病原性トリ・インフルエンザについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第7回 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(2)

【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、エボラ出血熱、ノロウイルス感染症、狂犬病、麻しん、ウエストナイル熱/脳炎などについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 2回~7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限:次回授業終了時)

第8回 【授業テーマ】 病原体の飛沫や環境汚染による感染症

【内容・方法 等】 後進国なみに患者発生の高いわが国の結核に関して、ヒトとの関わり合いから見た結核感染症の歴史を述べ、さらに、結核感染症の基本的な知識を習得する。

【事前・事後学習課題】 事前に、2回~7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成し、授業終了時に提出のこと。

第9回 【授業テーマ】 人的行為でおきた感染症(1)

【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、感染者数が約4千万人といわれ地球規模の流行(パンデミック)に達しているエイズ・HIV感染症と院内感染として医療の現場で注目されているMRSA感染症について解説する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第10回 【授業テーマ】 人的行為でおきた感染症(2)

【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、B型肝炎とC型肝炎、VRE感染症、在郷軍人感染症、カリニ肺炎について紹介する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第11回 【授業テーマ】 飲食物を介しておきる感染症

【内容・方法 等】 飲食物を介しておきる感染症の内、1973年に大阪府堺市や岡山県邑久町の学校給食が原因となった集団下痢症のO157感染症、昨年ドイツを中心として発生した腸管出血性大腸菌感染症、2011年4月頃から「ユッケ」を

原因とした腸管出血性大腸菌O111による集団食中毒などを紹介する。また、従来の病因物質とは全く異質のタイプであるプリオン病についても講義する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第12回 【授業テーマ】 感染症の制御と免疫システム

【内容・方法 等】 ギリシャの昔からヒトは一度かかった病気には二度とかからないことを知っていた。それを実際に医療に応用したのは約200年前のジェンナーの種痘である。ここには、生体防御機構として「免疫」が働いている。免疫とはどのような身体の働きなのかを講義する。また、免疫による感染症の予防に対処も解説する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第13回 【授業テーマ】 話題になった感染症

【内容・方法 等】 近年特に話題となった感染症の中で、エボラ出血熱、マールブルグ出血熱、人食いバクテリア感染症、肺炎球菌感染症について紹介する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第14回 【授業テーマ】 予防接種により今我々が命を守ることが出来る

【内容・方法 等】 多くの感染症はワクチンによる予防接種で発症が抑えられており、その成功例としては天然痘の撲滅やポリオの征圧がある。一方、予防接種率の低や副作用の危惧から十分な予防接種が実施されていない感染症もある。今回は、いま我々が予防接種により命を守ることが出来る感染症の具体例(ヒブワクチン、子宮頸がんなど)を取り上げて説明する。

【事前・事後学習課題】 8回~14回目の授業内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限:次回授業終了時)

第15回 【授業テーマ】 感染症のいまと私たちの暮らし

【内容・方法 等】 現代に生きる私たちにとって、感染症をどう位置づけ、個人及び社会全体として感染症から我々を守るために必要な処置や知恵について考える。感染症とバイオテロについて、日本と米国での事件例を概説し、その対策を紹介する。

【事前・事後学習課題】 授業開始までに1回~14回の講義内容を事前に見直し、それまでに配布した資料を授業時に持参すること。

評価方法 (基準)

定期試験(記述問題、正誤問題、総合問題)で評価する。理解度確認レポートの内容も評価の対象とする。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…特に定めず

参考書…「感染症と生体防御」河原和夫他著、放送大学教育振興会(2800円);「感染症とたたかう」岡田春恵他著、岩波書店(740円);「現代の感染症」相川正道他著、岩波書店(630円);「人類vs感染症」岡田春恵著、岩波書店(800円);「Disease 人類を襲った30の病魔」小林力訳、医学書院(3990円);「現代免疫物語」岸本忠三他著、講談社(940円)

学生へのメッセージ

文系、理系を問わず感染症に興味のある学生の受講を勧めます。感染症の歴史と原因物質の解説のみならず、その感染症の発生した歴史的背景や時代背景、そこで取り上げられた文学を絵画についても紹介する。

関連科目

生物学

担当者の研究室等

薬学部1号館5階、E-mail: ag193101@bca.bai.ne.jp

教養特別講義 I~V 「健康科学」

Health Science

藤林真美(フジバヤシ マミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。

本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：「A1」

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第2回** 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱
【内容・方法 等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第3回** 【授業テーマ】 身体の生理機能
【内容・方法 等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？生体の生理について復習する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第4回** 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
【内容・方法 等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第5回** 【授業テーマ】 運動トレーニングで何がかわるのか？
【内容・方法 等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第6回** 【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
【内容・方法 等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第7回** 【授業テーマ】 基礎栄養学
【内容・方法 等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第8回** 【授業テーマ】 食生活と健康
【内容・方法 等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第9回** 【授業テーマ】 ダイエット計画
【内容・方法 等】 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第10回** 【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
【内容・方法 等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第11回** 【授業テーマ】 ストレスマネジメント
【内容・方法 等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。また他の精神障害についても概説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第12回** 【授業テーマ】 睡眠
【内容・方法 等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第13回** 【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症
【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第14回** 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
【内容・方法 等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第15回** 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。

【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）

主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等

教科書…特に指定しない
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ

皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1階 藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと企業成長」
Marketing and Growth of business

武居 奈緒子 (タケエ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、マーケティングに関する基本的知識を習得することを目的としています。マーケティングとは、企業の対市場活動であり、市場競争の活動のことをさします。マーケティングの基本は、企業が、消費者のニーズを把握して、それに適合する商品・サービスを提供することです。この基本にそって、マーケティングについての理解を深めてもらうとともに、マーケティング的発想で考える能力を養ってもらえればと思います。

授業方法と留意点

講義が中心ですが、ビデオも活用し、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 マーケティングの全体像を示します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第2回** 【授業テーマ】 マーケティング志向
【内容・方法 等】 マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第3回** 【授業テーマ】 製品政策
【内容・方法 等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第4回** 【授業テーマ】 価格政策
【内容・方法 等】 価格の設定方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第5回** 【授業テーマ】 流通チャネル政策
【内容・方法 等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第6回** 【授業テーマ】 販売促進政策
【内容・方法 等】 商品のアピールの仕方について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第7回** 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ
【内容・方法 等】 市場細分化、製品ライフサイクルについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第8回** 【授業テーマ】 消費行動
【内容・方法 等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第9回** 【授業テーマ】 マーケティング概念の拡張
【内容・方法 等】 大学のマーケティング、地方公共団体のマーケティングについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第10回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（1）

- 【内容・方法 等】** マーケティング・リサーチの意義と方法について解説します。
- 【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第11回** **【授業テーマ】** マーケティング・リサーチ (2)
【内容・方法 等】 質問票を作成していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第12回** **【授業テーマ】** 戦略分析 (1)
【内容・方法 等】 競争の3角形、企業の成長戦略、企業の資金配分の仕方について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第13回** **【授業テーマ】** 戦略分析 (2)
【内容・方法 等】 ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について学習していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第14回** **【授業テーマ】** 戦略分析 (3)
【内容・方法 等】 バリュチェーン分析、SWOT分析について学習していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第15回** **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

評価方法 (基準)

期末テストの成績70%、授業内課題30%

教材等

教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ

授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましよう。

関連科目

マーケティング論

担当者の研究室等

11号館8階 (武居教授室)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「高齢者の生活とケア」 Promotion of QOL of the Elderly				
石橋文枝 (イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国は、少子高齢社会、特に高齢社会は、高齢化率20%を超える超高齢社会です。人のライフステージの最終段階は老年期その先は死です。誰もが必ず迎える未来です。人は日々成長・発達をしていきます。老年期に入っても同様です。この講座では、高齢者理解を目的としています。老年期を生きること、老いとは何かをさまざまな視点で考えます。そして、超高齢社会を生きる高齢者の「生活実態・生活の質」に必要な支援方法について学ぶ。

授業方法と留意点

授業計画に沿って、進めていきます。講義を中心に進めていきますが、高齢者に対する制度、政策の理解も重要ですが、まず視聴覚教材(DVD)や高齢者疑似体験などを取り入れ、老年期を生きることの理解と個人の老人観を描ける時間にしていきます。講義前後にレポート課題を出しますので、欠席をしないよう出席をしてください。1時限目の講義ですので、遅刻のないよう1日のタイムスケジュールを立て取り組んでください。

科目学習の効果 (資格)

若者のAgeismの払拭と高齢者支援に必要な「私にできること」の自覚を持つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 老いるとは
【内容・方法 等】 「老いるとはどういうことか」講義と学生個々の発表を通して高齢者像を明確にする。
我が国の高齢者人口と今後の推計から考えられること……… 講義
ライフステージの老年期について
【事前・事後学習課題】 事前課題：老いることについて 1.身体的 2.精神的 3.社会的にどのような変化が生じるかレポートする
事後課題：次回テーマの参考文献の配布資料を読んでくる
- 第2回** **【授業テーマ】** 老いるとは
【内容・方法 等】 老い-排除と差別：今村仁司 老いの明暗：山折哲雄 老いる身体：栗原彬

- 3文献をもとに老いについて講義する
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする
- 第3回** **【授業テーマ】** 老人の歴史
【内容・方法 等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人のを文献にヨーロッパを中心に年離れた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 参考文献
老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円
- 第4回** **【授業テーマ】** 老人の歴史
【内容・方法 等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人のを文献にヨーロッパを中心に年離れた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 参考文献
老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円
- 第5回** **【授業テーマ】** 日本における高齢者の歴史
植山節考に見る高齢者
【内容・方法 等】 日本における高齢者の歴史 講義
植山節考に見る高齢者 DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 日本の歴史 2013.1月号事後課題：私の老いについてレポートしなさい
- 第6回** **【授業テーマ】** 日本における高齢者の歴史
植山節考に見る高齢者
【内容・方法 等】 植山節考に見る高齢者像 DVD 鑑賞
【事前・事後学習課題】 植山節考 深沢七郎 新潮文庫 4200円
- 第7回** **【授業テーマ】** 高齢者の不安
お年寄りの願い 「びんびんころり」
【内容・方法 等】 健康高齢者の実態
認知症について
認知症を持つ人を支える
要介護高齢者 講義中心
【事前・事後学習課題】 事前学習：認知症について 症状・問題点について調べておく
- 第8回** **【授業テーマ】** 高齢者と家族
【内容・方法 等】 家族とは
要介護者と家族の実態
【事前・事後学習課題】 事前学習
介護保険とは
- 第9回** **【授業テーマ】** 地域で支える支援
地域包括支援センター
介護保険サービス
【内容・方法 等】 フォーマルサービスと地域支援システムについて 講義
【事前・事後学習課題】 講義終了時に提示します
- 第10回** **【授業テーマ】** 高齢者を理解する - 高齢者体験
【内容・方法 等】 高齢者模擬体験
【事前・事後学習課題】 事後：高齢者体験の感想
- 第11回** **【授業テーマ】** 人生の終わりを考える
「終わりよければすべてよし」
【内容・方法 等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください
- 第12回** **【授業テーマ】** 人生の終わりを考える
「終わりよければすべてよし」
【内容・方法 等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください
- 第13回** **【授業テーマ】** 高齢者の孤独について
【内容・方法 等】 高齢者の孤独の著書(25人の高齢者の孤独の語り) 抜粋文献から
高齢者理解：講義
【事前・事後学習課題】 文献紹介：高齢者の孤独 ビアギド・マスン&ピーター・オーレン編 1890円
- 第14回** **【授業テーマ】** 老いの近未来学
【内容・方法 等】 老いをどう創めるか 日野原重明 文献より
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする
- 第15回** **【授業テーマ】** 我が国の世代間関係について
【内容・方法 等】 世代間関係と交流の実際について：講義
【事前・事後学習課題】 事前課題：テーマ「高齢社会日本における私の役割について」レポート

評価方法 (基準)

適宜、実施するレポート課題を持って評価。

教材等

教科書…購入不要
参考書…講義中に紹介。

学生へのメッセージ

みなさんは、老年期から考えると人生の2/3地点で、まさに青春を謳歌できる「時」ときです。この土台を作ってくれた先人のことを考えてみましょう。若いときは一瞬です。そして、ライ

フステージは、逆戻りができません。人生の最終段階を生きるとはどういうことか、いずれ私たちが足を踏み入れるステージです。高齢社会と聞くと先行きが暗いと思うかも知れませんが、そうだろうか？と考える時間にしましょう。

関連科目

担当者の研究室等

摂南大学 枚方校 7号館 3階 第9教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」 Theory of Budo				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やもの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果(資格)

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回 【授業テーマ】 武道とは何か
【内容・方法 等】 武道の意味や限後について概説する
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回 【授業テーマ】 武道の特性1
【内容・方法 等】 武道のわざとのかたの捉え方について
【事前・事後学習課題】 「かた」について調べてくる
- 第4回 【授業テーマ】 武道の特性2
【内容・方法 等】 武道の文化論と人間教育について
【事前・事後学習課題】 武道から得たことについて考えをまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 武道の身体技法1
【内容・方法 等】 武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】 どのような動きがあるのかを調べる
- 第6回 【授業テーマ】 武道の身体技法2
【内容・方法 等】 身体技法を実践する(総合体育館)
【事前・事後学習課題】 日常の動きとどのように違うかを実際に感じる
- 第7回 【授業テーマ】 武道とスポーツ1
【内容・方法 等】 武道とスポーツの相違点について
【事前・事後学習課題】 スポーツについて調べてくる
- 第8回 【授業テーマ】 武道とスポーツ2
【内容・方法 等】 武道の歴史的変遷について
【事前・事後学習課題】 どのような歴史があるかを考える
- 第9回 【授業テーマ】 柔道の創始1
【内容・方法 等】 嘉納治五郎について
【事前・事後学習課題】 嘉納治五郎について調べてくる
- 第10回 【授業テーマ】 柔道の創始2
【内容・方法 等】 嘉納治五郎と講道館柔道について
【事前・事後学習課題】 講道館柔道について調べてくる
- 第11回 【授業テーマ】 柔道における教育的価値1
【内容・方法 等】 体育・勝負・修身の目的について
【事前・事後学習課題】 練習と稽古の違いについて調べてくる
- 第12回 【授業テーマ】 柔道における教育的価値2
【内容・方法 等】 乱取と形について
【事前・事後学習課題】 修行の目的について調べてくる
- 第13回 【授業テーマ】 武道とスポーツ3
【内容・方法 等】 武道の国際化について
【事前・事後学習課題】 どのように武道が世界に広まったかを調べてくる
- 第14回 【授業テーマ】 武道とスポーツ4
【内容・方法 等】 柔道の歴史的変遷とオリンピックについて
【事前・事後学習課題】 柔道とオリンピックの関係について調べてくる
- 第15回 【授業テーマ】 教育現場における武道
【内容・方法 等】 教育現場における武道の位置づけについて
【事前・事後学習課題】 自分が行ってきた武道について考えてくる

評価方法(基準)

試験・小テスト・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。

テスト60%、平常態度40%で評価を行う。

教材等

教科書…特に指定はしない。

参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007
 藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不昧堂出版 2007
 村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012
 『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

学生へのメッセージ

質問等がある場合には、横山助教室に来てください。

関連科目

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
 生涯スポーツ実習
 健康論
 保健論

担当者の研究室等

総合体育館1F横山助教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」 Project Based LearningⅠ				
澤井 健二(サワイ ケンジ) 石田 裕子(イシダ ユウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：摂南大学に近い寝屋川市立池の里市民交流センターでは、主に子どもたちを対象とした環境学習を行っている。これに学生が参加・協力することで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となるよう目指す。また、淀川水系を中心とした流域連携活動を行うことで、地域の水辺環境の保全や親水活動の普及に努める。

目的：摂南大学の学内及び隣接する寝屋川第4水路ならびに近隣の小学校である寝屋川市立桜小学校に隣接する水路においてピオトープを整備する。池の里市民交流センターの活動に関わり、淀川水系での流域連携を向上させる。
 達成目標：学生は地域の子どもの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系の環境保全について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。

授業方法と留意点

連携内容・方法：寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援・活動に参加しプログラムを企画、実践する。淀川愛好会の流域連携活動に参加し、自分たちの活動内容について発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト

内容：

1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
2. 寝屋川市内の河川と水路の現状把握および水路を活かしたピオトープ整備の意義の理解
3. 地域との協働によるピオトープ整備の実践
4. ピオトープ整備による、生物環境と住民の関心の向上の検証
5. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表

方法：授業のうち半分(月1回)は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、澤井・石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月に予定している子どもも教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分(月1回)は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。学外発表の場として、近畿水環境交流会(7月)、いい川・いい川づくりワークショップ(9月)を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部生命科学科生態環境学研究室、都市環境工学科水辺環境創出研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。また、本学園OBである、大阪理化株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。

事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生活動に加わること。（60%）
水辺再生の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。（40%）

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

宮本 征一（ミヤモト セイイチ）
榊 愛（サカキ アイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

プロジェクト名称 『居住空間リノベーションの温熱環境アセスメント』

近年の居住空間は、建設技術の発展やエネルギーに支えられて、新しく作り出される居住空間は快適で健康的な空間が造り出されつつあります。しかし、現存している居住空間には、暑い・寒いなどの温熱的不快を感じる空間もあり、リノベーション（リフォーム）が必要な空間も多くあります。その際の温熱環境について事前評価（アセスメント）することは、有用な手法です。また、CADやCGなどを用いて対策案をプレゼンテーションすることで、対策後の空間を事前に伝え、共有することができます。

連携する設計事務所と共同で事前評価を行い対策を考え、プレゼンテーションし、実際に施工することを目的とします。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

温熱環境の測定勉強会および実習を、4月から6月の間に10程度行い、建築環境測定の基礎知識とプレゼンテーション技術を得てもらいます。

その後、連携する設計事務所等から依頼された居住空間で測定および分析を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月から6月の放課後：温熱環境の測定に関する勉強会および実習（週1回程度）

温熱環境について（1回）、測定機器について（2回）、データ処理・分析について（5回）、温熱環境の実習（2回）

6月以降：実際の居住空間における測定および分析

評価方法・評価基準

積極的にプロジェクトに参加しているかどうか。

自発的な行動ができてきているかどうか。

参加点 80点

成果点 20点

教材等

教科書…室内温熱環境測定規準・同解説（日本建築学会）定価1500円

参考書…特になし。

備考

自発性を重んじますので、積極的に行動できる人を望みます。学外での測定のための交通費などが多少かかります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

橋本 正治（ハシモト マサル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う。地域住民と協働して装置の設置・運用などをおこない、得られたエネルギーは、地域住民との鳥獣被害対策のために利用されている電気柵など地域に特有なものや、災害時の支援設備としての利用をはかる。

達成目標：製品の必要性にはじまり、実際に使う人達から評価を受けるまでの「ものづくり」を体験する

ことで、座学では得られない問題点や拘束条件に対応する能力を育む。加えて地域の人々と関わり、協働し、使い手の顔がみえる製作体験を通じて、ものづくりに関わる技術者としての社

会的な責務を体験・修得する

授業方法と留意点

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：

- 1 グリーンエネルギーの必要性和現状について過疎地域を調査し、対象とする地域の活性化に資するエネルギーシステムの概要を決定する。
- 2 設計・試作を行う。
- 3 地域住民と協働し設置作業を行い、性能評価・問題点の抽出を行う。（評価などは関連する地域団体と共に行い、利用者の視点を意識する）
- 4 改善方法の提案と製品の改良を行い、総合的な評価を行う。プロジェクトは5人程度の小グループに分け実施する

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる

活動状況を総合的に判断して評価する

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

池田 博一（イケダ ヒロカズ）

一色 美博（イツシキ ヨシヒロ）

小川 直樹（オガワ ナオキ）

丸山 隆三（マルヤマ リュウソウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的]

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。

蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。ただし、今年度は蒸気機関車などのものづくりに重点を置く。

[到達目標]

蒸気機関車などのものづくり技術を能動的に習得すること。

授業方法と留意点

週1回のミーティングで今後の計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続する。

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

池内 淳子（イケウチ ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【プロジェクトテーマ】

すさみ町における津波避難対策プロジェクト2013＝人的被害軽減を目的として＝

【授業概要と目的】

東日本大震災は、東北地方沿岸部に津波による壊滅的被害をもたらせた。和歌山県すさみ町は、紀伊半島の先端に位置し、過去の東海地震においても津波被害に遭遇した経験を持つ。本プロジェクトでは、昨年・一昨年と、すさみ町すさみ地区および江住地区において津波災害に対する人的被害軽減策を模索する活動を実施してきた。成果については、1年目はすさみ町役場職員と活動地区の代表者のみに対し報告したが、2年目は役場からの地区住民に対し広く案内され、多くの住民に参加して頂き活発な意見交換を頂いた。本プロジェクトの目標は、履修者が自然災害における人的被害を理解すること、フィールドワークを通じてコミュニケーション能力を向上し、生活者に寄り添った対策案を考案することであり、これらを通じてすさみ町の津波災害に対する人的被害低減に貢献したいと考える。このためには、防災に関する啓蒙・普及活動としてのアウトリーチ活動が重要であり、これらの活動を通じて履修者のチームワーク力を向上することを目標とする。

【到達目標】

自然災害における人的被害を理解し、現地調査を通じて企画立案能力を育成する。また、町民との対話を通じて社会ニーズを理解し、コミュニケーション能力の向上を図る。さらに、アウトリーチ活動ではチームワーク力の向上を図る。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ・大学内においては、東日本大震災や他の自然災害事例について調べ学習を行うことで、自然災害による被害状況の理解し、被害が与える地域社会への影響について学ぶ。
- ・長期休暇中および学校休校日にすさみ町の現地調査を実施し、町民との意見交換会に参加する。
- ・防災教育活動（アウトリーチ活動）は、大学周辺地域やすさみ町等で実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1)2011年度の調査結果および津波避難対策の理解
- (2)東日本大震災による津波被害に関する学び
- (3)今年度活動テーマの決定（すさみ町における町民との対話を通じた避難対策の考案方法）
- (4)2012年和歌山県津波避難訓練への参加 ※すさみ町との協議による
- (5)すさみ町の津波に対する人的被害軽減策の考案
- (6)すさみ町における発表会 ※すさみ町との協議による
- (7)防災教育活動準備と実施 ※時期は適宜

評価方法・評価基準

目標達成までのプロセスを重視し、活動への積極性と貢献度を評価する。

教材等

教科書…別途配布する
参考書…別途配布する

備考

・本プロジェクトは、すさみ町役場およびすさみ町住民の皆さんのご協力のもと遂行される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
- ②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
- ③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
- ④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
- ⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。
参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

佐井 英子 (サイ ヒデコ)
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等は、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営
内容：

- I 経営、マネジメント、経営戦術、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
- II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
- III 小学生に指導する。
 1. 名刺をつくらう
 2. 株式会社って何だろう
 3. 株式会社をつくらう
 4. 商売って何だろう。儲けてなんだろう
 5. 経営計画をたてよう
 6. マーケティングをしよう
 7. 商品企画書の作成しよう
 8. 銀行にお金を借ろう
 9. 実際に販売してみよう
 10. 帳簿をつけて決算書をつくらう
 11. 税金を納めよう
 12. 決算書を作成しよう
 13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。

講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。

事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。
会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。

教材等

教科書…特になし
参考書…必要に応じて適宜指定します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)
牧野 邦昭 (マキノ クニアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

都市と地方をむすぶツーリズム（観光と地域振興）
大都市圏住民の観光ニーズと潜在的な観光資源をもつ過疎地域を結びつけるエコツーリズム、グリーンツーリズムの可能性をさぐります。

到達目標：ポスト・マストツーリズムとして、都市と地方を結ぶツーリズムの可能性をさぐり、またそれが地域振興にどのように結びつくかを知り、現実に応じた企画提案ができるようになることです。一般的にいえば、就業力、つまり創造的な仕事を企画・実施する社会的能力（コミュニケーション、責任感、整理・記録・総括・反省）を身につけることが目標です。

授業方法と留意点

寝屋川市および摂南大学と連携協定をもつ和歌山県すさみ町をフィールドとして、すさみ町と寝屋川市の交流実績に留意しつつ、ツーリズム研究をおこないます。

すさみ町の観光資源・観光客受け入れ体制の調査と寝屋川市などの住民のニーズ調査をおこない、それを結びつけるあり方を考えます。

学生たち自身で主体的に取り組むために、旅行の企画・実施・ニーズ調査・広告を行う「旅行社」を創設すると考えて、責任を分担し、記録を取りながら取り組みましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

年間スケジュールとしては以下になるでしょう。

4月：前年度本プロジェクトの総括/エコツーリズムの学習

5月連休：参加可能な人は1回目のすさみ体験

6月・7月：すさみ町および南紀を目的地にした学生ツアーの企画・準備

9月：学生向けパイロットツアー実施

10月～11月：中間報告、すさみ物産フェアへの協力、都市住民の観光ニーズ調査

12月：現地調査をふまえた宣伝・企画の提案

1～3月：冬・春のツアープラン

火曜の昼休みに経済学部の演習室（1号館7階）でランチ持参の打ち合わせ会をもち、課題に応じて随時、時間を設定して作業ミーティングを行います。

評価方法・評価基準

活動への実質的参加を前提にした、地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップと創意工夫の評価（60%）、活動の成果をまとめたレポートの評価（40%）。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

備考

すさみ町、および同町のNGO、寝屋川市などの関係機関団体と協力して実施します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning

富岡 直美 (トミオカ ナオミ)
水野 武 (ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

●授業概要：様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自立的職業人を目指す。

●目的：社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。

●到達目標：役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）

②読み聞かせや紙芝居を練習する。

③社会と接するためのマナーについて学ぶ。

④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

●テーマ：紙芝居ボランティアを通じた社会貢献

●内容：学生の関心事について取材し、そこで得た知見を通じて紙芝居を作成する。寝屋川市内の小中学校などを訪問し、紙芝居上演を中心としたイベントを実施する。

●方法：（月2回程度）

1. 役割分担をし、様々な立場の人にインタビューをする。
2. インタビュー内容を学生間で共有し、疑問点を調べる。
3. 自分の考えを表現するための紙芝居を作成する。
4. 紙芝居を用いたイベントを企画する。
5. 各種施設などに協力依頼をする。
6. 紙芝居ボランティアを実行する。
7. 振り返りを行い、改善する。

他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度（50%）、報告書（20%）、成果物（30%）による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を發揮できる。

●絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning

羽石 寛寿 (ハネイシ カンジュウ)
黒澤 敏朗 (クロザワ トシロウ)
山本 圭三 (ヤマモト ケイゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。

概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品創出、休耕地の活用計画を策定します。あわせて、交野市体験ツアーの企画も行います。

到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

授業方法と留意点

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
2. 交野市の住民や観光客へのヒアリングとアンケート調査を行います。
3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
4. 独自の計画案の作成に取り組み、市民にも公表します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1. 集団意思決定のための技術の習得

KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。

2. アンケート調査の方法の習得

経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。

3. 農産品とその加工、販売方法（6次産業化）に関する知識の習得

夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。

4. 観光ツアーに関する知識・情報の収集

夏休みなどを利用して、先進的な地域の着地型観光ツアーに参加し、その経験を生かせるようにします。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。

参考書…入門書として役立つ、数冊の新書を紹介します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

久保 貞也 (クボ サダヤ)
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)
牧野 幸志 (マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学周辺地域の自治体、公的団体から地域の特徴や課題を学び、学生自らが地域の課題を探すための調査を企画、実施し、新たな課題を発見する。そして、その課題の解決に向けた学びへの興味を持ち、実践的な課題解決と総合的な学びを行いながら、社会に貢献できる学生の活動を指す。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [I]

授業方法と留意点

「地域を知る」
自治体の観光担当部署や統計調査部門、商工会議所などから講演者を招き、地域の強みや魅力、現在注目されている取り組みなどを知る。また、地域におけるこれからの課題や期待される進展の方向性などを知る。
「地域を調べる」
インターネット上で行われている各地域の広報宣伝の実態を調査したり、実際に地域を訪れてフィールドワークを行ったり、現場の担当者の声を聞くなどして、今、地域で行われていること、起こっていることを調べる。
「地域を変えていく」
本プロジェクトで明らかになった地域の課題や現状に対して、改善や解決の提案を行い、その実施計画について検討を行う。そして、その実現に向けて自分たちが何をできるかを考え、次のアクションへと進む。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：「地域を知り、地域を調べ、地域を変えていく」
内容：

- (1) 地域の魅力や課題を知る講演会
- (2) インタビューやアンケート調査
- (3) 先行事例や既存データの分析
- (4) 現地視察や見学
- (5) 今後についての検討

方法：月2, 3回程度、平日の5時限以降に行なう。また、その他に講演会や発表会などを年1, 2回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理教室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設である。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：ピース・ツーリズム——学生が企画する学生対象の平和学習旅行プラン——

【授業概要・目的】

エコ・ツーリズムは環境学習を盛り込んだ旅行企画として世界的に定着している。同様に平和学習を盛り込んだ旅行プランとしてのピース・ツーリズムを開発することで、平和に対する関心を高めるといふ社会要請とともに旅行業の商品種の拡大という産業ニーズにも応えることを目指す。

【学生の到達目標】

共同作業に自分から参加する仕方、新しいことに取り組む姿勢、困難を前にしてあきらめずに解決方法を模索する力の成長。

受講生各自がまずそれぞれの成長目標を設定します。
理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

次のようなことが予定されています。
① 旅行商品プランのつくり方についての基本を、提携先企業様から教えていただく

- ② 学生の旅行ニーズについてアンケート調査を実施する
- ③ 平和学習の仕方について外部講師から基礎的知識の提供をうける
- ④ PDCAについて、本学キャリア担当教員から教えていただく

受講生は、会社内のプロジェクト組織に模した組織体を構成し、全員で業務分担してプロジェクト実行プランに基づいて活動します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【プロジェクトの達成目標】 学生対象の平和学習旅行プランの商品化
おおよそ次のようなスケジュールを予定しています。
商品概要の設計(4～7月)→商品採用検討先企業開拓営業(7～10月)→トレードフェア参加(11月)
営業先企業様からの意見への対応策の検討(7～10月)
現地調査(8月)
→採用検討先企業様でのプレゼン(12月)

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します。

教材等

教科書…なし
参考書…適宜、指導します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

内田 勝巳 (ウチダ カツミ)
田中 鮎夢 (タナカ アユム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

モンゴルにおける環境保全を念頭に置いた地域開発の可能性を探る。モンゴルに関わりの深い個人や国際協力NGO等に対するインタビュー等を学生自ら企画し、モンゴル事情に関する理解を深める。次年度も継続できれば、モンゴルの環境NGOプロジェクトへの協力に発展させたい。

授業方法と留意点

学生が主体となり全員で協議しながらプロジェクト作りを進めていく。プロジェクトを開始するに当たり、そもそもプロジェクトとは何かについての説明（期間、予算、人的制約の下での目標設定）、援助機関が行っているプロジェクト形成手法（PCM）を紹介すること等により、学生が効率的に議論を行いプロジェクト形成ができるような基礎知識をあたえる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1) モンゴルの自然・社会・経済・文化の情報収集
- (2) モンゴルの社会開発等に携わってきた日本国内の個人・団体へのアンケートあるいはインタビューの実施と連携先のNGO事業の視察・打合せ
- (3) 情報を整理・分析し、次年度の調査設計にフィードバックする

評価方法・評価基準

活動におけるリーダーシップおよび協議への参加（60%）、活動成果のプレゼンテーションとレポート作成（40%）

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

ミュージカルをしよう！—摂大生と市民でつくるミュージカル・プロジェクト—

これは、学生提案によるPBL授業です。

【目的】 大学近隣の市民の方の参加を募り、ミュージカル公演を実現します。

【学生の到達目標】 共同作業をする力、困難を乗り越えるために考える力、新しい課題にとりくむ姿勢の向上を目指します。
理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

ミュージカル公演を実現するためには、たんに役者が練習する

だけではなく、そのほかにもさまざまな共同作業が必要になります。

ミュージカル公演実現に必要なほとんどすべての活動を、学生のみで運営します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

おおよそ次のようなスケジュールが考えられます。

4月 履修者による組織の立ちあげ（役割分担、演目決定、年間スケジュールの作成）

5月 市民参加の呼びかけ

6月 練習スタート

10月 公演広報の開始

12月 公演実施

役者の他に、たとえば音響や照明スタッフ、連絡・調整を行うマネージャー、広報担当など参加の仕方はさまざまです。

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します

教材等

教科書…なし

参考書…みんなで探します。

職業指導I Vocational Guidance I				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回 【授業テーマ】 職業指導の基礎理論
【内容・方法 等】 職業指導における基本的な考え方、手法
【事前・事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読
- 第3回 【授業テーマ】 職業指導の歴史①
【内容・方法 等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る
【事前・事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読
- 第4回 【授業テーマ】 日本の産業構造の変化
【内容・方法 等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る
【事前・事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読
- 第5回 【授業テーマ】 職業指導の歴史②
【内容・方法 等】 日本の戦後の教育改革について
【事前・事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読
- 第6回 【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導
【内容・方法 等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり
【事前・事後学習課題】 日本型雇用の見直しについて考える
- 第7回 【授業テーマ】 新規高卒就職システム
【内容・方法 等】 新規高卒労働市場の変容と現状
【事前・事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読
- 第8回 【授業テーマ】 高等学校における職業指導
【内容・方法 等】 各種学校における職業指導の在り方について
【事前・事後学習課題】 職業指導の事例を調査
- 第9回 【授業テーマ】 「労働すること」を考える
【内容・方法 等】 仕事をすることの意義を考える
【事前・事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようになる
- 第10回 【授業テーマ】 職業指導の領域
【内容・方法 等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える
【事前・事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読
- 第11回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第12回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第13回 【授業テーマ】 授業内容立案
【内容・方法 等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第14回 【授業テーマ】 模擬授業
【内容・方法 等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法 等】 講義の振り返り、最終レポートの提出
【事前・事後学習課題】 レポート提出の準備

評価方法（基準）

講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、

成績を判定します。

また、前期最終時にレポートを実施します。

教材等

教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。

参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）

ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目

教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。また「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等

3号館4階（キャリア教育推進室）

職業指導II Vocational Guidance II				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化とそれが職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業概要の説明
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回 【授業テーマ】 商業教育と職業指導
【内容・方法 等】 商業高校における職業指導の事例を知る
【事前・事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第3回 【授業テーマ】 工業教育と職業指導
【内容・方法 等】 工業高校における職業指導の事例を知る
【事前・事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第4回 【授業テーマ】 人権教育としての職業指導
【内容・方法 等】 職業指導の国際基準
【事前・事後学習課題】 提示する資料を熟読
- 第5回 【授業テーマ】 フリーター・ニートについて
【内容・方法 等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える
【事前・事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備
- 第6回 【授業テーマ】 職業適性とは何か？
【内容・方法 等】 職業適性について知る
【事前・事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える
- 第7回 【授業テーマ】 高校生の就業力について
【内容・方法 等】 新規高卒者に求められる基本的な能力
【事前・事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える
- 第8回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第9回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第10回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①
【内容・方法 等】 高校生の就業力育成のためのプランを考える
【事前・事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集

- すること
- 第11回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案②
【内容・方法等】 講義10で考えたプレゼンテーション
- 第12回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論①
【内容・方法等】 自己概念を中心としたキャリア発達
【事前・事後学習課題】 自己概念に関する資料を精読
- 第13回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論②
【内容・方法等】 環境との相互作用によるキャリア行動の発達
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第14回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論③
【内容・方法等】 学習理論からのアプローチ
【事前・事後学習課題】 学習理論に関する資料を熟読
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法等】 提言の確認、授業内容に関する質疑応答
【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える
- 評価方法 (基準)
レポートを実施します。その他、授業への積極的参加、その他課題の提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。
- 教材等
教科書…講義内で都度レジュメを配布致します。
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』学文社(斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘)
ほか、授業中に適宜、指示します。
- 学生へのメッセージ
「職業指導」について学ぶとともに、自らの労働観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。
- 関連科目
教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。「特別活動論」にも近接します。
- 担当者の研究室等
3号館4階 (キャリア教育推進室)

教師論 Teacher Education				
朝日素明 (アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

- 授業概要・目的・到達目標
教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。
- 授業方法と留意点
講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。
- 科目学習の効果 (資格)
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教職の意義等に関する科目
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む)・進路選択に資する各種の機会の提供等
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
教職への道
【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオのリマインダ設定」
本科目のシラバスの熟読
- 第2回 【授業テーマ】 教職の成立とその意義

- 【内容・方法等】 公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章
- 第3回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性 (1)
【内容・方法等】 教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章
- 第4回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性 (2)
【内容・方法等】 教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章・第12章
- 第5回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性 (3)
【内容・方法等】 教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章
- 第6回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性 (4)
【内容・方法等】 法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】 教員研修体系に関する配布資料
テキスト第11章
- 第7回 【授業テーマ】 さまざまな教師像 (1)
【内容・方法等】 戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章・終章
- 第8回 【授業テーマ】 さまざまな教師像 (2)
【内容・方法等】 「不良教師」(文献・映像に基づく教師像の探究)
【事前・事後学習課題】 「不良教師」に関する配布資料
- 第9回 【授業テーマ】 さまざまな教師像 (3)
【内容・方法等】 「熱血教師」(文献・映像に基づく教師像の探究)
【事前・事後学習課題】 「熱血教師」に関する配布資料
- 第10回 【授業テーマ】 さまざまな教師像 (4)
【内容・方法等】 「人間教師」(文献・映像に基づく教師像の探究)
【事前・事後学習課題】 「人間教師」に関する配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 さまざまな教師像 (5)
【内容・方法等】 「プロ教師」(文献・映像に基づく教師像の探究)
【事前・事後学習課題】 「プロ教師」に関する配布資料
- 第12回 【授業テーマ】 教員の役割・職務 (1)
【内容・方法等】 教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章・第8章
- 第13回 【授業テーマ】 教員の役割・職務 (2)
【内容・方法等】 学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
- 第14回 【授業テーマ】 教員の役割・職務 (3)
【内容・方法等】 教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】 教員の任用・服務等に関する配布資料
- 第15回 【授業テーマ】 教員の役割・職務 (4)
【内容・方法等】 教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章
- 評価方法 (基準)
定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。
- 教材等
教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版 教職論』学文社 (1,600円+税)
参考書…授業中に適宜、指示します。
- 学生へのメッセージ
教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることとなります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。
- 関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。
- 担当者の研究室等
7号館3階 朝日研究室
- 備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育原理
Educational Principles

村田 俊明 (ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達には誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性と可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果（資格）

(1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得 (3) 学芸員資格の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 教育とは何かを考える
【内容・方法 等】 (1) オリエンテーション-教職課程と履修動機- (2) 教育の意味-自らの経験に学ぶ- (3) 「学ぶ」立場から「教える」立場へ
【事前・事後学習課題】 予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える
【内容・方法 等】 (1) 教育の必要性と可能性 (2) 野生児の記録
【事前・事後学習課題】 予習：もし教育を受けることがなかったら、どのようになるかについて考え、まとめておく。
- 第3回** 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える
【内容・方法 等】 (1) 教育・教化・形成 (2) 人間形成と発達課題 (3) からだと心の教育 (4) ことばと文化の学習
【事前・事後学習課題】 予習：現代の発達課題について考え、まとめる。
- 第4回** 【授業テーマ】 わが国における教育としつけを考える
【内容・方法 等】 (1) 子どもの社会化 (2) しつけと教育
【事前・事後学習課題】 予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。
- 第5回** 【授業テーマ】 教育の思想-教育はどう考えられてきたか- (1)
【内容・方法 等】 ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「教育の思想-教育はどう考えられてきたか-」を読んでおく。
- 第6回** 【授業テーマ】 教育の思想-教育はどう考えられてきたか- (2)
【内容・方法 等】 ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデュイに至る教育思想の系譜をたどる。ヘルバルト、オーエン、ケルシエンシュタイナーなど、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。
- 第7回** 【授業テーマ】 教育の思想-わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
【内容・方法 等】 福沢諭吉と「学問のすずめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。(NHKスペシャル「明治第一集-ゆとりか、学力か」視聴)
【事前・事後学習課題】 復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめて提出する。
- 第8回** 【授業テーマ】 教育の理念と目的について考える (1)
【内容・方法 等】 (1) 「学制」と「被仰出書」 (2) 教育勅語
【事前・事後学習課題】 予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。
- 第9回** 【授業テーマ】 教育の理念と目的について考える (2)
【内容・方法 等】 (1) 憲法の教育規定 (2) 教育基本法を学ぶ-旧法・新法の比較を通して- (3) 学校教育法

と教育の機会均等

【事前・事後学習課題】 予習：現行教育基本法の内容を確認する。

- 第10回** 【授業テーマ】 学校の歴史的な意味と課題を考える
【内容・方法 等】 (1) 学校とは何か (2) 学校の発達 (3) 学校教育の展開と二つの歴史のエポック
【事前・事後学習課題】 予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。
- 第11回** 【授業テーマ】 教育の再生と学校改革
【内容・方法 等】 (1) 教育改革の系譜 (2) 自律的学校の創造 (3) 「生きる力」と学力向上
【事前・事後学習課題】 予習：現代学校改革の課題についてレポートする。
- 第12回** 【授業テーマ】 「教えること」と「学ぶこと」について考える
【内容・方法 等】 (1) 教える・学ぶの成立条件 (2) 「学ぶ力」と「生きる力」
【事前・事後学習課題】 予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。
- 第13回** 【授業テーマ】 授業とは何かを考える
【内容・方法 等】 (1) 授業をつくる (2) 授業と教材 (3) 授業の形態と技術 (4) 授業と評価 (5) 教育評価の意味を考える
【事前・事後学習課題】 予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。
- 第14回** 【授業テーマ】 教師のしごとについて考える
【内容・方法 等】 (1) 教師のしごと (2) 子どもとの信頼関係 (3) 教育公務員としての教師 (4) 教師の成長と同僚
【事前・事後学習課題】 予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。
- 第15回** 【授業テーマ】 討論と反省
【内容・方法 等】 討論 教育原理を学んで得た新たな知見について
【事前・事後学習課題】 復習：二年度以降の教育学学習の課題を明確にする。

評価方法（基準）

定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

教材等

教科書…村田俊明 橋本はる美『教育探求の基礎』（税務経理協会）、2012年、2940円

参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』（福村出版）1470円
平沢茂編著『教育の方法と技術』（図書文化）2000円
小林恵『「学習指導要領」の現在』（学文社）2800円

学生へのメッセージ

①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

教育心理学

Educational Psychology

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とする。本科目では、特に以下の3点に焦点を当てて議論していく。すなわち、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」である。また、「個に応じた教育」について、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育についても考える。

授業方法と留意点

講義形式で行う。

科目学習の効果（資格）

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」6単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について。教育に対して心理学ができること
【事前・事後学習課題】
- 第2回** 【授業テーマ】 教育を支える認知発達1
【内容・方法 等】 言語……言語とは何か、言語の機能、言語の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第3回** 【授業テーマ】 教育を支える認知発達2
【内容・方法 等】 思考……人間の思考の特徴、思考の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章、第9章を読む
- 第4回** 【授業テーマ】 教育を支える認知発達3
【内容・方法 等】 記憶……記憶のメカニズム、記憶の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章、第5章を読む
- 第5回** 【授業テーマ】 こどもの学び1
【内容・方法 等】 様々な学習……学習とは何か、条件づけ、観察学習
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の3、テキスト第1章を読む
- 第6回** 【授業テーマ】 こどもの学び2
【内容・方法 等】 学ぶ方法いろいろ……メタ認知、学習観
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第7回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ1
【内容・方法 等】 意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第8回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ2
【内容・方法 等】 さまざまな学習意欲（1）……外発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第9回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ3
【内容・方法 等】 さまざまな学習意欲（2）……内発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第10回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ4
【内容・方法 等】 学習意欲を育むために……報酬と罰、評価目標
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第11回** 【授業テーマ】 学習を支える人間関係1
【内容・方法 等】 教師と生徒との関係……教師のモノサシ、教師期待効果、リーダーシップ
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の2を読む
- 第12回** 【授業テーマ】 学習を支える人間関係2
【内容・方法 等】 生徒同士の関係……仲間の意味、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章、12章を読む
- 第13回** 【授業テーマ】 個に応じた教育1
【内容・方法 等】 個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章の3、テキスト第6章を読む
- 第14回** 【授業テーマ】 個に応じた教育2
【内容・方法 等】 「障害」の理解と特別支援教育
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読む
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

小テスト30% 期末試験70%

教材等

教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を実践～」藤田哲也（編著） ミネルヴァ書房（2800円）
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目

心理学

担当者の研究室等

7号館3階（吉田研究室）

教育社会学

Sociology of Education

村田俊明（ムラタ トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会学的に研究する学問である。まず教科書をもとに基礎的知識について説明する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。さらに現代教育改革、とりわけ教員養成改革を例に、具体的データの収集と分析を通して教育社会学の研究視点と方法を理解する。

授業方法と留意点

教育社会学を「基礎」と「応用」から構成し、教育社会学の基本的概念や予備知識について講述する。「基礎」「応用」とともに、パソコンを活用してデータの検索や分析等を行い、グループ等による発表を行う。

科目学習の効果（資格）

（1）高等学校教諭1種免許状 （2）中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 基礎 教育社会学とは何か
【内容・方法 等】 教育社会学の課題と方法を知る
社会化の意味と課題を知る
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（1－教育社会学とは「14－教育社会学の技法」）を読んでくる。
- 第2回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会と学校
【内容・方法 等】 学校化の進展と構造について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（6－学校制度の社会学）を読んでレポートを書いてくる。
- 第3回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会の変貌と教育
【内容・方法 等】 情報社会の教育と社会化について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（3－社会化環境の構造変容）を読んでレポートを書いてくる。
- 第4回** 【授業テーマ】 基礎 子どもと学校
【内容・方法 等】 カリキュラムと教育的知識について考える
学校の文化と教育空間の意味を考える
組織としての学校を考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（7－教室空間・学校空間と教育過程）：「8－カリキュラムと教育的知識」：「9－学校の組織と文化」）を読んで、レポートを書いてくる。
- 第5回** 【授業テーマ】 基礎 階層・学歴・職業
【内容・方法 等】 学歴社会と高等教育の発展について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（「10－学校の社会的機能」「11－高等教育の社会学」「12－階層・学歴・職業」）を読んで、レポートを書いてくる。
- 第6回** 【授業テーマ】 基礎 教育改革の動向と課題
【内容・方法 等】 わが国の教育改革がめざしてきたものについて考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（13－教育改革と学習社会））を読んで、レポートを書いてくる。
- 第7回** 【授業テーマ】 基礎 教師問題の鳥瞰図
【内容・方法 等】 教員問題の系譜と現在を知る
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データから、わかったことをレポートする。
- 第8回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（1）
【内容・方法 等】 日本の教師集団を検討する
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第9回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（2）
【内容・方法 等】 教師像と養成の理念を考える
教員の需給関係を考える
【事前・事後学習課題】 事前課題 求められる教師について事前レポートを書いてくる。
事後課題 配布データからわかることをレポートする。
- 第10回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（3）
【内容・方法 等】 教師と学校改善を考える
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第11回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（4）
【内容・方法 等】 学校改善と学校評価を考える（1）
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第12回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（5）
【内容・方法 等】 学校改善と学校評価を考える（2）
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第13回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（6）
【内容・方法 等】 教員評価制度を考える（1）
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第14回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (7)
 【内容・方法 等】 教員評価制度を考える (2)
 【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第15回 【授業テーマ】 総括 教員問題の検証と教育社会学
 【内容・方法 等】 教師のライフコース、学校・教員の評価、教師としての「成長」などについて、総括的な討論を行う。
 【事前・事後学習課題】 事後課題 「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったことをレポートをまとめる。

評価方法 (基準)
 定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…天野郁夫、藤田英典、荻谷剛彦『教育社会学』(放送大学教育振興会)、1998年、2310円
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書(平成22年度)』国立印刷局、6000円
 小林恵『学習指導要領の現在』(学文社) 2800円

学生へのメッセージ
 文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目
 「教育原理」「教育社会学」「道德教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
 7号館3階(村田研究室)

備考
 共同担当者 橋本はる美

教育経営論 Studies of Educational Administration				
朝日素明(アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用の仕方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点
 プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション(LTD: Learning Through Discussion)等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。
 「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。
 「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果(資格)
 教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育の基礎理論に関する科目
 各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 公教育とは
 【内容・方法 等】 授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
 公教育の成立前史
 教育における「公」と「私」
 【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 教育権の構造
 【内容・方法 等】 「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
 教育権論争について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章1節を読んてくる。
- 第3回** 【授業テーマ】 教育を受ける権利の保障
 【内容・方法 等】 教育の制度原理
 「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章2節を読んてくる。
- 第4回** 【授業テーマ】 学校体系のしくみ
 【内容・方法 等】 段階性、系統性

学校体系の類型
 学校の種類と設置者
第5回 【授業テーマ】 学校体系の現代的課題
 【内容・方法 等】 選別・分離と接続・統合
 「選抜・選別」について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章3節を読んてくる。
 学校の機能に関する配布資料を読んてくる。

第6回 【授業テーマ】 教育条件整備の法制度と新しい動向
 【内容・方法 等】 公教育を支える諸条件とは
 条件整備はどのようになされるか
 学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章2・3節を読んてくる。
 学校統廃合に関する配布資料を読んてくる。

第7回 【授業テーマ】 学校の組織管理
 【内容・方法 等】 教職員配置と組織編制
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章1・2節を読んてくる。

第8回 【授業テーマ】 学校経営の新しい動向
 【内容・方法 等】 「開かれた学校」
 学校評議員制度、学校運営協議会制度
 地域運営学校について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章3・4節を読んてくる。
 コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んてくる。

第9回 【授業テーマ】 教育課程経営
 【内容・方法 等】 学習指導要領の性質と特徴の変遷
 学力論争と教育評価論
 学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章1・2節を読んてくる。
 学力低下論争に関する配布資料を読んてくる。

第10回 【授業テーマ】 教科書制度と指導行政
 【内容・方法 等】 教科書検定
 教科書採択
 制度をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章3・4節を読んてくる。
 教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んてくる。

第11回 【授業テーマ】 社会教育行政
 【内容・方法 等】 社会教育と生涯学習
 社会教育の理念と展開
 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章1・2節を読んてくる。

第12回 【授業テーマ】 生涯学習社会への移行と生涯学習振興
 【内容・方法 等】 社会教育行政の運営原則
 社会教育の諸制度
 社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章3・4節を読んてくる。
 社会教育不要論に関する配布資料を読んてくる。

第13回 【授業テーマ】 教育行政のはたらきと地方教育行政組織
 【内容・方法 等】 教育行政の原則
 教育委員会のしくみとはたらき
 教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第2章1節を読んてくる。
 教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んてくる。

第14回 【授業テーマ】 国の教育行政と地方との関係
 【内容・方法 等】 国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき
 教育行政関係の新しい動向
 【事前・事後学習課題】 テキスト第2章2・3節を読んてくる。

第15回 【授業テーマ】 教育費と教育財政
 【内容・方法 等】 教育財政の考え方
 国・地方の教育費と教育財政
 義務教育費国庫負担制度とその改革
 学校財務
 【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んてくる。

評価方法 (基準)
 定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等
教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学 改訂版』学文社(1,800円+税)
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
 教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。
 遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。

関連科目
 教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教

育課程論」に関連する事項を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論 Studies of Curriculum Development				
深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で作成されていったかの歴史的経緯を考察する。また、それと学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。
(2) わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進める。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果(資格)

教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目: 教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項: 教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
【内容・方法等】 ・教育課程の現代的課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp15-16
- 第2回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
【内容・方法等】 ・国際的な教育調査で問われている「学力」
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp16-17
- 第3回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
【内容・方法等】 ・教育課程編成の課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp18-19
- 第4回 【授業テーマ】 教育課程(カリキュラム)の概念と構造
【内容・方法等】 ・教育課程・学習指導要領とは何か
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp21-22
- 第5回 【授業テーマ】 教育課程(カリキュラム)の概念と構造
【内容・方法等】 ・潜在的カリキュラム
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp23-25
- 第6回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・戦後教育の「振り子」と現在の課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp85
- 第7回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・試案としての学習指導要領と経験主義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.85-87
- 第8回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・新教育批判と系統学習論、学習指導要領の「法的拘束力」
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp88-90
- 第9回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・文部省の2つの現代化—能力主義をめぐる
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp91-93
- 第10回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・学習指導要領の大綱化・弾力化・「ゆとり」
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.95-97
- 第11回 【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・近代以前の教育課程
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp70-74
- 第12回 【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・近代の学校教育と教育課程論
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.74-78
- 第13回 【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・「新教育」と現代の教育課程論
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-84
- 第14回 【授業テーマ】 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 ・総合的な学習と教育課程
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.140-146
- 第15回 【授業テーマ】 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 インクルージョンと教育課程
【事前・事後学習課題】 課題 テキストPP.158-164

評価方法(基準)

定期試験、レポート及び授業態度によって総合評価を行う。

教材等

教科書…メインテキスト『教育課程』山崎 準二著 学文社(1800円)サブテキスト「中学校 学習指導要領」文部科学省(244円)「高等学校 学習指導要領」文部科学省(520円)
参考書…『カリキュラムの批評』世織書房(5040円) その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験を省察し、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目

教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等

7号館3階(深川研究室)

備考

2009年度以前入学生は、(高校)教免取得上選択

商業科教育法

Business Education Method

河合隆廣 (カワイ タカヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「商業」教免 取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】

普通科出身の学生にも受講しやすいうように、「国際経済と我が国教育の変遷」をテーマとして、戦後の我が国の教育と国際社会の変化を歴史的に分析することにより、今後我が国の教育が何をめざしていくべきかを考察する。

具体的には、学習指導要領の変遷と歴史的背景を分析することにより、戦後の商業教育が経済や社会的な背景とどのような関わりをもつて変化してきたかについて考察する。

後半は、大局的な観点から教育の意義・在り方を追及し、教育の在り方について思考させ、現代社会にどのような教育が必要であるか、教育者としてどのような姿勢で教育に臨むべきかについて考察する。

また、本年度より施行される新しい学習指導要領についても学習し、改訂の趣旨、教科の目標・学習内容、そして「生きる力」を育成するためにどのような工夫が必要であるかを考察する。

【到達目標】

生徒との関わり合いの強い商業科は、教師としてやり甲斐があり魅力的である。商業科は高校を最後に社会に出ていく生徒が多いため、教育者として常に理念や使命感を踏まえ、時代の変化に対応できる先見的で意欲的な取り組みができる資質と能力を育成することを目標とする。

授業方法と留意点

一方的な教授法ではなく、学生の意見や疑問に的確に答え、調査研究成果を発表させるなどの対話型授業を行う。

科目学習の効果(資格)

教員採用試験では、「公民」や「情報」などとの「複数教科の教職員免許」を取得していることが自身の強みとなる。

この授業で習得・向上できる社会で役に立つ能力

(1)人間関係を形成する力 (2)問題を発見する力 (3)学習・働きの意義を理解する力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育の意義と商業教育の魅力
【内容・方法等】 教育の意義と商業教育の魅力について考察する。
【事前・事後学習課題】 教職をめざす理由と心構えについて、レポート作成・発表をさせる。
- 第2回 【授業テーマ】 戦後の教育改革と社会的背景
【内容・方法等】 戦後初の学習指導要領が民主主義教育を導入、アメリカ教育使節団の影響について考察する。
【事前・事後学習課題】 「事前学習」アメリカ教育使節団の影響について研究させる。
- 第3回 【授業テーマ】 日本初の学習指導要領と商業教育(昭和23年)
【内容・方法等】 デューイの経験主義的教授理論について学習し、「課題解決学習」が学習指導要領に活かされていることを考察する。
【事前・事後学習課題】 「事前学習」日本初の学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第4回 【授業テーマ】 国際社会の二極化の問題
【内容・方法等】 国際社会の二極化(資本主義と社会主義)の問題について考察する。
【事前・事後学習課題】 「事前学習」戦後の国際社会の問題に

- について研究させる。
- 第5回 【授業テーマ】 日本経済の復興と社会的背景
【内容・方法 等】 国際社会の二極化が日本経済、国民生活に及ぼす影響について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済復興期に望まれた教育について研究させる。
- 第6回 【授業テーマ】 経済復興期の学習指導要領と商業教育（昭和25年）
【内容・方法 等】 経済復興期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済復興期に望まれた教育について研究させる。
- 第7回 【授業テーマ】 高度経済成長初期の日本経済と社会的背景
【内容・方法 等】 日本の独立と高度経済成長初期（神武景気）に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 高度経済成長初期に望まれた教育について研究させる。
- 第8回 【授業テーマ】 高度経済成長初期の学習指導要領と商業教育（昭和31年）
【内容・方法 等】 経験主義的学習から知識重視の教育に転換した社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 知識重視の教育に転換した社会背景について研究させる。
- 第9回 【授業テーマ】 高度経済成長中期の日本経済と社会的背景
【内容・方法 等】 高度経済成長中期（岩戸景気）における技術革新と国民生活などの社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第10回 【授業テーマ】 高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育（昭和35年）
【内容・方法 等】 高度経済成長中期（昭和35年）の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第11回 【授業テーマ】 高度経済成長後期の日本経済と社会的背景
【内容・方法 等】 高度経済成長後期（いざなぎ景気）と教育の現代化に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 教育の現代化に向かう社会的背景について研究させる。
- 第12回 【授業テーマ】 高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育（昭和45年）
【内容・方法 等】 高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 「4 6 答申」の経緯とその影響について研究させる。
- 第13回 【授業テーマ】 国際経済の混乱と日本の高度経済成長の終焉
【内容・方法 等】 国際経済の混乱（ブレトン・ウッズ体制の崩壊、オイル・ショック等）と日本の高度経済成長の終焉について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済成長終焉期と教育の混乱について研究させる。
- 第14回 【授業テーマ】 高度経済成長終焉期と教育の混乱
【内容・方法 等】 高度経済成長の歪み(公害、教育現場の混乱)と教育の転換について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済成長終焉期と教育の混乱について研究させる。
- 第15回 【授業テーマ】 高度経済成長終焉期の学習指導要領と商業教育（昭和53年）
【内容・方法 等】 高度経済成長終焉期の学習指導要領と教育の混乱について思考し、どのように教育が転換したかを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済成長終焉期と教育の混乱について研究させる。
- 第16回 【授業テーマ】 教育転換期の社会的背景
【内容・方法 等】 国際社会が変動為替相場制に移行し、日本経済が混乱に陥る状況を検討する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 変動為替相場制の移行と日本経済の混乱について研究させる。
- 第17回 【授業テーマ】 臨時教育審議会と新しい学力観
【内容・方法 等】 国民的課題に対する臨時教育審議会と新しい学力観について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 臨時教育審議会と新しい学力観について研究させる。
- 第18回 【授業テーマ】 教育転換期の学習指導要領と商業教育（平成元年）
【内容・方法 等】 教育の転換期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 教育転換期の教育について研究させる。
- 第19回 【授業テーマ】 社会主義国家の崩壊と国際社会の混乱
【内容・方法 等】 国際社会の混乱（社会主義国家の崩壊）と日本国内の混乱について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 国際社会の混乱と日本国内の混乱について研究させる。

- 第20回 【授業テーマ】 バブル経済の崩壊と新しい教育への転換
【内容・方法 等】 バブル経済の崩壊と日本社会の混乱、教育の混乱について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 日本社会の混乱と教育の混乱について研究させる。
- 第21回 【授業テーマ】 ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育（平成11年）
【内容・方法 等】 ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 総合的な学習の時間と商業教育について研究させる。
- 第22回 【授業テーマ】 新学習指導要領改訂のねらい
【内容・方法 等】 新学習指導要領改訂の趣旨と目的について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 新学習指導要領改訂の趣旨と目的について研究させる。
- 第23回 【授業テーマ】 「確かな学力」育成のための工夫
【内容・方法 等】 新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について研究させる。
- 第24回 【授業テーマ】 新学習指導要領と商業教育（平成21年）
【内容・方法 等】 新学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 新学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第25回 【授業テーマ】 教育の現代的課題の分析
【内容・方法 等】 現代の教育的課題を協議させ、問題行動について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 各自の経験に基づいた教育的課題について研究させる。
- 第26回 【授業テーマ】 問題行動メカニズム分析
【内容・方法 等】 現代の教育的課題の改善方法について協議させ、問題行動メカニズムを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 問題行動について研究し、改善方法について研究させる。
- 第27回 【授業テーマ】 人格形成と自立に向けた教育手法
【内容・方法 等】 人格形成と自立に向けた教育手法について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 発達段階と自立について研究させる。
- 第28回 【授業テーマ】 アイデンティティの確立
【内容・方法 等】 心理社会的発達理論分析により、教育の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 アイデンティティの確立について研究させる。
- 第29回 【授業テーマ】 意欲を高めるための学習環境
【内容・方法 等】 脳科学による行動分析により、学習環境の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 よい学習環境をどうつくるのかを研究させる。
- 第30回 【授業テーマ】 商業教育研究
評価方法（基準）
小テスト・レポート40%、授業への参加度（学習意欲、発表等）60%とし、総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…レジメを配布する。
参考書…資料を配布する。

学生へのメッセージ
教員採用試験では、日本商工会議所簿記検定2級程度の問題が出題されるので、在学中に取得しておこう。

関連科目
経営学部や経営情報学部の専門科目は、商業科の専門科目として活かす魅力がある。
例えば、簿記、会計、原価計算、管理会計、情報処理、電子商取引、経営学、経済学、マーケティング、民法、会社法、ベンチャービジネス論など、幅広く履修しておこう。

担当者の研究室等
連絡があれば、経営学部事務室に申し出ること。

道徳教育の研究 Studies of Moral Education				
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標
道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというもの

ではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、道徳授業の指導案づくりを行う。

授業方法と留意点

教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、DVD等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生が、実際に「道徳」授業の指導構想（指導案）を作成し、その発表と検討を行う。

科目学習の効果（資格）

中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：道徳の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 道徳教育と人間形成
【内容・方法 等】 (1) 道徳教育がめざすもの (2) 道徳教育の現状と課題 (3) なぜ、いま道徳教育なのか-DVD「崩壊?日本人のモラル-」視聴
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「まえがき」「第3章」
- 第2回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史-明治期-
【内容・方法 等】 (1) 学制と「修身科」 (2) 「教育聖旨」「教育議」論争 (3) 教育勅語の成立と修身科教育
【事前・事後学習課題】 予習：教科書 (9頁~14頁)
- 第3回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史-大正・昭和前期-
【内容・方法 等】 (1) 大正新教育と修身科 (2) 総力戦体制下の教育と修身科
【事前・事後学習課題】 予習：教科書 (14~19頁)
- 第4回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史-戦後から現在-
【内容・方法 等】 (1) 修身科の廃止と教育勅語の取り扱い (2) 社会科と新しい道徳教育 (3) 道徳教育の振興と特設道徳
【事前・事後学習課題】 予習：教科書 (19頁~38頁)
- 第5回 【授業テーマ】 学習指導要領「道徳」の目的と内容
【内容・方法 等】 (1) 学習指導要領「道徳」の目的 (2) 「道徳」の内容分析 (3) 指導上の留意点
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料の課題をしておく。教科書135頁~149頁を読んでおく。
- 第6回 【授業テーマ】 道徳性の発達と教育方法
【内容・方法 等】 (1) 他律道徳から自律道徳へ (2) ピアジェとコールバーグの発達段階論 (3) 道徳的葛藤とシチュエーションの創造
【事前・事後学習課題】 予習：教科書 (39頁~76頁)
- 第7回 【授業テーマ】 学校道徳教育の計画・運営・実施について
【内容・方法 等】 (1) 「道徳」の時間と指導計画 (2) 各教科・特別活動・総合的学習の時間との関係 (3) 「道徳」の実施状況について
【事前・事後学習課題】 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をHP等で調べておく。
- 第8回 【授業テーマ】 道徳授業の基礎 (1)
【内容・方法 等】 (1) 子どもの価値意識-「実態調査」から検討する- (2) 道徳の授業と教材 (3) 道徳教育の方法と技術
【事前・事後学習課題】 予習：配付Excel Data の検討及び教科書 (77頁~99頁) を読んでおく。
- 第9回 【授業テーマ】 道徳授業の応用 (2)
【内容・方法 等】 (1) 実感ある「道徳」授業の創造 (2) DVD視聴「特別授業 差別を知る-カナダのある小学校の試み」
【事前・事後学習課題】 DVD視聴の感想文提出
- 第10回 【授業テーマ】 道徳教育の指導案 (1)
【内容・方法 等】 (1) 道徳指導案づくり「スタート台のわたし」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配布教材に基づいた指導案の作成
- 第11回 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(2)
【内容・方法 等】 (1) 道徳指導案づくり「じいちゃん長生きして」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 第12回 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(3)
【内容・方法 等】 (1) 道徳指導案づくり「アイバンク」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 第13回 【授業テーマ】 道徳教育の指導案 (4)
【内容・方法 等】 (1) 道徳指導案づくり「蜘蛛の糸」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成

- 第14回 【授業テーマ】 道徳教育の指導案 (5)
【内容・方法 等】 (1) 道徳指導案づくり「はくの名前呼んで」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成

- 第15回 【授業テーマ】 討論 現代社会と道徳教育
【内容・方法 等】 (1) 意見発表「道徳教育の研究を学んで」 (2) 質疑応答と課題の発見
【事前・事後学習課題】 討論資料の作成・準備
評価方法（基準）
定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。

教材等

- 教科書…柴田義松編著『道徳の指導』（学文社）1890円
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、273円
- 参考書…L. コールバーグ、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社

学生へのメッセージ

中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思い起こすとよい。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目

教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

備考

共同担当者 橋本はる美

特別活動論

Extra-Curricular Activities

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要性が増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の3本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。(2) 中学校、高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いて理解を深める。また、レポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより、プレゼンテーションの力、まとめる力をつける。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 特別活動の目標
【内容・方法 等】 ・学校教育の現状と課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.7-12
- 第2回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法 等】 ・家庭や地域社会での子どもたちの生活体験や社会体験の実態と特別活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.13-15
- 第3回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法 等】 ・特別活動の教育的意義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp15
- 第4回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法 等】 ・特別活動の内容相互の関連
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.16-24
- 第5回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法 等】 ・学級活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.25-43
- 第6回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法 等】 ・学級活動の指導計画
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.44-50
- 第7回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容

- 【内容・方法等】 ・生徒会活動の目標と内容
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.58-61
【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・生徒会活動と学校行事・ボランティア活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.62-63
【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学校行事の目標と内容
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.74-76
【授業テーマ】 学校行事
【内容・方法等】 ・儀式的行事・文化的行事のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.76-78
【授業テーマ】 学校行事
【内容・方法等】 ・健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行儀のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-82
【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法等】 ・特色ある学級活動・生徒会活動・学校行事の創意工夫(ビデオを教材を使った計画の実際)
【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ
【授業テーマ】 特別活動の課題
【内容・方法等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp92
【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.93-99
【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・ガイダンス機能(ビデオ「教師の行なうカウンセリング」)
【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ

評価方法 (基準)
 定期試験、レポート等及び授業態度によって総合評価を行う。

教材等
 教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 (210円)
 参考書…必要に応じて資料を配布

学生へのメッセージ
 教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと」など、カウンセリングの基礎への理解が大切である。そのため、自己の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れて自分のノートを整理していくことが望まれる。

関連科目
 全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等
 7号館3階(深川研究室)

教育方法論 Studies of Educational Method				
深川 八郎(フカガワ ハチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
 (1) 学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。(2) そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点
 "テキストを中心にプリント、視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果 (資格)
 教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育課程及び指導法に関する科目
 各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 教育方法と教育実践
【内容・方法等】 ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前・事後学習課題】 課題 大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
- 第2回** **【授業テーマ】** 教育方法と学びの指導
【内容・方法等】 ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。
【事前・事後学習課題】 課題 志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
- 第3回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・近代以前の教育方法
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp7-8
- 第4回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・中世の教会と大学の教育
 ・宗教革命と印刷術の発明
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp8-9
- 第5回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・教育学の成立—コメニウス
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp10-12
- 第6回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・合自然の教育学—ペスタロッチ
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp12-14
- 第7回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・国民国家の教育学—ヘルバルトとヘルバルト主義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp14-18
- 第8回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・子ども中心の教育と学びの共同体—デューイ
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp18-20
- 第9回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・効率主義の教育学—ボビットとチャーターズ
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp20-22
- 第10回** **【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究(日本教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・授業の成立と制度化
 ・戦後の新教育
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp33-35
 課題 テキストpp38-40
- 第11回** **【授業テーマ】** 授業の構想と計画(1)
【内容・方法等】 ・構想と計画の基本的視点
 ・指導案と教材研究
 ・教育における情報機器の活用
【事前・事後学習課題】 課題 指導案の作成(1)
- 第12回** **【授業テーマ】** 授業の構想と計画(2)
【内容・方法等】 ・授業と教授メディア
 ・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
【事前・事後学習課題】 課題 指導案の作成(2)
- 第13回** **【授業テーマ】** 授業の構想と計画(3)
【内容・方法等】 ・コンピュータを活用した授業デザイン
 ・授業改善の評価と方法
【事前・事後学習課題】 課題 コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
- 第14回** **【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究(戦後教育における校内研修を中心に)
【内容・方法等】 ・授業研究と教職研修
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp40-46
- 第15回** **【授業テーマ】** 教職の専門性とは何か
【内容・方法等】 ・教師像の探究と実践的見識をめぐって
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp135-157

評価方法 (基準)
 定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等
 教科書…「教育方法学」佐藤 学著 岩波書店(2060円)
 参考書…「教育の方法・技術」松平信久 横須賀薫編 教育出版(2000円)
 その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目
 教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

担当者の研究室等
 7号館3階(深川研究室)

生徒指導論（進路指導を含む）
Studies of Guidance and Counseling

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目
各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
生徒指導の目標と意義
【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自分の生徒指導上の体験のふりかえり
生徒指導の目標と意義
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定
テキストpp.3-10
- 第2回** 【授業テーマ】 生徒指導の実践
【内容・方法等】 生徒指導の実践課題と領域
【事前・事後学習課題】 テキストpp.10-24
- 第3回** 【授業テーマ】 生徒指導の理論（1）
【内容・方法等】 理論の重要性
発達に関する理論
【事前・事後学習課題】 テキストpp.32-39
- 第4回** 【授業テーマ】 生徒指導の理論（2）
【内容・方法等】 生徒指導における治療的支援に関する理論
相談理論など
【事前・事後学習課題】 テキストpp.39-42
- 第5回** 【授業テーマ】 生徒理解の進め方（1）
【内容・方法等】 生徒理解の意義と目的
【事前・事後学習課題】 テキストpp.43-46
- 第6回** 【授業テーマ】 生徒理解の進め方（2）
【内容・方法等】 生徒理解の方法
生徒の自己理解の支援
【事前・事後学習課題】 テキストpp.46-56
- 第7回** 【授業テーマ】 生徒理解の進め方（3）
【内容・方法等】 教師の生徒認知のありよう
【事前・事後学習課題】 テキストpp.56-61
- 第8回** 【授業テーマ】 中間試験
【内容・方法等】 これまでの授業内容についての試験
【事前・事後学習課題】 前回までの復習
- 第9回** 【授業テーマ】 学級経営の進め方（1）
【内容・方法等】 学級経営の意義
学級集団の役割・機能
【事前・事後学習課題】 テキストpp.63-68
- 第10回** 【授業テーマ】 学級経営の進め方（2）
【内容・方法等】 学級集団の力学
学級経営の方法
【事前・事後学習課題】 テキストpp.68-74
- 第11回** 【授業テーマ】 学級経営の進め方（3）
【内容・方法等】 教師のリーダーシップ
【事前・事後学習課題】 テキストpp.74-79
- 第12回** 【授業テーマ】 生徒指導上の諸問題の理解と対応
【内容・方法等】 生徒指導上の諸問題とは
最近の諸問題の動向
諸問題にどう対応するか
【事前・事後学習課題】 生徒指導上の諸問題に関する配布資料
- 第13回** 【授業テーマ】 進路指導の意義と課題
【内容・方法等】 進路指導の意義と課題
進路指導に関する諸理論
【事前・事後学習課題】 テキストpp.135-159

第14回 【授業テーマ】 勤労観・職業観の形成と変容

【内容・方法等】 青少年の勤労観・職業観
勤労観・職業観の形成と変容

【事前・事後学習課題】 テキストpp.176-195

第15回 【授業テーマ】 学校教育における進路指導の実践展開

【内容・方法等】 進路指導における「ガイダンスの機能」
進路指導実践の展開モデル

【事前・事後学習課題】 テキストpp.215-234

評価方法（基準）

定期試験を実施します。その他、中間試験の得点、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等

教科書…高橋超・石井真治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』
ミネルヴァ書房（2,500円＋税）

参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行うおとする者としての適格性が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するように設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教育相談（カウンセリングの基礎を含む）

School Counseling

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える。

授業方法と留意点

講義と演習を組み合わせで行う。

科目学習の効果（資格）

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目
各科目に含める必要事項：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について
【事前・事後学習課題】 —————
- 第2回** 【授業テーマ】 教育相談とは何か
【内容・方法等】 学校における教育相談とカウンセリング、基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第3回** 【授業テーマ】 教育相談とスクールカウンセラーの役割の違い
【内容・方法等】 教育相談とカウンセリングとの違い、教師とカウンセラーとの違い
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第4回** 【授業テーマ】 カウンセリングの理論と実際
【内容・方法等】 カウンセリングの基礎、技法、実際
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読む
- 第5回** 【授業テーマ】 さまざまなカウンセリング
【内容・方法等】 カウンセリングを学校教育に活かすための考え方
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
- 第6回** 【授業テーマ】 校内での協体制、他機関との連携

- 【内容・方法等】 校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法
- 第7回 【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む
【授業テーマ】 こころの発達と危機
【内容・方法等】 発達段階と危機、特に青年期について。
【事前・事後学習課題】
- 第8回 【授業テーマ】 問題の理解と対応
【内容・方法等】 問題とは何か、その原因・背景と対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読む
【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (1)
【内容・方法等】 不登校……その理解と対応 (学生グループ発表)
- 第9回 【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読む
【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (2)
【内容・方法等】 いじめ……その理解と対応 (学生グループ発表)
- 第10回 【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読む
【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (3)
【内容・方法等】 学級崩壊……その理解と対応 (学生グループ発表)
- 第11回 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (4)
【内容・方法等】 反社会的行動……その理解と対応 (学生グループ発表)
- 第12回 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読む
【授業テーマ】 保護者への援助
【内容・方法等】 「家族」という考え方、保護者への対応、親子関係
- 第13回 【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス
【内容・方法等】 教員自身が健康であるために、教員への対応
- 第14回 【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読む
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)
グループ発表50% 期末試験50%

教材等
教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫 (編著) ミネルヴァ書房 (2200円)
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目
教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等
7号館3階 (吉田研究室)

教育実習I Teaching Practice I				
村田俊明 (ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	1

授業概要・目的・到達目標
(1) 教育実習校における実習に必要な教育実践の基本を理解して、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。(2) 教育実習の実際についての情報を提供し、これらにもとづく討議ならびにビデオ等を用いた演習を交えて授業を展開する。(3) 教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

授業方法と留意点
テキストを中心とした講義及び、視聴覚教材等を用いた演習方式を進める。模擬授業、レポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。

科目学習の効果 (資格)
教員免許 (中学校・高等学校) 取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 教育実習の意義
【内容・方法等】 (1) オリエンテーション (2) 教育実習の目的と意義 (3) 免許制度の概要について
【事前・事後学習課題】 開拓した実習校における実習の基本情報を整理しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習の現状について
【内容・方法等】 (1) 開放制教師養成制度について (2)

- 中学校/高等学校の現状と課題について
- 第3回 【事前・事後学習課題】 教科書から教育実習の現状を整理しておく。
【授業テーマ】 教育実習の内容と形態等について
【内容・方法等】 (1) 教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について
(2) グループディスカッション・生徒の人権に配慮すること
【事前・事後学習課題】 教育実習にのぞむ姿勢、心がまえを整理し、紙に書いておく。
- 第4回 【授業テーマ】 教育実習の実際 (中学校)
【内容・方法等】 (1) ビデオ教材を通して中学校での実習への理解を深める (2) 意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】 中学校の教育実習で不明な点を簡条書きにまとめ、討議に備える。
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習の実際 (高等学校)
【内容・方法等】 (1) ビデオ教材を通して、高等学校での実習への理解を深める (2) 意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】 高等学校の教育実習で、不明な点を簡条書きにまとめ、討議に備える。
- 第6回 【授業テーマ】 授業の方法と技術
【内容・方法等】 教育メディアの特徴と使い方について検討する。
【事前・事後学習課題】 教育メディアの多様性とその特徴についてまとめておく。
- 第7回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり (1)
【内容・方法等】 (1) 授業の準備と配慮事項、(2) 学習指導案の書き方、(3) 教科指導の学習指導案の作成、板書計画
【事前・事後学習課題】 授業プランをたて、模擬授業の準備をする。
- 第8回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり (2)
【内容・方法等】 授業の自己評価とその観点の作成・検討
【事前・事後学習課題】 よい授業とは何かを考え、評価の観点とポイントを考えておく。
- 第9回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり (3)
【内容・方法等】 学級 (ホームルーム) 活動等の指導計画の作成、
【事前・事後学習課題】 協会外の教育活動の必要性と指導のポイントを整理しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 模擬授業 (1)
「授業シナリオ」に基づく模擬授業を行い、「授業シナリオ」の改善を行う。
【内容・方法等】 「わかる授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」のアイデア
【事前・事後学習課題】 「わかる授業」とは何かを考えておく。
- 第11回 【授業テーマ】 模擬授業 (2)
「授業シナリオ」に基づく模擬授業を行い、「授業シナリオ」の改善を行う。
【内容・方法等】 「おもしろい授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」の試み
【事前・事後学習課題】 「おもしろい授業」とは何かを考えておく。
- 第12回 【授業テーマ】 模擬授業 (3)
「授業シナリオ」に基づく模擬授業を行い、「授業シナリオ」の改善を行う。
【内容・方法等】 「役に立つ授業」の授業づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」の試み
【事前・事後学習課題】 「役に立つ授業」とは何かを考えておく。
- 第13回 【授業テーマ】 討論：授業の実際と理論
【内容・方法等】 「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【事前・事後学習課題】 「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
- 第14回 【授業テーマ】 実習中の勤務の要領
【内容・方法等】 学校の日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について
【事前・事後学習課題】 実習校のホームページを参考に、学校の日、一週間の流れを把握しておく。
- 第15回 【授業テーマ】 授業の記録と評価について
【内容・方法等】 授業と授業研究・話し方、授業構成、板書、補助教材など評価の観点への理解を深める。
【事前・事後学習課題】 教育実習の総合的な理解と実務の実際を確認する。

評価方法 (基準)
期末レポート、模擬授業、学習指導案の作成等に関わる評価を行う。

教材等
教科書…「教育実習の手引き」(摂南大学)「教育実習記録」(摂南大学)「新編教育実習の常識-事例にもとづく必修66項」教育実習を考える会編 蒼丘書林 (740円)

参考書…授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、「学ぶこと」を通して「教えること」への実践的理解を深めることが大切である。また、「教育実習」はこれまでの学習の総まとめであることを自覚して、実習に備えること。

関連科目

教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

教育実習ⅡB

Teaching Practice II B

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)
朝日 素明 (アサヒ モトアキ)
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

「教育実習ⅡB」は、2週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。(1)教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2)事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3)教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4)事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

(1)教育実習校での実習を行う。(2)大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。(3)事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果(資格)

教員免許取得上選択必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】教育実習特別個人指導(4月)
【内容・方法等】教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】教育実習事前指導(4月～5月)
【内容・方法等】教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】申請書類等の記入・提出
- 第3回 【授業テーマ】教育実習個人指導(4月～5月)
【内容・方法等】教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】教材・学習指導案を作成して提出(必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】前期教育実習開始(5月～6月)
【内容・方法等】実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】教育実習体験発表会(6月～7月)
【内容・方法等】教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】後期教育実習開始(9月～10月)
【内容・方法等】後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】教材研究、学習指導案作成
- 第7回 【授業テーマ】教育実習体験発表会(10月)
【内容・方法等】後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回 【授業テーマ】教育実習総括講義(10月)
【内容・方法等】教育実習のまとめとして、その意義を確認する。

- 【事前・事後学習課題】教育実習記録の提出
- 第9回 【授業テーマ】教育実践指導(1月～3月)
【内容・方法等】教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第11回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第12回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第13回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第14回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第15回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第16回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第17回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第18回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第19回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第20回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第21回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第22回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第23回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第24回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第25回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第26回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第27回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第28回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第29回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
【事前・事後学習課題】
- 第30回 【授業テーマ】
【内容・方法等】
- 評価方法(基準)
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。
- 教材等
教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか
- 学生へのメッセージ
『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。
- 関連科目
教職関連科目全般
- 担当者の研究室等
7号館3階
- 備考
(1)中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実

習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から2単位以上修得することが必要。(2) 中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教育実習Ⅲ Teaching Practice III

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)
朝日 素明 (アサヒ モトアキ)
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において4週間以上の実習を行う。(1) 教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2) 事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3) 教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4) 事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

(1) 教育実習校での実習を行う。(2) 大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。(3) 事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果(資格)

教員免許取得上選択必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導(4月)
【内容・方法等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導(4月～5月)
【内容・方法等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
- 第3回 【授業テーマ】 教育実習個人指導(4月～5月)
【内容・方法等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出(必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始(5月～6月)
【内容・方法等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(6月～7月)
【内容・方法等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始(9月～10月)
【内容・方法等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(10月)
【内容・方法等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義(10月)
【内容・方法等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
- 第9回 【授業テーマ】 教育実践指導(1月～3月)
【内容・方法等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____

- 【事前・事後学習課題】 _____
- 第11回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第12回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第13回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第14回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第15回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第16回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第17回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第18回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第19回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第20回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第21回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第22回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第23回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第24回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第25回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第26回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第27回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第28回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第29回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第30回 【授業テーマ】 _____

評価方法(基準)

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書… 摂南大学『教育実習記録』
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

7号館3階

備考

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

社会科・地歴科教育法I

Geography and History Education Method I

井上正英(イノウエ マサヒデ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「社会」「地歴」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

近代教育制度の変遷を考察する中で、社会科・地歴科が果たすそれぞれの使命と責任を理解する。そのうえで具体的に授業展開を行う基本的知識・技能を習得する。このほか現場で起こる各種の問題についても適宜説明する。

授業方法と留意点

講義と学生諸君の討論を中心として行うので、積極的な発言が望まれる。

科目学習の効果(資格)

中学・高校教員免許(社会科、地歴科)

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目:教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項:各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンスと年間計画
【内容・方法等】 年間講義内容の概略・受講上の注意点・成績評価について
【事前・事後学習課題】 事前 既修の「教師論」「教育原理」を復習しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第2回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育 1
【内容・方法等】 江戸末期から明治の学制の発布について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 江戸末期から明治期の教育問題について調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第3回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育 2
【内容・方法等】 明治期の教育制度の変遷について学ぶ その1。
【事前・事後学習課題】 事前 明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第4回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育 3
【内容・方法等】 明治期の教育制度の変遷について学ぶ その2。
【事前・事後学習課題】 事前 明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第5回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育 4
【内容・方法等】 大正自由教育から国民科の成立について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 大正期から昭和初期の教育について調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第6回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育 5
【内容・方法等】 戦時下教育から占領下での民主化、および社会科の成立までを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 戦時下教育から占領下での教育の変遷を調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第7回 【授業テーマ】 学習指導要領について 1
【内容・方法等】 戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 学習指導要領解説社会編を読んでおく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第8回 【授業テーマ】 学習指導要領について 2
【内容・方法等】 戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 学習指導要領解説社会編を読んでおく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第9回 【授業テーマ】 学習指導案の作成と活用を学ぶ 1
【内容・方法等】 地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 学習指導案とは何かを調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第10回 【授業テーマ】 学習指導案の作成と活用を学ぶ 2
【内容・方法等】 地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 学習指導案とは何かを調べておく。
事後 授業終了時に指示する。

- 第11回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション 1
【内容・方法等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後 授業終了時に指示する。
- 第12回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション 2
【内容・方法等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後 授業終了時に指示する。
- 第13回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション 3
【内容・方法等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後 授業終了時に指示する。
- 第14回 【授業テーマ】 授業記録について
【内容・方法等】 社会科教員として授業を見る目を鍛える為の授業記録の形式や方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 どのような授業記録方法があるかを考えておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第15回 【授業テーマ】 評価の方法と理論
【内容・方法等】 生徒の学習成果を検証するための視点と評価方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 評価方法の種類について考えておく。
事後 評価は自己の教育技術の反映であることを考える。

評価方法(基準)

レポート及び授業中の発言をもとに総合的に判定する。

教材等

教科書…使用しない

参考書…中学・高校の地理および歴史の教科書

学生へのメッセージ

教職科目であり、教職に就くあるいは教育に高い関心を持っていることが受講の前提となります。その上で社会の変化とそれに対応する教育の動きを理解し、志高く理想的な社会科・地歴科を創造する基礎を養いませんか。

関連科目

社会科・地歴科教育法II

担当者の研究室等

11号館 1階 教務課

社会科・地歴科教育法II

Geography and History Education Method II

井上正英(イノウエ マサヒデ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「社会」「地歴」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

社会科・地歴科教育法Iで学んだ基礎の上に、教員免許状取得の為の当面の大きな課題となる教育実習及び実際の授業を強く意識した講義とする。このほか現場で起こる各種の問題についても適宜説明する。

授業方法と留意点

講義と学生諸君の討論を中心として行うので、積極的な発言が望まれる。

科目学習の効果(資格)

中学・高校教員免許(社会科、地歴科)

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目:教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項:各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 講義内容の概略・受講上の注意点・成績評価について。
【事前・事後学習課題】 事前 前期最終授業時に指示する。
事後 授業終了時に指示する。
- 第2回 【授業テーマ】 地理分野 1
【内容・方法等】 地誌学の特徴や方法について学ぶ
【事前・事後学習課題】 事前 地誌の概念について調べておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第3回 【授業テーマ】 地理分野 2
【内容・方法等】 地図学(世界と日本の地図の歴史や各種の図法)について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前 様々な地図の種類について調べ

- ておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第4回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（中学校地理的分野） 1
【内容・方法等】 中学生を対象とする地理の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第5回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（中学校地理的分野） 2
【内容・方法等】 中学生を対象とする地理の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第6回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（高等学校地理） 3
【内容・方法等】 高校生を対象とする地理の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第7回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（高等学校地理） 4
【内容・方法等】 高校生を対象とする地理の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第8回** 【授業テーマ】 歴史分野 1
【内容・方法等】 学習指導要領「諸地域世界の形成」について、興味ある適切な主題を設定し世界史を構造的に理解させる授業の構築を考える。
【事前・事後学習課題】 事前 興味のある世界史の主題を各自設定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第9回** 【授業テーマ】 歴史分野 2
【内容・方法等】 学習指導要領「諸地域世界の交流と再編」について、ユーラシア規模での諸民族の交流を扱う授業の構築を考える。
【事前・事後学習課題】 事前 イスラム帝国の特色は何かを考えておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第10回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（中学校歴史的分野） 1
【内容・方法等】 中学生を対象とする歴史の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第11回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（中学校歴史的分野） 2
【内容・方法等】 中学生を対象とする歴史の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第12回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（高校歴史分野） 1
【内容・方法等】 高校生を対象とする歴史の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第13回** 【授業テーマ】 模擬授業研究（高校歴史分野） 2
【内容・方法等】 高校生を対象とする歴史的分野の学習指導案作成と模擬授業を実施し、その内容について検討する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで指導案作成と授業の進め方を決定しておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第14回** 【授業テーマ】 実施模擬授業の検証と反省・総括
【内容・方法等】 実施した模擬授業全体を検証し、その内容について反省、総括する。
【事前・事後学習課題】 事前 グループで作成した指導案の内容について各自の考えをまとめておく。
事後 授業終了時に指示する。
- 第15回** 【授業テーマ】 地理歴史科授業実施上の方法と年間のまとめ
【内容・方法等】 地理歴史科の授業を実施する上での様々な方法についての注意点を考えるとともに、講義を振り返る。
【事前・事後学習課題】 事前 社会科・地歴科教育法についての感想をまとめておく。
事後 常に歴史・地理に関する事項に興味と関心を持ち続ける。
- 評価方法（基準）**
レポート及び授業中の発言をもとに総合的に判定する。
- 教材等**
教科書…使用しない
参考書…中学・高等学校の教科書
- 学生へのメッセージ**
教職免許取得とそれに向けた教育実習を強く意識した講義とな

る。ともに参加して授業作りの基礎を養うとともに免許に挑戦してください。

原則として前期未履修者の受講は認めない。

関連科目

社会科・地歴科教育法 I

担当者の研究室等

11号館 1階 教務課

社会科・公民科教育法 I
Civic Education Method I

大野 順子 (オノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「社会」「公民」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、中学校社会科、及び、高校公民科の学習指導ができるようになるための基礎的素養を学ぶことを目的としています。そのため、できるかぎり実践的な観点から授業を進めていきます。まず、学習指導要領の内容を理解し、授業展開のポイントを解説します。また、わかりやすい授業を行うためのさまざまな方法を実践的に考えます。具体的には指導案の書き方の指導、模擬授業の実践を中心に参加型の授業法を取り入れて、皆さん自身が教師としての心構えを磨き上げていけるよう、互いに刺激し、批評しあう機会をもうけます。まずは「教育実習」で生徒を失敬させないきちんとした授業ができるよう、意欲と責任をもって授業に参加してください。

授業方法と留意点

まず社会科、公民科教育の理論の整理、そして、可能な範囲で履修者全員に模擬授業を実践してもらうような「実践型・参加型の授業」を目指します。よって、履修者は各回の授業テーマについてのレポート作成が課せられます。また模擬授業の実践では、それぞれの模擬授業終了後は必ず全員で意見交換を行い、問題点と課題点を整理します。ここでのコメント力を鍛えることも重要な目標です。指示した授業準備は必ず行ってください。教師としての自覚もあわせて養成するため、遅刻・無断欠席は認めません。

科目学習の効果（資格）

中学校1種「社会」、高校1種「公民」の教育職員免許を取得するために必要である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス：社会科・公民科教育の意義
【内容・方法等】 日本における社会科教育の歴史と現状について学び、社会科・公民科教育の意義について考える。
【事前・事後学習課題】 社会科教育の課題について考えてくること。
※該当するテキスト部分の要約
- 第2回** 【授業テーマ】 中学校指導要領（社会）、高校指導要領（公民）にみる授業の目的
【内容・方法等】 学習指導要領の概要について学ぶ
【事前・事後学習課題】 各自事前に入手した学習指導要領（中学：社会科、高校：公民科）の事前読了。
※該当するテキスト部分の要約
- 第3回** 【授業テーマ】 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（1）
【内容・方法等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約
- 第4回** 【授業テーマ】 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（2）
【内容・方法等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約
- 第5回** 【授業テーマ】 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（3）
【内容・方法等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約
- 第6回** 【授業テーマ】 教育方法と技術（1）：ミニ模擬授業
【内容・方法等】 板書・話し方・参考資料の作り方・新聞記事の利用のしかたなど、教育実践の基本的技術について。コンピューター（パワーポイントやインターネット）を用いた授業のやり方。パワーポイントを用いた授業をミニ模擬授業で実演する。
【事前・事後学習課題】 新聞記事の検索。
- 第7回** 【授業テーマ】 教育方法と技術（2）：ミニ模擬授業

【内容・方法 等】 デイバートを取り入れた授業の工夫について。公民に関わるテーマで模擬デイバートを行いながら学ぶ。調査の意義と方法、研究発表の指導について。デイバートを取り入れたミニ模擬授業を実演する。

【事前・事後学習課題】 デイバート準備。
第8回 **【授業テーマ】** 学習指導案の書き方（1）：ミニ模擬授業
【内容・方法 等】 学習指導案の作成指導（1）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。

【事前・事後学習課題】 学習指導案の作成。
第9回 **【授業テーマ】** 学習指導案の書き方（2）：ミニ模擬授業
【内容・方法 等】 学習指導案の作成指導（2）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。

【事前・事後学習課題】 学習指導案の作成。
第10回 **【授業テーマ】** 模擬授業（1）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（1）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。
第11回 **【授業テーマ】** 模擬授業（2）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（2）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。

第12回 **【授業テーマ】** 模擬授業（3）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（3）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。
第13回 **【授業テーマ】** 模擬授業（4）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（4）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。

第14回 **【授業テーマ】** 成績評価の方法について
【内容・方法 等】 成績評価にあたって重要となる事柄の概要を知り、さまざまな成績評価の方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第15回 **【授業テーマ】** 総括—社会科指導について
【内容・方法 等】 授業全体をふりかえって討論し、社会科教師としての課題と責務を確認する。
【事前・事後学習課題】 社会科教師としての自分の課題について考えてくること。

評価方法（基準）
 出席（80%以上必要）、レポート、平常点（授業への貢献度、模擬授業等）により総合的に評価する。

教材等
教科書…二谷貞夫・和井田清司編『中等社会科の理論と実践』（2007）学文社
 ◎中学社会科、高校公民科の指導要領については各自、事前に入手（インターネットからも文部科学省ウェブサイトより入手可能）しておいてください。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
 意欲をもって出席してください。

関連科目
 社会科・公民科教育法1、社会科・公民科教育法2は連続して受講することが望ましい。

担当者の研究室等
 11号館1階 教務課

備考
 授業計画は、授業の進捗状況等により変更することがあります。ご了承ください。

型の授業」を目指します。よって、履修者は各回の授業テーマについてのレポート作成が課せられます。また模擬授業の実践では、それぞれの模擬授業終了後は必ず全員で意見交換を行い、問題点と課題点を整理します。ここでのコメント力を鍛えることも重要な目標です。指示した授業準備は必ず行ってください。教師としての自覚もあわせて養成するため、遅刻・無断欠席は認めません。
 ※なお、備考欄を必ず読んでおいてください。

科目学習の効果（資格）
 中学校1種「社会」、高校1種「公民」の教育職員免許を取得するために必要である。

【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育課程及び指導法に関する科目
 各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス：社会科・公民科教育法Iのふりかえりと、本授業における目標の設定
【内容・方法 等】 社会科・公民科教育の意義についての復讐と、各自設定した自己目標の発表と共有。
【事前・事後学習課題】 各自、本授業における自己目標について考えてくること。

第2回 **【授業テーマ】** 指導案の書き方（最終確認）と模擬授業シフトの決定
【内容・方法 等】 第3回目以降の模擬授業で実践する部分の指導案（仮）づくり
【事前・事後学習課題】 各自、模擬授業で取り上げたい単元に関係する資料（教科書、資料集、地図、新聞記事等）を探し、持参する。

第3回 **【授業テーマ】** 模擬授業（1）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（1）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第4回 **【授業テーマ】** 模擬授業（2）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（2）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第5回 **【授業テーマ】** 模擬授業（3）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（3）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第6回 **【授業テーマ】** 模擬授業（4）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（4）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第7回 **【授業テーマ】** 模擬授業（5）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（5）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第8回 **【授業テーマ】** 模擬授業（6）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（6）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第9回 **【授業テーマ】** 模擬授業（1）～（6）のふりかえり
【内容・方法 等】 模擬授業の前半部分についてふりかえり、授業実践の要点を整理する。
【事前・事後学習課題】 模擬授業を担当したものはその時の様子について、それ以外の人は（1）～（6）の模擬授業を客観的にコメントし、それぞれ用紙にまとめてくる。

第10回 **【授業テーマ】** 模擬授業（7）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（7）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第11回 **【授業テーマ】** 模擬授業（8）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（8）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第12回 **【授業テーマ】** 模擬授業（9）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（9）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第13回 **【授業テーマ】** 模擬授業（10）
【内容・方法 等】 模擬授業の実践と指導（10）
 模擬授業の評価会
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備

第14回 **【授業テーマ】** 模擬授業（7）～（10）のふりかえり
【内容・方法 等】 模擬授業の後半部分についてふりかえり、前半のふりかえりで出た要点を押さえながら後半部分の模擬授業について討議する。
【事前・事後学習課題】 模擬授業を担当したものはその時の様子についてまとめ、それ以外の人は（7）～（10）の模擬授業についてそれぞれ客観的にコメントし、用紙にまとめてくる。

第15回 **【授業テーマ】** 総括—全体を振り返って
【内容・方法 等】 授業全体（社会科・公民科教育法Iも含め

社会科・公民科教育法II Civic Education Method II				
大野 順子 (オオノ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「社会」「公民」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
 本授業は、中学校社会科、及び、高校公民科の学習指導ができるようになるための基礎的素養を学ぶことを目的としています。そのため、できるかぎり実践的な観点から授業を進めていきます。まず、学習指導要領の内容を理解し、授業展開のポイントを解説します。また、わかりやすい授業を行うためのさまざまな方法を実践的に考えます。具体的には指導案の書き方の指導、模擬授業の実践を中心に参加型の授業法を取り入れて、皆さん自身が教師としての心構えを磨き上げていけるよう、互いに刺激し、批評しあう機会をもうけます。まずは「教育実習」で生徒を失望させないきちんとした授業ができるよう、意欲と責任をもって授業に参加してください。

授業方法と留意点
 まず社会科、公民科教育の理論の整理、そして、可能な範囲で履修者全員に模擬授業を実践してもらうような「実践型・参加

て)をふりかえって討論し、社会科教師としての課題と責務を確認する。

【事前・事後学習課題】 それぞれ討論のための資料を準備してくる。

評価方法 (基準)

出席 (80%以上必要)、レポート、平常点 (授業への貢献度、模擬授業等) により総合的に評価する。

教材等

教科書…二谷貞夫・和井田清司編『中等社会科の理論と実践』(2007)学文社

◎中学社会科、高校公民科の指導要領については各自、事前に入手 (インターネットからも文部科学省ウェブサイトより入手可能) しておいてください。

参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

意欲をもって出席してください。

関連科目

社会科・公民科教育法Ⅰ、社会科・公民科教育法Ⅱは連続して受講することが望ましい。つまり、本授業は社会科・公民科教育法Ⅰに続く内容となるので、履修希望の学生は、すでに前期に社会科・公民科教育法Ⅰを受講し、その単位を取得していることを条件とする。

担当者の研究室等

11号館1階 教務課

備考

本授業は、教育実習や将来教職に就いた時のことを想定し、授業がうまく運営できる授業実践力をつけてもらうために、学生皆さんには複数回、本番と同様の条件で模擬授業をしてもらうこととなります。ですので、模擬授業担当者は指導案の作成、教科書、教材等の準備をしっかりと行うことが求められます。それ以外の方は、模擬授業終了後のふりかえりや模擬授業評価をしてもらう予定にしていますので、その点を十分に理解して受講して下さい。

教職実践演習 (中・高)

Practicum in Prospective Teachers

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)
朝日 素明 (アサヒ モトアキ)
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

- ◎教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。
- ◎中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
- ◎教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
- ◎教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点

- ◎教職課程の専任教員4名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。1グループは15~20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
- ◎大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果 (資格)

- ◎教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目 (教職実践演習を除く。) の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
- ◎2013年度から4年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 「教職実践演習」のガイダンス
【内容・方法 等】 ・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・3回以降のグループ学習の各課題の確認
【事前・事後学習課題】 ・教育実習ノートの点検と再確認

- 第2回** 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法 等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第3回** 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法 等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第4回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第5回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第6回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第7回** 【授業テーマ】 学級集団づくりと生徒指導・進路指導の課題
【内容・方法 等】 ・学級経営の重要性と困難性を確認しながら、個別指導について生徒指導・進路指導の事例を基に考える(グループワーク)
【事前・事後学習課題】 教員のマネジメント能力や「学級崩壊」の危険性についてレポートにまとめる
- 第8回** 【授業テーマ】 進路指導
【内容・方法 等】 ・進路指導・生徒指導上の教師の行うカウンセリングマインドについて考える
ビデオ「教師の行うカウンセリングマインド」
【事前・事後学習課題】 特に中学生における進路指導のあり方についてレポートにまとめる
- 第9回** 【授業テーマ】 カウンセリングマインドと生徒対応
【内容・方法 等】 カウンセリングの技法を生徒への対応、保護者への対応に応用する(ロールプレイ)
【事前・事後学習課題】 (事前) カウンセリングマインドについての復習
(事後) 小レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 「自分」を知る
【内容・方法 等】 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り、そのための1方法としてのエゴグラム作成を行う
【事前・事後学習課題】 (事前) 「自分」について考える
(事後) 小レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 いじめの現状
【内容・方法 等】 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前・事後学習課題】 (事前) 配布資料の熟読
(事後) 小レポートの提出
- 第12回** 【授業テーマ】 いじめ問題への取り組み
【内容・方法 等】 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前・事後学習課題】 (事前) 配布資料の熟読
(事後) 小レポートの提出
- 第13回** 【授業テーマ】 教育実習と「道徳」の授業について一課題の確認
【内容・方法 等】 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
一教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う
【事前・事後学習課題】 事前: 教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめる。
事後: 話し合いから学んだことをまとめる。
- 第14回** 【授業テーマ】 「道徳」の模擬授業と授業検討
一「道徳」授業のポイント確認
【内容・方法 等】 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。
【事前・事後学習課題】 事前: 代表者による模擬授業(30分)の実施準備を行う。
事後: 模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。
- 第15回** 【授業テーマ】 授業改革と人権教育(元校長との研究交流)

総括レポートの作成

【内容・方法 等】 ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ

- ・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
- ・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。

【事前・事後学習課題】 レポート作成

評価方法 (基準)

教職教室教員4名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。

教材等

教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
教育実習で使用した各教科書・教材

参考書…資料等は授業中に適宜配布

学生へのメッセージ

教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしなが、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力を身に付けること。

関連科目

全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等

教職教室(7号館3階)
深川八郎、村田俊明、朝日素明、吉田佐治子